

藤井寺市  
子どもの生活に関する  
実態調査報告書

令和5年3月  
藤井寺市



## 目次

I	子どもの生活に関する実態調査の概要.....	1
	1. 調査の概要.....	2
	2. 貧困・生活困難に関する分析の視点.....	4
	3. 調査結果を示す基本の分析軸について.....	12
II	保護者対象アンケート調査の結果.....	13
	1. 子どもと保護者のことについて.....	14
	2. 子どもに関することについて.....	23
	3. 家庭での生活について.....	31
	4. 公的支援の利用状況や必要な支援について.....	54
III	子ども対象アンケート調査の結果.....	63
	1. 子ども自身のことや子どもの生活について.....	64
	2. 学習について.....	83
	3. ふだん考えていることなどについて.....	89
IV	アンケート調査の追加的な分析.....	99
	1. 全国調査との比較.....	100
	2. 経済状況以外の要因についての分析.....	112
	3. ひとり親世帯の状況.....	116
V	子どもの貧困対策に係る団体・支援者調査の結果.....	123
VI	調査結果に基づく支援の課題.....	133
	1. 主な調査結果.....	134
	2. 実態調査から見えた本市の課題.....	138
VII	資料編.....	141
	1. 保護者アンケート.....	142
	2. 子どもアンケート.....	150



## I 子どもの生活に関する実態調査の概要

---

# 1. 調査の概要

## (1)調査の目的

本調査は、子どもの貧困対策を効果的に推進し、次代を担う全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける環境づくりを進めるため、子育て世帯の経済状況と子どもや保護者の状況との関連等の実態を把握し、本市における子どもたちや子育て世帯への支援のあり方の検討に役立てることを目的として実施しました。

## (2)調査対象及び調査方法

### ①アンケート調査

子育て世帯の経済状況と子どもや保護者の状況との関連等の実態を把握するため、小学5年生、中学2年生とその保護者を対象としたアンケート調査を実施しました。概要は以下の通りです。

#### ■アンケート調査の概要

項目	内容
調査対象	藤井寺市内に在住する小学5年生及び中学2年生全員とその保護者
実施時期	令和4年7月1日から7月15日
実施方法	市立小中学校在籍児童生徒とその保護者については、各学校を通じて配付及び回収 市立小中学校在籍以外の児童生徒については郵送による配付及び回収

### ②団体・支援者調査

アンケート調査を補完し、支援に携わる立場から見た子どもの貧困問題に関する本市の実態や課題を把握するため、子ども支援、子育て支援に関わる団体・機関等を対象として「子どもの貧困対策に係る団体・支援者調査」を実施しました。概要は以下の通りです。

#### ■団体・支援者調査の概要

項目	内容
調査対象	藤井寺市内で子どもや子育て支援に関わる団体・機関等 (地域子育て支援拠点事業所、子ども食堂、主任児童委員(民生委員児童委員)、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)、市立学校教員(校長・教頭等)、放課後児童会支援員、就学前保育施設、支援に関わる市職員(生活困窮者支援担当、助産師、保健師、家庭児童相談室)、障害児相談支援事業所、子ども・子育て連絡会協力団体、その他子育て支援・青少年健全育成関係団体等)
実施時期	令和4年7月27日から8月12日
実施方法	各団体・機関に対して電子メール・FAX・手渡し等で調査票を配付及び回収

### (3)配付・回収結果

---

#### ①アンケート調査

アンケート回収結果は以下のとおりです。保護者と子どもの調査票をペアで回収できたものを有効回収としています。有効回収率は小学5年生88.6%（学校配布分のみでは90.3%）、中学2年生78.6%（学校配布分のみでは84.3%）となっています。

#### ■アンケート回収結果

	配付数	有効回収数	合計有効回収率
小学5年生	学校配布：528 郵送配布：17	学校回収：477 郵送回収：6	88.6%
中学2年生	学校配布：497 郵送配布：82	学校回収：419 郵送回収：36	78.6%
合計	1,124	938	83.5%

※有効回収とした調査票以外に、中学2年生の学校回収で子どものみ1件、保護者のみ1件、郵送回収（学年不明）で保護者のみ1件の回収がありました。

#### ②団体・支援者調査

子ども支援・子育て支援に関わる団体・機関及びその担当者を対象として73件の調査票を配付し、50件の回答を得ました。

### (4)報告書の見方

---

◇回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

◇複数回答（特に表記のない場合は、当てはまる選択肢を全て選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問・選択肢は簡略化している場合があります。

## 2. 貧困・生活困難に関する分析の視点

調査結果の分析にあたっては、調査の目的に鑑みて、世帯の経済状況を区分して分析するための視点を設定する必要があります。ここでは、先行する同種の自治体調査において用いられている代表的な視点として、相対的貧困世帯、「等価世帯収入」に基づく所得段階区分、生活困難の状況に即した分析（経済的困難世帯）のそれぞれについて、本調査の結果を示します。

### (1)相対的貧困世帯

「相対的貧困」は国における子どもの貧困率の算定等においても用いられている代表的な視点です。本調査における相対的貧困世帯の算定は、以下のように行います。

国の国民生活基礎調査では、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分を相対的貧困水準と定義しています。この定義に基づき、本調査においても、世帯収入が国民生活基礎調査によって示された相対的貧困水準以下の世帯を相対的貧困世帯とします。

本調査においては、保護者調査で税込みの世帯収入を 50 万円区分で尋ねています。そこで、相対的貧困水準の算定に対応する可処分所得を概算したうえで、相対的貧困となる区分を選定しました。具体的には、本調査と同様の調査設計となっている内閣府「親と子の生活意識に関する調査」（平成 23 年）と同じ手法を採用しました。

まず、令和元年国民生活基礎調査における所得 5 分位階級（全ての世帯を収入の低い方から順番に並べ、それを 5 等分して 5 つのグループを作った場合の各グループ）ごとに、平均可処分所得に対する平均所得の比となる係数を算出します（表 A）。続いて、相対的貧困水準（世帯人数別に、その金額以下の世帯収入の場合に相対的貧困となる所得額）が定義されている平成 30 年国民生活基礎調査から、世帯人員別に相対的貧困線を算出し、それぞれに対応する上記の係数を乗じることで、貧困線の値に対応する世帯収入を概算し、この世帯収入以下となる収入区分に該当する世帯を、本調査における相対的貧困世帯としました（表 B）。

■表 A 所得 5 分位階級ごとの係数（平均可処分所得に対する平均所得の比）

	1 世帯あたり平均所得 (a)	平均可処分所得 (b)	係数 (a/b)
第Ⅰ（～203 万円）	125.2 万円	110.7 万円	1.13
第Ⅱ（203～350 万円）	277.9 万円	237.7 万円	1.17
第Ⅲ（350～540 万円）	441.1 万円	363.0 万円	1.22
第Ⅳ（540～820 万円）	667.7 万円	535.8 万円	1.25
第Ⅴ（820 万円～）	1249.8 万円	949.6 万円	1.32

※令和元年国民生活基礎調査結果（調査された所得は平成 30 年間のもの）より作成。「1 世帯あたり平均所得」は税込み収入、「平均可処分所得」は手取り収入に該当します。

■表B 世帯人員ごとの相対的貧困となる区分

世帯人員	相対的貧困線	係数	対応する世帯収入	相対的貧困世帯となる区分
2人	180万円	1.13	203万円	200万円未満
3人	220万円	1.17	257万円	250万円未満
4人	254万円	1.17	297万円	300万円未満
5人	284万円	1.17	332万円	350万円未満
6人	311万円	1.17	364万円	350万円未満
7人	336万円	1.17	393万円	400万円未満
8人	359万円	1.22	436万円	450万円未満
9人	381万円	1.22	463万円	450万円未満
10人	402万円	1.22	488万円	500万円未満

※「相対的貧困線」は令和元年国民生活基礎調査における、貧困線にあたる等価可処分所得金額が127万円であることから、その金額に世帯人員の正の平方根を乗じて算出。「係数」は表Aを参照。「相対的貧困線」は手取り収入（可処分所得）に基づく基準であり、「対応する世帯収入」は貧困線に可処分所得と税込み収入の比率である係数を乗じて算出した税込み収入でみた貧困線、「相対的貧困世帯となる区分」は本調査で尋ねた世帯全員の税込み収入の区分。

上記に基づいて回収された回答について相対的貧困世帯かどうかを判定し、それを集計して本調査における相対的貧困世帯の割合を算出しました。結果は以下の通りです。

学年	相対的貧困世帯		非相対的貧困世帯	
	件	%	件	%
小学5年生	45	10.6	378	89.4
中学2年生	46	11.9	340	88.1
全 体	91	11.2	718	88.8

※有効回答のうち、相対的貧困世帯の判定に必要な世帯人員と世帯収入の両方に回答があったものを対象としています。いずれかが無回答であったものは判定不能となり、小学5年生では483件中60件、中学2年生では455件中69件が判定不能となっています。

※本調査における本市の貧困率（小学5年生と中学2年生の平均）は11.2%、国全体における子ども（17歳以下）がいる現役世帯の貧困率は12.6%（新基準では13.1%、令和元年国民生活基礎調査）ですが、調査対象・方法が異なるため本調査との単純な比較はできません。

## (2)「等価世帯収入」に基づく所得段階区分

国が令和3年12月に公表した「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」では、年間収入に関する回答の各選択肢の中央値（50～100万円未満であれば75万円、1,000万円以上の区分は1,050万円）をその世帯の収入の値とし、その値を同居家族の人数の平方根で除した値を「等価世帯収入」とした上で、回答者全体の等価世帯収入の中央値の2分の1未満、中央値の2分の1以上で中央値未満、中央値以上の3つに区分して分析しています。

この手法は、調査対象者における相対的な所得格差に基づく比較となるため、藤井寺市のみを対象とした本調査においては、国民生活基礎調査の数値に基づく分析のように、全国と本市との間の平均的な経済状況の格差を考慮した実態把握には役立ちません。しかし、本市内における相対的な経済的格差に基づく子どもや家庭の状況の違いの分析においては有用な区分となります。

上記の国の報告書と同様の手法で、「等価世帯収入」を算出したところ、本調査においては中央値が290.7万円、中央値の2分の1が145.3万円となりました（前述の国の令和3年調査では中央値：317.54万円、中央値の2分の1：158.77万円、対象は中学2年生とその保護者）。この数値に基づいて所得段階を区分した結果は下表のようになります。

学年	所得区分1 (中央値以上)		所得区分2 (中央値未満、中央値の 2分の1以上)		所得区分3 (中央値の2分の1未満)	
	件	%	件	%	件	%
小学5年生	218	51.5	164	38.8	41	9.7
中学2年生	198	51.3	145	37.6	43	11.1
全 体	416	51.4	309	38.2	84	10.4

※有効回答のうち、相対的貧困世帯の判定に必要な世帯人員と世帯収入の両方に回答があったものを対象としています。いずれかが無回答であったものは判定不能となり、小学5年生では483件中60件、中学2年生では455件中69件が判定不能となっています。

なお、大阪府の平成28年調査の報告書においても、同様の区分が用いられていますが、この調査では世帯収入を「税金や社会保険料を払った後の額」で尋ねていることから、これを世帯人員の平方根で割って算出した「等価可処分所得」を用いています。本調査では、世帯収入を国調査と同様に「税込みの収入」で尋ねていることから、平成28年大阪府調査とは、所得の単純な比較はできません。

### (3) 経済的困難世帯

先行自治体における調査では、相対的貧困水準を分析の軸として、貧困世帯の状況に注目した報告が行われているものが多くある一方、生活必需品の非所有や、光熱水費・通信費・保険料等の支払困難経験、食料・衣料・学用品等の生活必需品の購入困難経験など、一般に生活を行う上での困難な状況が、相対的貧困世帯に限らず広がっていることも示されています。

そこで、世帯収入のみの外形的な要件だけではなく、広く生活困難の実情に注目し、保護者と子ども意識や生活への影響を分析するために、独自に「経済的困難世帯」を定義し、子育て世帯の生活困難の状況に注目します。具体的には、①生活必需品非所有世帯、②生活費用支払困難経験世帯、③食料購入困難経験世帯、④衣服購入困難経験世帯のいずれかに該当する世帯を経済的困難世帯と定義します。

各項目の詳しい定義と調査結果は次の通りです。

#### ①生活必需品非所有世帯

保護者対象の調査において、経済的理由のために家庭にないものについて、以下のいずれか1つ以上を回答した世帯を「生活必需品非所有世帯」とします。

・子どもの年齢に合った本	・冷房機器（エアコンを含む）
・子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	・電子レンジ
・子どもが自宅で宿題をすることができる場所	・電話（固定電話・携帯電話を含む）
・洗濯機	・世帯専用のおふろ
・炊飯器	・世帯人数分のベッドまたは布団
・掃除機	・急な出費のための貯金または現金（5万円以上）
・暖房機器（エアコンを含む）	

※本調査では他に「パソコン（タブレット含む）」についても尋ねていますが、ここでの生活必需品には含めていません。

本調査における生活必需品非所有世帯の割合は以下の通りです。

学年	生活必需品非所有世帯		非生活必需品非所有世帯	
	件	%	件	%
小学5年生	70	14.9	400	85.1
中学2年生	70	15.8	374	84.2
全 体	140	15.3	774	84.7

※有効回答のうち、該当する質問に回答があったものを対象としています。無回答であったものは判定不能となり、小学5年生では483件中13件、中学2年生では455件中11件が判定不能となっています。

※生活必需品非所有が特に多かったのは、「急な出費のための貯金または現金（5万円以上）」で、小中学生合計で105件となっています。

## ②生活費用支払困難経験世帯

保護者対象の調査において、過去1年の間に経済的理由のために支払いができなかったものについて、以下のいずれか1つ以上を回答した世帯を「生活費用支払困難経験世帯」とします。

・電気料金	・家賃
・ガス料金	・公的年金・健康保険等の保険料
・水道料金	・所得税や住民税
・電話代	・子どもの学校で必要なお金

本調査における生活費用支払困難経験世帯の割合は以下の通りです。

学年	生活費用支払困難経験世帯		非生活費用支払困難経験世帯	
	件	%	件	%
小学5年生	44	9.3	427	90.7
中学2年生	49	11.0	395	89.0
全 体	93	10.2	822	89.8

※有効回答のうち、該当する質問に回答があったものを対象としています。無回答であったものは判定不能となり、小学5年生では483件中12件、中学2年生では455件中11件が判定不能となっています。

## ③食料購入困難経験世帯

保護者対象の調査において、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことが、「よくあった」または「ときどきあった」と回答した世帯を「食料購入困難経験世帯」とします。

本調査における食料購入困難経験世帯の割合は以下の通りです。

学年	食料購入困難経験世帯		非食料購入困難経験世帯	
	件	%	件	%
小学5年生	20	4.2	458	95.8
中学2年生	23	5.1	425	94.9
全 体	43	4.6	883	95.4

※有効回答のうち、該当する質問に回答があったものを対象としています。無回答であったものは判定不能となり、小学5年生では483件中5件、中学2年生では455件中7件が判定不能となっています。

#### ④衣服購入困難経験世帯

保護者対象の調査において、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことが、「よくあった」または「ときどきあった」と回答した世帯を「衣服購入困難経験世帯」とします。

本調査における生活必需品購入困難経験世帯の割合は以下の通りです。

学年	衣服購入困難経験世帯		非衣服購入困難経験世帯	
	件	%	件	%
小学5年生	20	4.2	458	95.8
中学2年生	24	5.4	424	94.6
全 体	44	4.8	882	95.2

※有効回答のうち、該当する質問に回答があったものを対象としています。無回答であったものは判定不能となり、小学5年生では483件中5件、中学2年生では455件中7件が判定不能となっています。

#### ⑤経済的困難世帯

①から④のいずれかに1つ以上に該当した世帯を「経済的困難世帯」とします。本調査における経済的困難世帯の割合は以下の通りです。

学年	経済的困難世帯		非経済的困難世帯	
	件	%	件	%
小学5年生	86	18.5	379	81.5
中学2年生	85	19.3	355	80.7
全 体	171	18.9	734	81.1

※有効回答のうち、経済的困難世帯の判定に必要な設問の回答状況に基づいて判定できたものを対象としています。判定に必要な設問に無回答があり判定できないものが判定不能となり、小学5年生では483件中18件、中学2年生では455件中15件が判定不能となっています。

#### (4)相対的貧困・所得区分・経済的困難の関連

(1) から (3) で示した分析の視点に基づく区分が、相互にどのような関連になっているかについて、最後に示しておきます。

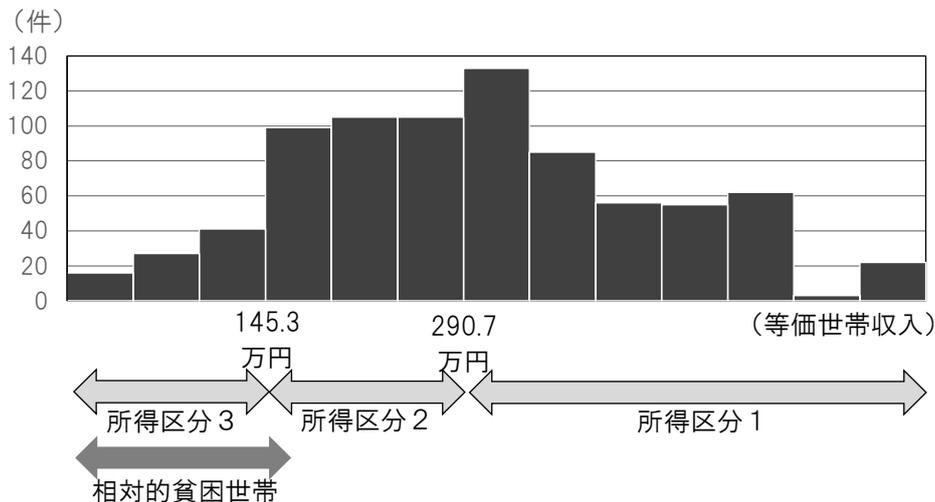
##### ①相対的貧困世帯と所得段階区分

相対的貧困世帯と所得区分の関係は以下の通りです。小学5年生、中学2年生のいずれも、所得区分3は全て相対的貧困世帯となっています。相対的貧困世帯と所得区分は判定に必要な項目が同じであるため、所得段階区分のいずれかに判定されたものについては、相対的貧困世帯の判定不能はありません。

学年	所得区分	N	相対的貧困世帯		非相対的貧困世帯	
			件	%	件	%
小学5年生	所得区分1	218	0	0.0	218	100.0
	所得区分2	164	4	2.4	160	97.6
	所得区分3	41	41	100.0	0	0.0
中学2年生	所得区分1	198	0	0.0	198	100.0
	所得区分2	145	3	2.1	142	97.9
	所得区分3	43	43	100.0	0	0.0

※所得区分3は全て相対的貧困世帯、所得区分2では小学5年生4件、中学2年生3件が相対的貧困世帯となっています。

##### ■等価世帯収入の分布と所得区分・相対的貧困世帯



## ②相対的貧困世帯と経済的困難世帯

経済的困難世帯の割合は、相対的貧困世帯では約半数、非経済的困難世帯では1割台半ばとなっています。

学年	世帯区分	N	経済的困難世帯		非経済的困難世帯	
			件	%	件	%
小学5年生	相対的貧困世帯	45	21	47.7	23	52.3
	非相対的貧困世帯	378	60	16.2	310	83.8
中学2年生	相対的貧困世帯	46	23	52.3	21	47.7
	非相対的貧困世帯	340	47	14.2	285	85.8

## ③所得区分と経済的困難世帯

経済的困難世帯の割合は、所得区分3では約半数、所得の高い区分ほど低くなっています。所得が低いほど経済的困難の状況も広がっていると言える一方で、所得が低くても経済的困難な状況にはない世帯や、逆に所得が比較的高くても経済的困難な状況にある世帯があることも示されています。

学年	所得区分	N	経済的困難世帯		非経済的困難世帯	
			件	%	件	%
小学5年生	所得区分1	218	18	8.3	196	89.9
	所得区分2	164	43	26.2	117	71.3
	所得区分3	41	20	48.8	20	48.8
中学2年生	所得区分1	198	10	5.1	183	92.4
	所得区分2	145	39	26.9	103	71.0
	所得区分3	43	21	48.8	20	46.5

### 3. 調査結果を示す基本の分析軸について

上記の結果を踏まえて、アンケート調査の集計結果を「等価世帯収入」に基づく所得段階区分で示すことを基本とし、世帯の経済状況別の回答状況の差に注目します。そのため、基本的に全ての回答結果について、「全体」「所得区分1」「所得区分2」「所得区分3」の4つに分けて示すことになり、「全体」には所得区分が判定できなかった回答を含みます。

複数の分析の視点のうち、「等価世帯収入」に基づく所得段階区分を採用する理由としては、相対的貧困世帯が一部は所得区分2に含まれるものの、ほぼ所得区分3と等しく、相対的貧困かどうかの2区分と比べて、3区分で集計することで経済状況との関連をより把握しやすいと考えられることが挙げられます。また、直近の国の報告書で採用されている区分であり、全国調査との比較や将来的な他自治体の調査と比較できる可能性が大きいと考えられることもあります。

## Ⅱ 保護者対象アンケート調査の結果

---

# 1. 子どもと保護者のことについて

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄でお答えください。

保護者調査の回答者は、全体の9割以上が「母親」となっています。

単位：％

		母親	父親	祖父母	おじ、おばなどの親族	兄・姉などのきょうだい	施設職員	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	93.2	6.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分1 (n=218)	92.2	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=164)	93.3	6.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=41)	95.1	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	93.6	5.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	所得区分1 (n=198)	97.0	2.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=145)	87.6	11.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	95.3	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問2 お子さんと普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたやお子さんを含めて何人ですか。人数をご記入ください。

所得区分3では、ひとり親世帯が多いことから、他の所得区分より「2人」または「3人」が多く、「4人」が少なくなっています。

単位：％

		2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	4.6	13.5	47.8	25.3	6.2	1.0	0.8	0.8
	所得区分1 (n=218)	3.7	12.8	55.5	25.2	2.3	0.0	0.5	0.0
	所得区分2 (n=164)	2.4	12.8	45.7	25.0	11.6	1.8	0.6	0.0
	所得区分3 (n=41)	22.0	17.1	26.8	22.0	4.9	4.9	2.4	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	2.6	16.9	47.5	24.0	5.3	2.0	0.7	1.1
	所得区分1 (n=198)	3.0	15.2	55.6	22.2	3.0	1.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=145)	1.4	13.1	46.2	29.0	6.9	3.4	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	7.0	32.6	25.6	23.3	9.3	2.3	0.0	0.0

問3 お子さんと同居しているご家族はどなたですか。お子さんから見た続柄でお答えください。(複数回答)

同居している家族については、所得区分3では、「父親」が少なく、小学5年生では、「祖父母」がやや多くなっています。

単位：%

		母親	父親	祖父母	おじ、おばなどの親族	きょうだい	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	94.4	82.6	7.2	1.9	80.3	0.4	0.6
	所得区分1 (n=218)	94.0	87.6	6.0	1.4	79.8	0.0	0.5
	所得区分2 (n=164)	96.3	89.0	7.3	1.8	84.1	0.6	0.6
	所得区分3 (n=41)	90.2	24.4	14.6	2.4	68.3	2.4	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	91.4	82.2	9.0	1.1	83.7	1.1	0.9
	所得区分1 (n=198)	94.4	88.4	7.1	0.5	82.8	1.0	0.0
	所得区分2 (n=145)	90.3	88.3	9.7	1.4	88.3	0.7	0.7
	所得区分3 (n=43)	81.4	37.2	9.3	0.0	79.1	2.3	0.0

問4 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

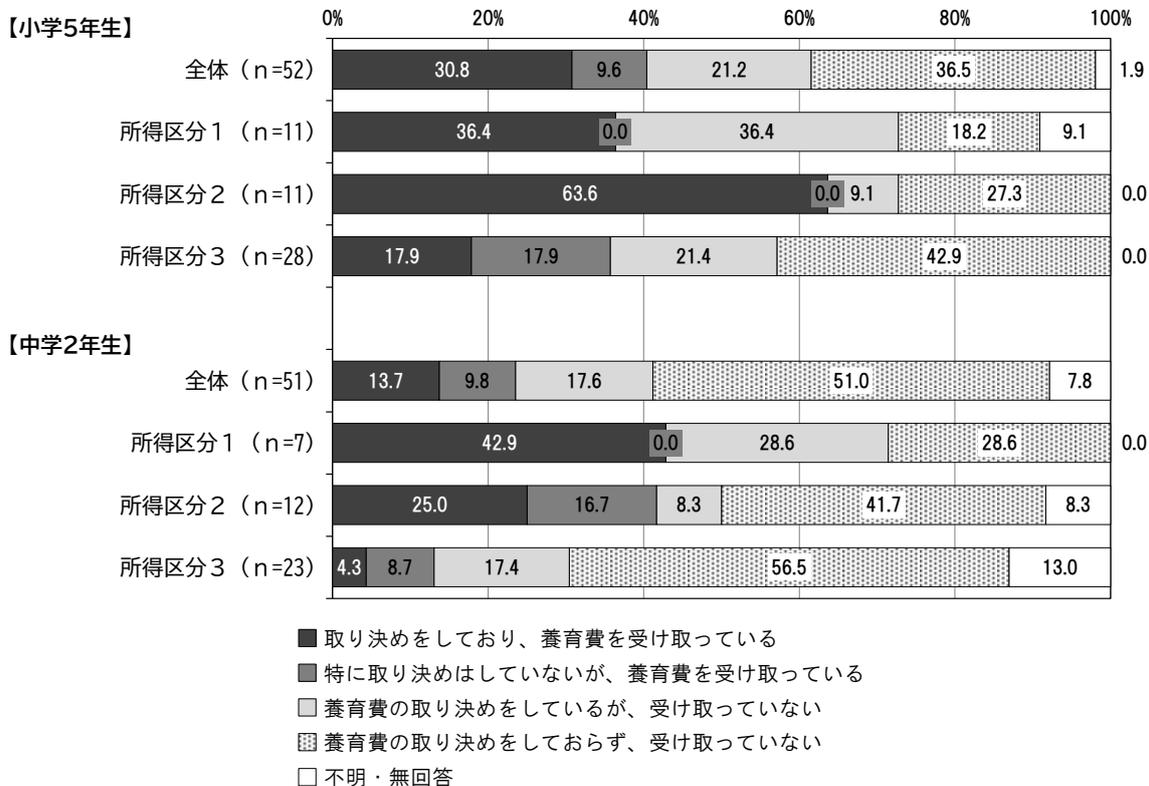
所得区分3では、「離婚」が多く、「未婚」「別居」も他の所得区分よりやや多くなっています。

単位：%

		結婚している(再婚や事実婚を含む)	離婚	死別	未婚	別居	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	86.5	10.4	0.6	0.4	1.2	0.8
	所得区分1 (n=218)	94.0	4.6	0.5	0.5	0.0	0.5
	所得区分2 (n=164)	91.5	6.7	0.6	0.0	0.6	0.6
	所得区分3 (n=41)	24.4	65.9	0.0	2.4	7.3	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	85.5	9.7	0.7	1.5	1.3	1.3
	所得区分1 (n=198)	94.4	3.0	1.0	0.5	0.5	0.5
	所得区分2 (n=145)	89.7	6.9	0.7	1.4	0.7	0.7
	所得区分3 (n=43)	39.5	48.8	0.0	4.7	4.7	2.3

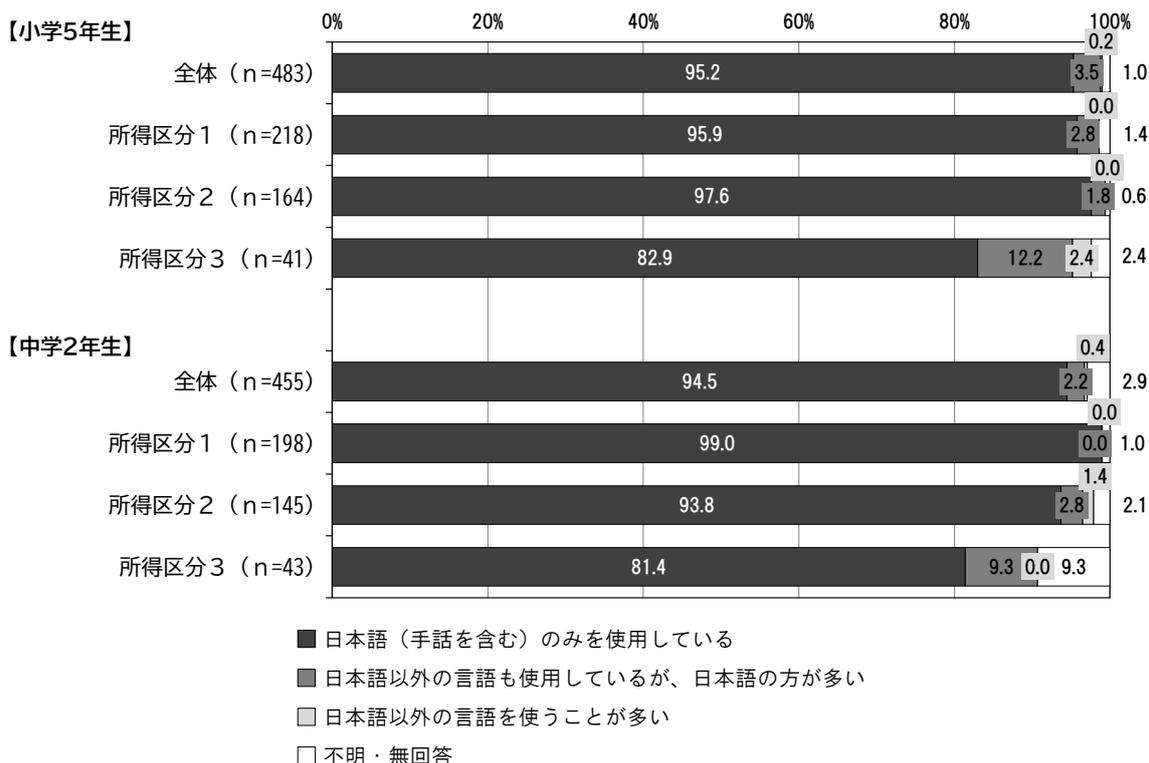
問5 問4で「離婚」または「未婚」を選んだ人のみ 相手方とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

「離婚」または「未婚」の保護者のうち、養育費を受け取っているのは、小学5年生で40.4%、中学2年生で23.5%となっています。中学2年生では所得の低い区分ほど、養育費を受け取っている割合が低くなっています。



問6 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

所得区分3では、日本語以外の言語を使用している人が、他の所得区分より多くなっています。



問7 あなたが、初めて親となった年齢はいくつですか(実子以外も含みます)。

所得の低い区分ほど初めて親となった年齢が低い傾向となっています。

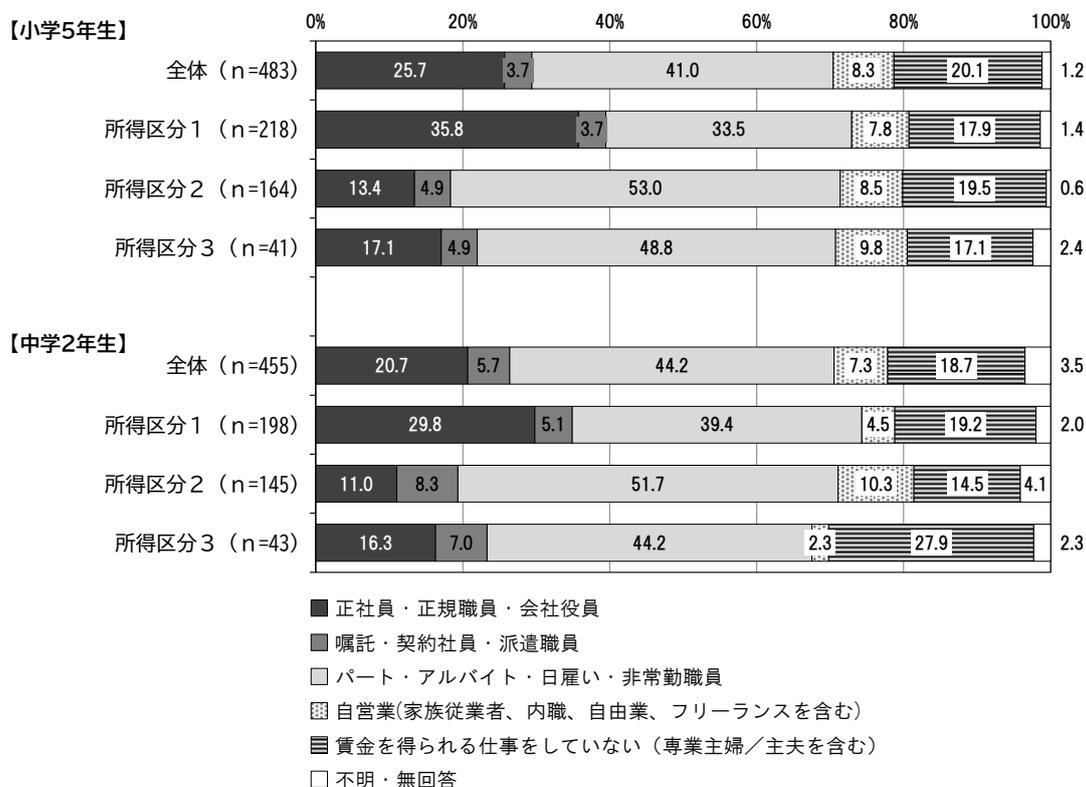
単位：%

		10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	わからない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	1.9	16.6	38.3	30.2	11.4	1.2	0.2	0.2
	所得区分1 (n=218)	0.9	11.9	41.7	34.4	10.1	0.5	0.0	0.5
	所得区分2 (n=164)	1.2	20.7	36.6	27.4	12.2	1.8	0.0	0.0
	所得区分3 (n=41)	7.3	24.4	43.9	17.1	7.3	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	2.9	20.4	38.7	27.3	8.1	1.1	0.2	1.3
	所得区分1 (n=198)	0.5	16.7	42.9	28.8	10.1	0.0	0.5	0.5
	所得区分2 (n=145)	4.1	20.0	35.2	29.7	7.6	2.8	0.0	0.7
	所得区分3 (n=43)	7.0	32.6	34.9	16.3	4.7	2.3	0.0	2.3

問8 お子さんの母親と父親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

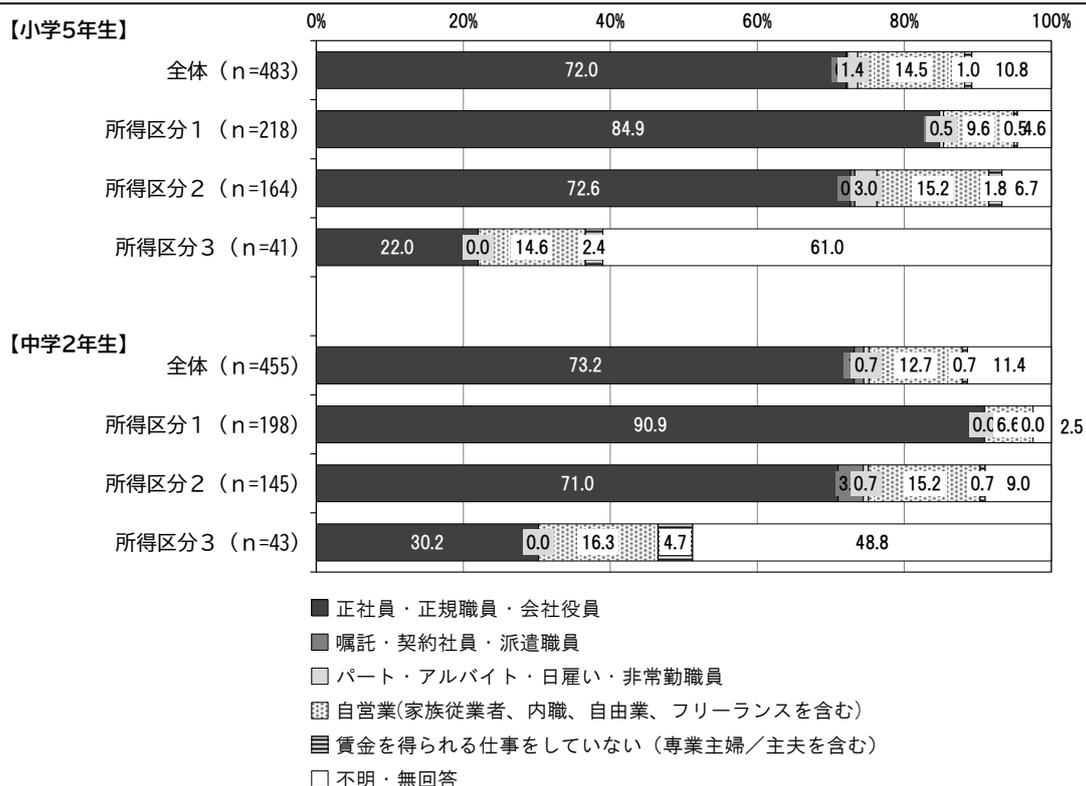
【母親】

母親の就労状況を見ると、所得区分1では、「正社員・正規職員・会社役員」が他の所得区分より多くなっています。



【父親】

父親の就労状況を所得区分別で比較すると、所得区分1で最も「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高く、所得区分3では父親がいない世帯(不明・無回答)が多くなっています。



問9 問8で「賃金を得られる仕事をしていない」を選んだ人のみ 賃金を得られる仕事をしていない、主な理由を教えてください。

【母親】

母親については、所得の高い区分ほど「子育てを優先したいため」が多く、中学2年生の所得区分3では、「自分の病気や障害のため」「現在求職中または希望する仕事がないため」が多くなっています。

単位：%

		現在求職中または希望する仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=97)	11.3	66.0	5.2	5.2	0.0	8.2	4.1
	所得区分1 (n=39)	15.4	74.4	0.0	2.6	0.0	2.6	5.1
	所得区分2 (n=32)	9.4	59.4	6.3	6.3	0.0	15.6	3.1
	所得区分3 (n=7)	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
中学2年生	全体 (n=85)	18.8	50.6	7.1	8.2	0.0	9.4	5.9
	所得区分1 (n=38)	10.5	60.5	7.9	2.6	0.0	13.2	5.3
	所得区分2 (n=21)	19.0	47.6	9.5	4.8	0.0	9.5	9.5
	所得区分3 (n=12)	33.3	8.3	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3

【父親】

父親が就労をしていないのは、小学5年生で5件、中学2年生で3件のみでした。

単位：%

		現在求職中または希望する仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	所得区分1 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	所得区分2 (n=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	所得区分3 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	所得区分1 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

問10 問8で「賃金を得られる仕事をしていない」以外を選んだ人のみ 残業も含めて、平日の日中以外の勤務が週に1回以上ありますか。また、土日・祝日の勤務が月に1回以上ありますか。  
(複数回答)

【母親】

母親については、所得区分3で、他の所得区分より「平日の日中以外の勤務はない」が少なく、休日や夜間の勤務が多くなっています。

単位：%

		早朝（5～8時）	18～20時の勤務	20～22時の勤務	深夜勤務（22時～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない	不明・無回答
小学5年生	全体（n=380）	6.1	17.4	6.6	4.7	40.5	18.2	47.1	5.0
	所得区分1（n=176）	8.0	18.8	7.4	4.5	39.8	19.3	47.2	4.0
	所得区分2（n=131）	3.8	16.0	3.8	2.3	36.6	15.3	55.0	3.8
	所得区分3（n=33）	6.1	24.2	12.1	15.2	54.5	30.3	21.2	12.1
中学2年生	全体（n=354）	7.6	20.9	8.8	5.1	37.6	18.6	49.4	4.5
	所得区分1（n=156）	6.4	26.3	9.0	3.8	30.1	12.2	50.0	4.5
	所得区分2（n=118）	5.9	12.7	5.9	3.4	39.0	22.0	54.2	4.2
	所得区分3（n=30）	16.7	33.3	16.7	16.7	56.7	30.0	33.3	6.7

【父親】

父親については、小学5年生の所得区分3で、他の所得区分より休日や夜間の勤務が少なくなっています。

単位：%

		早朝（5～8時）	18～20時の勤務	20～22時の勤務	深夜勤務（22時～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない	不明・無回答
小学5年生	全体（n=426）	18.1	39.9	31.2	17.1	58.5	35.4	17.6	8.5
	所得区分1（n=207）	14.5	41.1	32.9	15.5	53.1	33.8	22.7	4.3
	所得区分2（n=150）	26.7	40.7	32.0	20.7	68.7	41.3	10.7	9.3
	所得区分3（n=15）	6.7	26.7	13.3	13.3	46.7	13.3	13.3	33.3
中学2年生	全体（n=400）	19.0	41.3	29.0	12.8	54.8	33.0	18.5	8.3
	所得区分1（n=193）	16.1	41.5	32.6	8.3	49.2	31.1	20.7	7.3
	所得区分2（n=131）	20.6	43.5	25.2	18.3	60.3	35.9	15.3	9.2
	所得区分3（n=20）	20.0	30.0	25.0	10.0	60.0	30.0	20.0	15.0

問11 新型コロナウイルス感染症の拡大により、お子さんの母親と父親は以下のようなことを経験しましたか。(複数回答)

【母親】

「収入の減少」を経験している人が、小学5年生の所得区分3では特に多くなっています。

単位：％

		収入の減少	失業	希望しない働き方への変更	上記のようなことは経験していない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	20.3	1.0	5.6	68.9	6.6
	所得区分1 (n=218)	14.2	0.5	5.0	79.4	3.7
	所得区分2 (n=164)	22.0	1.2	6.1	66.5	6.1
	所得区分3 (n=41)	58.5	4.9	7.3	29.3	7.3
中学2年生	全体 (n=455)	20.2	1.8	7.3	65.1	10.1
	所得区分1 (n=198)	13.1	0.0	5.6	78.8	5.1
	所得区分2 (n=145)	24.1	0.7	8.3	57.2	13.8
	所得区分3 (n=43)	30.2	4.7	11.6	51.2	11.6

【父親】

無回答の割合を考慮すると、所得の低い区分ほど「収入の減少」を経験している割合が高くなっています。

単位：％

		収入の減少	失業	希望しない働き方への変更	上記のようなことは経験していない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	24.8	0.8	2.9	59.8	13.7
	所得区分1 (n=218)	19.3	0.0	2.3	73.4	5.5
	所得区分2 (n=164)	33.5	1.2	4.3	53.7	10.4
	所得区分3 (n=41)	22.0	2.4	2.4	9.8	68.3
中学2年生	全体 (n=455)	22.0	2.0	2.9	62.2	13.2
	所得区分1 (n=198)	14.1	0.0	1.0	82.3	2.5
	所得区分2 (n=145)	30.3	3.4	5.5	53.8	12.4
	所得区分3 (n=43)	25.6	4.7	4.7	18.6	51.2

問12 お子さんの母親と父親の最後に通った学校をお答えください。

【母親】

所得の低い区分ほど「高等学校卒業」が多く、「大学卒業」が少なくなっています。

単位：%

		中学校卒業	高等学校中途退学	高等学校卒業	専門学校（高卒後に通うもの）など卒業	短大・高専卒業	大学卒業	大学院修了	その他の教育機関卒業	答えたくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	1.2	3.9	22.4	16.1	28.2	24.8	1.2	0.0	0.8	1.2
	所得区分1 (n=218)	0.0	0.9	17.4	14.7	30.3	32.6	2.8	0.0	0.0	1.4
	所得区分2 (n=164)	2.4	5.5	22.6	20.1	32.9	15.9	0.0	0.0	0.0	0.6
	所得区分3 (n=41)	4.9	14.6	43.9	12.2	14.6	7.3	0.0	0.0	0.0	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	2.0	3.3	27.5	14.9	27.7	17.6	0.9	0.7	0.7	4.8
	所得区分1 (n=198)	1.5	2.0	19.2	15.7	31.3	25.8	1.0	0.0	0.0	3.5
	所得区分2 (n=145)	0.0	4.8	29.7	11.7	32.4	12.4	0.0	1.4	1.4	6.2
	所得区分3 (n=43)	11.6	7.0	41.9	18.6	16.3	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3

【父親】

所得の高い区分ほど「大学卒業」が多くなっています。また、無回答の割合を考慮すると、「高等学校中途退学」は所得の低い区分ほど多くなっています。

単位：%

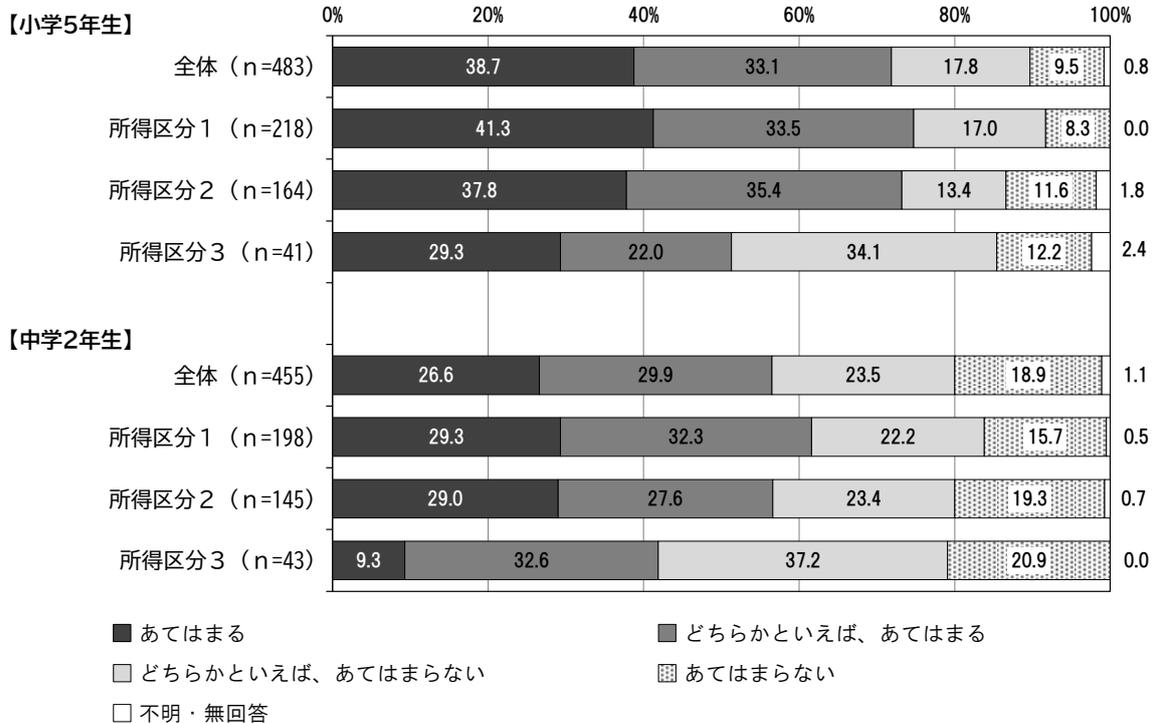
		中学校卒業	高等学校中途退学	高等学校卒業	専門学校（高卒後に通うもの）など卒業	短大・高専卒業	大学卒業	大学院修了	その他の教育機関卒業	答えたくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	1.9	4.1	29.2	13.9	3.3	31.5	3.9	0.4	0.8	11.0
	所得区分1 (n=218)	0.9	2.3	25.7	16.5	4.1	39.0	6.4	0.0	0.0	5.0
	所得区分2 (n=164)	2.4	6.1	39.6	14.6	3.7	25.6	0.6	0.6	0.0	6.7
	所得区分3 (n=41)	2.4	4.9	9.8	7.3	0.0	9.8	0.0	2.4	0.0	63.4
中学2年生	全体 (n=455)	2.2	4.0	27.0	14.3	2.9	32.7	3.1	0.9	1.3	11.6
	所得区分1 (n=198)	2.0	1.0	24.7	14.1	2.5	46.0	5.1	1.0	0.0	3.5
	所得区分2 (n=145)	2.1	6.9	30.3	17.9	3.4	25.5	1.4	0.0	2.1	10.3
	所得区分3 (n=43)	2.3	11.6	27.9	4.7	0.0	7.0	0.0	4.7	0.0	41.9

## 2. 子どもに関することについて

問13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

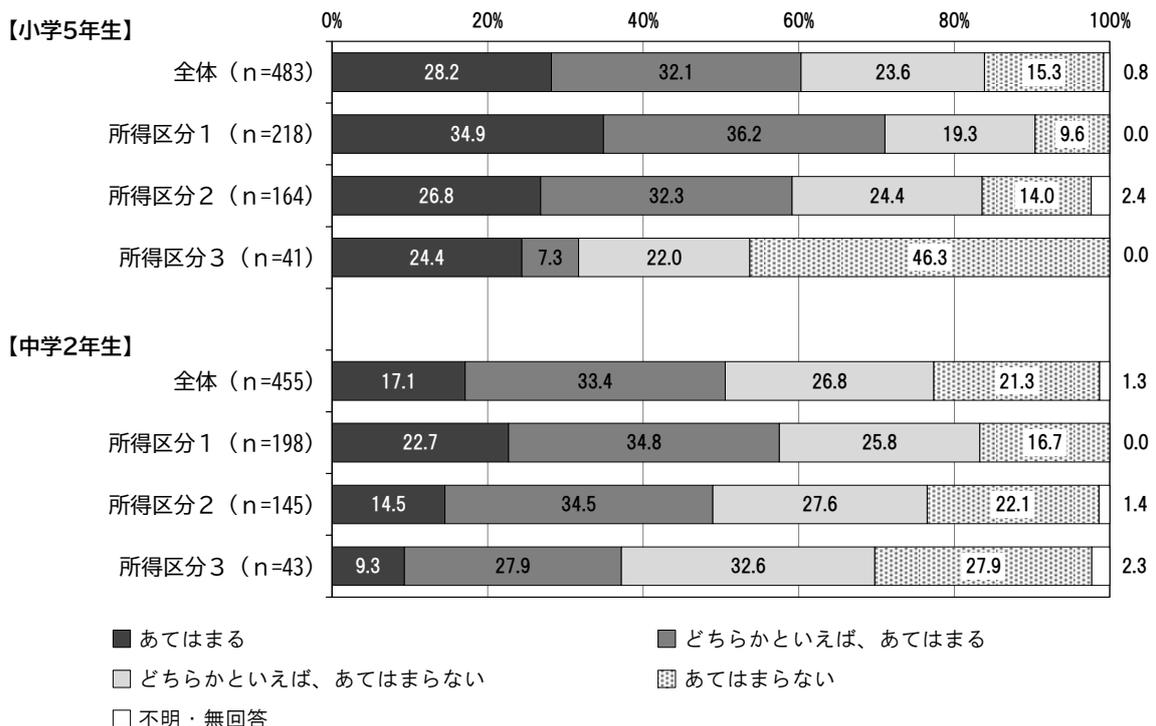
### A テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている

所得の低い区分ほど「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」が少なくなっています。特に中学2年生の所得区分3では、「あてはまる」が9.3%と少なくなっています。



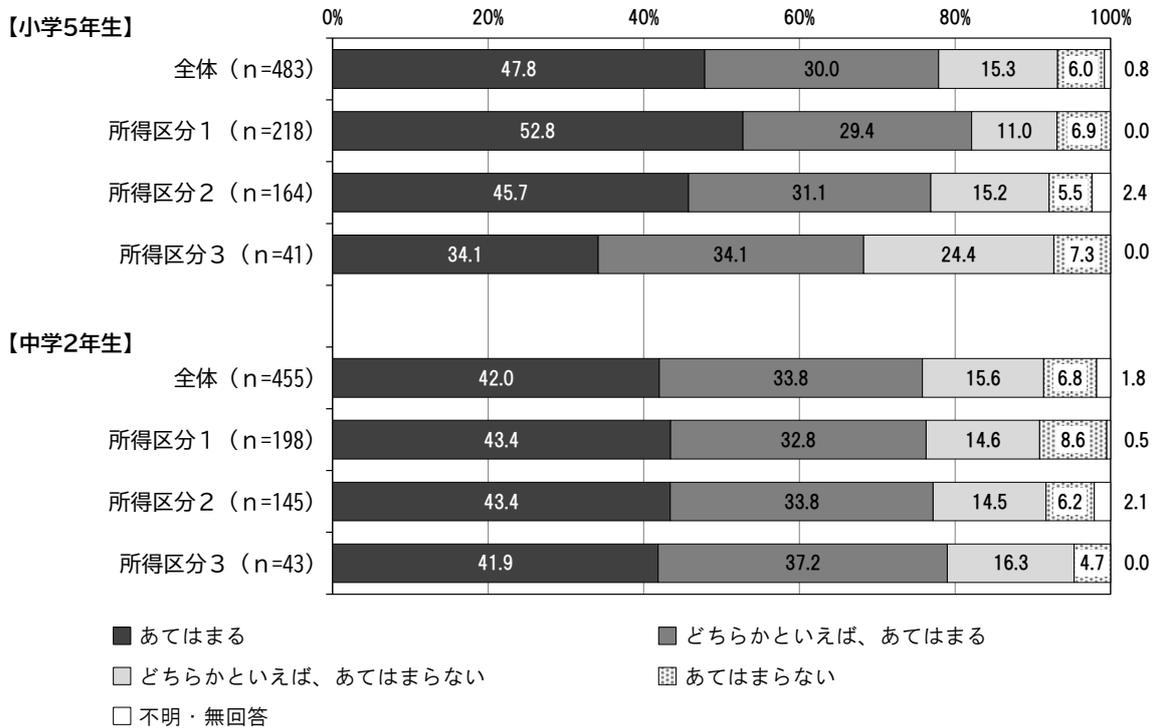
### B お子さんに本や新聞を読むように勧めている

所得の低い区分ほど「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」が少なくなっています。小学5年生の所得区分3では「あてはまらない」が46.3%と多くなっています。



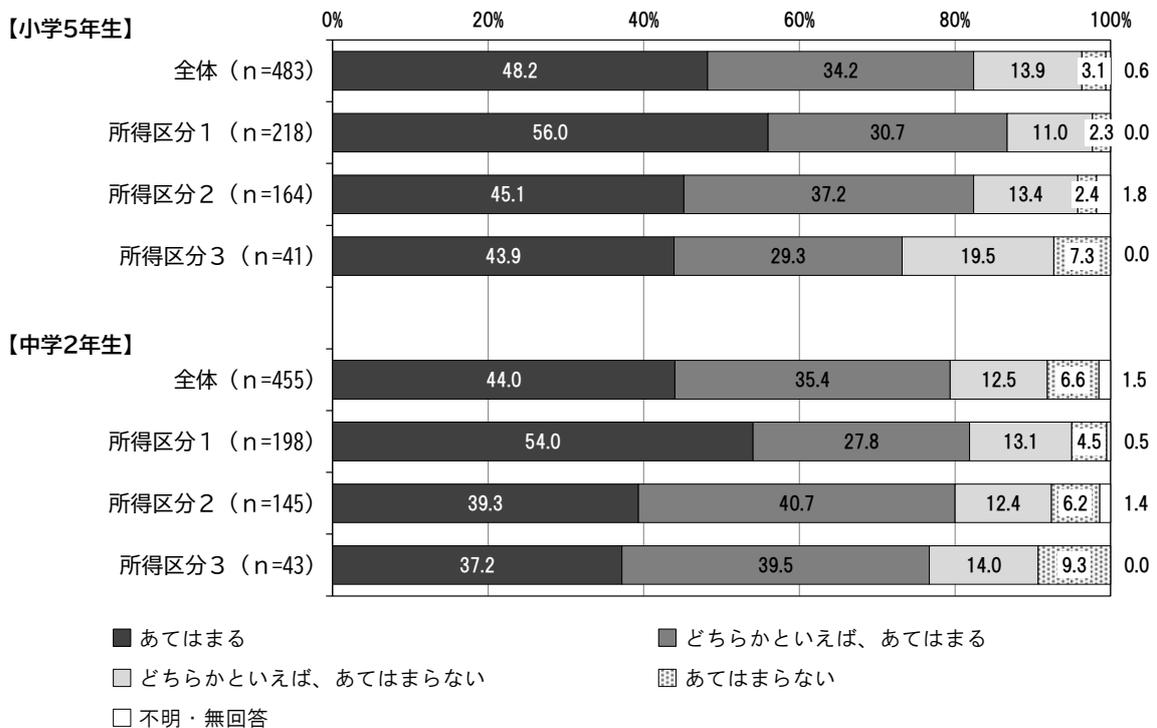
### C お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

中学2年生では、あまり差は見られませんが、小学5年生では、所得の低い区分ほど「あてはまる」が少なくなっています。



### D お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

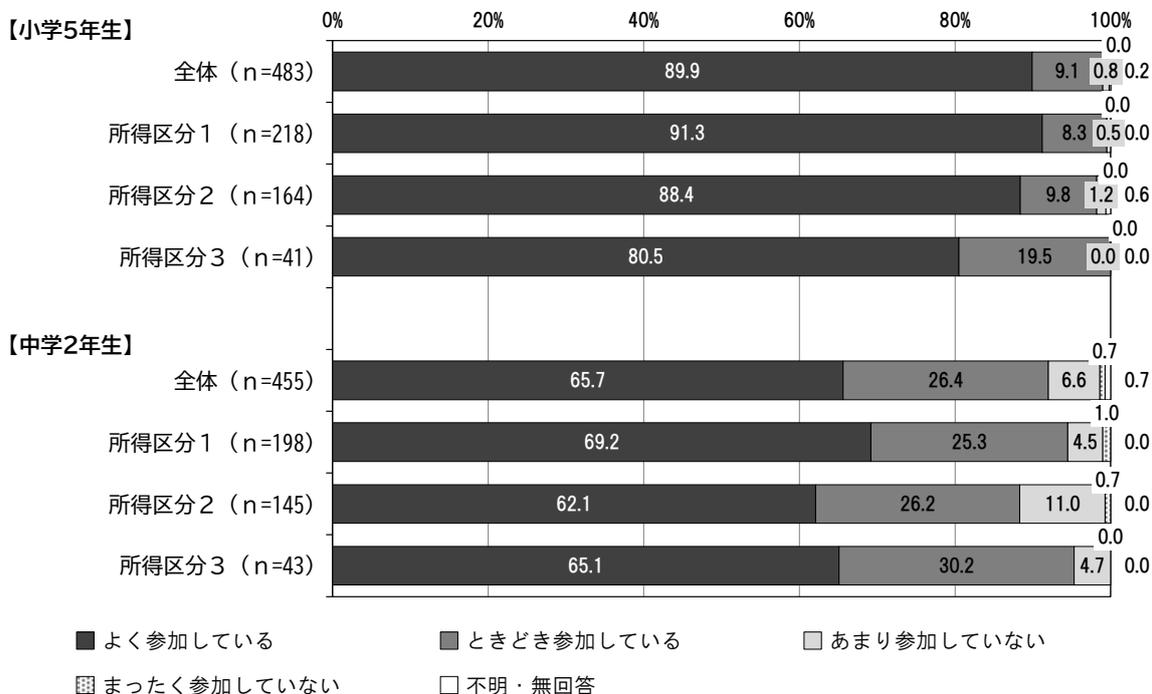
所得区分2・3では、「あてはまる」がやや少なくなっています。



問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

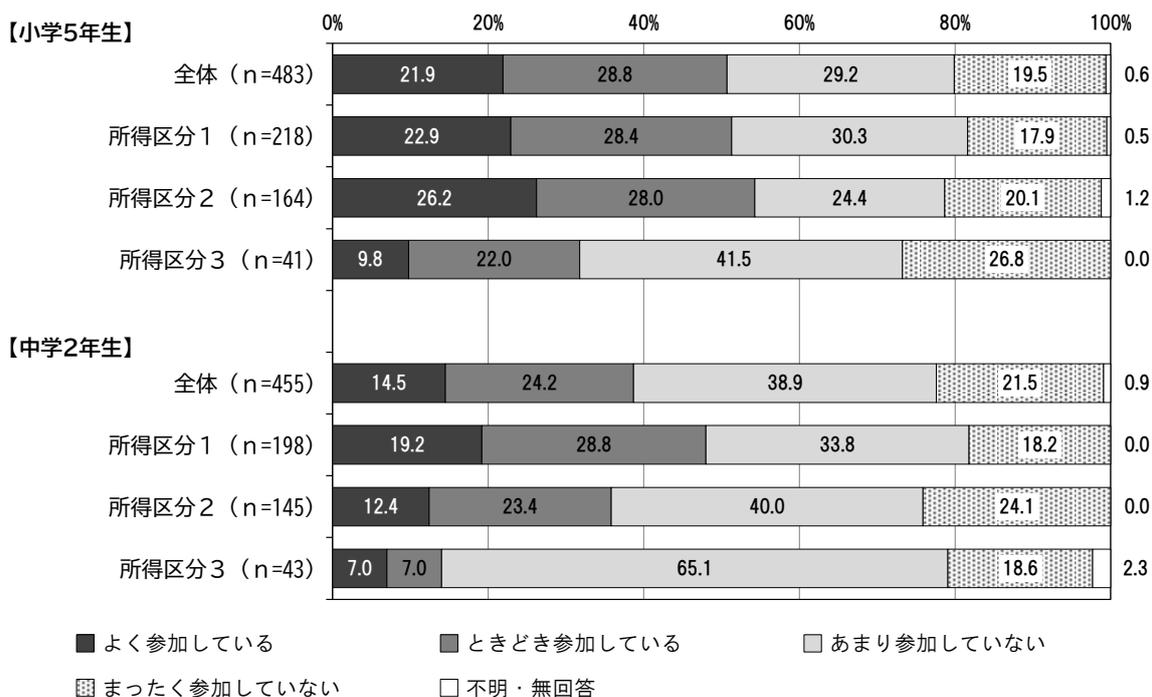
### A 授業参観や運動会などの学校行事への参加

「よく参加している」または「ときどき参加している」の合計はほとんどの区分で9割を超えています。小学5年生の「よく参加している」は、所得の低い区分ほど少なくなっています。



### B PTA活動や保護者会などへの参加

中学2年生では、所得の低い区分ほど「よく参加している」または「ときどき参加している」が少なくなっており、小学5年生の所得区分3でも同様に少なくなっています。



問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。

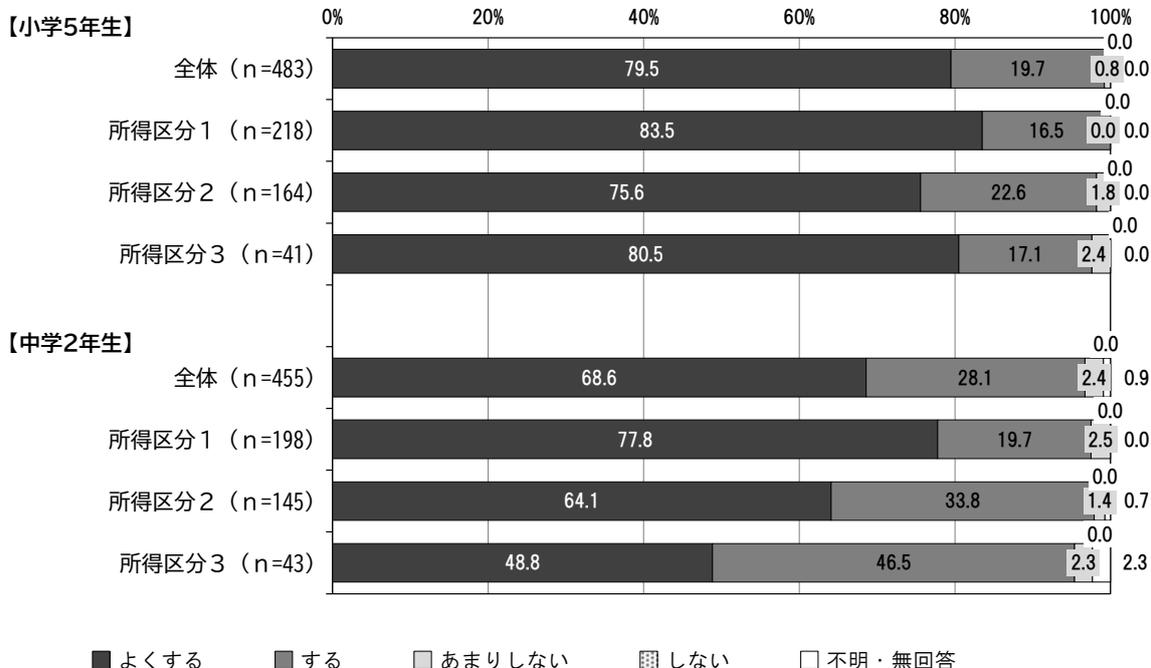
小学5年生では、所得の低い区分ほど「ほぼ毎日通っている」が少なくなっており、中学2年生の所得区分3でもやや少なくなっています。

単位：%

		ほぼ毎日通っている	欠席は年間30日未満である	欠席が年間30日以上、60日未満である	欠席が年間60日以上、1年未満である	欠席が1年以上続いている	わからない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	93.2	4.8	0.6	0.6	0.2	0.2	0.4
	所得区分1 (n=218)	98.2	0.9	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=164)	91.5	5.5	0.6	0.0	0.6	0.6	1.2
	所得区分3 (n=41)	78.0	17.1	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	92.5	4.0	2.0	0.7	0.0	0.2	0.7
	所得区分1 (n=198)	93.4	3.5	2.0	0.5	0.0	0.5	0.0
	所得区分2 (n=145)	94.5	3.4	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	83.7	11.6	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3

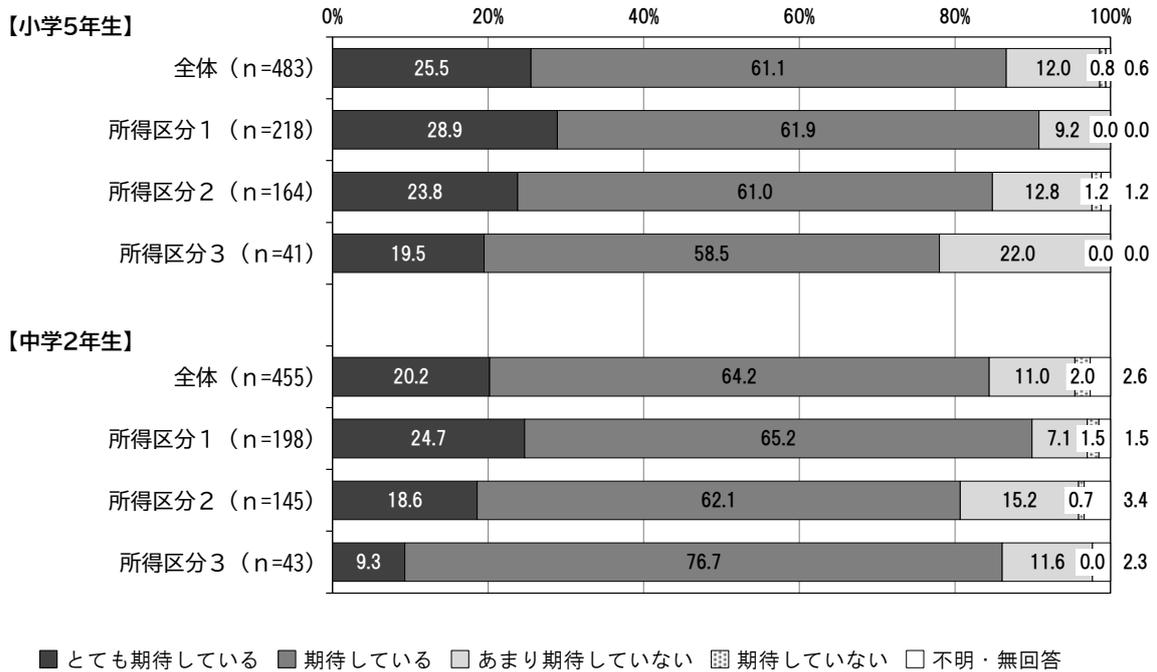
問16 あなたは、お子さんとよく会話をしますか。

中学2年生では、所得の低い区分ほど「よくする」が少なくなっています。



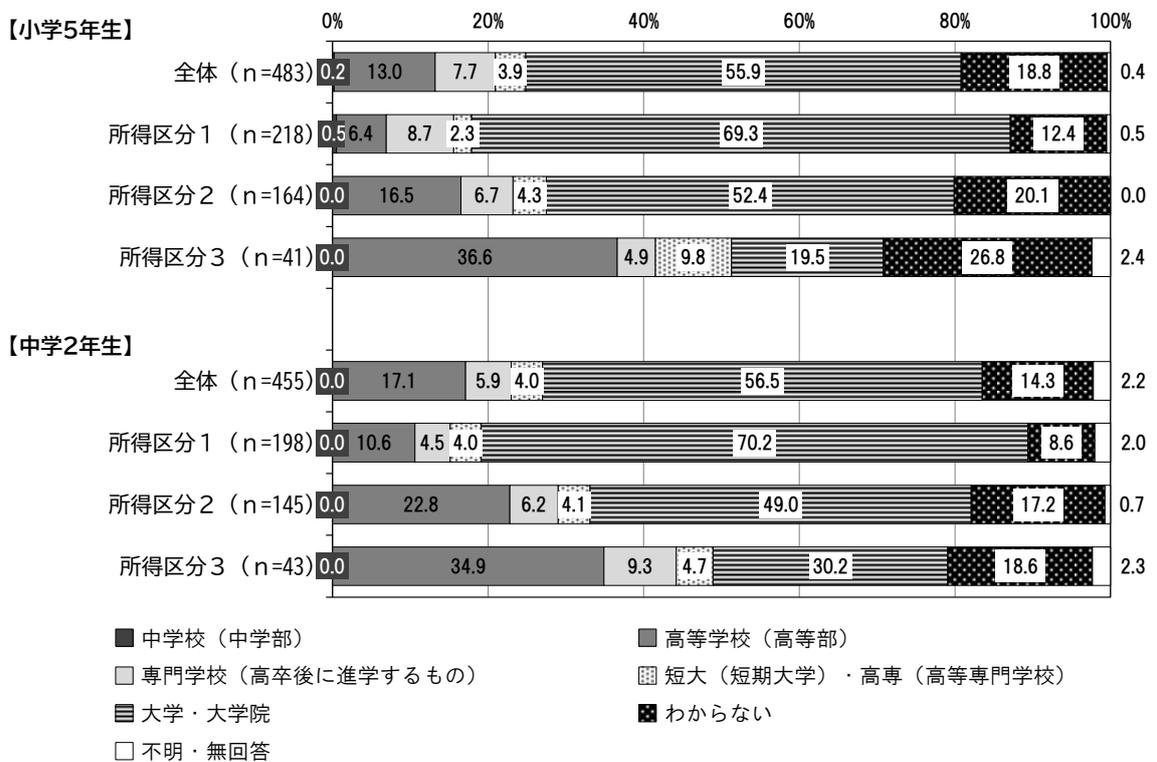
問17 あなたは、お子さんの将来に期待していますか。

所得の低い区分ほど「とても期待している」が少なくなっています。



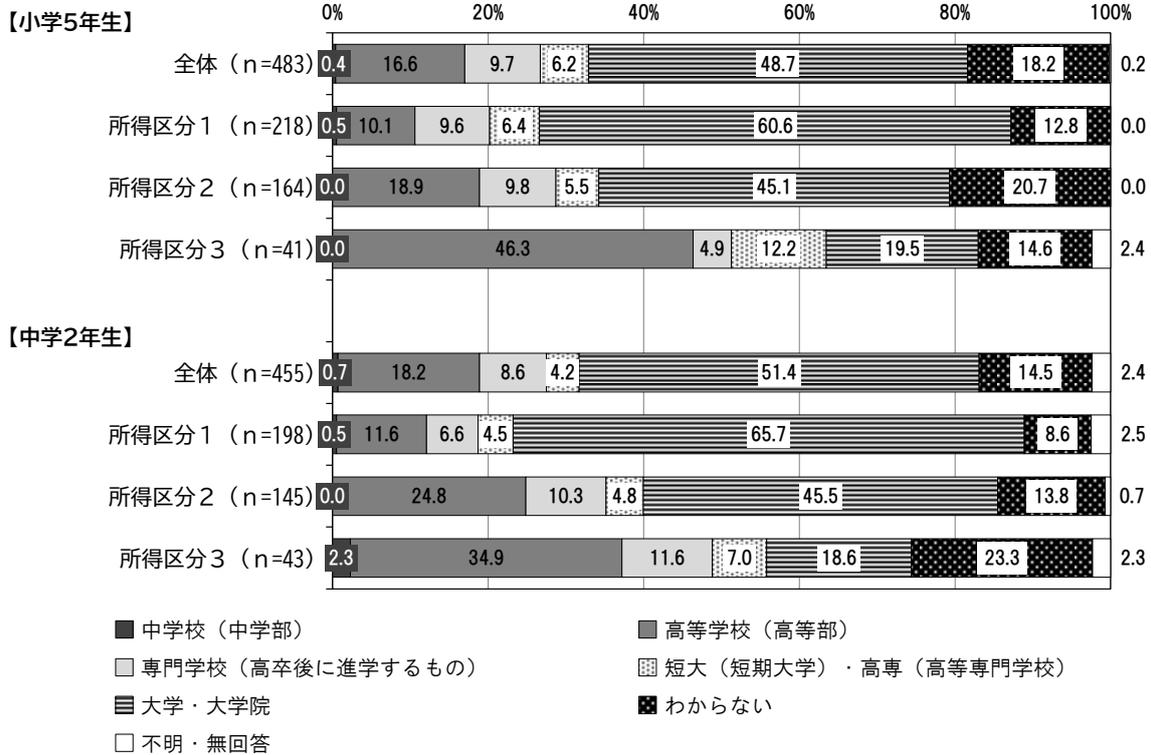
問18 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

所得の低い区分ほど「高等学校（高等部）」が多く、「大学・大学院」が少なくなっています。



問19 お子さんは、現実的に見て、将来どの段階まで進学すると思いますか。

問 18 の進学希望と同様に、所得の低い区分ほど「高等学校（高等部）」が多く、「大学・大学院」が少なくなっており、特に所得区分3で、「大学・大学院」が少なくなっています。



問20 問19で「わからない」以外を選んだ人のみ その理由は何ですか。(複数回答)

現実的な進学先の理由について、所得区分3では、「本人の学力から考えて」が少なくなっています。

単位：%

		本人が希望しているから	一般的な進路だと思うから	本人の学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=394)	31.5	42.6	25.1	9.9	3.6	10.4	1.0
	所得区分1 (n=190)	34.7	47.4	28.9	7.4	4.7	5.3	0.5
	所得区分2 (n=130)	26.2	37.7	23.8	13.8	1.5	19.2	2.3
	所得区分3 (n=34)	38.2	38.2	17.6	14.7	0.0	2.9	0.0
中学2年生	全体 (n=378)	42.1	37.8	31.0	7.7	3.4	7.9	2.1
	所得区分1 (n=176)	49.4	40.9	30.7	6.3	2.3	4.5	1.1
	所得区分2 (n=124)	33.9	33.9	33.1	8.9	2.4	11.3	2.4
	所得区分3 (n=32)	34.4	40.6	18.8	9.4	6.3	9.4	3.1

問21 お子さんは現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動などは含めずにお答えください。(複数回答)

所得の低い区分ほど「塾や習い事はしていない」が多く、「学習塾・進学塾」やその他の習い事が少なくなっています。

単位：%

		学習塾・進学塾	家庭教師	通信教育	英会話・そろばんなどの勉強の習い事	絵画・音楽・ダンス・茶道などの芸術の習い事	水泳、野球、体操、剣道などのスポーツ	塾や習い事はしていない	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	32.5	0.2	11.6	27.7	25.3	52.6	12.6	3.1	0.8
	所得区分1 (n=218)	43.1	0.0	16.1	32.6	26.6	58.7	6.4	2.8	0.5
	所得区分2 (n=164)	23.8	0.0	11.0	25.6	23.8	47.6	14.6	2.4	0.6
	所得区分3 (n=41)	17.1	0.0	0.0	19.5	17.1	41.5	39.0	2.4	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	50.5	1.5	8.4	10.3	12.7	17.8	21.5	2.4	4.0
	所得区分1 (n=198)	61.6	1.5	9.1	11.1	15.2	21.2	13.6	2.0	2.5
	所得区分2 (n=145)	48.3	1.4	8.3	10.3	9.7	16.6	24.1	2.1	2.1
	所得区分3 (n=43)	30.2	0.0	4.7	2.3	16.3	7.0	41.9	2.3	7.0

問22 最近1年くらいの間にあなたのご家庭では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(複数回答)

所得の低い区分ほど「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」「子どもを学習塾に通わせることができなかった」「子どもを塾以外の習い事に通わせることができなかった」「子どもにお年玉をあげることができなかった」「家族旅行（テーマパークなど日帰りのお出かけを含む）ができなかった」が多く、「どれにもあてはまらない」が少なくなっています。

単位：％

		子どもの進路を変更した	子どものための本や絵本が買えなかった	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	子どもを学習塾に通わせることができなかった	子どもを塾以外の習い事に通わせることができなかった	子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	子どもの誕生日を祝えなかった	子どもにお年玉をあげることができなかった
小学5年生	全体 (n=483)	0.6	3.1	4.3	0.2	7.0	5.8	0.4	1.0	3.1
	所得区分1 (n=218)	0.0	0.9	1.4	0.0	3.7	0.9	0.0	0.5	0.9
	所得区分2 (n=164)	0.6	5.5	5.5	0.0	8.5	10.4	0.6	1.2	3.7
	所得区分3 (n=41)	2.4	7.3	12.2	2.4	19.5	19.5	2.4	4.9	12.2
中学2年生	全体 (n=455)	0.9	1.3	4.6	0.0	10.1	6.6	0.2	1.3	2.6
	所得区分1 (n=198)	0.0	0.0	0.5	0.0	3.5	1.0	0.0	0.5	0.0
	所得区分2 (n=145)	2.1	2.8	6.9	0.0	13.8	9.0	0.7	1.4	3.4
	所得区分3 (n=43)	0.0	2.3	14.0	0.0	23.3	20.9	0.0	2.3	9.3

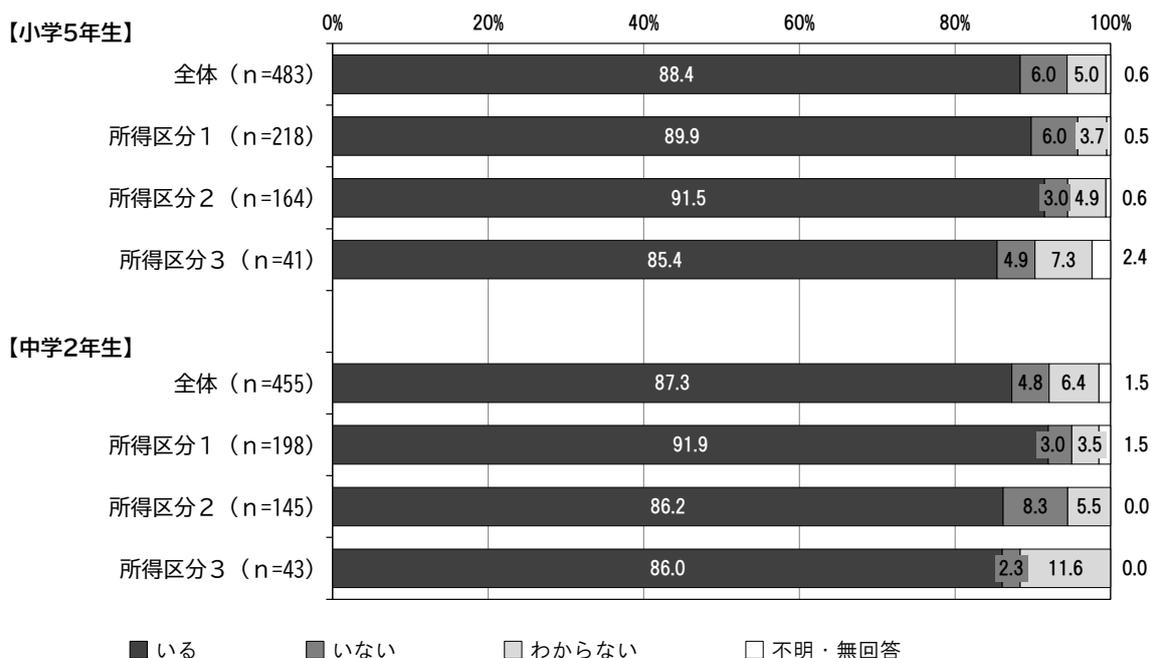
		子どもの学校行事などに参加することができなかった	子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった	家族旅行（テーマパークなど日帰りのお出かけを含む）ができなかった	どれにもあてはまらない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	1.7	1.4	17.8	73.3	4.3
	所得区分1 (n=218)	0.0	0.0	6.9	88.1	3.7
	所得区分2 (n=164)	1.8	3.0	26.8	64.0	3.7
	所得区分3 (n=41)	9.8	2.4	39.0	36.6	9.8
中学2年生	全体 (n=455)	2.4	1.5	17.8	69.2	7.0
	所得区分1 (n=198)	2.0	1.0	9.1	80.8	7.1
	所得区分2 (n=145)	1.4	0.0	23.4	66.2	4.1
	所得区分3 (n=43)	7.0	4.7	39.5	37.2	9.3

### 3. 家庭での生活について

問23 次のA~Gについて、おうちの方を含め(子どもは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。

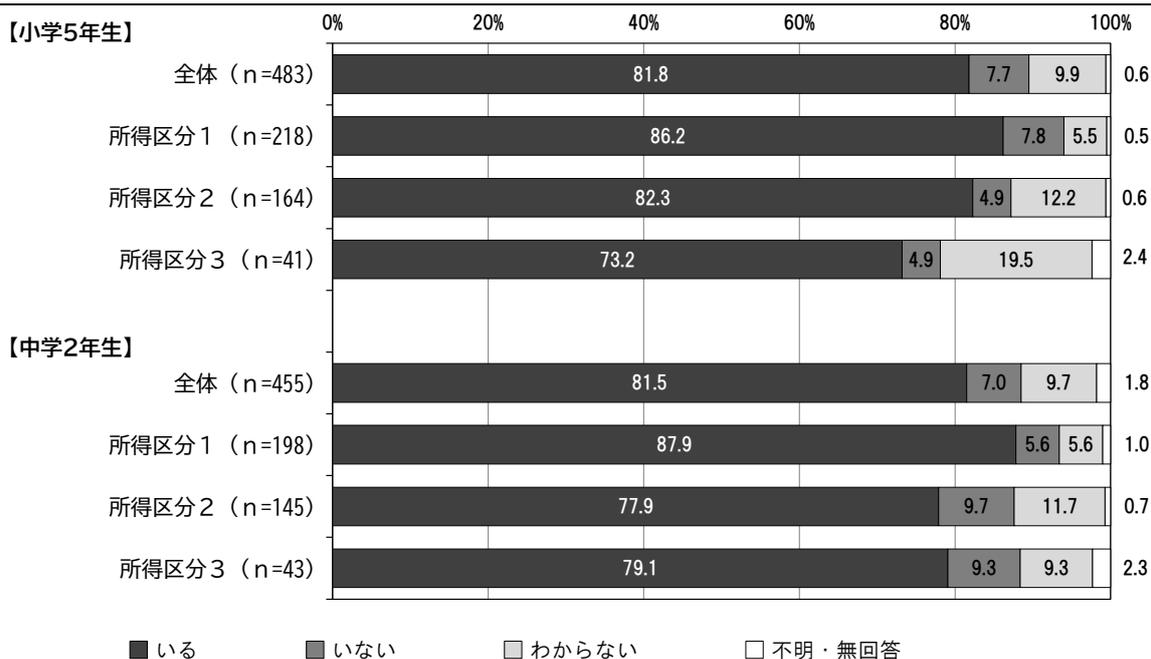
#### A 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

所得区分3では、他の所得区分より「わからない」がやや多く、小学5年生では、「いる」がやや少なくなっています。



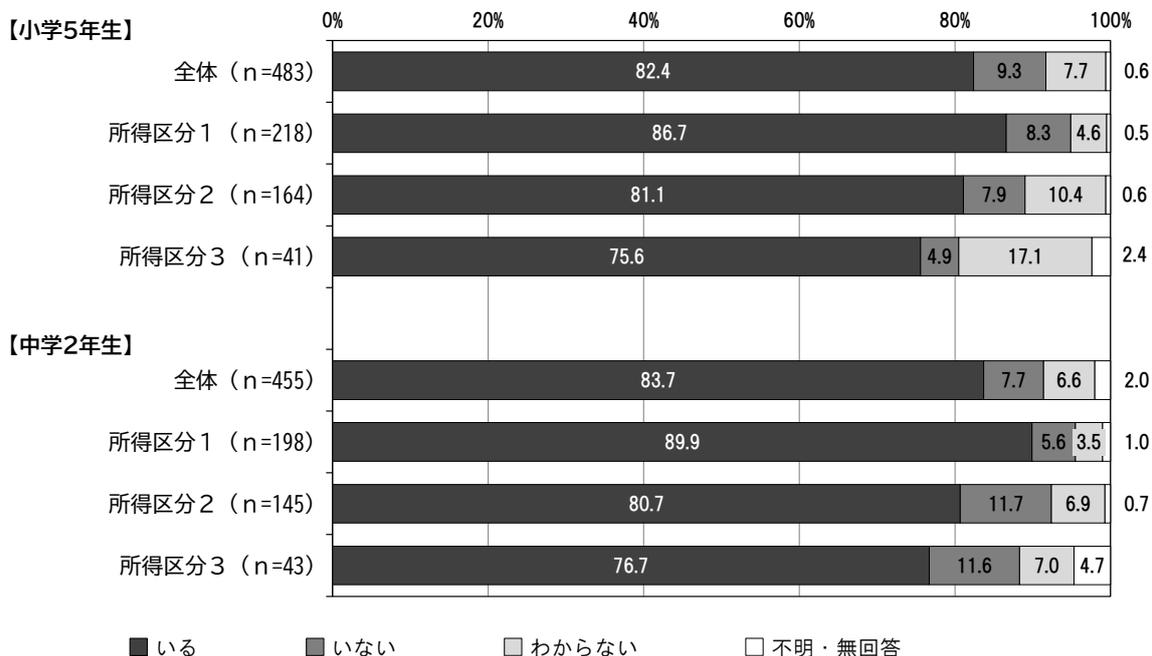
#### B あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

小学5年生では、所得の低い区分ほど「いる」が少なく、「わからない」が多くなっています。



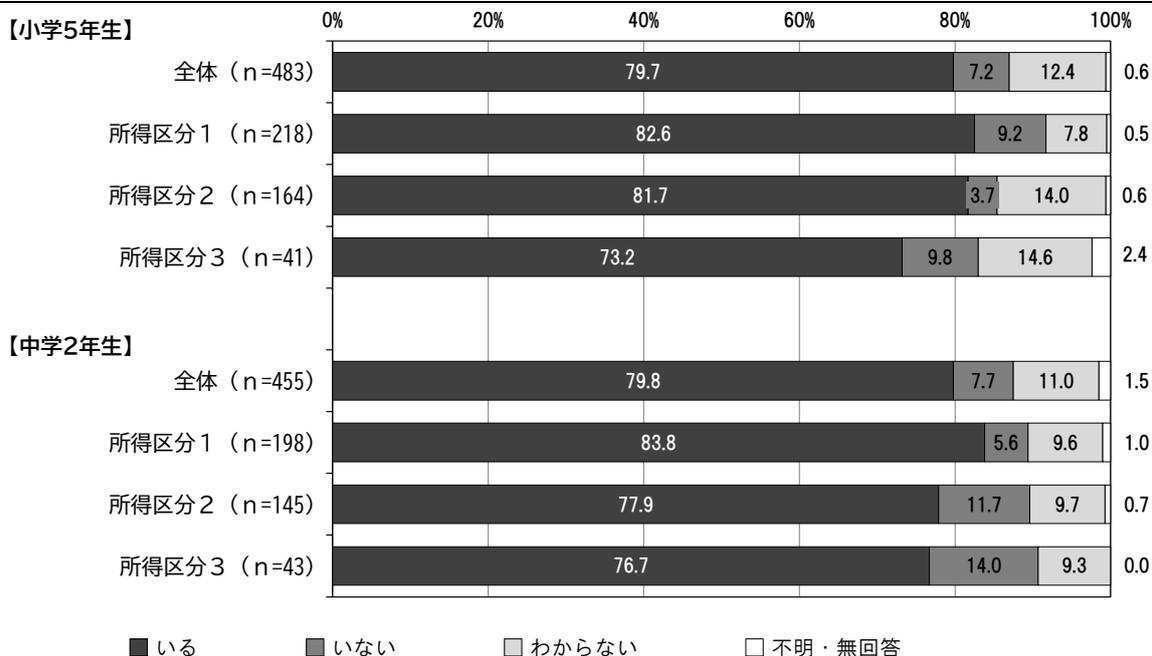
### C 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

所得の低い区分ほど「いる」が少なく、「いない」または「わからない」が多くなっています。



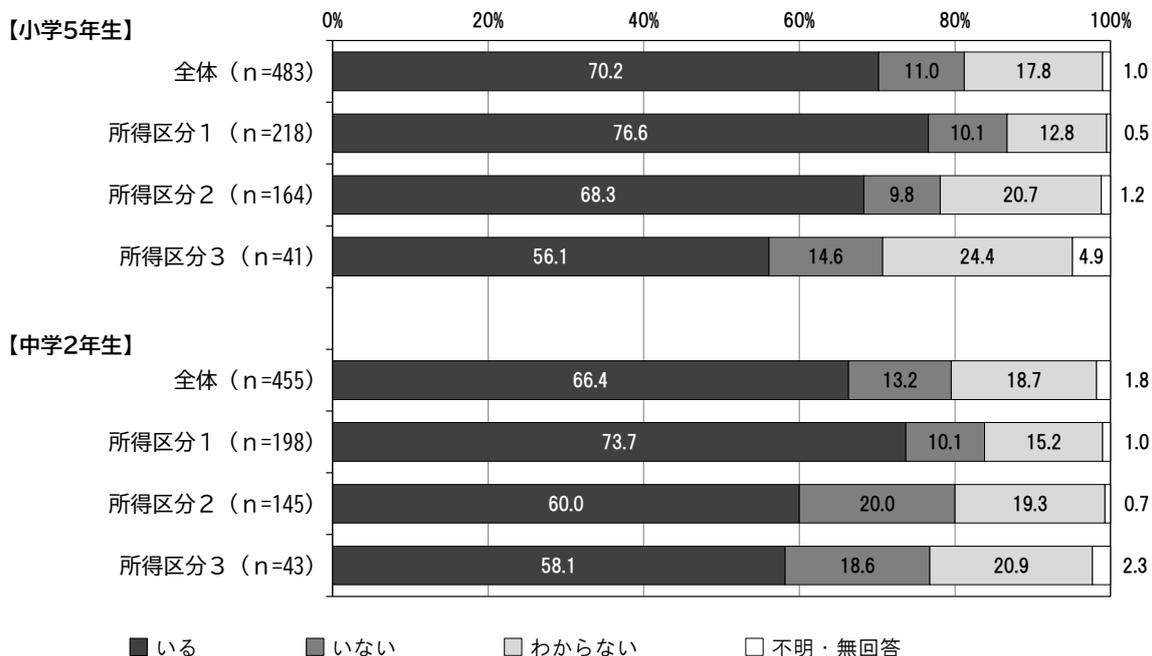
### D 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

小学5年生の所得区分3では、他の所得区分より「いる」が少なくなっています。



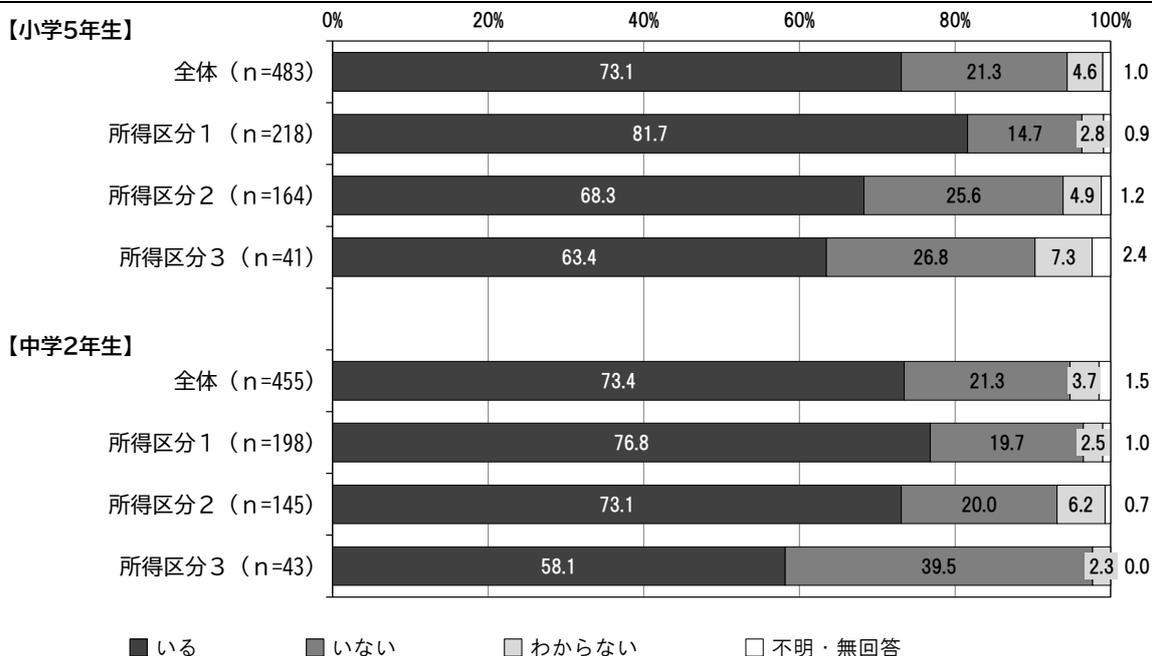
## E 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人(運動や文化活動)

所得の低い区分ほど「いる」が少なく、「いない」が多くなっています。



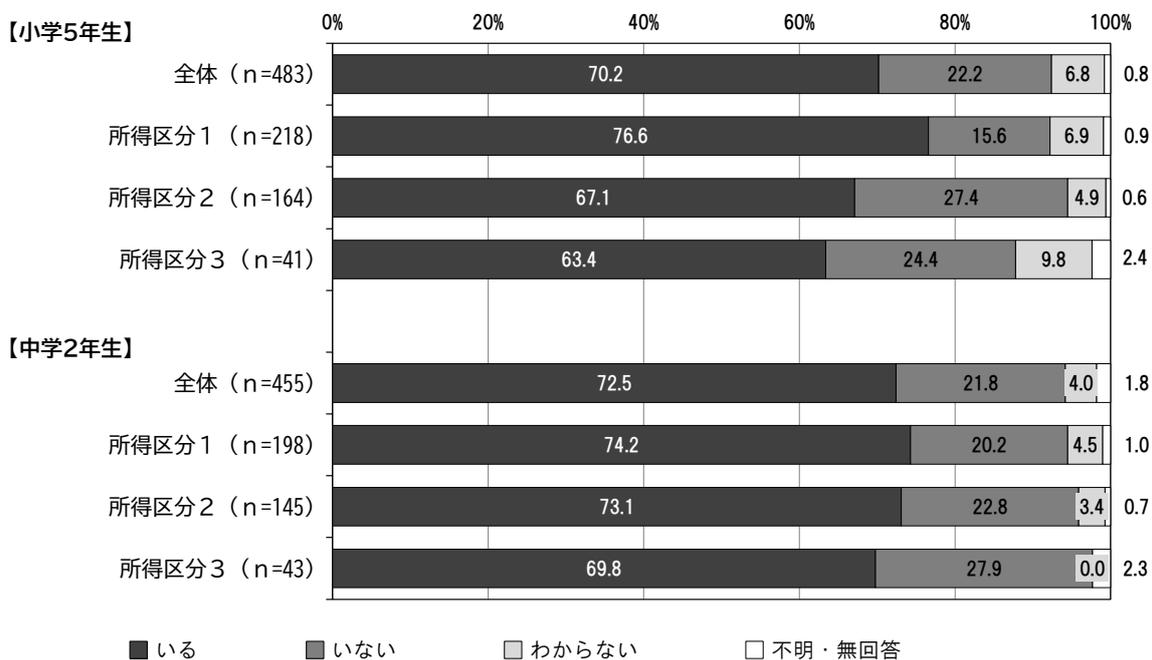
## F 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

所得の低い区分ほど「いる」が少なく、「いない」が多くなっています。



## G 留守を頼める人

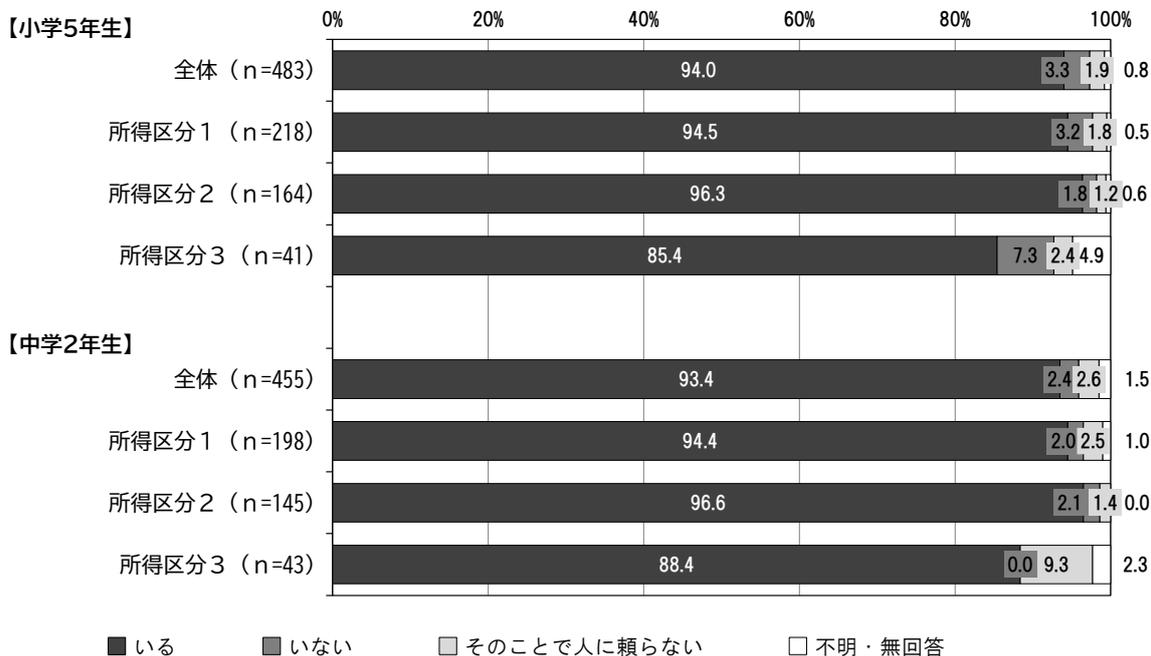
中学2年生では大きな差はありませんが、所得の低い区分ほど「いる」が少なくなっています。



問24 あなたは次に挙げることから頼れる人はいますか。また、「いる」場合、それはだれですか。

【子育てに関する相談／頼れる人の有無】

所得区分3では、「いる」がやや少なくなっています。



【子育てに関する相談／頼れる人はだれか(複数回答)】

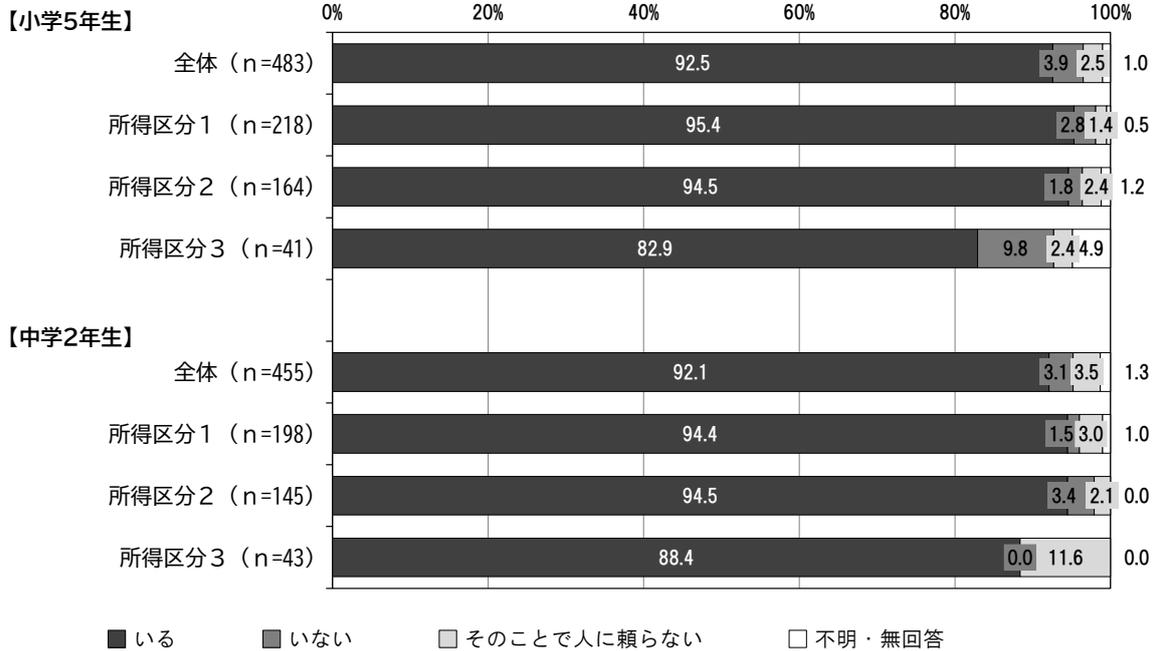
所得区分3では、小学5年生で「友人・知人」、中学2年生で「家族・親族」がやや少なくなっています。

単位：%

学年	所得区分	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	学校・保育施設などの先生	相談・支援機関や福祉の人	民生委員児童委員・主任児童委員	その他	不明・無回答
		小学5年生	全体 (n=454)	90.7	70.7	14.1	30.6	18.7	3.1	0.7
	所得区分1 (n=206)	91.7	74.8	18.4	31.6	19.9	3.4	0.5	0.0	0.5
	所得区分2 (n=158)	91.1	69.6	10.1	29.7	16.5	1.9	0.0	0.0	1.3
	所得区分3 (n=35)	94.3	54.3	5.7	31.4	22.9	5.7	5.7	2.9	0.0
中学2年生	全体 (n=425)	90.8	65.9	10.8	29.9	14.4	1.9	0.0	0.5	0.2
	所得区分1 (n=187)	93.0	68.4	14.4	34.2	17.1	0.5	0.0	0.0	0.5
	所得区分2 (n=140)	90.0	62.1	7.9	27.9	11.4	1.4	0.0	1.4	0.0
	所得区分3 (n=38)	81.6	60.5	10.5	23.7	10.5	7.9	0.0	0.0	0.0

【重要なことからの相談／頼れる人の有無】

所得区分3では、「いる」が少なく、「いない」または「そのことで人に頼らない」が多くなっています。



【重要なことからの相談／頼れる人はだれか(複数回答)】

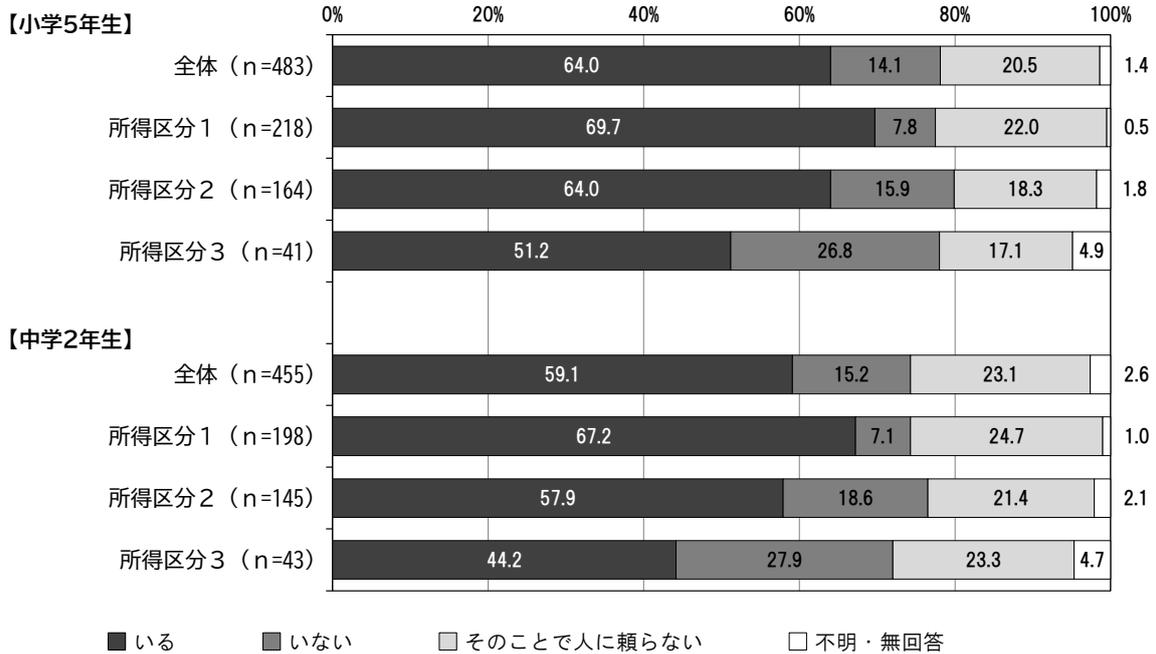
明確な傾向は見られませんが、中学2年生では、所得の低い区分ほど「友人・知人」が少なくなっています。

単位：%

学年	所得区分	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	学校・保育施設などの先生	相談・支援機関や福祉の人	民生委員 児童委員・主任 児童委員	その他	不明・無回答
		小学5年生	全体 (n=447)	95.5	40.5	1.8	9.6	4.7	1.6	0.0
	所得区分1 (n=208)	96.6	43.8	2.4	12.0	7.7	1.4	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=155)	95.5	37.4	1.3	9.0	3.2	0.6	0.0	0.0	0.6
	所得区分3 (n=34)	91.2	47.1	0.0	8.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=419)	93.3	39.9	2.1	8.4	3.8	1.2	0.0	0.5	0.2
	所得区分1 (n=187)	94.7	42.2	3.7	7.5	2.7	0.0	0.0	0.5	0.5
	所得区分2 (n=137)	94.2	37.2	0.7	7.3	3.6	1.5	0.0	0.7	0.0
	所得区分3 (n=38)	84.2	31.6	2.6	15.8	7.9	2.6	0.0	0.0	0.0

## 【いざという時のお金の援助／頼れる人の有無】

所得の低い区分ほど「いる」が少なく、「いない」が多くなっています。



## 【いざという時のお金の援助／頼れる人はだれか(複数回答)】

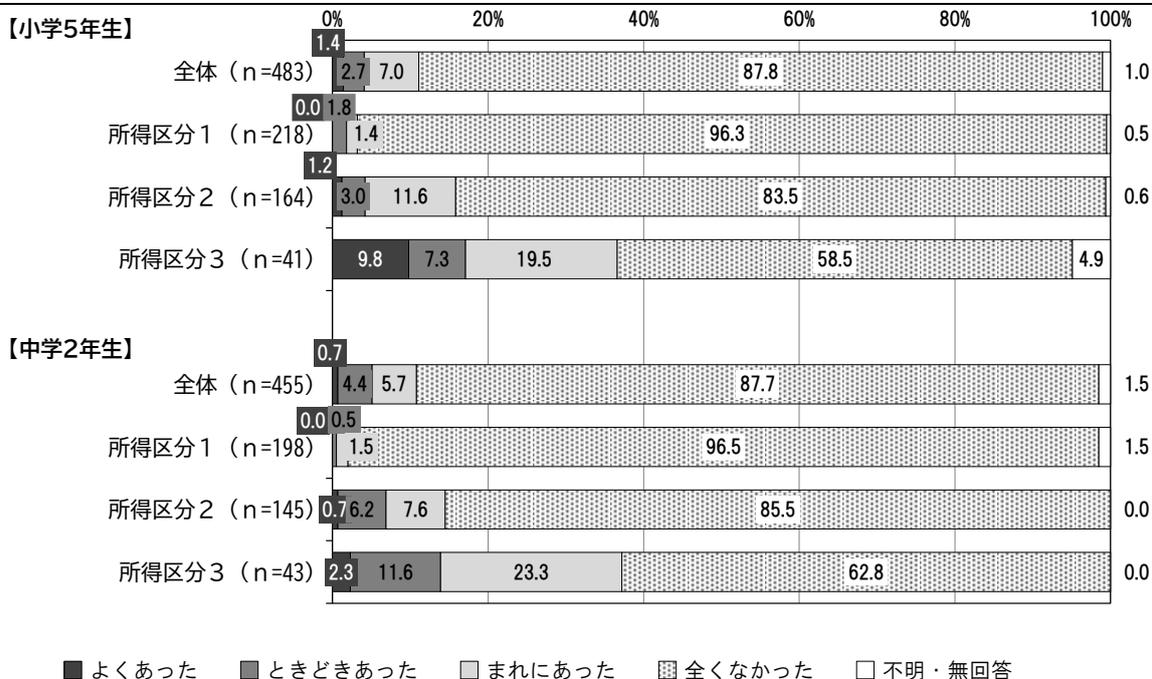
いざという時のお金の援助について頼れる人は、ほぼ全てが「家族・親族」となっています。

単位：%

学年	区分	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	学校・保育施設などの先生	相談・支援機関や福祉の人	民生委員 児童委員・主任 児童委員	その他	不明・無回答
		小学5年生	全体 (n=309)	99.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	所得区分1 (n=152)	100.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=105)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=21)	85.7	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8
中学2年生	全体 (n=269)	99.3	2.6	0.0	0.7	0.0	1.1	0.0	0.0	0.4
	所得区分1 (n=133)	99.2	2.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	所得区分2 (n=84)	100.0	2.4	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=19)	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0

問25 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(酒・たばこなど)は含みません。

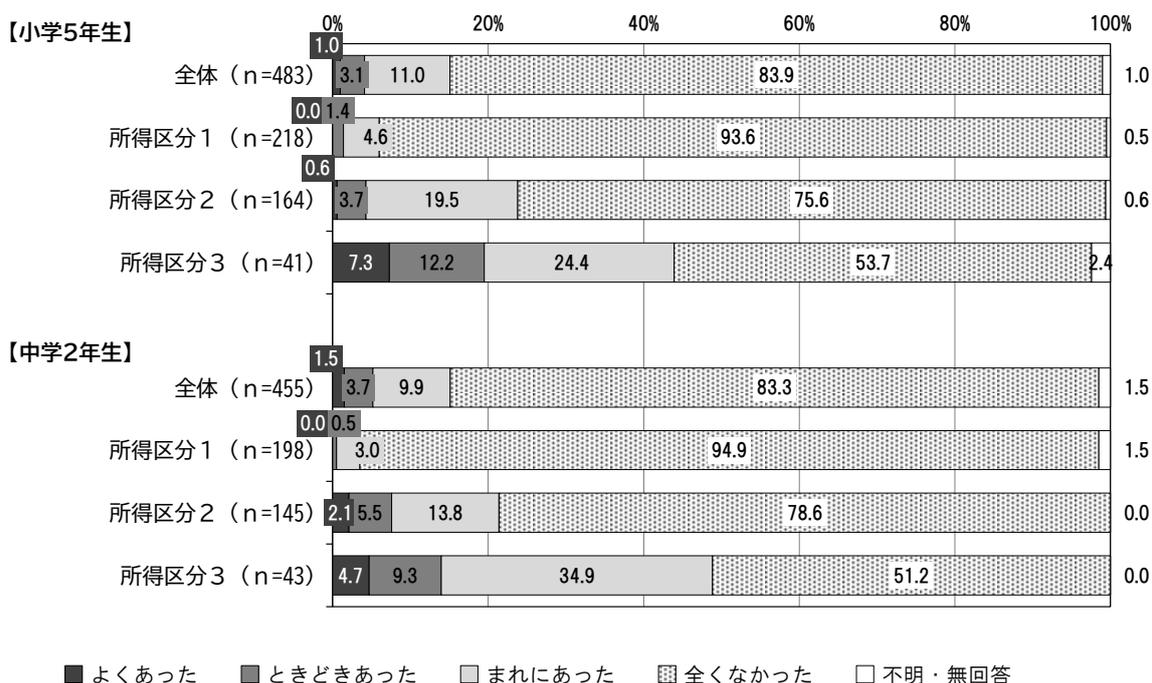
「よくあった」と「ときどきあった」の合計は、小学5年生で 4.1%、中学2年生で 5.1%となっています。小学5年生の所得区分3では、「よくあった」が 9.8%と多く、いずれの学年も所得の低い区分ほど「全くなかった」が少なくなっています。



■ よくあった ■ ときどきあった □ まれにあった ▨ 全くなかった □ 不明・無回答

問26 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服を買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

「よくあった」と「ときどきあった」の合計は、小学5年生で 4.1%、中学2年生で 5.2%となっています。所得の低い区分ほど「全くなかった」が少なく、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」のいずれかが多くなっています。



■ よくあった ■ ときどきあった □ まれにあった ▨ 全くなかった □ 不明・無回答

問27 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で払えなかったことがありましたか。(複数回答)

生活関連費用が払えなかった経験について、所得の低い区分ほど「あてはまるものはない」が少なくなっています。

単位：%

		電気料金	ガス料金	水道料金	電話料金 (携帯電話・スマートフォン の料金を含む)	家賃	公的年金・健康 保険などの保険料	所得税や 住民税などの税金	子どもの 学校で必要なお金	あてはまるもの はない	不明・無回 答
小学 5年 生	全体 (n=483)	1.4	1.2	2.5	1.9	1.9	4.1	3.7	3.9	88.4	2.5
	所得区分1 (n=218)	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	1.4	0.9	0.9	97.2	0.9
	所得区分2 (n=164)	1.2	0.6	3.0	1.8	1.8	4.9	5.5	4.9	85.4	1.2
	所得区分3 (n=41)	9.8	9.8	12.2	12.2	12.2	17.1	12.2	19.5	63.4	2.4
中学 2年 生	全体 (n=455)	2.0	1.8	3.3	3.5	2.2	4.0	4.2	3.7	86.8	2.4
	所得区分1 (n=198)	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	1.0	0.5	98.0	1.0
	所得区分2 (n=145)	2.1	2.1	4.8	5.5	1.4	4.1	6.2	3.4	82.1	1.4
	所得区分3 (n=43)	4.7	7.0	9.3	4.7	14.0	14.0	11.6	16.3	60.5	2.3

問28 次のうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものはありますか。(複数回答)

生活必需品の非所有の状況について、所得の低い区分ほど「あてはまるものはない」が少なくなっています。「急な出費のための貯金または現金（5万円以上）」については、全体でも1割以上が所有しておらず、所得区分3では非所有が3割を超えています。

単位：%

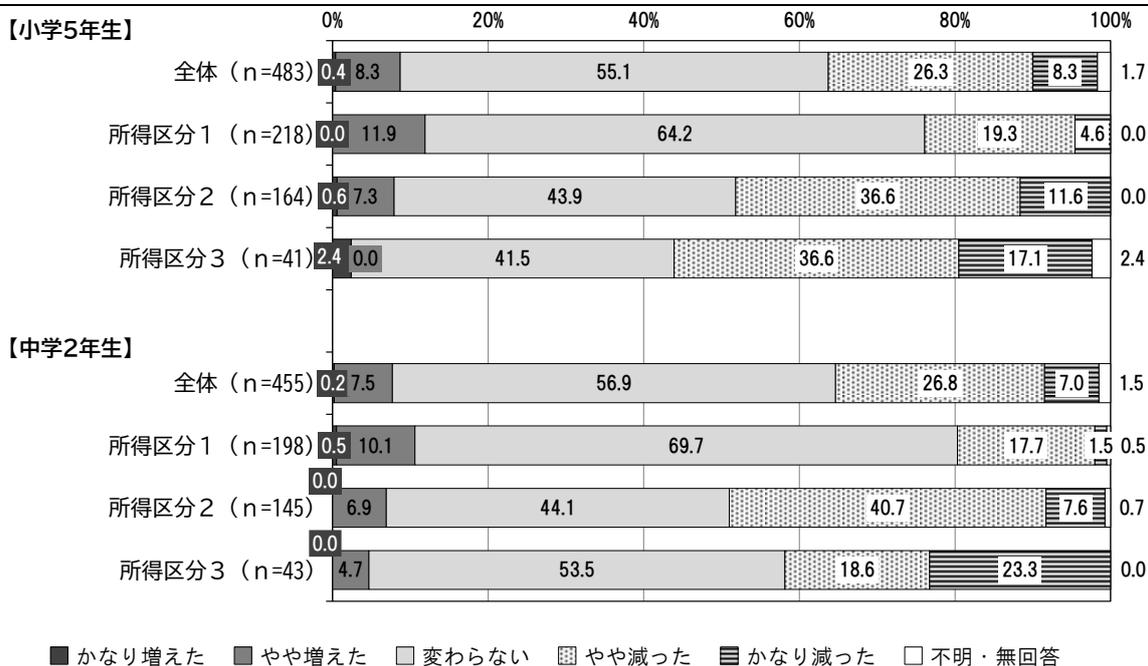
		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	暖房機器（エアコンを含む）	冷房機器（エアコンを含む）	電子レンジ
小学5年生	全体（n=483）	2.5	2.1	2.1	0.2	0.4	0.4	0.6	1.2	0.6
	所得区分1（n=218）	0.5	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	0.9
	所得区分2（n=164）	3.7	2.4	2.4	0.0	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0
	所得区分3（n=41）	9.8	7.3	12.2	2.4	2.4	2.4	4.9	4.9	2.4
中学2年生	全体（n=455）	3.7	2.6	3.7	0.2	0.7	0.4	0.7	0.4	0.2
	所得区分1（n=198）	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0
	所得区分2（n=145）	4.8	2.1	6.9	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
	所得区分3（n=43）	14.0	11.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		電話（固定電話・携帯電話を含む）	世帯専用のお風呂	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金または現金（5万円以上）	パソコン（タブレット含む）	あてはまるものはない	不明・無回答
小学5年生	全体（n=483）	0.6	0.2	1.4	11.6	7.9	79.9	2.7
	所得区分1（n=218）	0.5	0.0	0.0	4.1	2.8	92.2	1.4
	所得区分2（n=164）	0.0	0.0	1.2	17.7	12.2	71.3	1.2
	所得区分3（n=41）	4.9	2.4	12.2	34.1	26.8	46.3	2.4
中学2年生	全体（n=455）	2.0	0.2	2.4	10.5	5.5	80.2	2.4
	所得区分1（n=198）	0.5	0.0	0.0	3.0	1.0	93.4	1.5
	所得区分2（n=145）	1.4	0.0	2.8	15.9	9.7	73.1	1.4
	所得区分3（n=43）	7.0	0.0	7.0	30.2	11.6	53.5	4.7

問29 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。

### A 世帯全体の収入

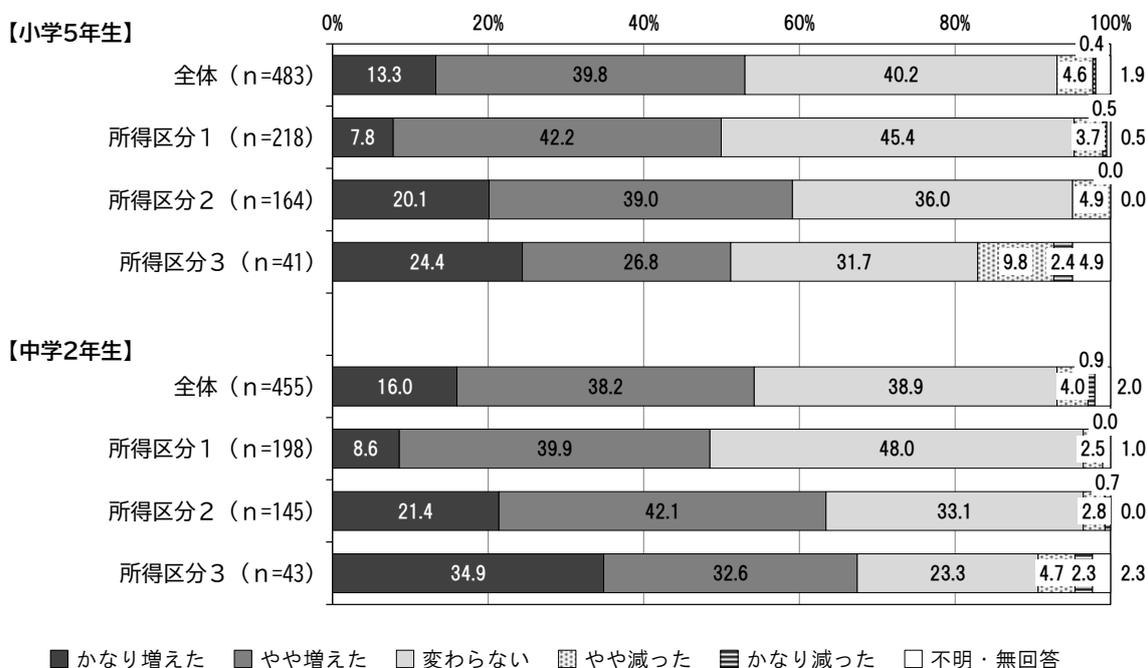
所得の低い区分ほど「かなり減った」が多くなっています。



■ かなり増えた ■ やや増えた □ 変わらない ▨ やや減った ▩ かなり減った □ 不明・無回答

### B 生活に必要な支出

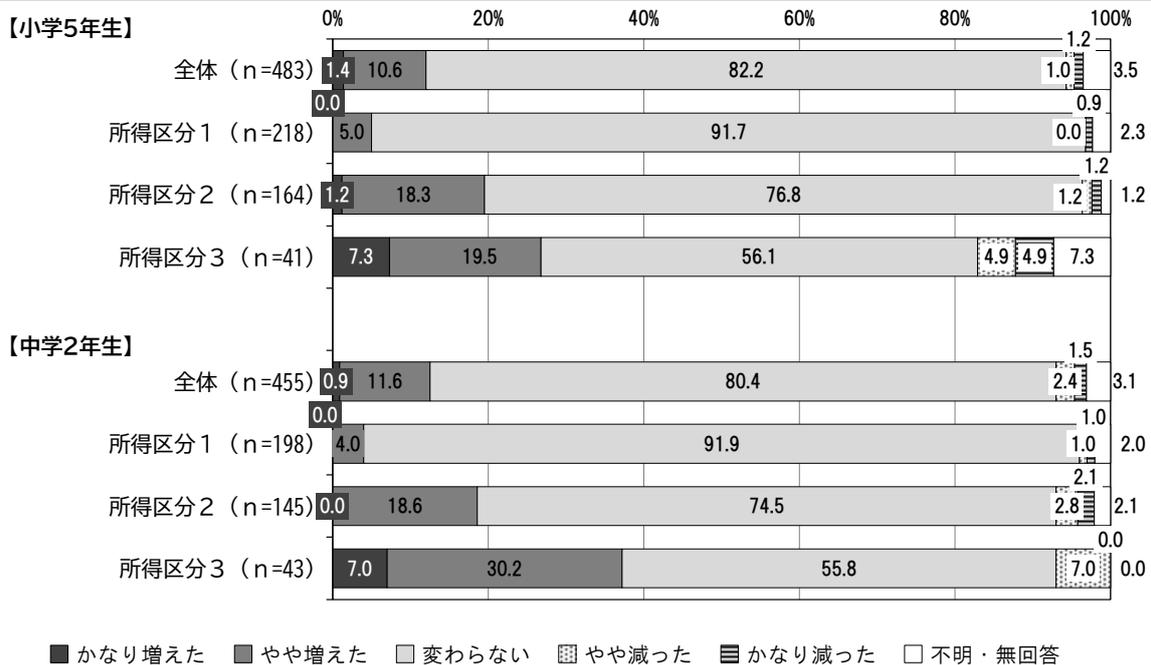
所得の低い区分ほど「かなり増えた」が多くなっています。



■ かなり増えた ■ やや増えた □ 変わらない ▨ やや減った ▩ かなり減った □ 不明・無回答

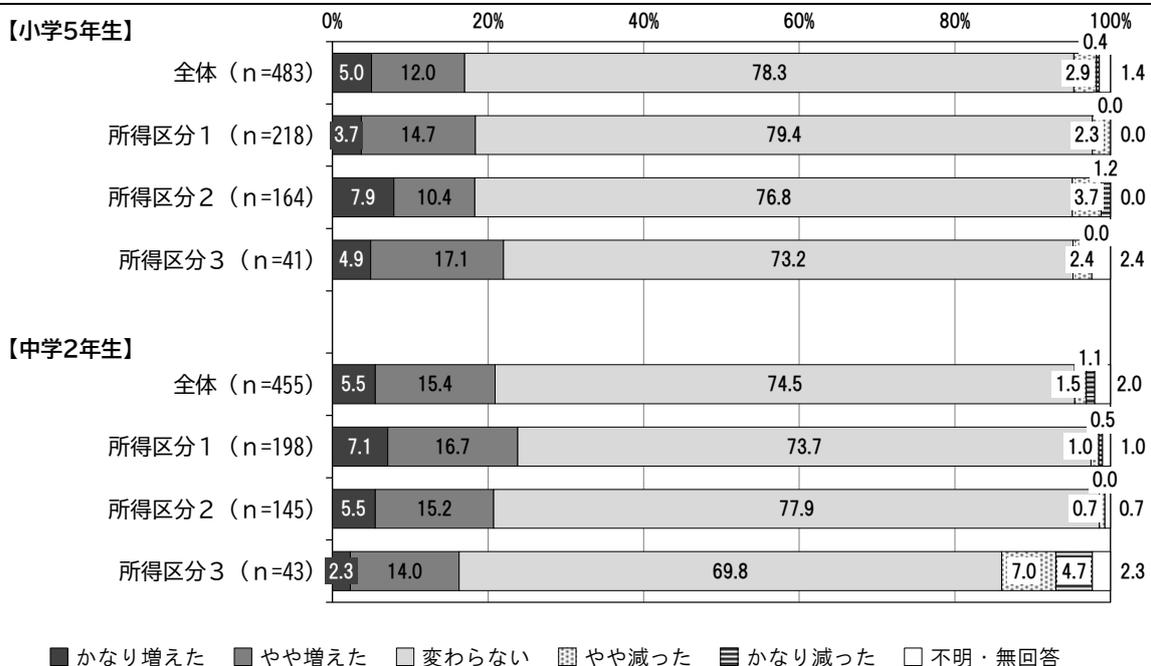
### C お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

所得の低い区分ほど「かなり増えた」または「やや増えた」が多くなっています。



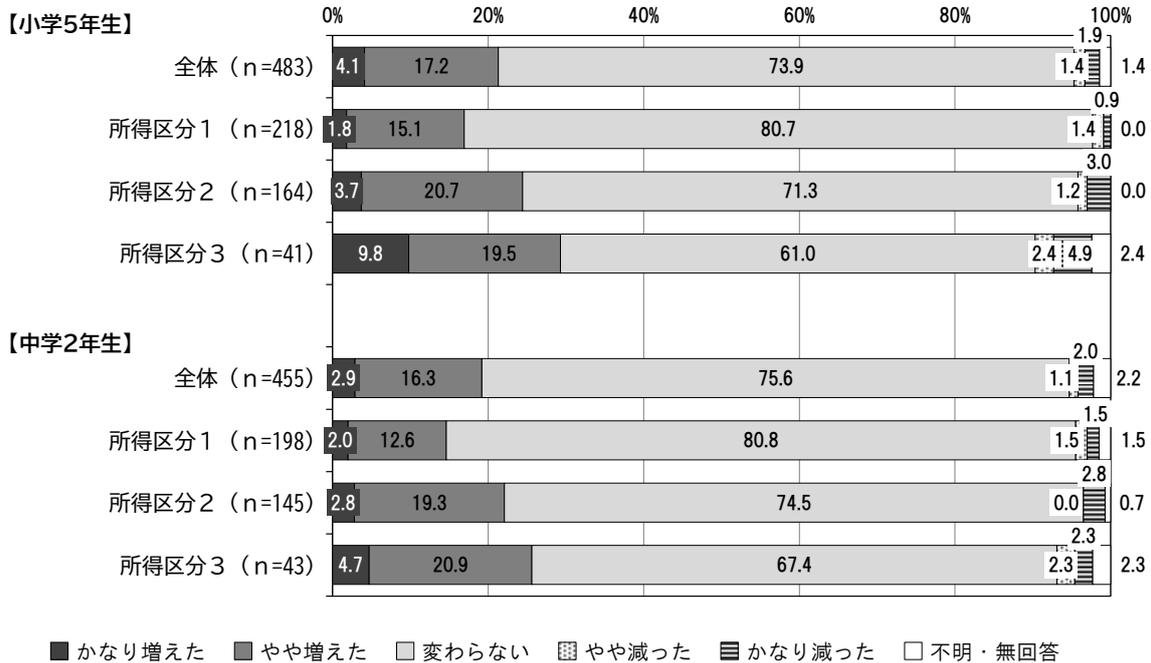
### D お子さんと話をすること

中学2年生の所得区分3では、「やや減った」または「かなり減った」が他の所得区分より多くなっています。



## E 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

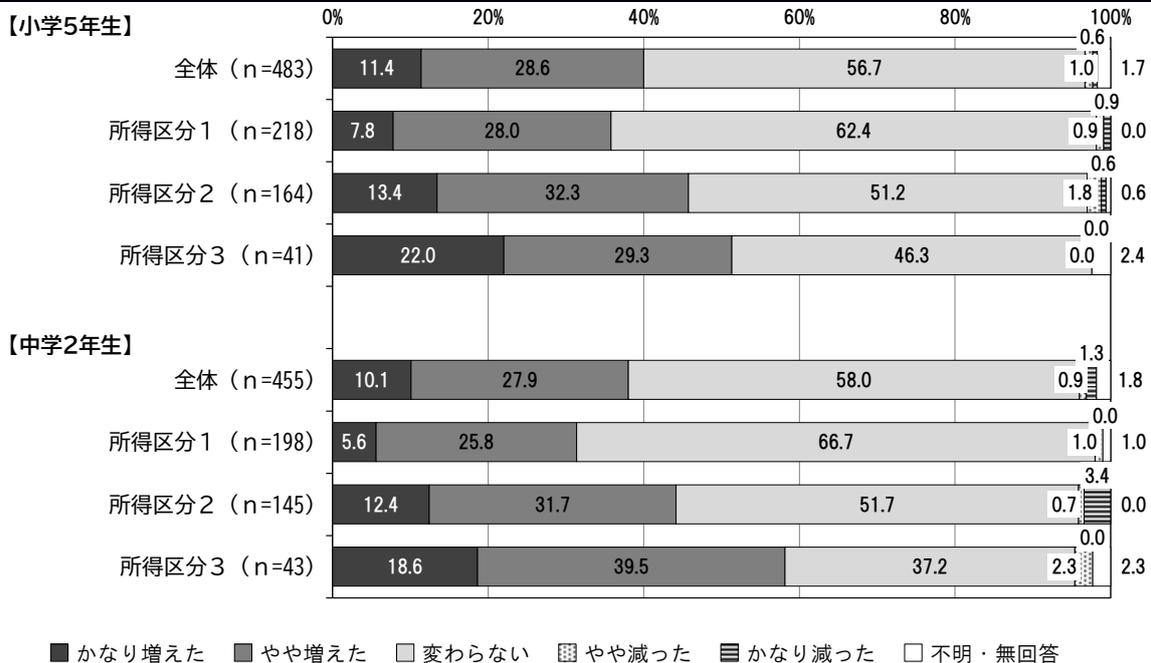
大きな差は見られませんが、所得の低い区分ほど「かなり増えた」または「やや増えた」がやや多い傾向となっています。



■ かなり増えた ■ やや増えた □ 変わらない ▨ やや減った ▩ かなり減った □ 不明・無回答

## F あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

所得の低い区分ほど「かなり増えた」または「やや増えた」が多くなっています。



■ かなり増えた ■ やや増えた □ 変わらない ▨ やや減った ▩ かなり減った □ 不明・無回答

問30 昨年1年間(令和3年1月1日～令和3年12月31日の期間)の世帯全体のおおよその年間収入(税込み)はいくらですか。

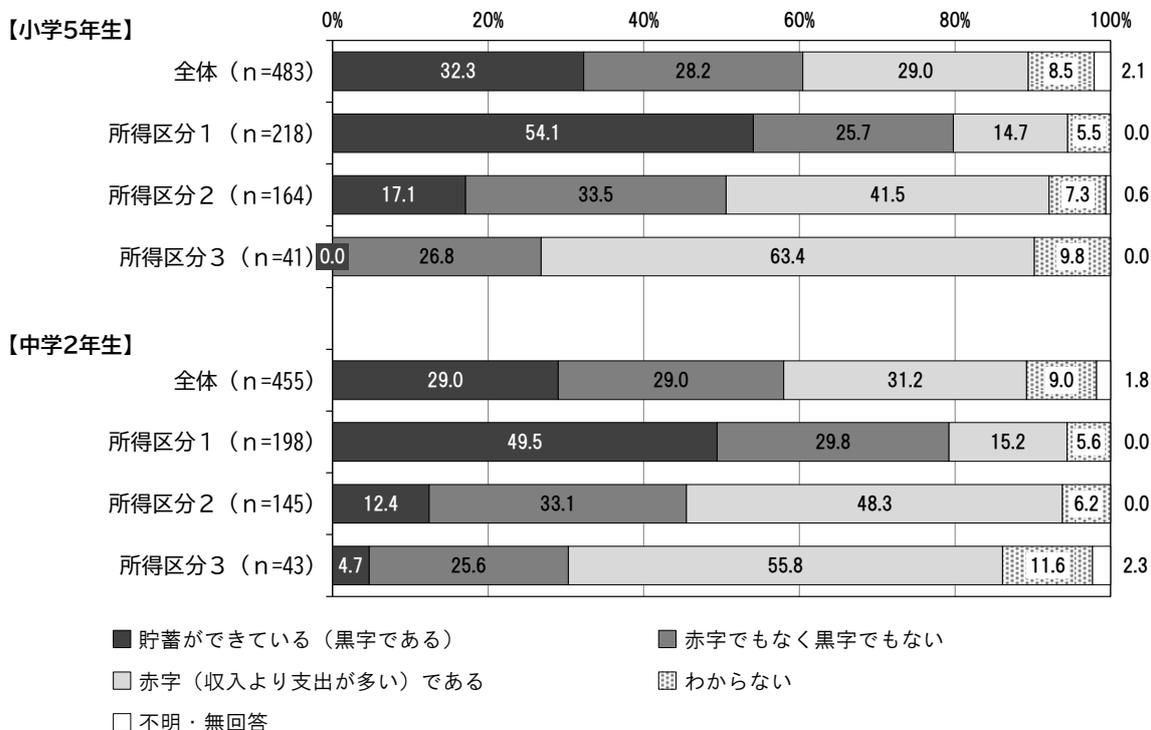
世帯の年間収入については、小学5年生は「600～700万円未満」、中学2年生は「1,000万円以上」が最も多くなっています。中央値は、いずれの学年も「600～700万円未満」となっています。

単位：%

		50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満
小学5年生	全体 (n=483)	0.6	2.3	1.4	1.7	1.2	2.7	3.9	4.3	7.5
	所得区分1 (n=218)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	所得区分2 (n=164)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	11.6	11.6	19.5
	所得区分3 (n=41)	7.3	26.8	17.1	19.5	14.6	12.2	0.0	2.4	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	0.9	0.4	1.3	1.8	4.0	2.6	2.9	2.6	6.4
	所得区分1 (n=198)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	所得区分2 (n=145)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.8	9.0	8.3	19.3
	所得区分3 (n=43)	7.0	4.7	14.0	18.6	37.2	18.6	0.0	0.0	0.0
		450～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1,000万円未満	1,000万円以上	わからない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	8.3	11.0	12.4	9.3	6.8	3.9	10.6	9.3	2.7
	所得区分1 (n=218)	0.5	4.6	25.2	20.6	15.1	8.7	23.4	0.0	0.0
	所得区分2 (n=164)	23.8	26.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=41)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	9.2	11.4	11.6	7.5	5.5	3.7	13.6	9.9	4.6
	所得区分1 (n=198)	0.0	5.1	25.3	17.2	12.6	8.6	30.8	0.0	0.0
	所得区分2 (n=145)	29.0	28.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

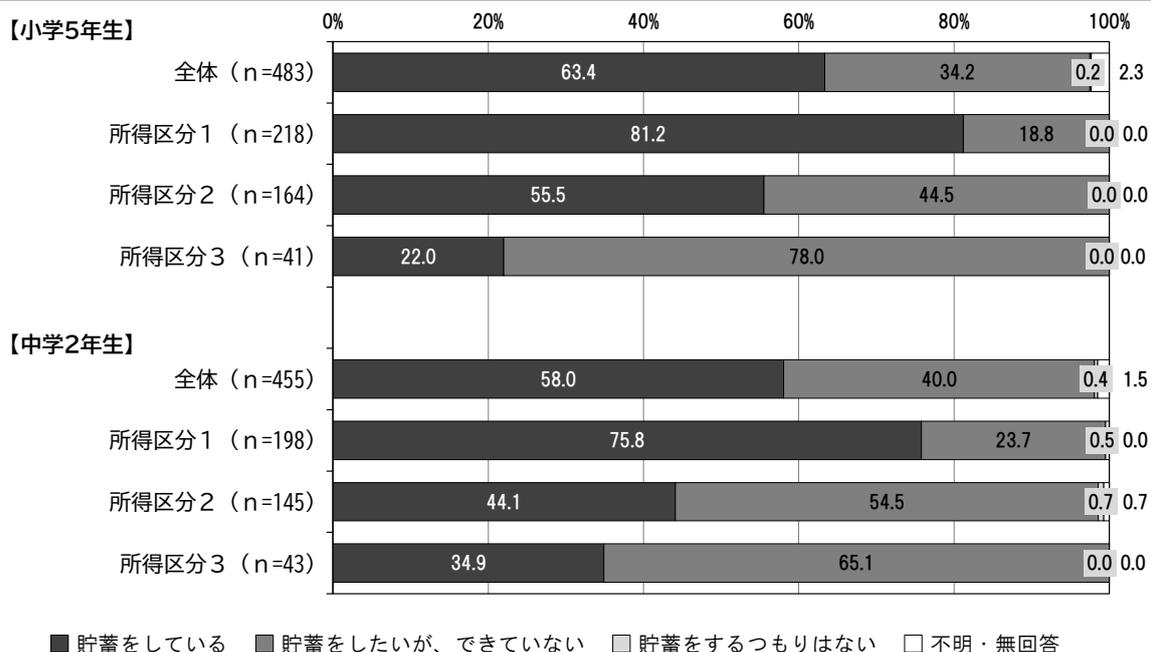
問31 昨年1年間(令和3年1月1日～令和3年12月31日の期間)のあなたの世帯の家計の状況はどれですか。

所得の低い区分ほど「貯蓄ができていない（赤字である）」が少なく、「赤字（収入より支出が多い）である」が多くなっています。いずれの学年も所得区分1では、「黒字である」が5割前後で最も多く、所得区分2・3では、「赤字（収入より支出が多い）である」が最も多くなっています。



問32 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。

所得の低い区分ほど「貯蓄をしている」が少なく、「貯蓄をしたいが、できていない」が多くなっています。「貯蓄するつもりはない」という回答は、ほとんどありません。



問33 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。

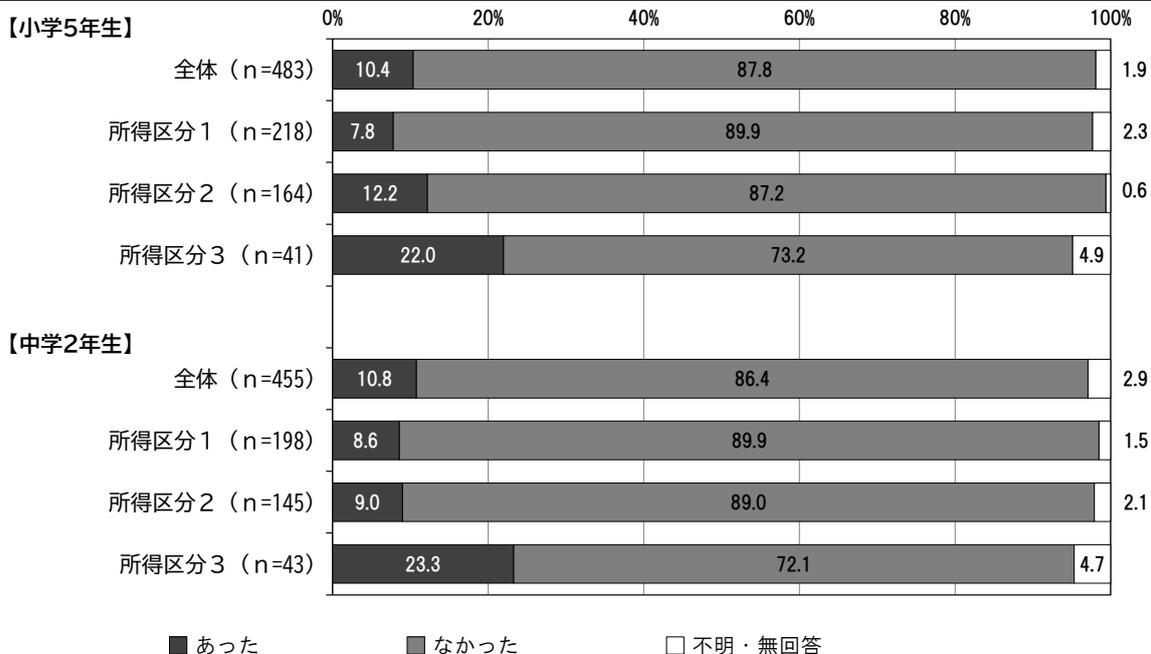
所得の低い区分ほど「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が少なく、「民間の賃貸住宅」「府営の住宅」が多くなっています。

単位：％

		持ち家 (親・ きょうだ いの名義 を含む)	府営の住 宅	UR賃貸 住宅・公 社賃貸住 宅	民間の賃 貸住宅	官舎・社 宅	その他	不明・無 回答
小学 5年 生	全体 (n=483)	81.4	1.4	0.6	13.9	0.4	0.6	1.7
	所得区分1 (n=218)	90.8	0.0	0.9	7.8	0.5	0.0	0.0
	所得区分2 (n=164)	78.7	2.4	0.6	17.1	0.6	0.6	0.0
	所得区分3 (n=41)	51.2	7.3	0.0	41.5	0.0	0.0	0.0
中学 2年 生	全体 (n=455)	84.4	1.1	0.0	12.5	0.2	0.4	1.3
	所得区分1 (n=198)	94.4	0.0	0.0	5.1	0.5	0.0	0.0
	所得区分2 (n=145)	85.5	1.4	0.0	12.4	0.0	0.0	0.7
	所得区分3 (n=43)	46.5	7.0	0.0	41.9	0.0	4.7	0.0

問34 あなたのご家庭では、過去1年の間に、子どもの病気やけがの治療のために病院や診療所などの医療機関を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。

全体では、「あった」は約1割ですが、所得区分3では、2割を超えています。



問35 問34で「あった」を選んだ人のみ 病院や診療所などの医療機関を受診しなかった理由は何ですか。(複数回答)

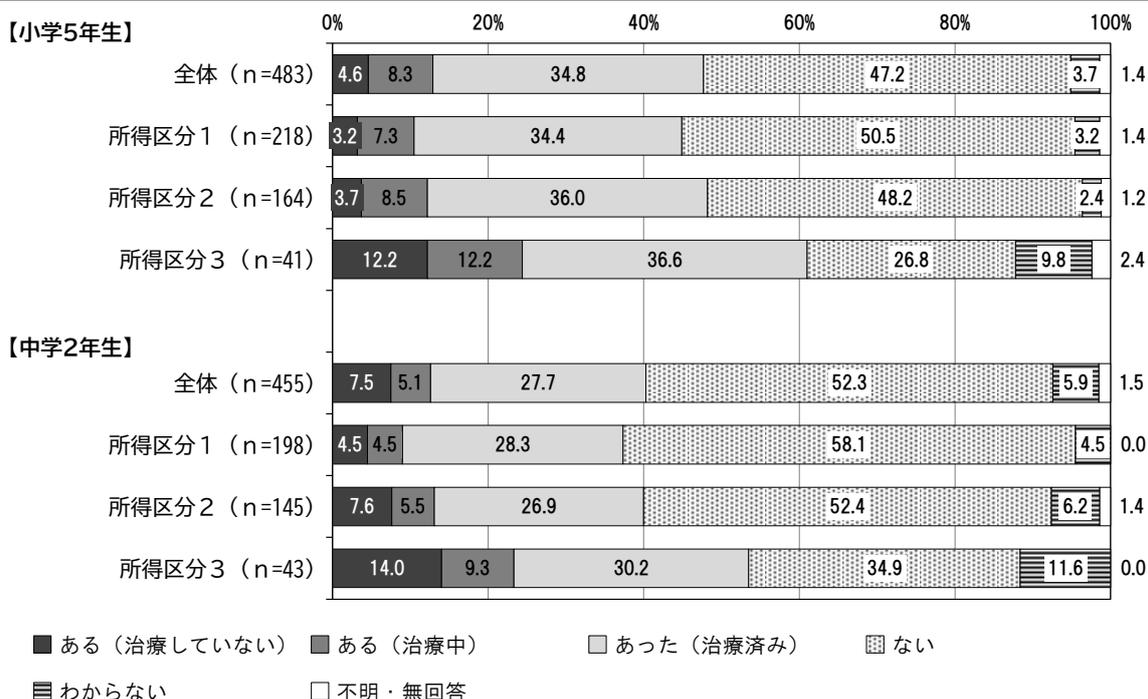
病院や診療所等の医療機関を受診しなかった理由として、全体では、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出や医療機関への受診を控えたから」が最も多く、次いで「医療機関に連れていく時間がなかったから」が多くなっています。

単位：%

		医療機関に連れて行く時間がなかったから	医療機関までの距離が遠く、連れて行けなかったから	子ども本人が受診しなかったから	医療費の支払いが不安であったから	自分の健康状態が悪かったから	新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や医療機関への受診を控えたから	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=50)	40.0	10.0	22.0	8.0	6.0	52.0	8.0	8.0
	所得区分1 (n=17)	41.2	0.0	17.6	5.9	0.0	35.3	11.8	11.8
	所得区分2 (n=20)	40.0	5.0	20.0	15.0	10.0	70.0	5.0	5.0
	所得区分3 (n=9)	44.4	44.4	33.3	0.0	11.1	44.4	0.0	11.1
中学2年生	全体 (n=49)	32.7	8.2	30.6	12.2	6.1	42.9	8.2	0.0
	所得区分1 (n=17)	41.2	5.9	23.5	0.0	0.0	47.1	5.9	0.0
	所得区分2 (n=13)	15.4	7.7	53.8	23.1	7.7	53.8	0.0	0.0
	所得区分3 (n=10)	20.0	0.0	30.0	20.0	20.0	40.0	10.0	0.0

問36 お子さんには、むし歯がありますか。

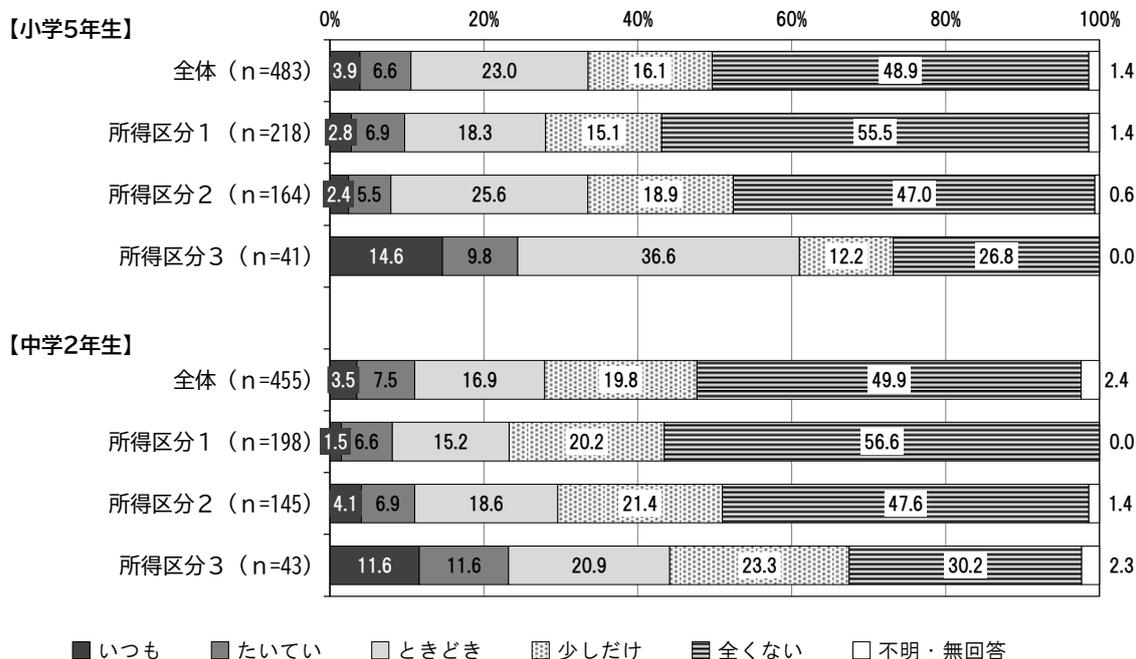
所得区分3では、「ない」が少なく、「ある（治療していない）」「ある（治療中）」「わからない」が多くなっています。



問37 あなたはこの1か月の間、A～Fのようなことがどれくらいありましたか。

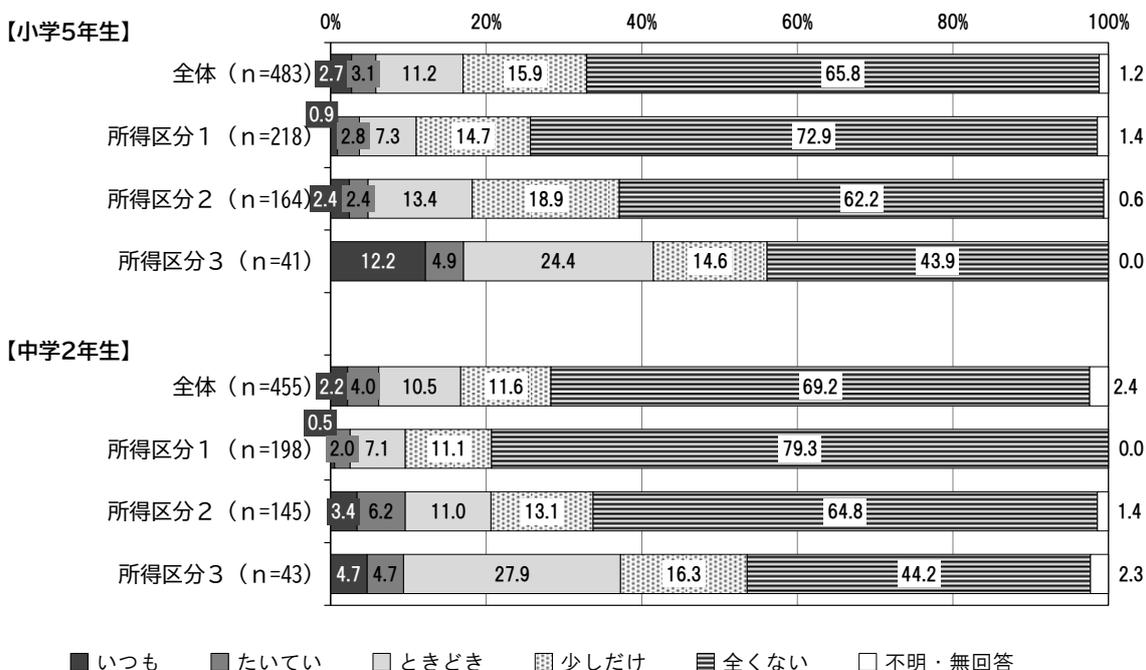
### A 神経過敏に感じた

所得区分3では、「いつも」または「たいてい」が多く、所得の低い区分ほど「全くない」が少なくなっています。



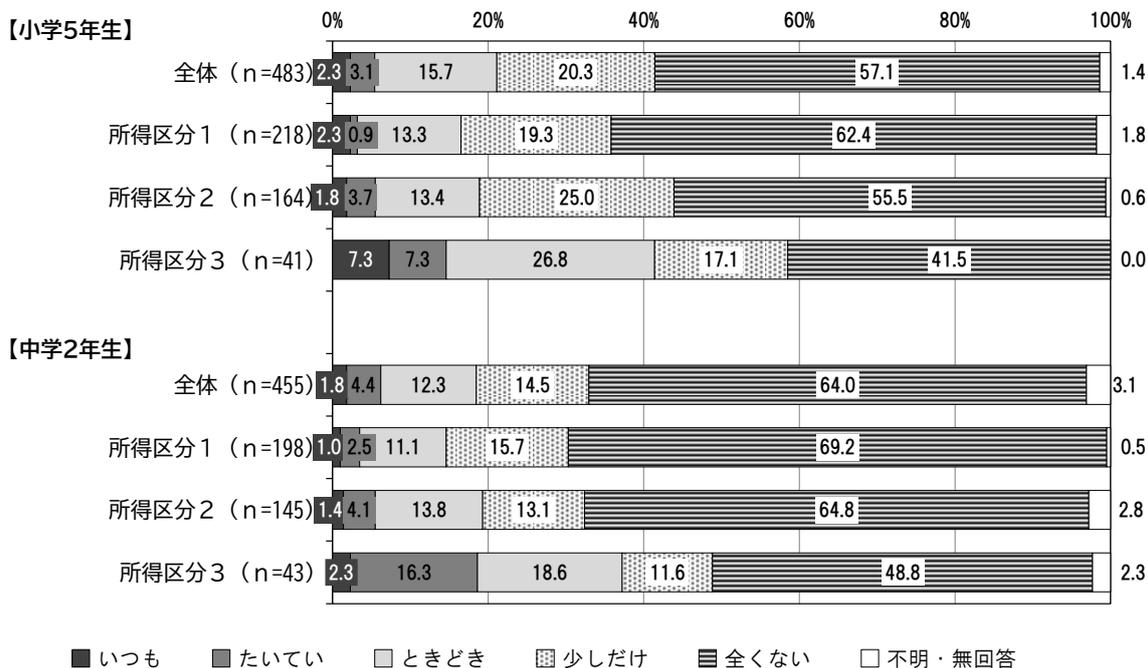
### B 絶望的だと感じた

小学5年生の所得区分3では、「いつも」または「たいてい」が多く、いずれの学年も、所得の低い区分ほど「全くない」が少なくなっています。



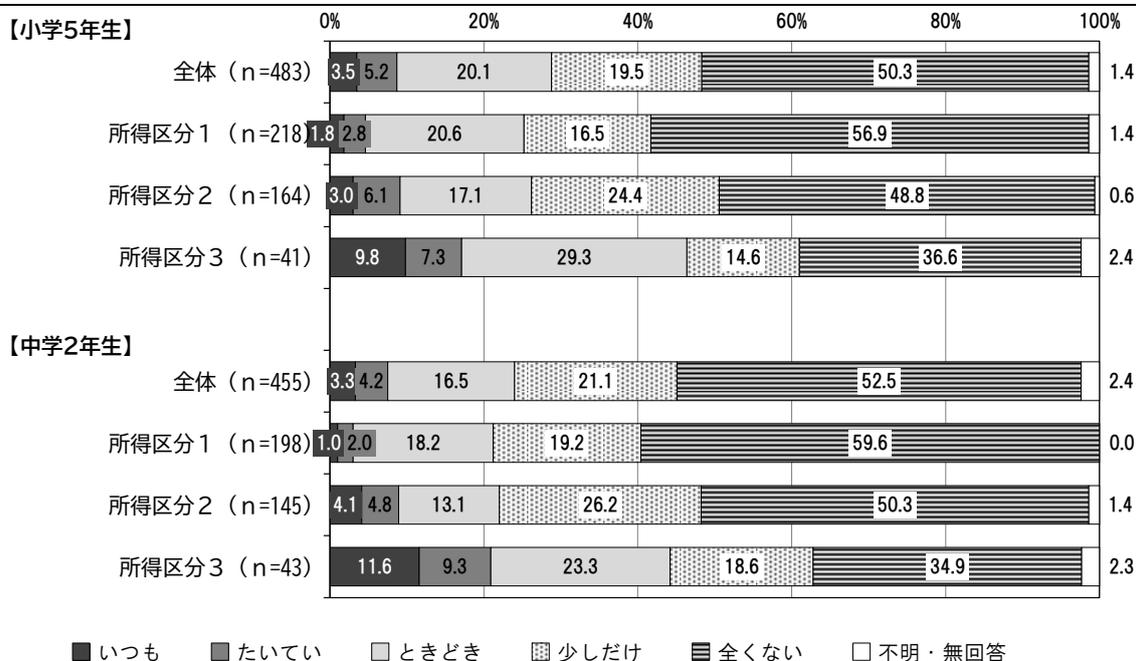
### C そわそわ、落ち着かなく感じた

所得区分3では、「いつも」または「たいてい」が多く、所得の低い区分ほど「全くない」が少なくなっています。



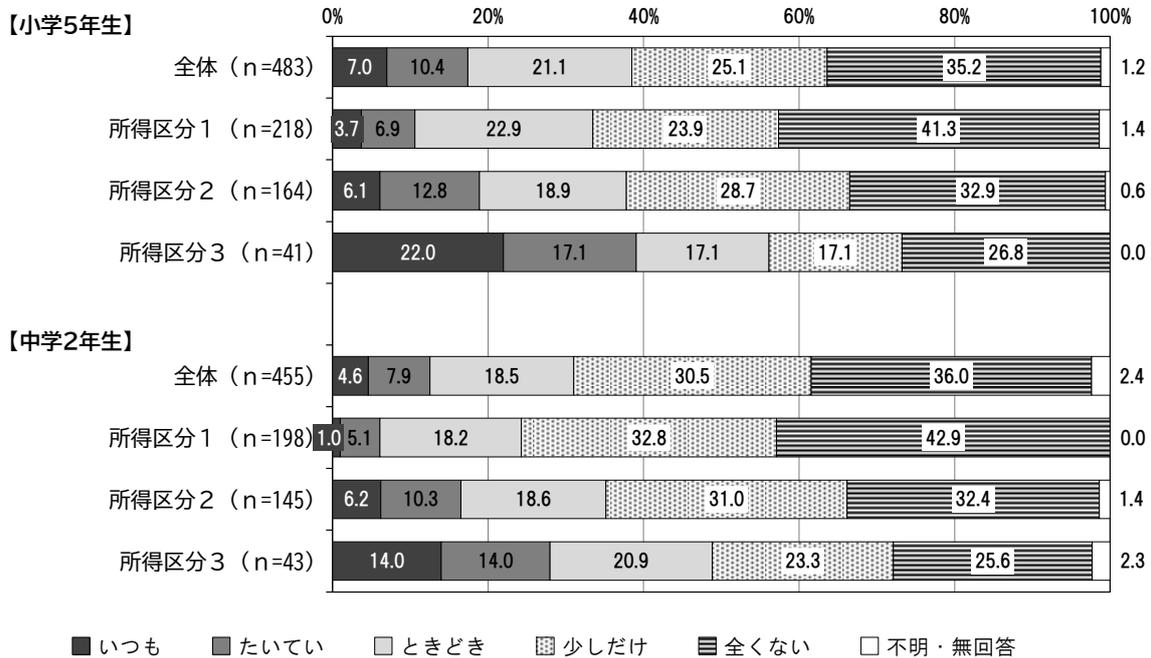
### D 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じた

所得の低い区分ほど「いつも」または「たいてい」が多く、「全くない」が少なくなっています。



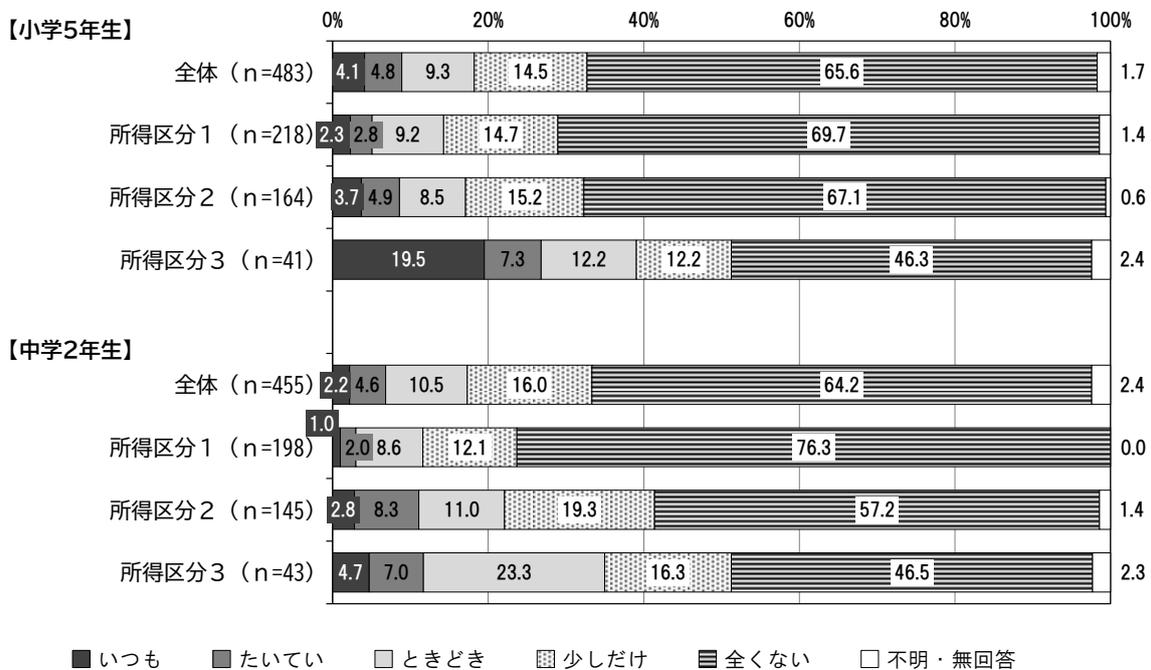
## E 何をするのも面倒だと感じた

所得の低い区分ほど「いつも」または「たいてい」が多く、「全くない」が少なくなっています。



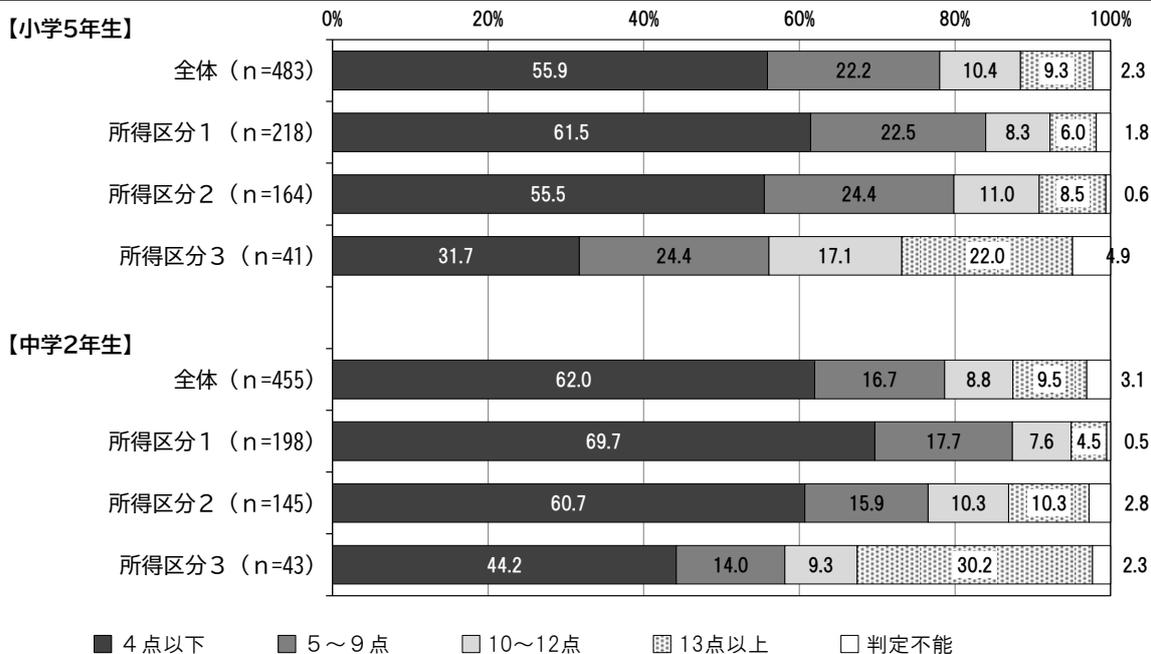
## F 自分は価値のない人間だと感じた

小学5年生の所得区分3では、「いつも」が特に多く、いずれの学年も、所得の低い区分ほど「全くない」が少なくなっています。



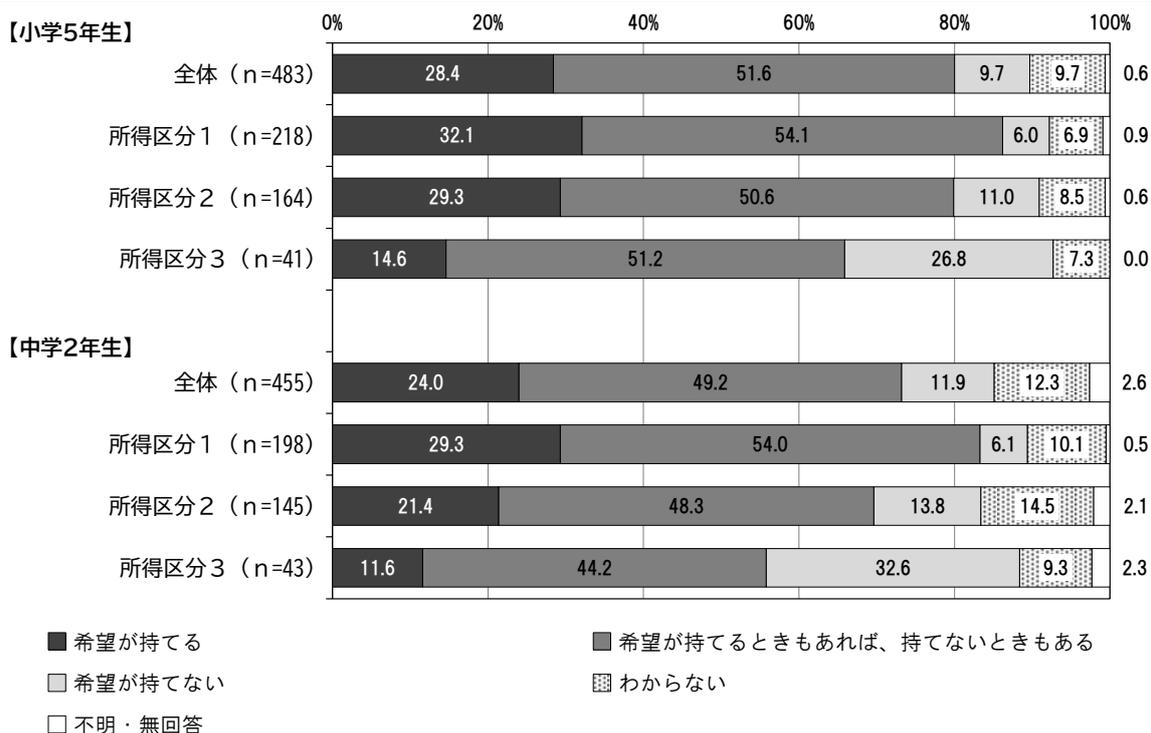
## K6 得点

問 37 の A～F は、K 6 と呼ばれるうつ病・不安障害等の精神疾患のスクリーニングを目的として開発された尺度で、「全くない」（0点）、「少しだけ」（1点）、「ときどき」（2点）、「たいてい」（3点）、「いつも」（4点）で点数化し、合計点数が高いほど精神的な問題がより重い可能性があると考えられています。問 37 の回答から算出された K 6 得点を見ると、「うつ・不安障害相当」とされる「13点以上」の割合は、所得の低い区分ほど多くなっています。



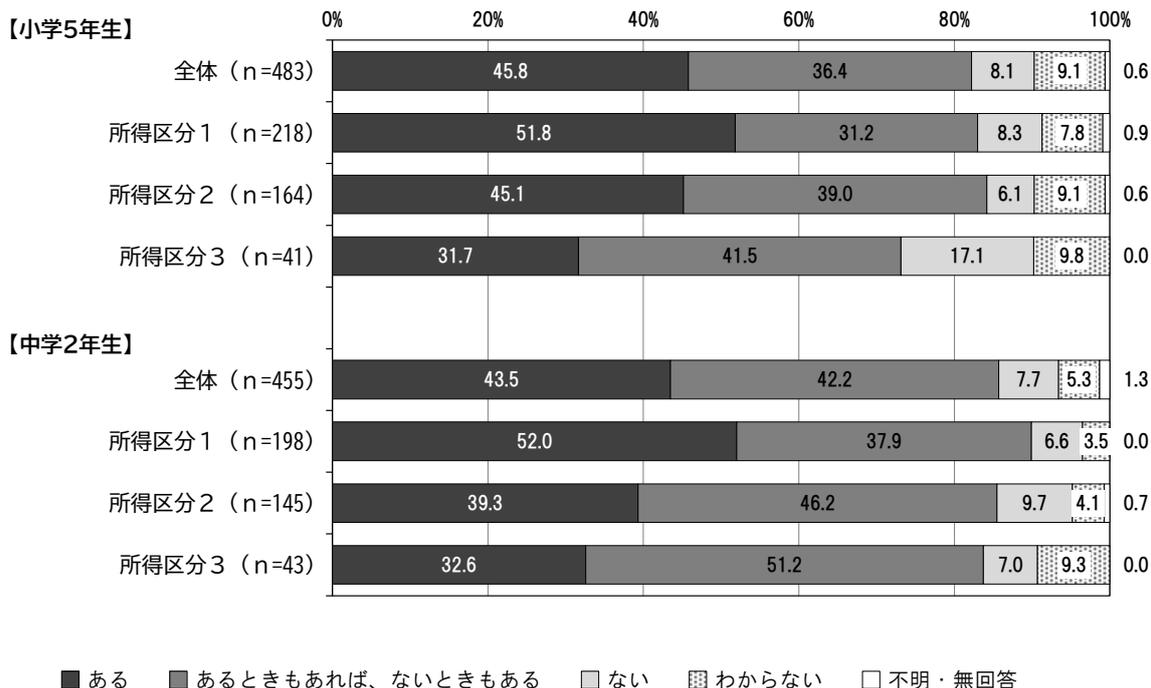
## 問38 将来に対して希望を持っていますか。

所得の低い区分ほど「希望が持てる」が少なく、「希望が持てない」が多くなっています。



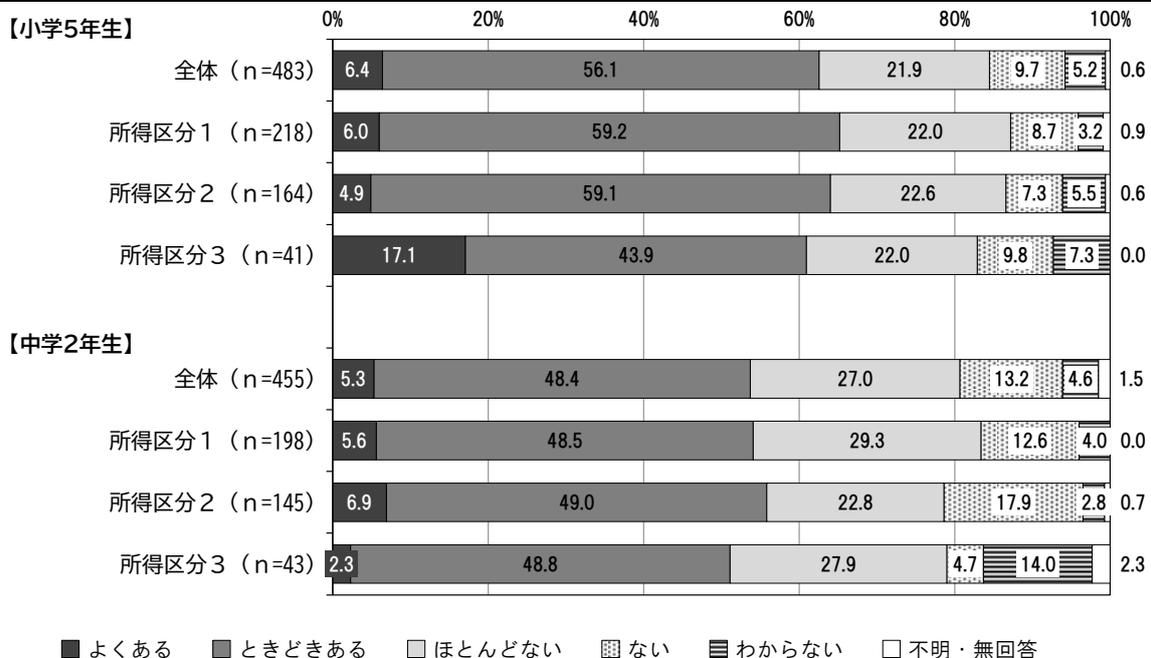
### 問39 ストレスを発散できるものがありますか。

所得の低い区分ほど「ある」が少なくなっています。



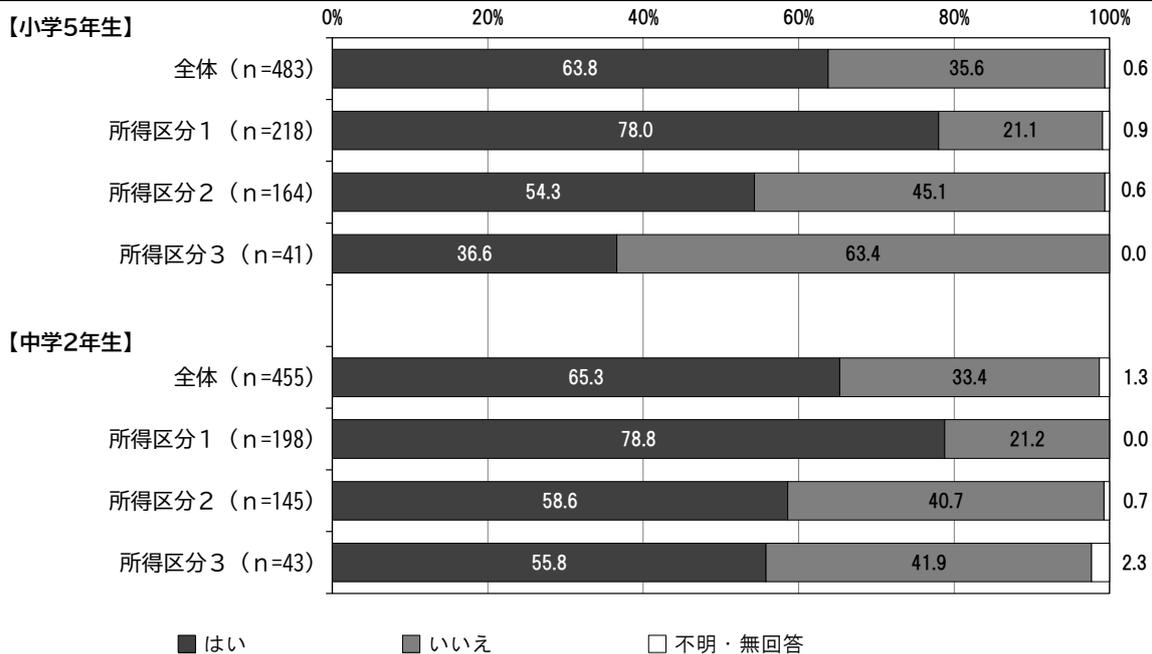
### 問40 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

明確な差は見られませんが、小学5年生の所得区分3では、「よくある」が多く、中学2年生の所得区分3では、「わからない」が多くなっています。



問41 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。

所得の低い区分ほど「はい」が少なく、「いいえ」が多くなっています。中学2年生より小学5年生の方が、経済状況による差が大きくなっています。

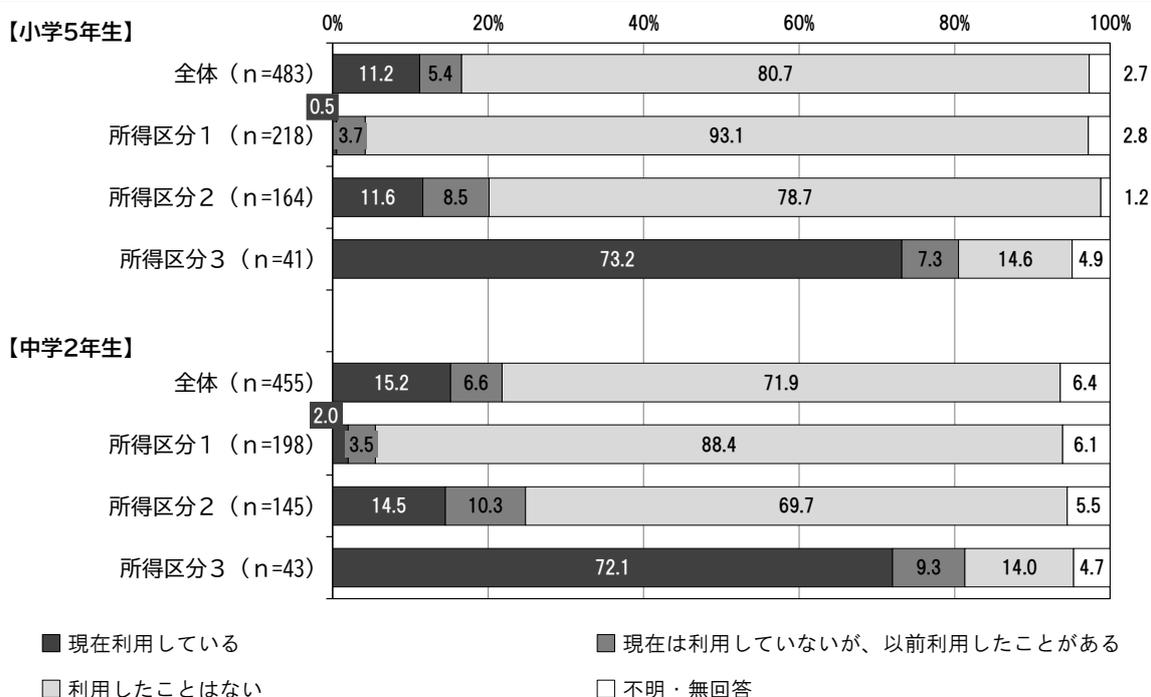


## 4. 公的支援の利用状況や必要な支援について

問42 あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「利用したことはない」を選んだ場合、理由を教えてください。

### 【A 就学援助／利用状況】

就学援助については、所得区分3の7割以上が、「現在利用している」と回答しています。



### 【A 就学援助／利用したことがない理由】

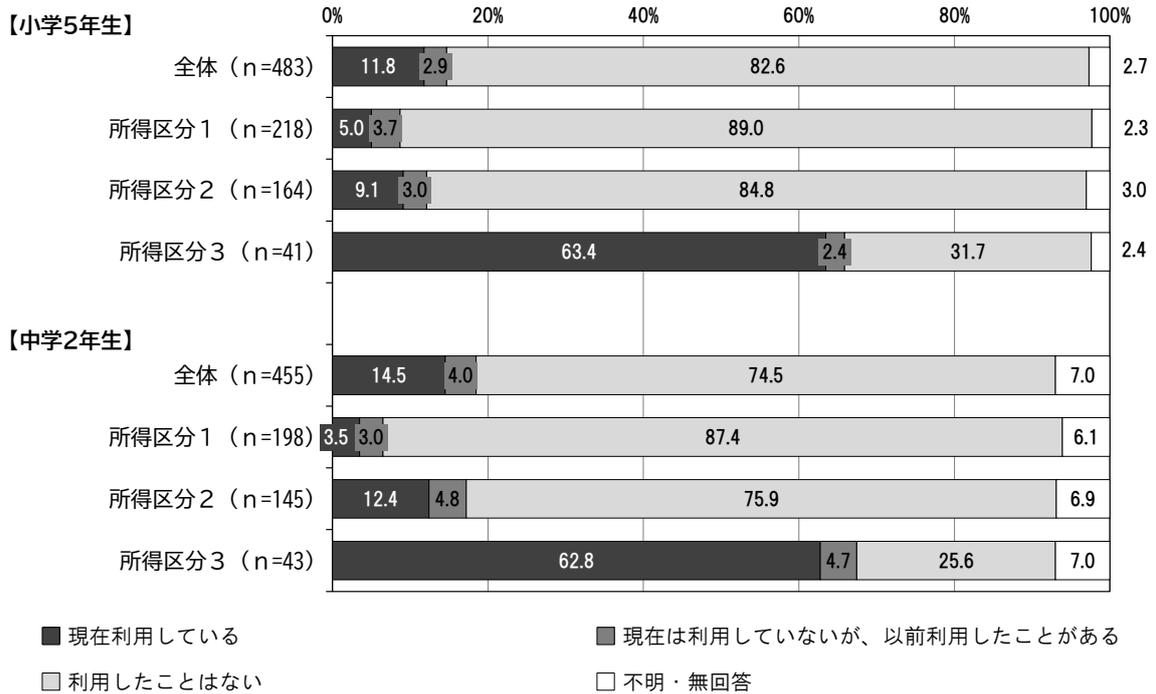
利用したことがない理由について、全体では、「利用条件を満たさないと考えるから」が多くなっていますが、小学5年生の所得区分3では、「手続きがわからなかったり利用しにくいから」もやや多くなっています。

単位：％

学年	所得区分	利用条件を満たさないと考えるから	利用したいと思わなかったから	手続きが分からなかったり、利用しにくいから	今までこの支援制度を知らなかったから	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=390)	78.2	8.7	2.1	2.3	0.3	8.5
	所得区分1 (n=203)	84.7	5.9	0.5	2.0	0.0	6.9
	所得区分2 (n=129)	72.1	9.3	2.3	2.3	0.8	13.2
	所得区分3 (n=6)	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=327)	76.1	7.0	1.8	2.1	0.6	12.2
	所得区分1 (n=175)	78.3	6.3	0.0	1.7	0.6	13.1
	所得区分2 (n=101)	77.2	8.9	1.0	2.0	0.0	10.9
	所得区分3 (n=6)	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0

## 【B 児童扶養手当／利用状況】

児童扶養手当については、所得区分3の6割以上が、「現在利用している」と回答しています。



## 【B 児童扶養手当／利用したことがない理由】

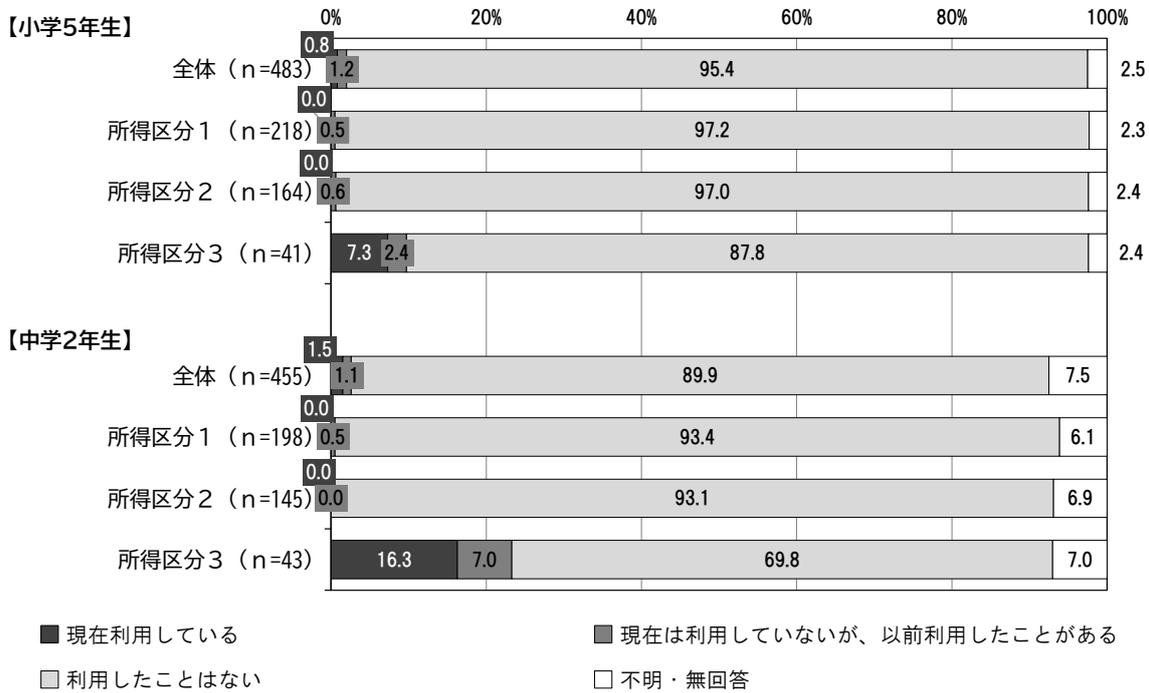
利用したことがない理由について、全体では、「利用条件を満たさないと思うから」が多くなっています。

単位：%

学年	所得区分	利用条件を満たさないと思うから	利用したいと思わなかったから	手続きが分からなかったり、利用しにくいから	今までこの支援制度を知らなかったから	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=399)	85.5	3.5	0.3	0.8	1.0	9.0
	所得区分1 (n=194)	87.6	3.1	0.5	0.0	1.0	7.7
	所得区分2 (n=139)	84.2	2.9	0.0	0.7	0.0	12.2
	所得区分3 (n=13)	84.6	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
中学2年生	全体 (n=339)	79.9	3.5	0.3	1.5	1.2	13.6
	所得区分1 (n=173)	80.9	4.6	0.0	0.6	1.7	12.1
	所得区分2 (n=110)	77.3	3.6	0.9	2.7	0.0	15.5
	所得区分3 (n=11)	63.6	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3

## 【C 生活保護／利用状況】

生活保護については、所得区分3では、小学5年生の7.3%、中学2年生の16.3%が、「現在利用している」と回答しています。



## 【C 生活保護／利用したことがない理由】

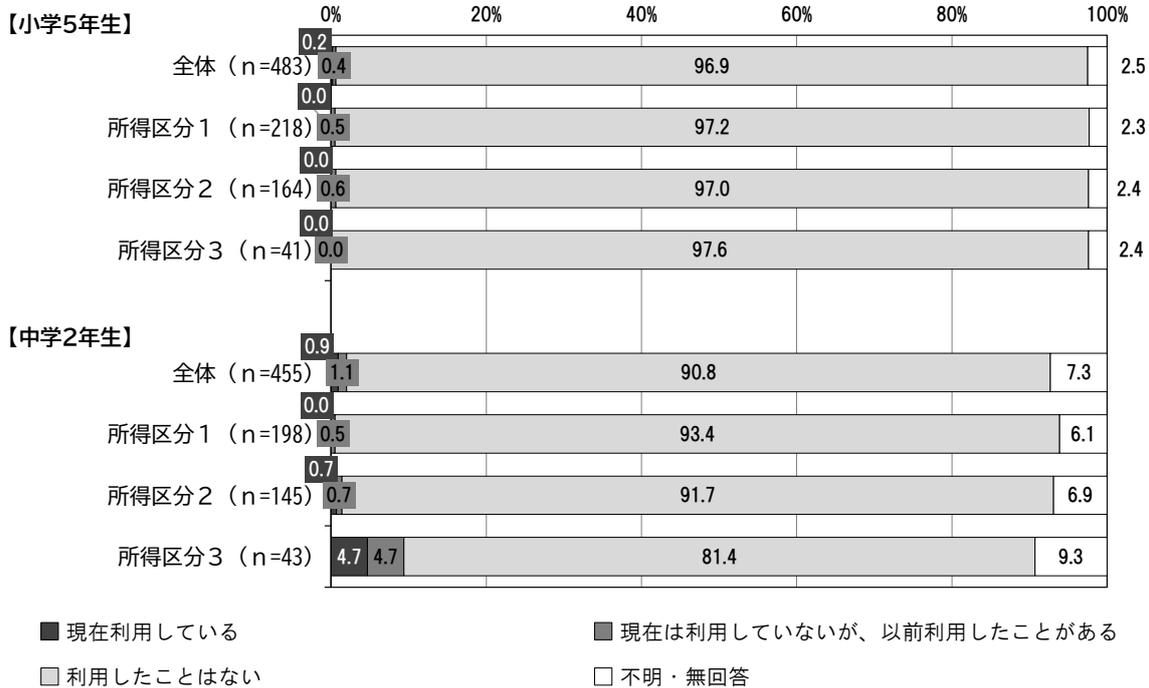
利用したことがない理由については、全体では、「利用条件を満たさないと思うから」が最も多くなっていますが、就学援助や児童扶養手当と比べると、「利用したいと思わなかったから」もやや多くなっています。

単位：%

学年	所得区分	利用条件を満たさないと思うから	利用したいと思わなかったから	手続きが分からなかったり、利用しにくいから	今までこの支援制度を知らなかったから	その他	不明・無回答
		小学5年生	全体 (n=461)	80.9	6.7	0.4	0.0
小学5年生	所得区分1 (n=212)	87.7	3.8	0.0	0.0	0.9	7.5
	所得区分2 (n=159)	76.7	9.4	0.0	0.0	0.6	13.2
	所得区分3 (n=36)	58.3	8.3	2.8	0.0	5.6	25.0
	中学2年生	全体 (n=409)	74.1	11.2	0.2	0.0	0.5
中学2年生	所得区分1 (n=185)	77.8	9.7	0.0	0.0	0.5	11.9
	所得区分2 (n=135)	73.3	12.6	0.7	0.0	0.0	13.3
	所得区分3 (n=30)	60.0	20.0	0.0	0.0	3.3	16.7

## 【D 生活困窮者の自立支援相談窓口／利用状況】

生活困窮者の自立支援相談窓口については、全体では、「現在利用している」が小学5年生で1件、中学2年生で4件のみでした。



## 【D 生活困窮者の自立支援相談窓口／利用したことがない理由】

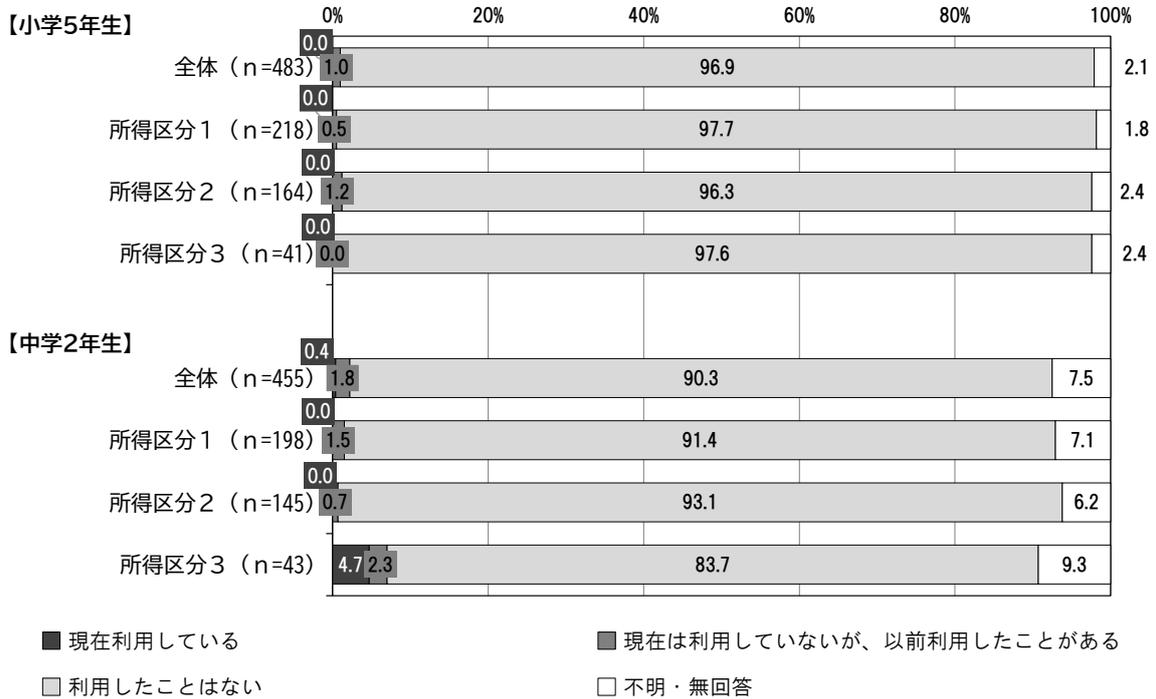
利用しなかった理由については、全体では、「利用条件を満たさないと思うから」が最も多くなっていますが、所得区分3では、「利用条件を満たさないと思うから」は他の所得区分より少なく、「利用したいと思わなかったから」「今までこの支援制度を知らなかったから」が多くなっています。

単位：%

学年	区分	利用条件を満たさないと思うから	利用したいと思わなかったから	手続きが分からなかったり、利用しにくいから	今までこの支援制度を知らなかったから	その他	不明・無回答
		小学5年生	全体 (n=468)	75.4	8.8	1.5	3.0
小学5年生	所得区分1 (n=212)	84.0	5.2	0.5	1.9	0.9	7.5
	所得区分2 (n=159)	71.7	10.1	1.3	3.8	0.6	12.6
	所得区分3 (n=40)	40.0	20.0	7.5	5.0	5.0	22.5
	中学2年生	全体 (n=413)	69.5	10.9	1.2	4.4	0.5
中学2年生	所得区分1 (n=185)	77.3	10.3	0.0	0.0	0.5	11.9
	所得区分2 (n=133)	69.2	9.8	2.3	5.3	0.0	13.5
	所得区分3 (n=35)	34.3	25.7	2.9	20.0	0.0	17.1

### 【E 地域就労支援センター／利用状況】

地域就労支援センターについては、全体では、「現在利用している」は中学2年生の2件のみで、いずれも所得区分3となっています。



### 【E 地域就労支援センター／利用したことがない理由】

利用したことがない理由については、全体では、「利用条件を満たさないと思うから」が最も多くなっていますが、所得の低い区分ほどこの回答は少なく、特に中学2年生の所得区分3では「利用したいと思わなかったから」「今までこの支援制度を知らなかったから」が、他の所得区分より多くなっています。

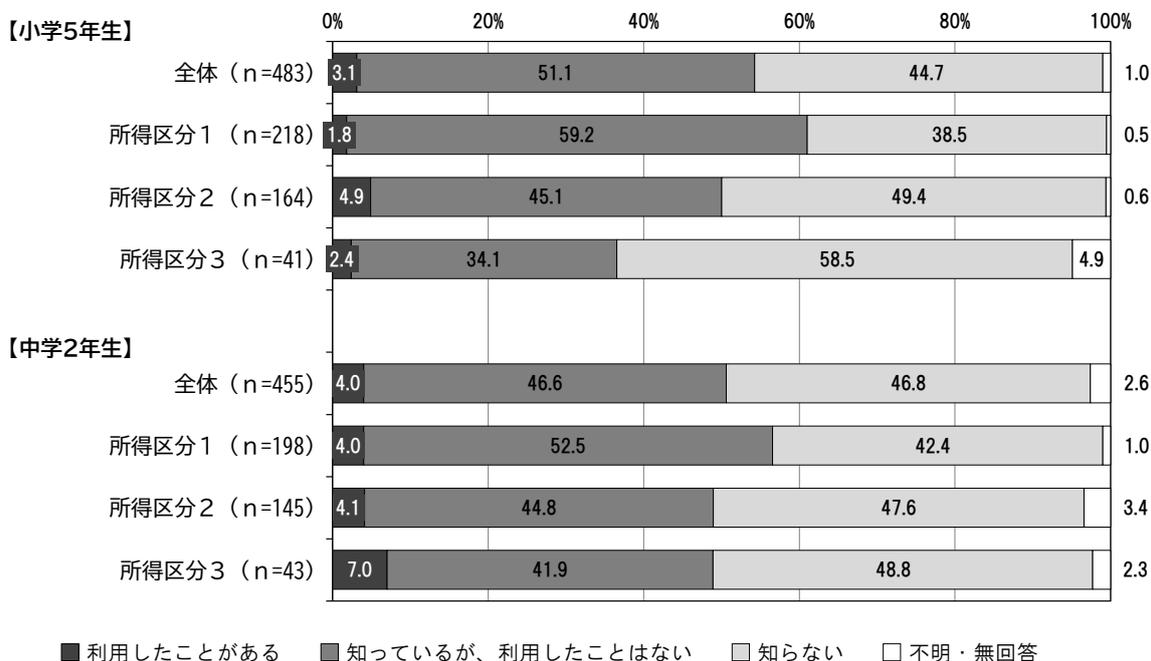
単位：%

学年	所得区分	利用条件を満たさないと思うから	利用したいと思わなかったから	手続きが分からなかったり、利用しにくいから	今までこの支援制度を知らなかったから	その他	不明・無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
小学5年生	全体 (n=468)	57.1	16.7	1.9	11.8	1.1	11.5
	所得区分1 (n=213)	62.4	16.0	0.9	10.3	1.4	8.9
	所得区分2 (n=158)	55.1	16.5	2.5	11.4	1.3	13.3
	所得区分3 (n=40)	35.0	22.5	5.0	12.5	0.0	25.0
中学2年生	全体 (n=411)	53.0	16.3	2.4	13.4	1.0	13.9
	所得区分1 (n=181)	64.6	14.4	0.6	7.7	0.6	12.2
	所得区分2 (n=135)	48.9	17.0	2.2	17.0	0.7	14.1
	所得区分3 (n=36)	25.0	33.3	5.6	19.4	0.0	16.7

問43 次のA～Eの取組について、あなたは知っていましたか。また、利用したことがありますか。

### A ファミリー・サポート・センター事業

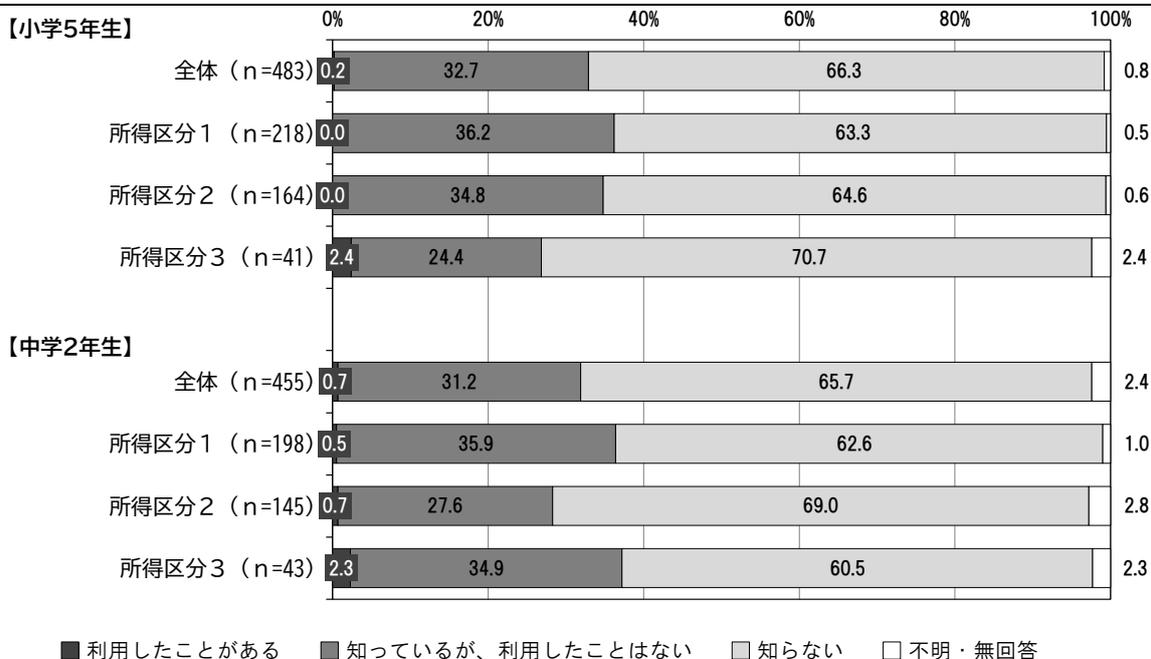
中学2年生については大きな差は見られませんが、小学5年生では、所得の低い区分ほど「知らない」が多くなっています。



■ 利用したことがある ■ 知っているが、利用したことはない □ 知らない □ 不明・無回答

### B 子育て短期支援事業

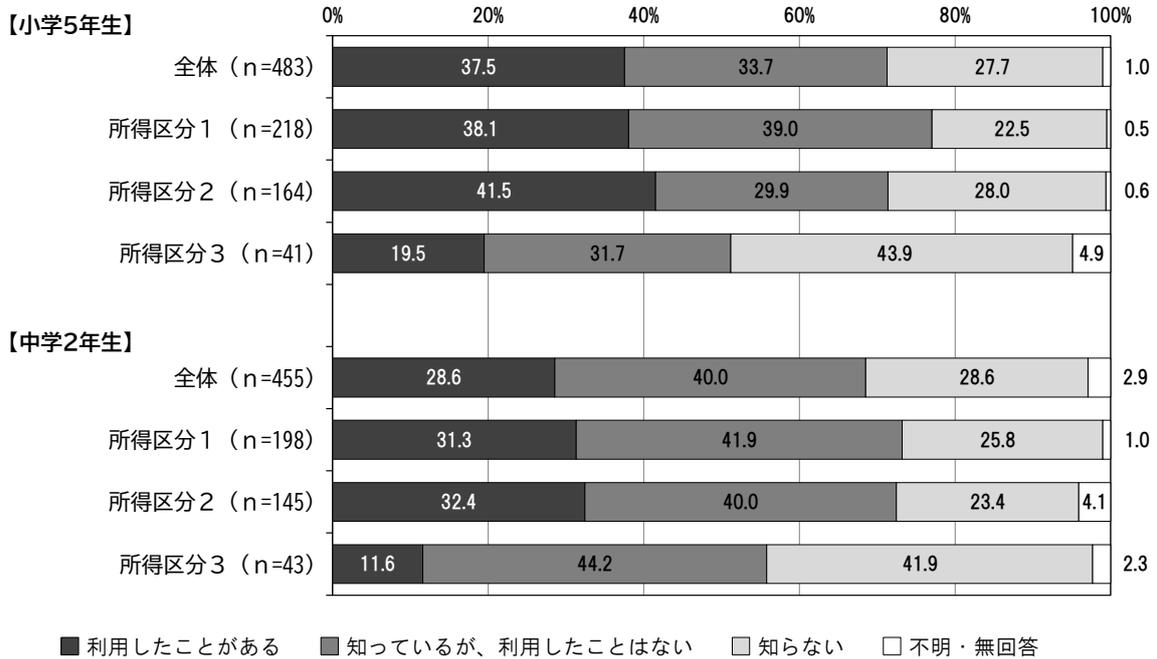
「利用したことがある」は、全体では、小学5年生で1件、中学2年生では、3件のみとなっています。経済状況による差はあまり見られません。全体では、「知らない」が6割を超えています。



■ 利用したことがある ■ 知っているが、利用したことはない □ 知らない □ 不明・無回答

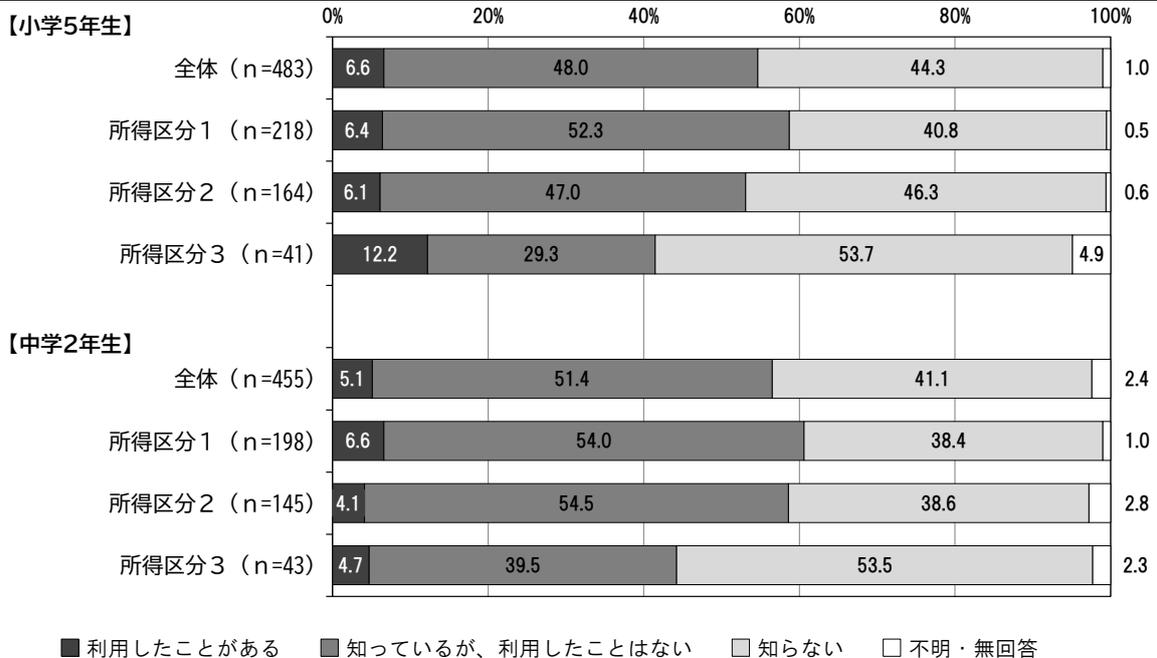
### C 地域子育て支援拠点事業

所得区分3では、「利用したことがある」が他の所得区分より少なく、「知らない」が多くなっています。



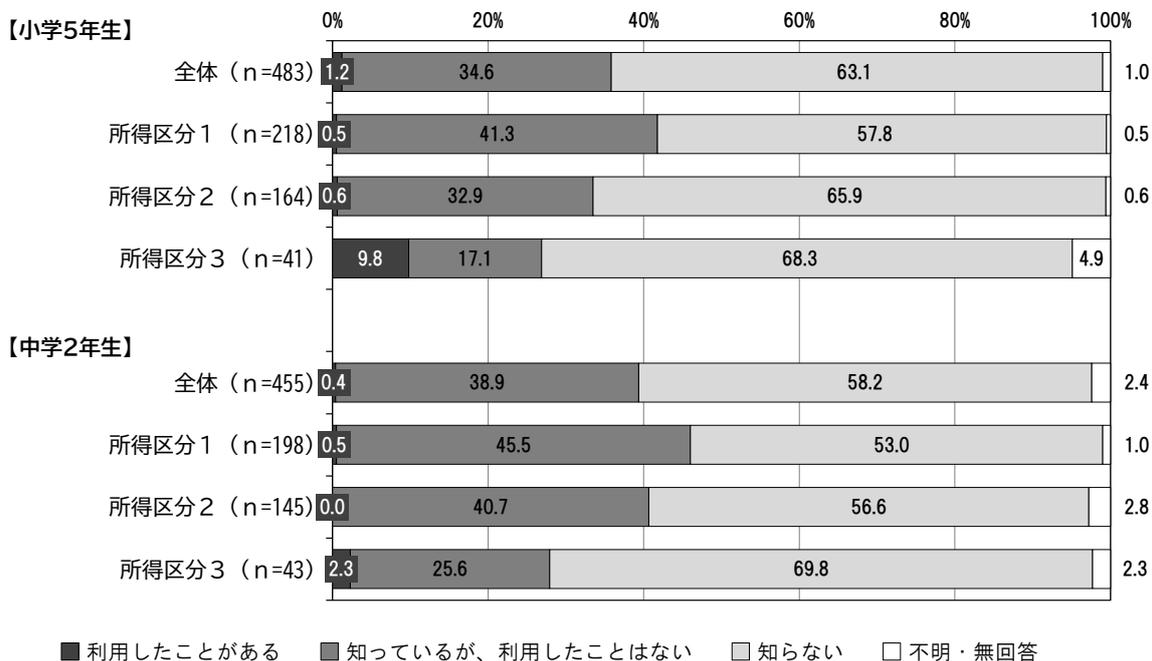
### D 子ども食堂・地域食堂など

小学5年生の所得区分3では、「利用したことがある」が12.2%で、他の所得区分より多くなっていますが、中学2年生では、所得区分による利用の差は見られません。一方で、いずれの学年も所得区分3では、「知らない」が5割を超えて多くなっています。



## E フードバンクによる食糧支援

小学5年生の所得区分3では、「利用したことがある」が9.8%で、他の所得区分より多くなっています。一方で、いずれの学年も所得の低い区分ほど「知らない」が多くなっています。



問44 現在、または将来的に、どのような子育て支援があるとよいと思いますか。(複数回答)

「安い家賃で住める住居」「生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）」「読み書き計算などの基本的な学習への支援」については、所得の低い区分ほど回答が多くなっています。一方で、「自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供」「会社などでの職場体験などの機会の提供」については、所得の高い区分ほど回答が多くなる傾向があります。

単位：％

		保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	安い家賃で住める住居	生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）	進路や生活などについてなんでも相談できる場所	自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供（子ども食堂、地域食堂なども含む）	読み書き計算などの基本的な学習への支援	進学や資格を取るための発展的な学習の支援	会社などでの職場体験などの機会の提供
小学5年生	全体（n=483）	45.3	27.3	48.0	31.9	50.1	38.7	32.3	48.4	36.6
	所得区分1（n=218）	50.9	16.5	37.6	32.1	57.3	43.6	33.9	46.8	41.3
	所得区分2（n=164）	37.8	29.9	54.9	29.9	44.5	32.3	26.8	49.4	31.1
	所得区分3（n=41）	46.3	61.0	78.0	39.0	39.0	46.3	43.9	56.1	34.1
中学2年生	全体（n=455）	34.7	27.5	48.4	29.0	32.7	30.5	22.6	50.1	37.8
	所得区分1（n=198）	42.4	22.7	42.9	29.8	37.4	34.8	19.7	47.0	40.4
	所得区分2（n=145）	28.3	24.1	50.3	22.8	31.7	22.8	23.4	48.3	36.6
	所得区分3（n=43）	30.2	48.8	60.5	46.5	18.6	39.5	32.6	58.1	32.6
		仕事に就けるようになるための就労に関する支援	進学や就職についての情報の提供	特になし	その他	不明・無回答				
小学5年生	全体（n=483）	28.0	42.2	3.5	4.1	1.2				
	所得区分1（n=218）	28.0	45.4	2.8	6.0	0.5				
	所得区分2（n=164）	24.4	43.3	3.0	1.2	2.4				
	所得区分3（n=41）	36.6	34.1	0.0	0.0	2.4				
中学2年生	全体（n=455）	27.3	42.9	5.3	4.8	2.4				
	所得区分1（n=198）	24.2	38.9	5.1	6.1	2.0				
	所得区分2（n=145）	24.8	48.3	6.9	4.1	0.7				
	所得区分3（n=43）	39.5	46.5	2.3	4.7	0.0				

### Ⅲ 子ども対象アンケート調査の結果

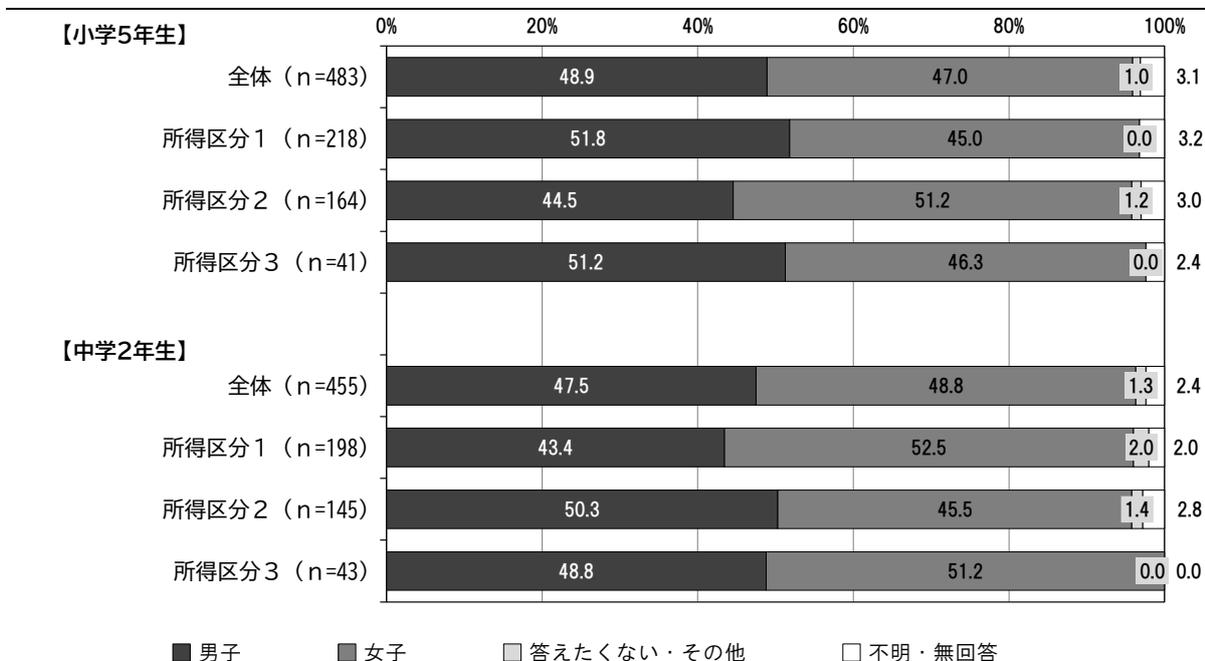
---

# 1. 子ども自身のことや子どもの生活について

※問1は子どもの学年を尋ねる質問。

問2 あなたの性別を教えてください。

全体では、男女はほぼ同数となっており、「答えたくない・その他」という回答は、小学5年生で1.0%、中学2年生で1.3%となっています。



問3 あなたは毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。(複数回答)

経済状況による差はあまり見られませんが、小学5年生の「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」については、所得の低い区分ほど回答が少ない傾向となっています。

単位：%

学年	区分	おうちの人と一緒に過ごしているとき	ともだちと一緒に過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に参加しているとき	ひとりで過ごしているとき	今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	塾や習いごとで過ごしているとき	特に楽しいと思うときはない	その他	不明・無回答
		小学5年生	全体 (n=483)	72.7	83.9	53.0	36.6	16.6	35.0	2.1
	所得区分1 (n=218)	72.9	82.6	57.8	38.5	20.6	41.7	0.5	9.6	4.6
	所得区分2 (n=164)	70.1	84.8	51.8	34.8	15.2	25.0	3.0	11.0	3.0
	所得区分3 (n=41)	73.2	82.9	43.9	43.9	9.8	34.1	4.9	14.6	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	52.7	81.8	50.1	49.5	7.5	15.6	0.7	7.0	2.6
	所得区分1 (n=198)	54.0	83.3	50.5	51.0	6.6	15.2	1.5	8.1	2.5
	所得区分2 (n=145)	51.7	80.0	54.5	48.3	10.3	17.9	0.0	6.2	2.8
	所得区分3 (n=43)	62.8	81.4	48.8	44.2	4.7	7.0	0.0	4.7	0.0

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。(複数回答)

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「おうちの人以外の大人」が少なくなっています。中学2年生では、所得の低い区分ほど「学校・放課後児童会などの学童保育・クラブ活動のともだち」が少なく、「ひとりである」がやや多くなっています。

単位：%

		おうちの大人の人 (お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)	おにいちゃん・おねえちゃん	妹・弟	おうちの人以外の大人(放課後児童会などの学童保育の指導員、クラブ活動の先生、近所の大人、塾や習いごとの先生など)	学校・放課後児童会などの学童保育・クラブ活動のともだち	学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)	ひとりである	その他	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	75.4	28.0	37.1	27.7	25.3	13.3	15.3	3.7	3.5
	所得区分1 (n=218)	74.3	28.4	34.9	37.6	27.1	14.2	15.6	1.8	4.1
	所得区分2 (n=164)	76.2	24.4	39.0	19.5	25.6	14.6	17.1	4.3	2.4
	所得区分3 (n=41)	70.7	19.5	39.0	7.3	22.0	4.9	14.6	9.8	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	66.4	27.7	32.5	25.3	41.8	10.3	22.0	1.3	2.9
	所得区分1 (n=198)	63.6	23.7	33.3	26.3	50.0	12.6	21.2	1.0	2.5
	所得区分2 (n=145)	67.6	29.0	35.2	21.4	33.8	6.2	22.8	0.7	3.4
	所得区分3 (n=43)	62.8	27.9	25.6	18.6	25.6	11.6	27.9	7.0	0.0

問5 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。(複数回答)

いずれの学年も、「塾・習い事」については、所得の低い区分ほど回答が少なく、中学2年生の「学校(クラブ活動など)」についても同様の傾向となっています。

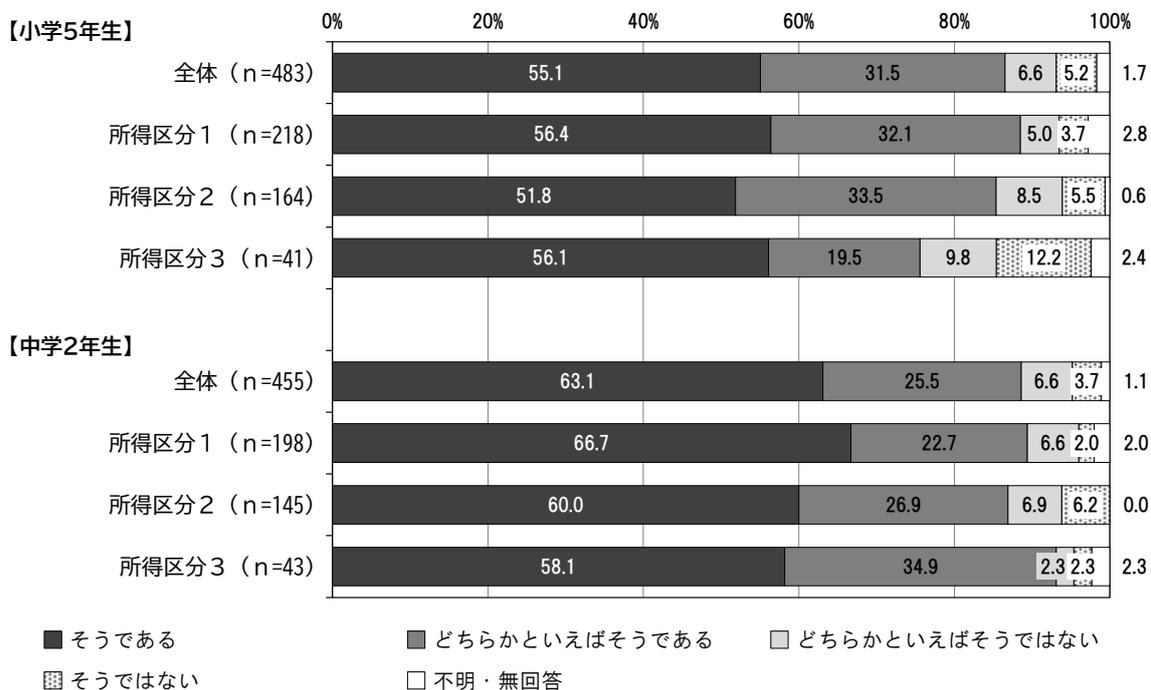
小学5年生の所得区分3では、他の所得区分より「自分の家」「ともだちの家」「公園・広場」がやや少なく、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」がやや多くなっています。中学2年生の所得区分3では、「ともだちの家」が多くなっています。

単位：%

		自分の家	おばあちゃん・おじいちゃんの家	親せきの家	ともだちの家	塾・習い事	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	コンビニエンスストア	
小学5年生	全体 (n=483)	89.6	13.0	1.0	21.9	47.6	5.2	35.4	4.1	2.5	
	所得区分1 (n=218)	87.6	13.3	0.5	22.9	59.2	6.4	36.7	3.7	2.8	
	所得区分2 (n=164)	93.9	11.0	1.8	24.4	37.8	3.0	40.2	6.1	1.2	
	所得区分3 (n=41)	80.5	19.5	0.0	17.1	26.8	4.9	24.4	0.0	2.4	
中学2年生	全体 (n=455)	92.1	4.8	0.4	11.9	37.6	51.6	8.8	7.0	3.5	
	所得区分1 (n=198)	88.9	6.6	0.5	11.1	43.4	56.6	6.1	6.6	3.5	
	所得区分2 (n=145)	95.9	3.4	0.7	10.3	34.5	49.7	12.4	6.2	4.8	
	所得区分3 (n=43)	90.7	4.7	0.0	23.3	20.9	46.5	7.0	4.7	2.3	
		ゲームセンター	図書館など公共の施設	子ども食堂など(同じ年頃の子どもが集まる地域の居場所)	放課後児童会などの学童保育	その他	不明・無回答				
小学5年生	全体 (n=483)	1.2	2.1	0.0	3.5	0.6	2.1				
	所得区分1 (n=218)	1.8	2.8	0.0	4.1	0.9	2.8				
	所得区分2 (n=164)	1.2	1.8	0.0	0.6	0.0	1.2				
	所得区分3 (n=41)	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	2.4				
中学2年生	全体 (n=455)	3.3	0.7	0.2	0.0	0.0	1.1				
	所得区分1 (n=198)	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0				
	所得区分2 (n=145)	4.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0				
	所得区分3 (n=43)	4.7	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3				

問6 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)ほぼ同じ時刻に起きていますか。

小学5年生では、所得の低い区分ほど「どちらかといえばそうではない」または「そうではない」が他の所得区分より多くなっています。



問7 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)何時に寝ていますか。

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「決まっていない」が多くなっています。また、小学5年生については、所得の低い区分ほど午後11時以降の回答が多い傾向となっています。

単位：%

		午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時より後	きまっていない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	4.1	28.8	40.2	13.5	2.5	0.2	8.3	2.5
	所得区分1 (n=218)	4.1	27.1	45.4	11.9	1.8	0.5	6.4	2.8
	所得区分2 (n=164)	3.7	28.7	40.9	13.4	3.0	0.0	8.5	1.8
	所得区分3 (n=41)	4.9	22.0	26.8	19.5	4.9	0.0	19.5	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	0.9	3.1	19.8	34.9	14.1	5.7	20.4	1.1
	所得区分1 (n=198)	0.0	3.0	17.7	37.9	18.2	6.6	14.6	2.0
	所得区分2 (n=145)	1.4	2.8	20.7	33.1	12.4	4.8	24.8	0.0
	所得区分3 (n=43)	0.0	2.3	23.3	23.3	9.3	4.7	34.9	2.3

問8 あなたは次の食事をどのくらいしていますか。

A 朝食

いずれの学年も、所得区分3では、「ほとんど毎日」がやや少なくなっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	89.2	3.1	1.9	0.8	0.2	1.7	1.7	1.4
	所得区分1 (n=218)	91.3	2.8	0.5	1.4	0.5	0.5	0.9	2.3
	所得区分2 (n=164)	88.4	3.7	3.0	0.6	0.0	1.8	1.8	0.6
	所得区分3 (n=41)	82.9	4.9	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	82.9	7.3	4.2	0.7	0.7	2.2	1.1	1.1
	所得区分1 (n=198)	82.8	6.1	2.0	1.0	0.5	4.0	1.5	2.0
	所得区分2 (n=145)	85.5	9.0	3.4	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0
	所得区分3 (n=43)	72.1	9.3	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

B 夕食

ほぼ全員が「ほとんど毎日」と回答しており、経済状況による差はあまり見られません。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	97.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
	所得区分1 (n=218)	97.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
	所得区分2 (n=164)	97.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	所得区分3 (n=41)	95.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9
中学2年生	全体 (n=455)	98.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	1.1
	所得区分1 (n=198)	97.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	所得区分2 (n=145)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	97.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

### C 夏休みや冬休みなどの学校が休みの日の昼食

いずれの学年も、所得区分3では、「毎日食べる」が少なくなっています。

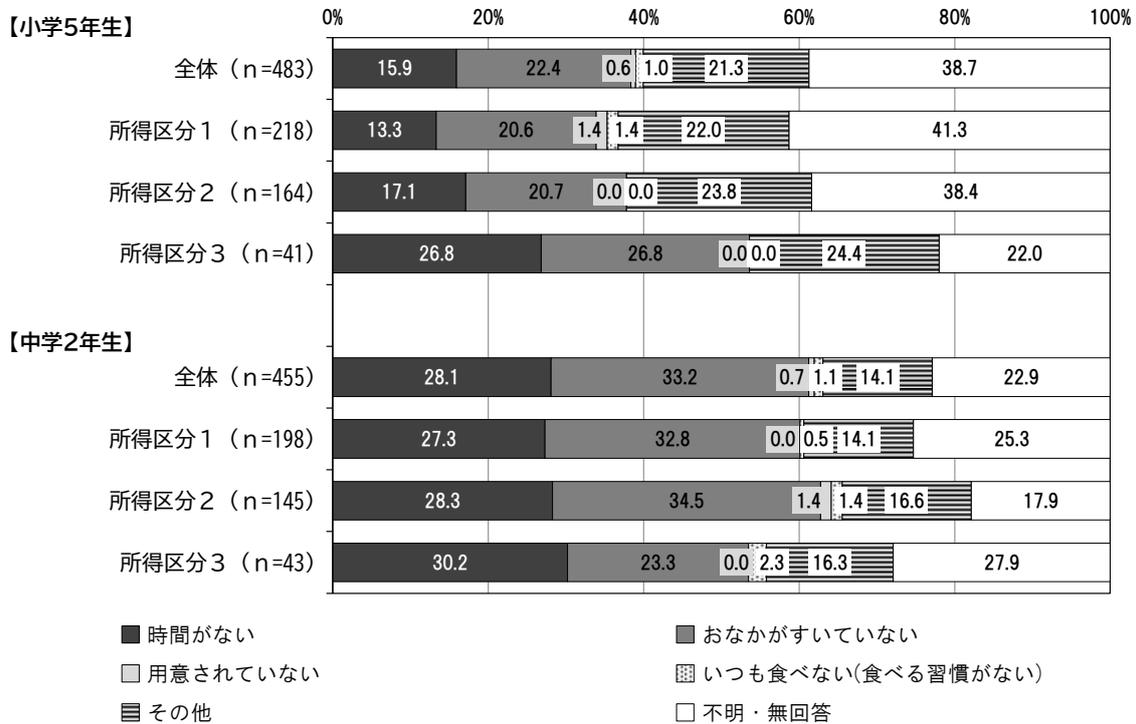
単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	93.8	3.1	0.6	0.0	0.0	0.2	0.0	2.3
	所得区分1 (n=218)	95.0	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
	所得区分2 (n=164)	94.5	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	所得区分3 (n=41)	78.0	9.8	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	7.3
中学2年生	全体 (n=455)	87.7	8.4	1.5	0.7	0.0	0.7	0.0	1.1
	所得区分1 (n=198)	86.9	8.6	1.0	1.0	0.0	0.5	0.0	2.0
	所得区分2 (n=145)	91.7	5.5	2.1	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	79.1	14.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3

問9 あなたが食事を食べないとき、その理由は何ですか。

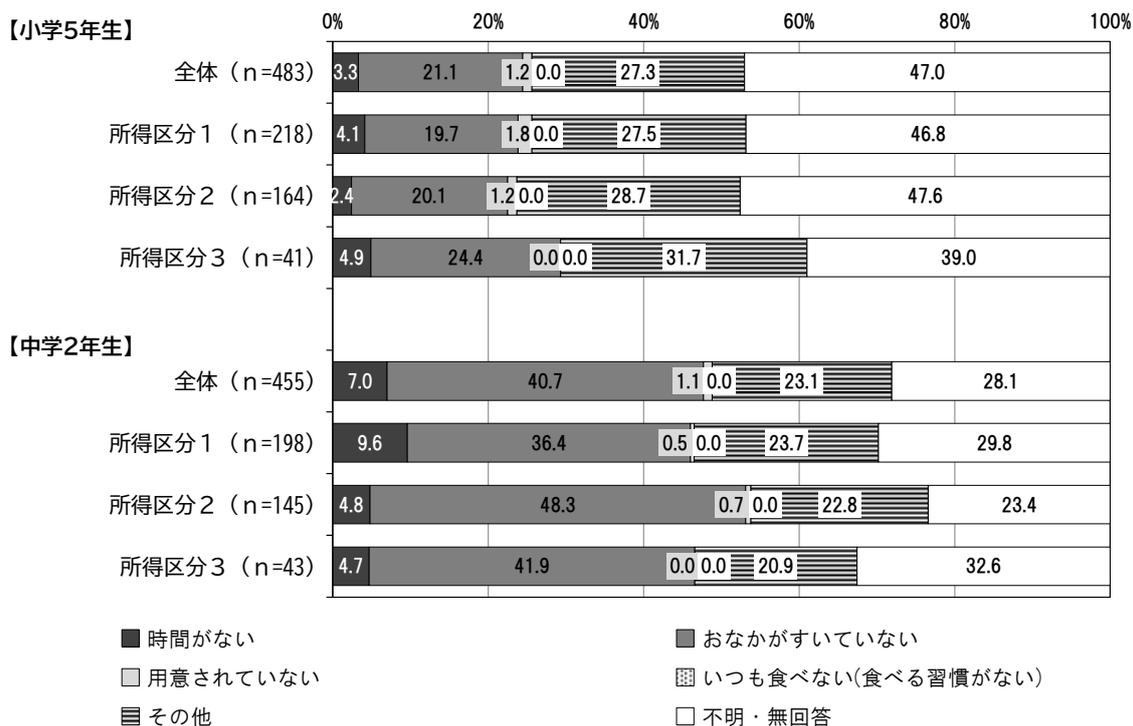
#### A 朝食

いずれの学年も、全体では、「おなかがすいていない」が最も多くなっています。



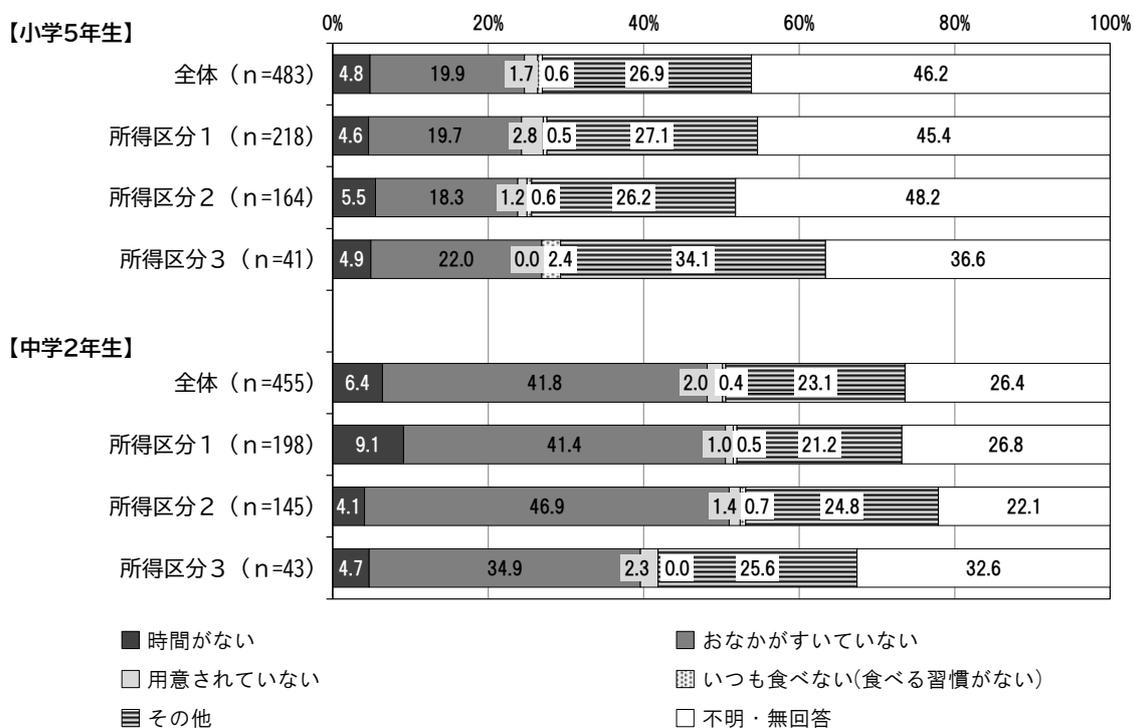
## B 夕食

いずれの学年も、全体では、「おなかがすいていない」が最も多くなっています。



## C 夏休みや冬休みなどの学校が休みの日の昼食

小学5年生では「その他」、中学2年生では「おなかがすいていない」が最も多くなっています。



問10 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。

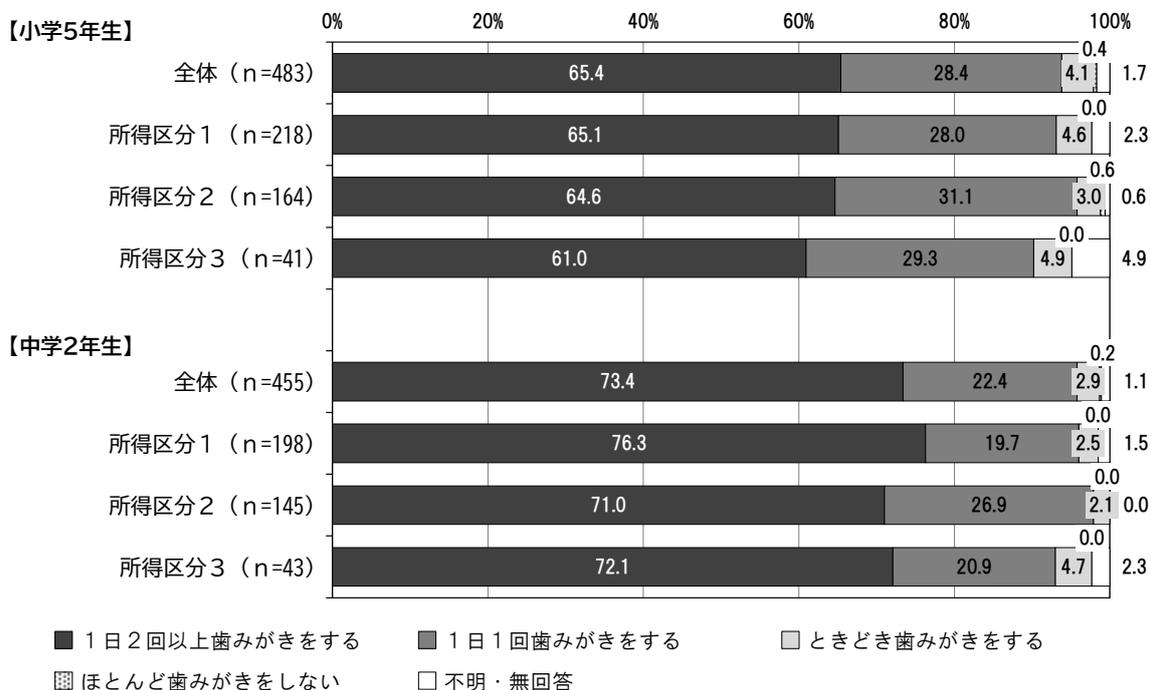
所得区分3では、「毎日またはほとんど毎日」がやや少なくなっています。

単位：％

		毎日またはほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	入らない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	96.1	1.4	0.8	0.0	0.0	1.7
	所得区分1 (n=218)	96.3	1.4	0.0	0.0	0.0	2.3
	所得区分2 (n=164)	97.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.6
	所得区分3 (n=41)	90.2	2.4	2.4	0.0	0.0	4.9
中学2年生	全体 (n=455)	95.8	2.2	0.4	0.2	0.0	1.3
	所得区分1 (n=198)	96.5	1.5	0.0	0.0	0.0	2.0
	所得区分2 (n=145)	95.9	2.8	0.7	0.7	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	90.7	4.7	2.3	0.0	0.0	2.3

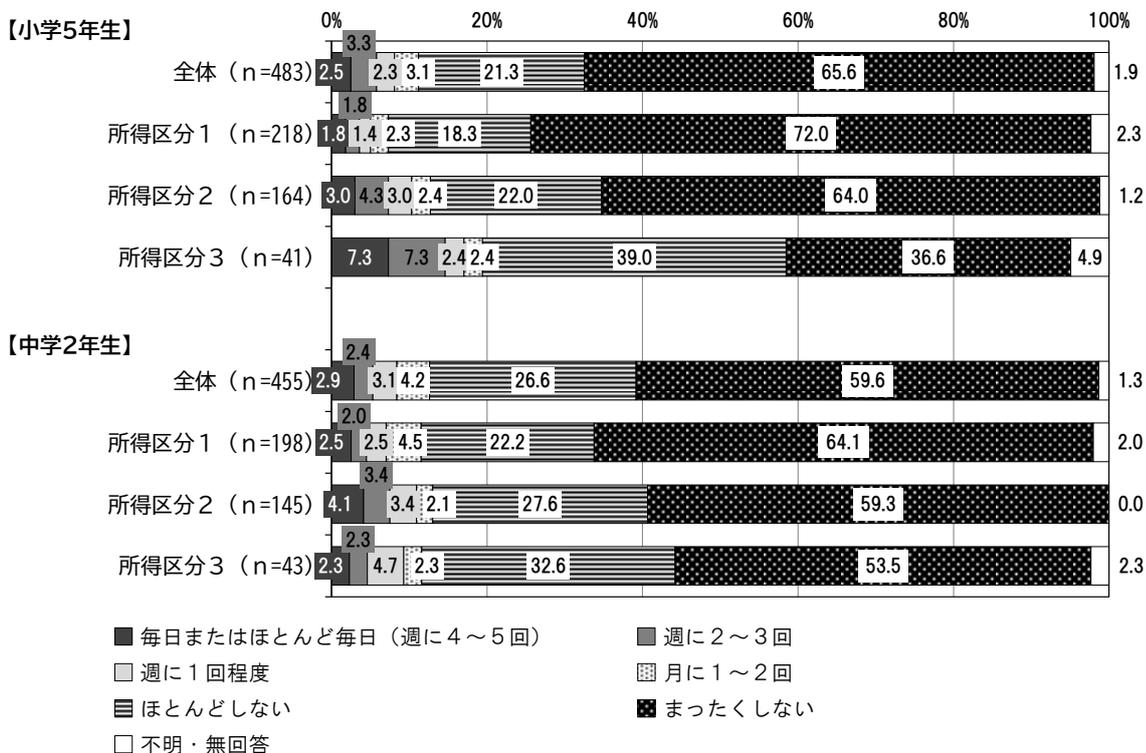
問11 あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。

全体では、小学5年生の65.4%、中学2年生の73.4%が、「1日2回以上歯みがきをする」と回答しており、経済状況による差はあまり見られません。



問12 あなたは、学校に遅刻することがありますか。

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「まったくしない」が少なくなっており、特に小学5年生で差が大きくなっています。



問13 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。

A おうちの大人の人と一緒に朝食を食べる

小学5年生の所得区分3では、「ほとんどない」「まったくない」がやや多くなっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	月に1~2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	52.0	4.6	11.4	7.0	3.1	12.8	7.9	1.2
	所得区分1 (n=218)	54.1	4.6	11.9	8.3	2.3	10.1	6.9	1.8
	所得区分2 (n=164)	51.2	5.5	11.0	6.7	4.3	12.2	7.9	1.2
	所得区分3 (n=41)	48.8	7.3	7.3	4.9	0.0	19.5	12.2	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	34.9	6.4	9.2	6.6	2.6	22.0	18.0	0.2
	所得区分1 (n=198)	35.4	7.6	7.6	8.6	1.0	23.2	16.7	0.0
	所得区分2 (n=145)	33.8	4.1	10.3	5.5	2.1	25.5	17.9	0.7
	所得区分3 (n=43)	37.2	9.3	7.0	4.7	2.3	23.3	16.3	0.0

## B おうちの大人の人と一緒に夕食を食べる

家庭の経済状況による差はあまり見られません。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	85.3	5.6	5.2	1.0	0.4	0.4	1.2	0.8
	所得区分1 (n=218)	83.0	5.0	7.3	0.5	0.9	0.0	1.4	1.8
	所得区分2 (n=164)	86.6	6.7	4.3	1.2	0.0	0.6	0.6	0.0
	所得区分3 (n=41)	82.9	9.8	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	72.1	12.1	8.4	1.3	0.7	3.1	2.2	0.2
	所得区分1 (n=198)	70.2	11.6	9.6	2.5	0.5	4.0	1.5	0.0
	所得区分2 (n=145)	71.7	11.7	8.3	0.7	1.4	2.1	3.4	0.7
	所得区分3 (n=43)	67.4	16.3	9.3	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0

## C おうちの大人の人に朝、おこしてもらう

小学5年生では、所得の低い区分ほど「ほとんど毎日」が多い傾向となっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	49.1	9.3	9.9	2.5	4.6	11.2	12.2	1.2
	所得区分1 (n=218)	45.0	11.9	10.6	2.3	2.8	11.5	13.8	2.3
	所得区分2 (n=164)	49.4	7.9	10.4	2.4	6.1	12.2	11.0	0.6
	所得区分3 (n=41)	56.1	2.4	7.3	4.9	4.9	14.6	9.8	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	40.2	11.4	9.9	5.7	4.8	13.8	13.2	0.9
	所得区分1 (n=198)	40.4	13.1	10.6	4.5	5.1	15.2	10.6	0.5
	所得区分2 (n=145)	42.1	11.0	6.9	6.2	4.1	14.5	15.2	0.0
	所得区分3 (n=43)	32.6	9.3	16.3	14.0	2.3	7.0	16.3	2.3

## D おうちの大人の人に宿題(勉強)を見てもらう

小学5年生の所得区分3では、他の所得区分より「まったくない」が多くなっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	24.0	8.1	9.3	6.6	7.0	27.1	15.7	2.1
	所得区分1 (n=218)	23.9	9.2	10.6	6.0	5.0	29.4	13.8	2.3
	所得区分2 (n=164)	24.4	8.5	8.5	7.9	9.8	23.8	15.2	1.8
	所得区分3 (n=41)	19.5	2.4	4.9	4.9	7.3	29.3	29.3	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	3.3	2.0	3.1	4.4	9.2	37.4	39.8	0.9
	所得区分1 (n=198)	3.5	1.0	2.5	4.0	11.1	39.9	37.4	0.5
	所得区分2 (n=145)	2.8	1.4	4.8	4.8	6.2	37.9	41.4	0.7
	所得区分3 (n=43)	4.7	4.7	0.0	7.0	16.3	32.6	34.9	0.0

## E おうちの大人の人と学校でのできごとについて話す

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「ほとんど毎日」または「週に4～5回」が少なく、全体的に頻度が低い傾向となっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	47.4	19.5	12.6	5.8	4.1	6.4	2.5	1.7
	所得区分1 (n=218)	45.0	23.4	12.8	4.1	3.2	6.9	2.8	1.8
	所得区分2 (n=164)	53.7	17.1	8.5	6.1	6.1	4.9	1.8	1.8
	所得区分3 (n=41)	39.0	9.8	22.0	9.8	4.9	9.8	4.9	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	30.3	20.4	16.0	9.7	5.5	10.3	7.3	0.4
	所得区分1 (n=198)	32.8	25.3	12.1	10.1	3.5	10.6	4.5	1.0
	所得区分2 (n=145)	26.9	19.3	15.9	8.3	7.6	11.7	10.3	0.0
	所得区分3 (n=43)	25.6	9.3	23.3	11.6	9.3	11.6	9.3	0.0

## F おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする

いずれの学年も、所得区分3では、「まったくない」が他の所得区分より多くなっています。ただ、小学5年生については、「ほとんど毎日」も多くなっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	14.5	5.6	17.4	14.5	17.0	21.1	8.3	1.7
	所得区分1 (n=218)	12.4	7.3	21.1	11.5	20.2	18.8	6.4	2.3
	所得区分2 (n=164)	15.2	3.0	14.0	15.2	17.1	24.4	9.8	1.2
	所得区分3 (n=41)	22.0	2.4	9.8	19.5	4.9	22.0	19.5	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	6.6	3.1	5.5	7.9	17.1	32.5	26.8	0.4
	所得区分1 (n=198)	7.1	4.5	5.1	9.6	15.2	31.3	26.8	0.5
	所得区分2 (n=145)	4.8	0.7	6.2	7.6	19.3	37.2	24.1	0.0
	所得区分3 (n=43)	4.7	7.0	4.7	2.3	20.9	27.9	32.6	0.0

## G おうちの大人の人と一緒に外出する(散歩する・買い物に行く・外食する など)

いずれの学年も、所得区分3では、「ほとんど毎日」が他の所得区分より多くなっています。所得の低い区分ほど回答のばらつきが大きい傾向となっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	13.5	6.4	36.4	23.4	14.9	2.9	0.8	1.7
	所得区分1 (n=218)	13.3	5.5	39.0	24.3	11.9	2.8	0.5	2.8
	所得区分2 (n=164)	12.8	7.9	36.0	21.3	16.5	2.4	1.8	1.2
	所得区分3 (n=41)	22.0	2.4	24.4	26.8	19.5	4.9	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	9.7	4.4	20.2	27.0	30.1	6.4	2.0	0.2
	所得区分1 (n=198)	9.6	5.1	19.2	30.8	29.3	5.6	0.5	0.0
	所得区分2 (n=145)	7.6	3.4	18.6	22.8	33.1	10.3	3.4	0.7
	所得区分3 (n=43)	14.0	4.7	23.3	16.3	32.6	2.3	7.0	0.0

問14 あなたが、家の手伝いなどのために、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならぬと感じることがあれば、その内容を答えてください。それほど大変だと感じる事がなければ、「それほど大変な手伝いや仕事はしていない」に○をつけてください。(複数回答)

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「それほど大変な手伝いや仕事はしていない」が少なくなっていますが、無回答の割合を考慮すると、大きな差ではありません。

単位：%

		お年寄りや障害のある家族・親せきの介護や介助(着替え・食事・お風呂・外出の手助けなど)	小さいきょうだいの身の回りのお世話(着替え(おむつ交換)・食事・お風呂のお世話、一緒に留守番など)	買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事	日本語が十分に話せない家族の通訳	家族の仕事の手伝い(家で仕事をする家族の手伝いや、家でしているお店の手伝いなど)	その他のお世話や仕事	それほど大変な手伝いや仕事はしていない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	0.0	3.7	6.6	0.2	4.8	1.7	79.1	7.5
	所得区分1 (n=218)	0.0	4.6	7.8	0.5	4.1	1.8	80.3	6.4
	所得区分2 (n=164)	0.0	3.0	6.1	0.0	3.0	1.8	81.7	6.1
	所得区分3 (n=41)	0.0	4.9	4.9	0.0	7.3	2.4	58.5	22.0
中学2年生	全体 (n=455)	0.4	2.6	6.6	0.0	2.4	0.4	82.2	7.9
	所得区分1 (n=198)	0.0	3.0	3.5	0.0	1.0	0.5	85.9	7.1
	所得区分2 (n=145)	0.7	2.8	9.7	0.0	4.1	0.7	77.9	9.0
	所得区分3 (n=43)	2.3	4.7	11.6	0.0	2.3	0.0	76.7	9.3

問15 問14で「それほど大変な手伝いや仕事はしていない」以外を選んだ人のみ 問14で選んだ手伝いや仕事を合計でどれくらいやっていますか。

いずれの学年も、「ほとんど毎日」が最も多くなっています。

単位：%

		ほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	月に1~2回	月に1回より少ない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=65)	35.4	7.7	20.0	15.4	7.7	3.1	10.8
	所得区分1 (n=29)	20.7	3.4	31.0	17.2	17.2	6.9	3.4
	所得区分2 (n=20)	55.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0
	所得区分3 (n=8)	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5
中学2年生	全体 (n=45)	55.6	11.1	17.8	6.7	4.4	2.2	2.2
	所得区分1 (n=14)	71.4	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=19)	52.6	10.5	26.3	0.0	0.0	5.3	5.3
	所得区分3 (n=6)	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0

問16 あなたのおうちでは、家族と次のようなことをすること(したこと)がありますか。(複数回答)

「博物館・美術館に行く」「コンサートや音楽会に行く」「ニュースについて話をする」「辞書やインターネットを活用してしらべものをする」「泊りがけで家族旅行に行く」については、おおむね所得の低い区分ほど回答が少なくなっています。

それ以外の項目（「小さいころに本や絵本を読んでもらった」「手作りのおやつを作る」「図書館に行く」「動物園・水族館に行く」「地域の行事に参加する」）についても、所得区分3の回答が他の所得区分より少なくなっています。

単位：%

		小さいころに本や絵本を読んでもらった	手作りのおやつを作る	図書館に行く	動物園・水族館に行く	博物館・美術館に行く	コンサートや音楽会に行く	ニュースについて話をする	辞書やインターネットを活用してしらべものをする	地域の行事に参加する
小学5年生	全体 (n=483)	82.2	74.3	68.1	88.2	45.3	32.7	66.7	57.1	53.2
	所得区分1 (n=218)	85.8	75.7	74.3	88.1	52.3	39.0	73.4	64.7	56.9
	所得区分2 (n=164)	81.7	75.0	68.9	92.1	41.5	33.5	66.5	53.7	53.0
	所得区分3 (n=41)	70.7	61.0	43.9	78.0	29.3	19.5	51.2	39.0	31.7
中学2年生	全体 (n=455)	76.5	65.1	61.1	82.4	44.0	36.9	67.9	44.0	50.8
	所得区分1 (n=198)	80.3	67.2	64.1	84.3	43.9	43.4	71.2	49.5	52.5
	所得区分2 (n=145)	80.0	64.8	62.8	82.8	45.5	29.0	66.9	42.8	54.5
	所得区分3 (n=43)	51.2	55.8	44.2	67.4	25.6	30.2	62.8	32.6	34.9

		泊りがけで家族旅行に行く	あてはまるものはない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	83.2	0.6	1.2
	所得区分1 (n=218)	87.6	0.5	2.3
	所得区分2 (n=164)	82.9	0.0	0.6
	所得区分3 (n=41)	61.0	2.4	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	83.7	3.1	1.1
	所得区分1 (n=198)	89.4	1.0	0.5
	所得区分2 (n=145)	78.6	3.4	1.4
	所得区分3 (n=43)	69.8	2.3	2.3

問17 今、あなたには、いやなことや悩んでいることはありますか。(複数回答)

いずれの学年も、所得区分3では、「学校や勉強のこと」が他の所得区分よりやや多くなっています。また、中学2年生の所得区分3では、「おうちのこと」がやや多い一方で、「進学・進路のこと」がやや少なく、「嫌なことや悩んでいることはない」が多くなっています。

単位：%

		おうちのこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	SNSでのトラブル	その他のこと
小学5年生	全体 (n=483)	4.8	15.7	1.0	9.5	16.1	5.6	2.9	0.6	1.7
	所得区分1 (n=218)	5.0	17.0	0.5	9.6	17.4	5.0	4.1	0.0	0.0
	所得区分2 (n=164)	6.1	14.0	1.2	10.4	13.4	7.9	3.0	1.2	3.7
	所得区分3 (n=41)	0.0	22.0	2.4	9.8	12.2	2.4	0.0	2.4	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	6.6	33.8	15.4	18.7	17.1	6.4	22.0	0.7	0.4
	所得区分1 (n=198)	4.5	33.3	16.2	16.2	16.2	4.5	23.7	0.5	0.0
	所得区分2 (n=145)	6.9	33.8	16.6	22.1	16.6	6.9	22.8	1.4	0.0
	所得区分3 (n=43)	11.6	39.5	16.3	23.3	18.6	9.3	14.0	0.0	4.7

		いやなことや悩んでいることはない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	62.1	2.9
	所得区分1 (n=218)	60.6	3.2
	所得区分2 (n=164)	64.0	1.8
	所得区分3 (n=41)	61.0	2.4
中学2年生	全体 (n=455)	48.1	1.3
	所得区分1 (n=198)	44.4	1.5
	所得区分2 (n=145)	49.0	1.4
	所得区分3 (n=43)	55.8	0.0

問18 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、誰かに相談しますか(だれに話しますか)。  
(複数回答)

いずれの学年も、所得区分3では、「学校のともだち」が他の所得区分より少なくなっています。中学2年生では、「お母さん・お父さん」が所得区分1で多く、「担任の先生や他のクラスの先生」が所得区分3で多くなっています。

単位：％

		お母さん・お父さん	きょうだい	おじいちゃん・おばあちゃん	おじさん・おばさん	いとこ	学校のともだち	塾や習いごとのともだち	その他のともだち	担任の先生や他のクラスの先生
小学5年生	全体 (n=483)	72.3	20.9	17.6	3.3	5.6	54.5	8.9	4.1	36.6
	所得区分1 (n=218)	72.9	22.5	18.3	5.0	7.3	58.3	11.9	5.0	40.8
	所得区分2 (n=164)	72.0	20.1	14.6	1.8	5.5	56.7	4.9	3.7	35.4
	所得区分3 (n=41)	75.6	4.9	22.0	0.0	2.4	39.0	4.9	2.4	29.3
中学2年生	全体 (n=455)	52.1	17.6	8.8	1.5	3.5	55.4	5.3	7.3	22.0
	所得区分1 (n=198)	59.1	17.7	10.1	1.0	4.0	56.6	7.1	8.6	22.7
	所得区分2 (n=145)	48.3	16.6	8.3	1.4	1.4	56.6	4.1	6.2	17.2
	所得区分3 (n=43)	44.2	18.6	4.7	2.3	11.6	46.5	2.3	4.7	39.5
		保健室の先生	クラブ活動の先生	スクールカウンセラー	塾や習いごとの先生	放課後児童会など学童保育の先生(指導員)	子ども専用の電話相談	インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	近所の人	地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)
小学5年生	全体 (n=483)	3.9	0.4	2.5	3.9	1.0	0.8	0.2	2.1	0.0
	所得区分1 (n=218)	5.5	0.5	3.2	3.7	0.9	0.5	0.0	2.3	0.0
	所得区分2 (n=164)	1.2	0.0	0.6	3.7	1.2	1.2	0.0	1.2	0.0
	所得区分3 (n=41)	7.3	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0
中学2年生	全体 (n=455)	1.5	3.7	2.9	3.1	0.2	0.0	2.9	0.2	0.0
	所得区分1 (n=198)	1.5	2.0	2.5	3.5	0.0	0.0	3.0	0.5	0.0
	所得区分2 (n=145)	1.4	4.1	2.8	2.8	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0
	所得区分3 (n=43)	0.0	9.3	2.3	4.7	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0
		その他の人	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	わからない	不明・無回答				
小学5年生	全体 (n=483)	0.8	2.3	5.4	4.8	3.3				
	所得区分1 (n=218)	0.5	1.4	5.0	5.5	4.1				
	所得区分2 (n=164)	0.6	2.4	5.5	2.4	1.8				
	所得区分3 (n=41)	4.9	4.9	12.2	7.3	0.0				
中学2年生	全体 (n=455)	0.9	4.8	9.0	13.2	1.1				
	所得区分1 (n=198)	0.5	4.0	6.6	11.6	1.5				
	所得区分2 (n=145)	2.1	5.5	9.7	15.2	0.0				
	所得区分3 (n=43)	0.0	9.3	9.3	11.6	2.3				

問19 あなたが持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(複数回答)

「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」「マンガ・雑誌」「子ども部屋」「パソコン」「習い事などの道具」「自分で選んだ服」については、小学5年生では、所得区分3で他の所得区分より回答が少なく、中学2年生では、所得の低い区分ほど回答が少なくなっています。

単位：%

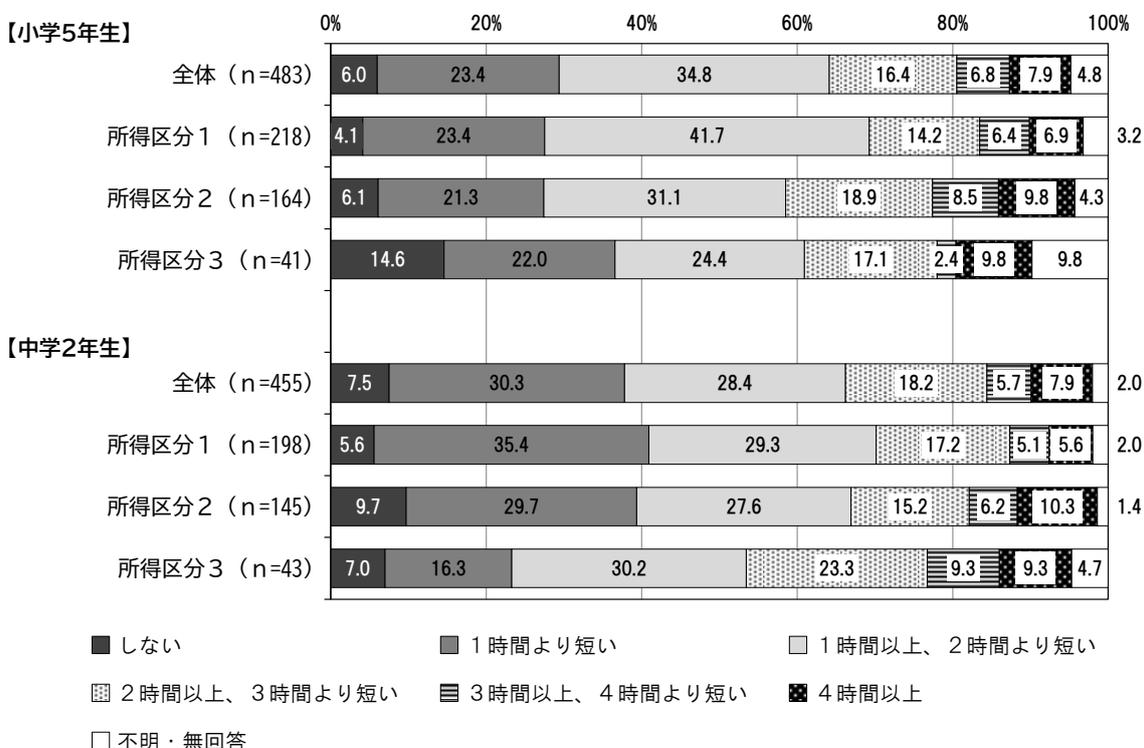
		本(学校の教科書やマンガはのぞく)	マンガ・雑誌	子ども部屋(ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など)	パソコン	スポーツ用品(ボール・ラケットなど)	ゲーム機	自転車	テレビ	けいたい電話・スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(LINE)やSNSなどできるもの)
小学5年生	全体(n=483)	78.9	74.9	69.8	56.5	71.4	87.0	92.8	83.2	73.5
	所得区分1(n=218)	81.7	79.4	69.7	56.9	71.6	85.8	94.0	83.9	76.6
	所得区分2(n=164)	81.7	81.1	72.0	61.6	75.6	92.1	94.5	87.8	74.4
	所得区分3(n=41)	65.9	53.7	61.0	43.9	61.0	82.9	92.7	75.6	73.2
中学2年生	全体(n=455)	79.6	82.0	82.6	60.0	80.0	88.1	93.8	83.3	93.2
	所得区分1(n=198)	88.9	86.4	88.9	66.2	83.3	88.9	94.9	82.8	92.9
	所得区分2(n=145)	73.8	78.6	78.6	60.7	79.3	87.6	93.8	86.2	94.5
	所得区分3(n=43)	62.8	72.1	65.1	39.5	67.4	86.0	88.4	72.1	88.4

		化粧品・アクセサリ	習い事などの道具(楽器・ユニフォーム・そろばんなど習いごとで必要なもの)	自分で選んだ服	キャラクターグッズ	あてはまるものはない	不明・無回答
小学5年生	全体(n=483)	29.4	72.3	76.0	76.6	0.0	3.7
	所得区分1(n=218)	28.4	76.6	76.6	78.0	0.0	3.7
	所得区分2(n=164)	31.7	72.0	77.4	80.5	0.0	0.6
	所得区分3(n=41)	34.1	48.8	70.7	68.3	0.0	7.3
中学2年生	全体(n=455)	42.0	73.0	80.9	71.0	0.0	1.5
	所得区分1(n=198)	47.5	79.3	87.9	75.3	0.0	2.0
	所得区分2(n=145)	36.6	68.3	74.5	67.6	0.0	0.7
	所得区分3(n=43)	39.5	55.8	72.1	65.1	0.0	4.7

問20 あなたは、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間テレビをみたりゲームをしたりインターネット等を利用したりしますか。

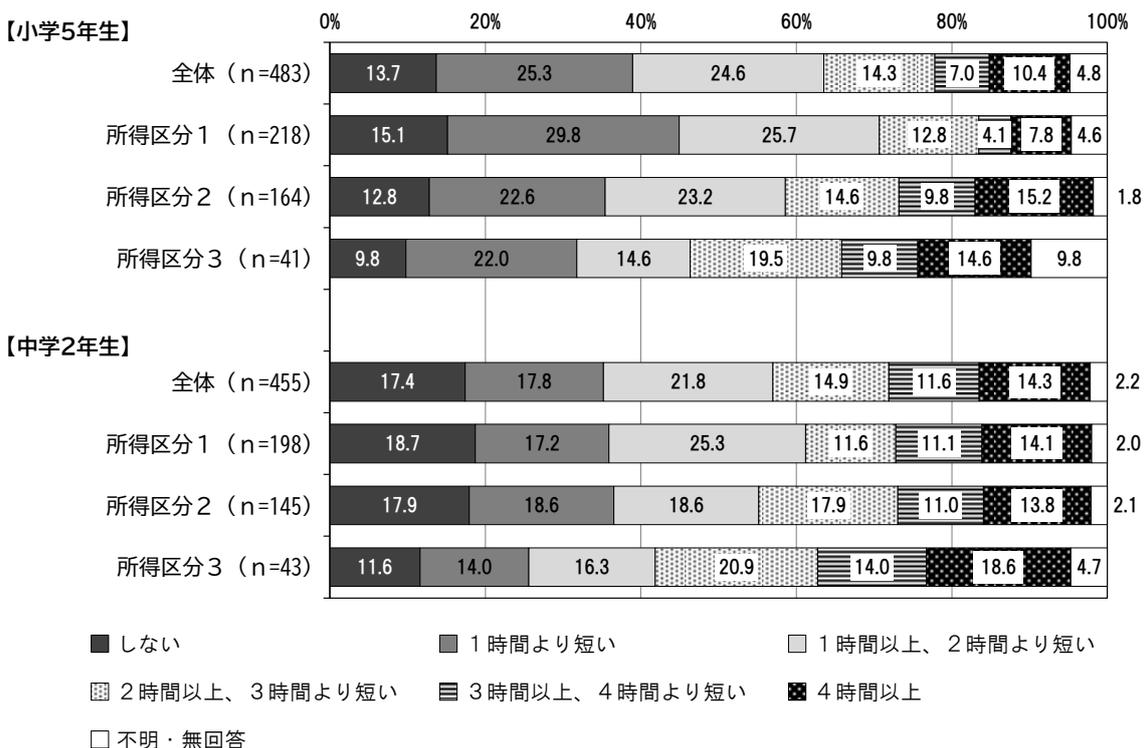
### A テレビ・DVDをみる

小学5年生では、所得区分3で「しない」がやや多く、中学2年生では、所得区分3で「しない」または「1時間より短い」が少なくなっています。



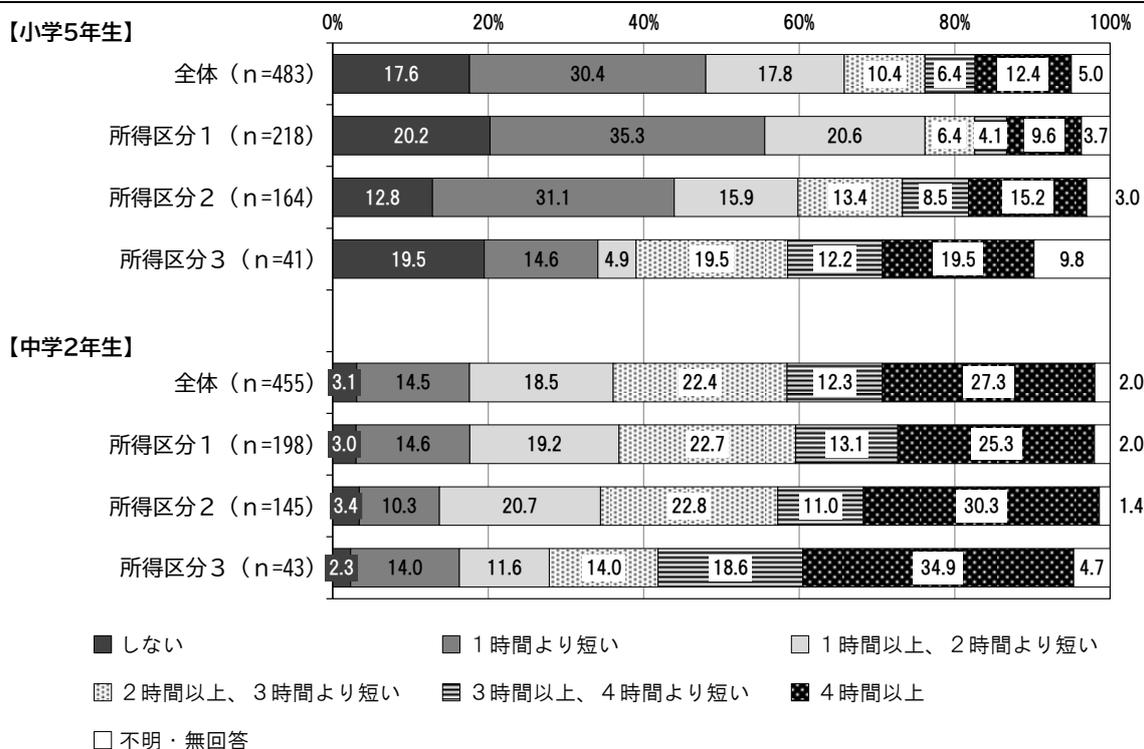
### B ゲームをして遊ぶ

いずれの学年も、所得の低い区分ほど2時間より短い回答が少なく、2時間以上の回答が多くなっており、ゲームをして遊ぶ時間が長い傾向が見られます。



### C インターネット・電話・メール・LINE 等をする(動画サイトをみることも含む)

小学5年生では、所得の低い区分ほど長時間の回答が多い傾向となっています。中学2年生についても同様に、所得の低い区分ほど「4時間以上」の回答が多く、全体的に長時間の回答が多い傾向となっています。



## 2. 学習について

問21 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。(複数回答)

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「塾で勉強する」が少なく、所得区分3では「学校の授業以外で勉強はしない」が他の所得区分より多くなっています。

小学5年生の所得区分3では、「おうちの人に教えてもらう」「ともだちと勉強する」についても、他の所得区分より少なくなっています。

単位：%

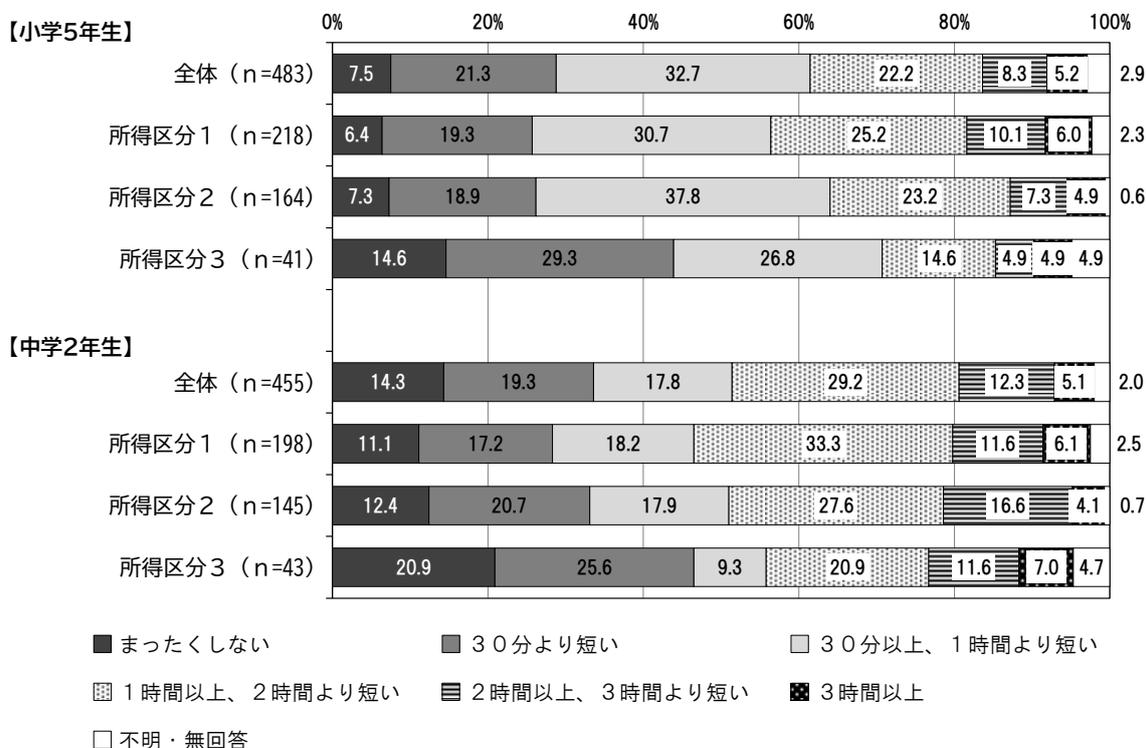
		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	おうちの人に教えてもらう	ともだちと勉強する	その他
小学5年生	全体 (n=483)	58.6	36.0	3.7	0.6	0.0	44.9	23.8	8.1
	所得区分1 (n=218)	60.6	42.7	3.2	0.5	0.0	48.6	26.1	7.8
	所得区分2 (n=164)	60.4	32.9	3.0	0.0	0.0	47.0	26.8	10.4
	所得区分3 (n=41)	58.5	22.0	9.8	0.0	0.0	29.3	14.6	4.9
中学2年生	全体 (n=455)	67.0	51.9	7.3	1.8	0.0	21.1	26.6	3.1
	所得区分1 (n=198)	68.2	61.1	6.1	1.0	0.0	24.2	26.8	3.5
	所得区分2 (n=145)	66.9	49.0	4.1	2.1	0.0	17.2	24.8	2.8
	所得区分3 (n=43)	58.1	34.9	14.0	4.7	0.0	16.3	32.6	0.0

		学校の授業以外で勉強はしない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	11.2	3.7
	所得区分1 (n=218)	8.3	3.2
	所得区分2 (n=164)	9.1	1.8
	所得区分3 (n=41)	22.0	7.3
中学2年生	全体 (n=455)	7.3	2.0
	所得区分1 (n=198)	5.1	2.0
	所得区分2 (n=145)	5.5	2.1
	所得区分3 (n=43)	18.6	4.7

問22 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

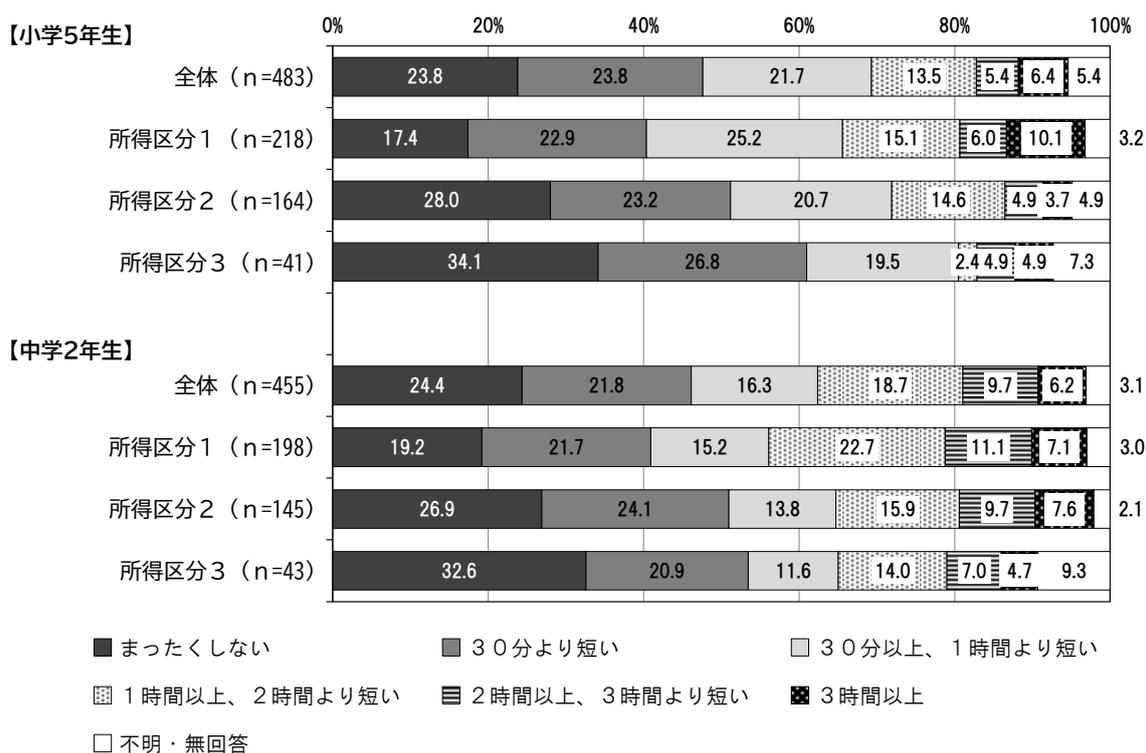
A 学校がある日(月～金曜日)

いずれの学年も、所得区分3で「まったくしない」「30分より短い」が他の所得区分より多く、全体的に勉強時間が短くなっています。



B 学校がない日(土・日曜日・祝日)

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「まったくしない」が多く、全体的に勉強時間が短くなっています。



問23 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます)

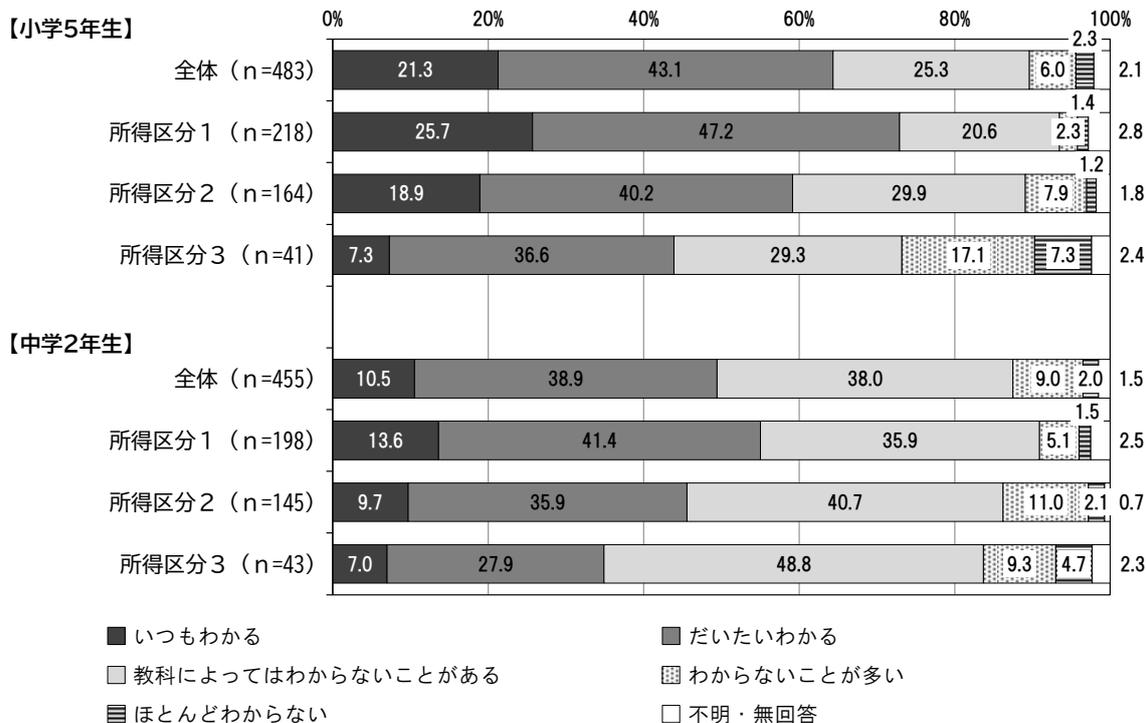
いずれの学年も、所得区分3で「全くしない」が他の所得区分より多くなっています。

単位：%

		まったくしない	30分より短い	30分以上、1時間より短い	1時間以上、2時間より短い	2時間以上、3時間より短い	3時間以上	わからない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=483)	35.4	27.3	15.1	5.8	2.5	1.4	9.1	3.3
	所得区分1 (n=218)	34.4	24.8	20.6	7.3	1.8	0.5	7.8	2.8
	所得区分2 (n=164)	32.3	32.9	10.4	6.1	3.0	2.4	11.6	1.2
	所得区分3 (n=41)	41.5	19.5	14.6	4.9	2.4	0.0	9.8	7.3
中学2年生	全体 (n=455)	51.0	18.2	9.7	5.7	1.3	2.0	9.9	2.2
	所得区分1 (n=198)	49.5	15.2	10.6	7.6	2.0	2.0	11.1	2.0
	所得区分2 (n=145)	49.7	24.8	9.0	4.8	1.4	1.4	6.9	2.1
	所得区分3 (n=43)	60.5	11.6	7.0	4.7	0.0	4.7	7.0	4.7

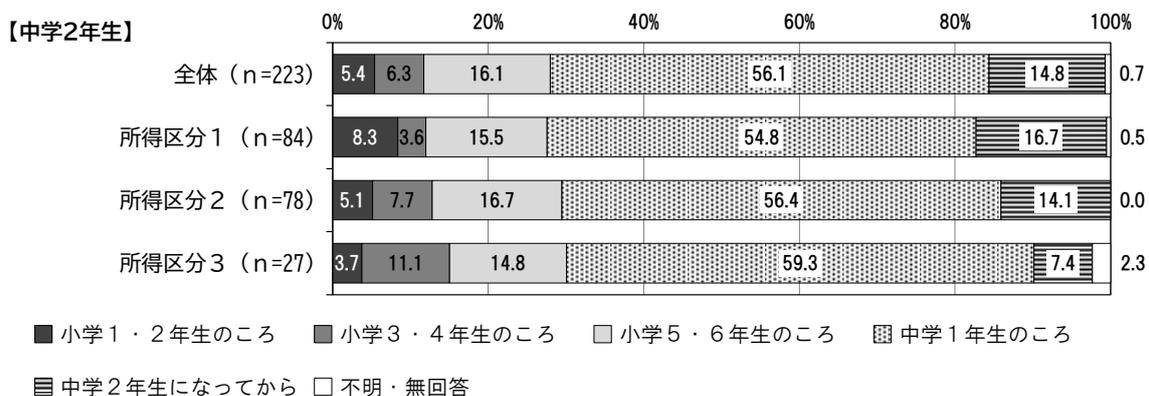
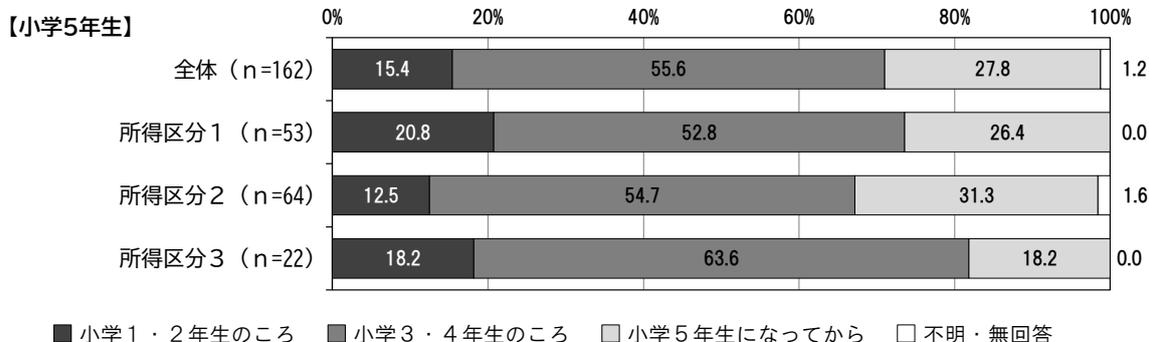
問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「いつもわかる」が少なく、「わからないことが多い」または「ほとんどわからない」が多くなっています。



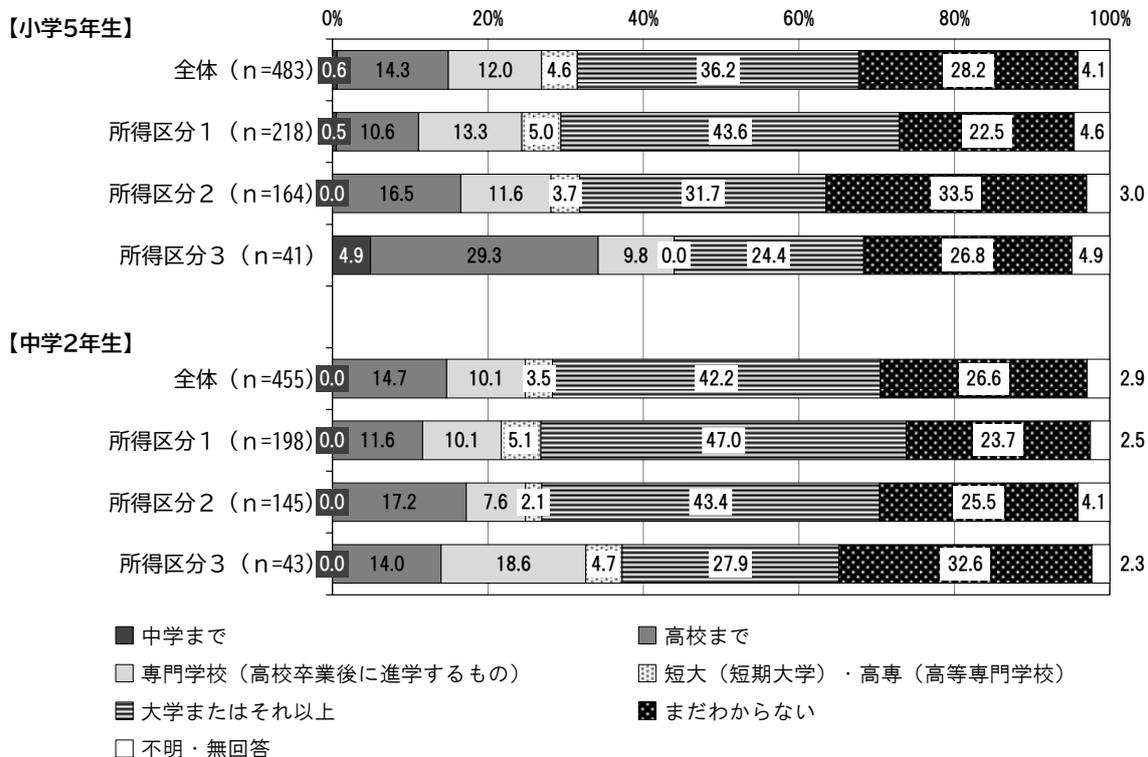
問25 問24で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」を選んだ人のみ いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

授業がわからないことがあるようになった時期について、小学5年生の「小学5年生になってから」、中学2年生の「中学2年生になってから」は、所得区分3で最も少なくなっており、より早い段階から授業がわからなくなっている傾向が見られます。



## 問26 あなたは、将来、どの学校まで行きたいですか。

所得の低い区分ほど「大学またはそれ以上」が少なく、「高校まで」または「専門学校（高校卒業後に進学するもの）」が多くなっています。



問27 問26で「まだわからない」以外を選んだ人のみ その理由を教えてください。(複数回答)

進学希望の理由について、小学5年生の所得区分3では、「希望する学校や職業があるから」「自分の成績から考えて」「おうちの大人の人がそう言っているから」が少なく、「家にお金がないと思うから」がやや多くなっています。

中学2年生の所得区分3では、「希望する学校や職業があるから」「自分の成績から考えて」が少なく、「おうちの大人の人がそう言っているから」「まわりの先輩やともだちがそうしているから」がやや多くなっています。

単位：%

		希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	おうちの大人の人がそう言っているから	おにいちゃん・おねえちゃんがそうしているから	まわりの先輩やともだちがそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他
小学5年生	全体 (n=327)	55.4	14.7	19.9	4.9	2.4	4.3	2.8	6.4
	所得区分1 (n=159)	58.5	17.6	25.2	4.4	2.5	4.4	3.1	5.0
	所得区分2 (n=104)	55.8	12.5	18.3	5.8	2.9	2.9	1.9	8.7
	所得区分3 (n=28)	39.3	10.7	10.7	7.1	3.6	10.7	3.6	7.1
中学2年生	全体 (n=321)	48.0	19.6	24.6	5.9	6.9	1.6	4.0	5.9
	所得区分1 (n=146)	53.4	22.6	24.0	5.5	8.2	0.0	2.7	4.1
	所得区分2 (n=102)	41.2	20.6	23.5	5.9	4.9	2.9	3.9	8.8
	所得区分3 (n=28)	39.3	7.1	39.3	10.7	14.3	7.1	7.1	7.1

		特に理由はない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=327)	17.4	1.8
	所得区分1 (n=159)	13.2	1.9
	所得区分2 (n=104)	16.3	1.9
	所得区分3 (n=28)	32.1	0.0
中学2年生	全体 (n=321)	22.4	1.2
	所得区分1 (n=146)	17.8	2.1
	所得区分2 (n=102)	24.5	1.0
	所得区分3 (n=28)	21.4	0.0

### 3. ふだん考えていることなどについて

問28 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。

いずれの学年も、全体では「10」が最も多く、平均は小学5年生で7.9、中学2年生で7.0となっています。所得区分別の平均は、いずれの学年も所得区分3で最も低くなっています。

単位：%

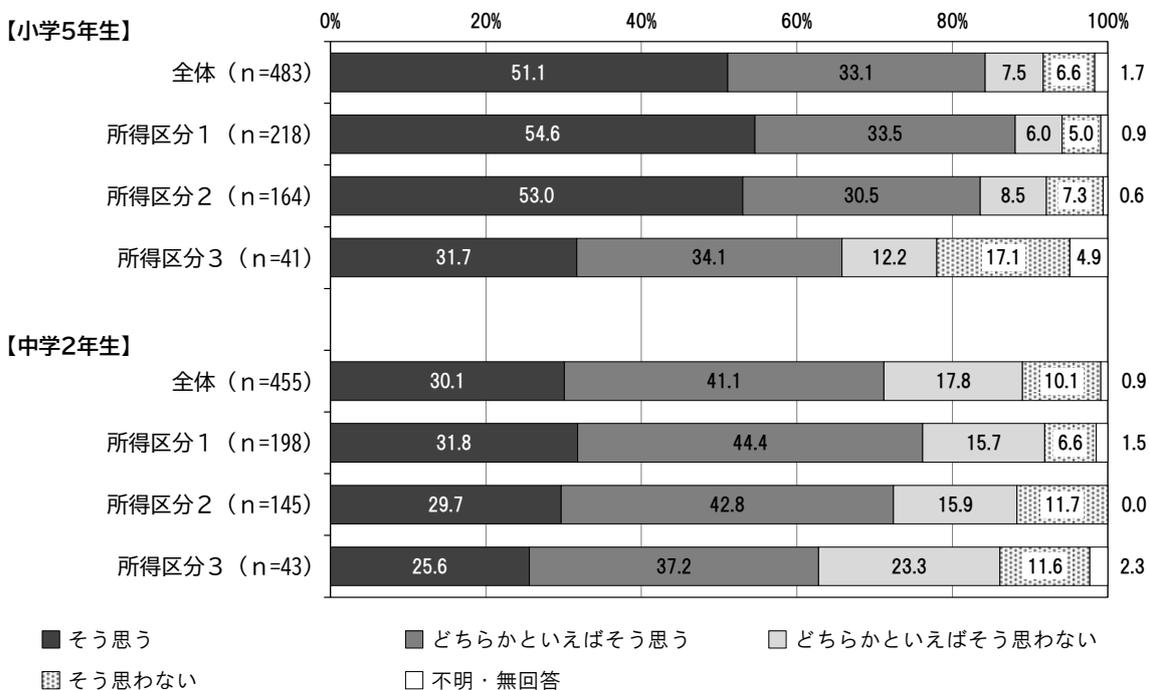
		0	1	2	3	4	5	6	7	8
小学5年生	全体 (n=483)	0.4	1.2	0.4	2.9	2.7	9.1	5.8	11.8	15.3
	所得区分1 (n=218)	0.5	1.4	0.0	2.8	1.8	7.8	3.7	11.5	18.8
	所得区分2 (n=164)	0.0	1.2	0.6	3.7	2.4	11.6	9.1	11.6	12.8
	所得区分3 (n=41)	2.4	2.4	2.4	2.4	7.3	4.9	4.9	9.8	12.2
中学2年生	全体 (n=455)	2.0	1.5	1.8	2.6	5.5	11.9	9.0	15.8	16.9
	所得区分1 (n=198)	2.0	0.5	1.0	2.0	4.5	13.1	9.1	18.2	17.7
	所得区分2 (n=145)	0.7	3.4	1.4	3.4	9.0	9.7	6.9	13.1	15.9
	所得区分3 (n=43)	4.7	2.3	7.0	2.3	2.3	7.0	14.0	20.9	18.6

		9	10	不明・無回答	平均点
小学5年生	全体 (n=483)	11.6	36.0	2.7	7.9
	所得区分1 (n=218)	12.4	37.2	2.3	8.1
	所得区分2 (n=164)	9.8	36.0	1.2	7.8
	所得区分3 (n=41)	7.3	34.1	9.8	7.4
中学2年生	全体 (n=455)	13.0	17.1	2.9	7.0
	所得区分1 (n=198)	12.6	15.2	4.0	7.1
	所得区分2 (n=145)	11.7	23.4	1.4	7.1
	所得区分3 (n=43)	9.3	9.3	2.3	6.4

問29 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

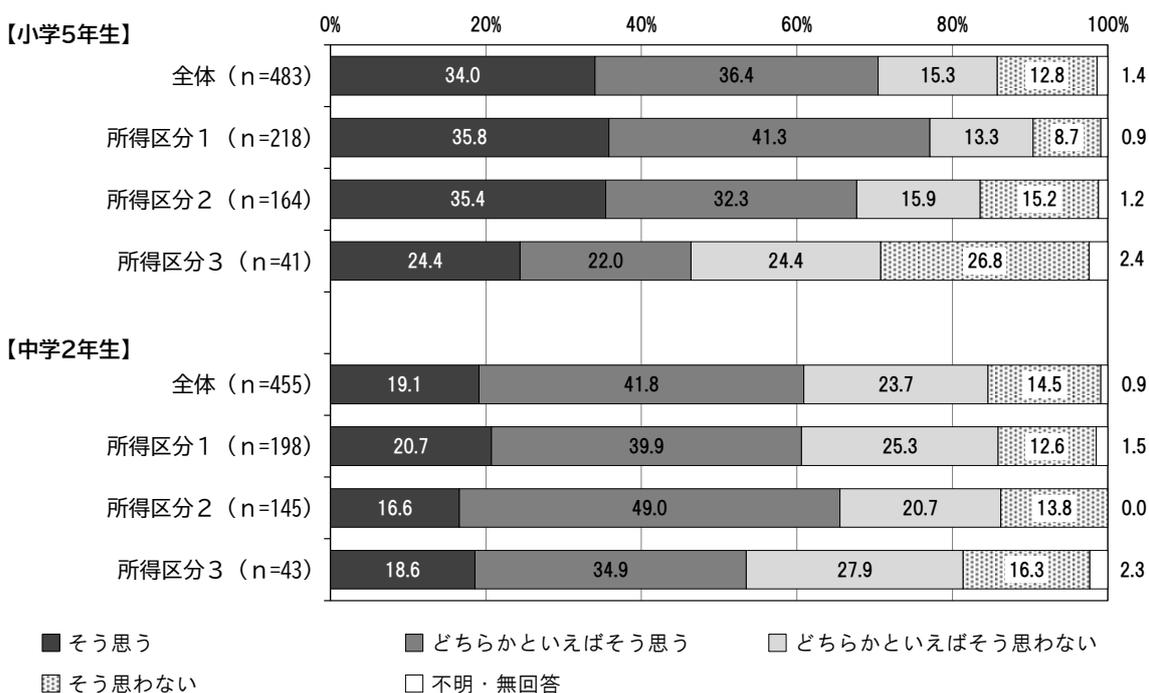
A 自分には良いところがある

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



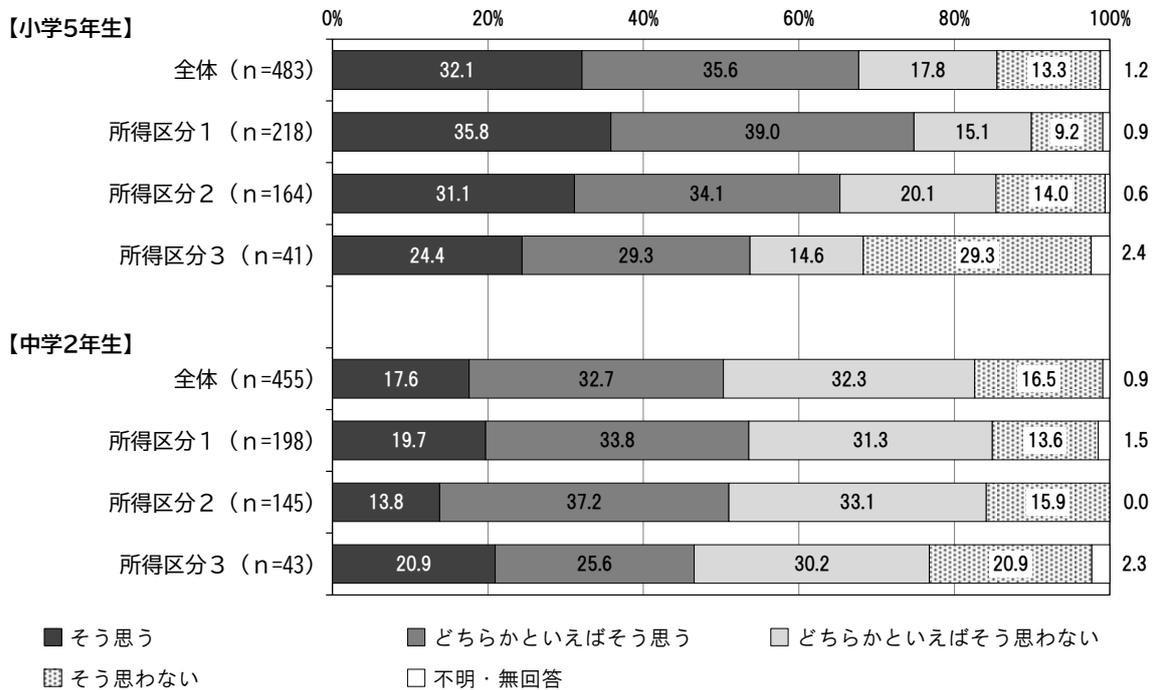
B 自分のことが好きだ

中学2年生ではあまり差は見られませんが、小学5年生では、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



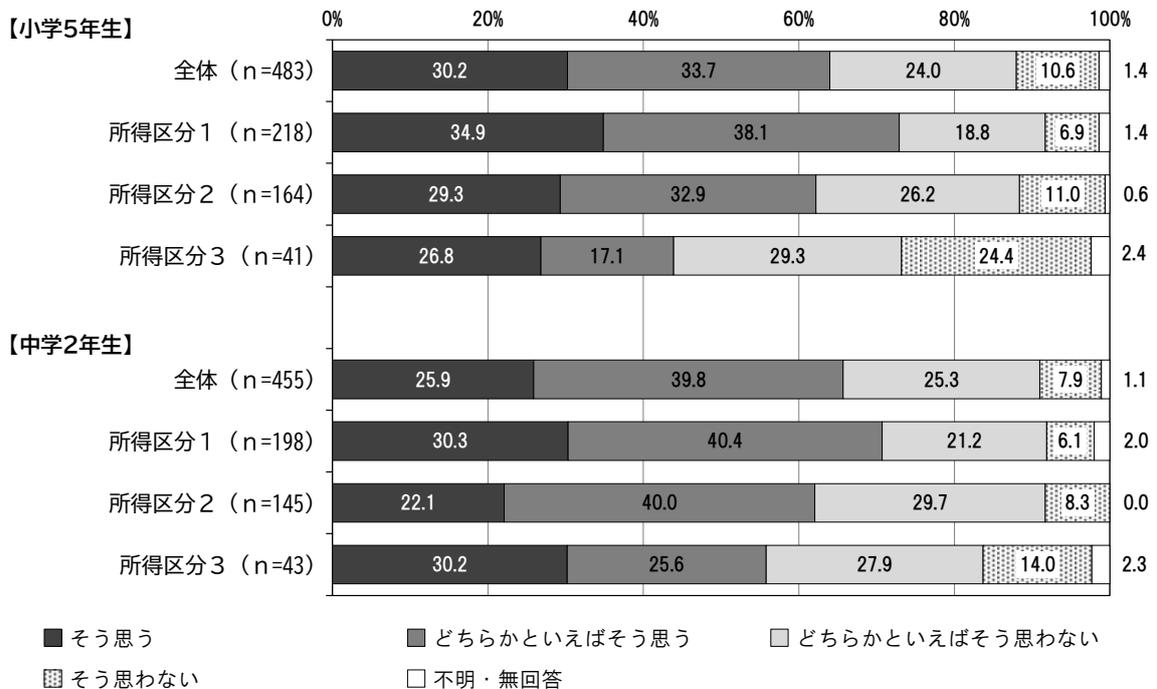
### C 自分に自信がある

小学5年生では、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



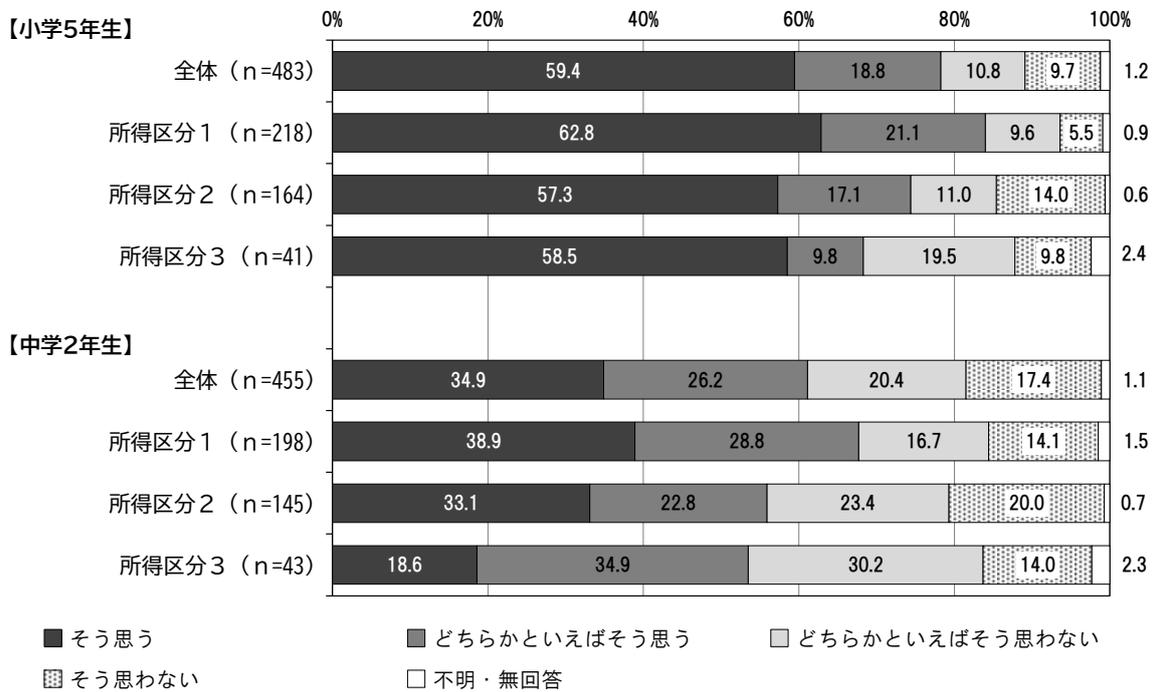
### D 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



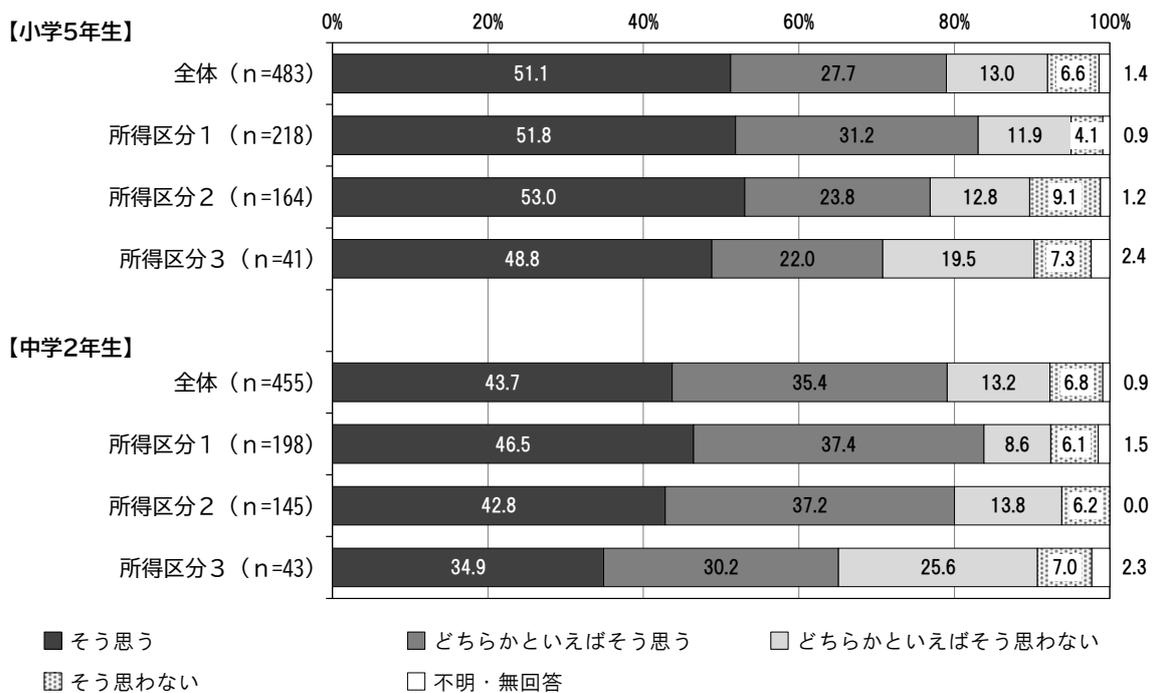
## E 自分の将来の夢や目標を持っている

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



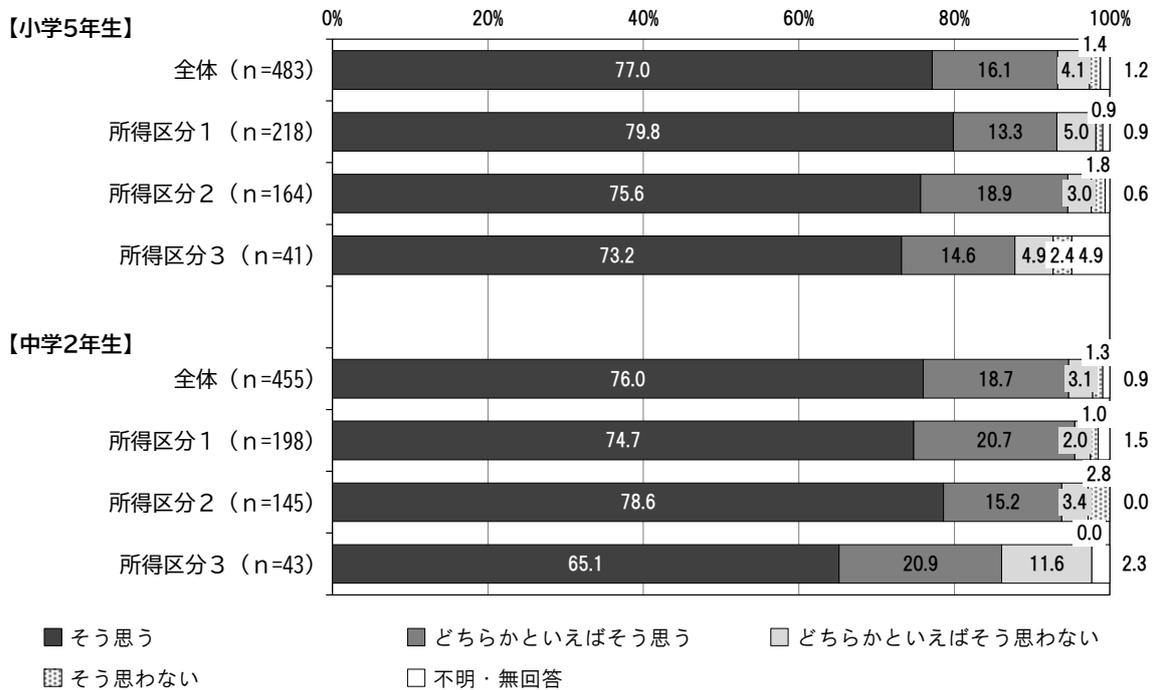
## F 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



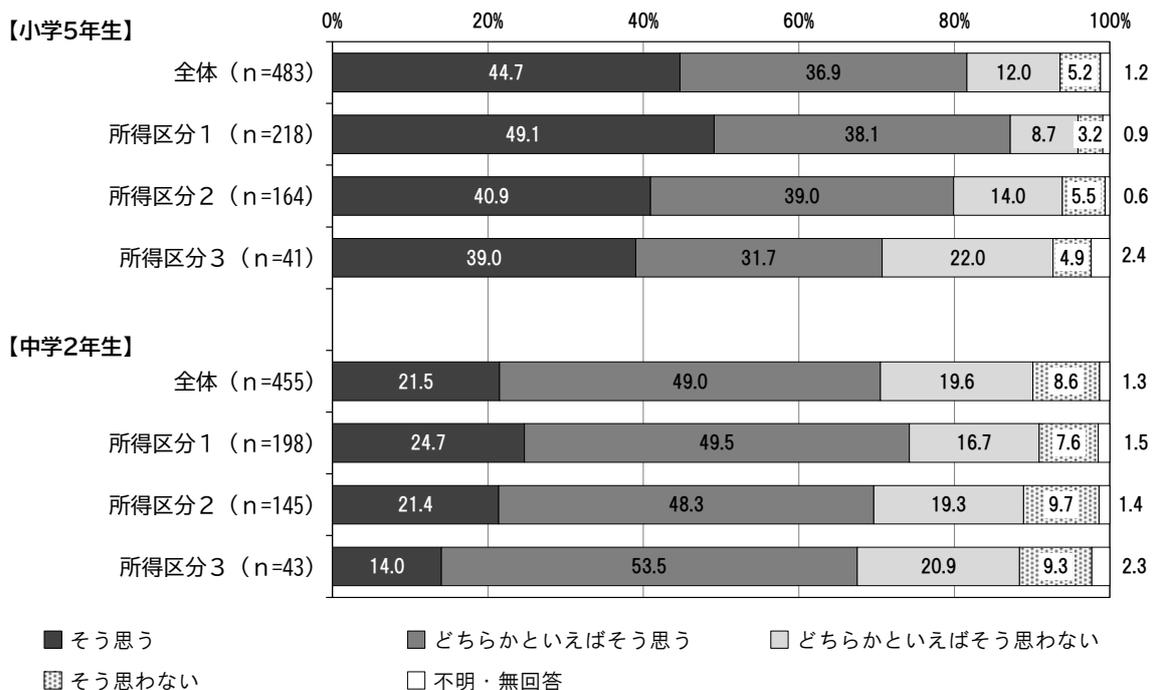
## G 将来、働きたいと思う

いずれの学年も、所得区分3で「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」がやや多くなっています。



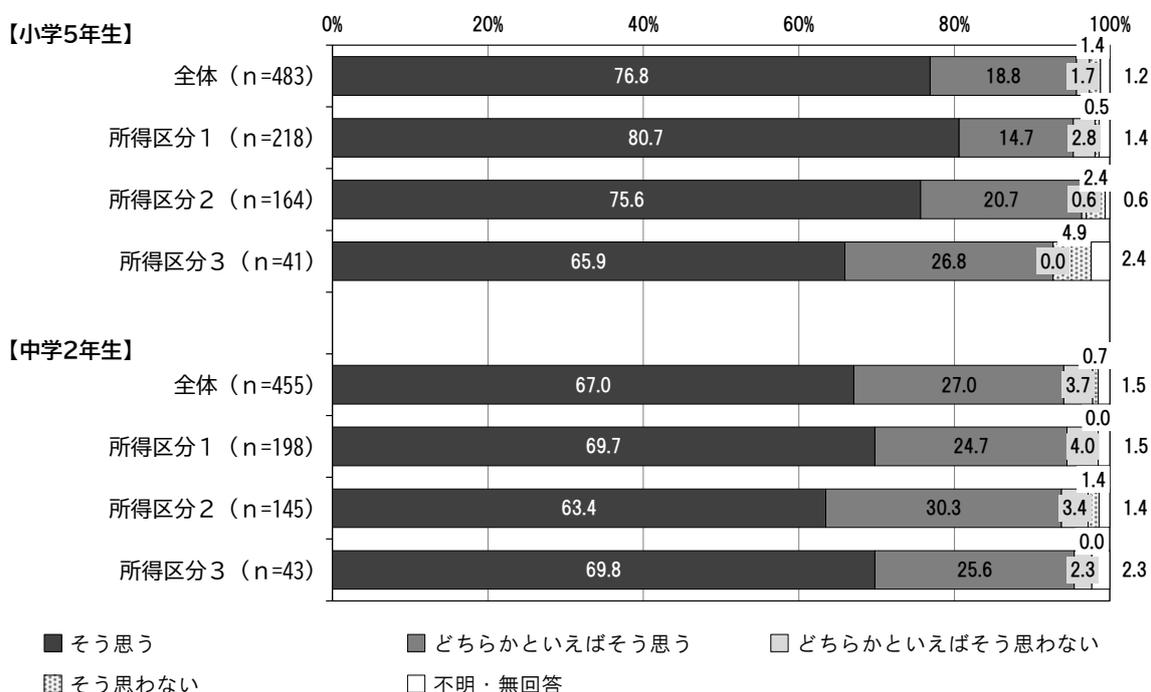
## H 大人は信用できる

いずれの学年も、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



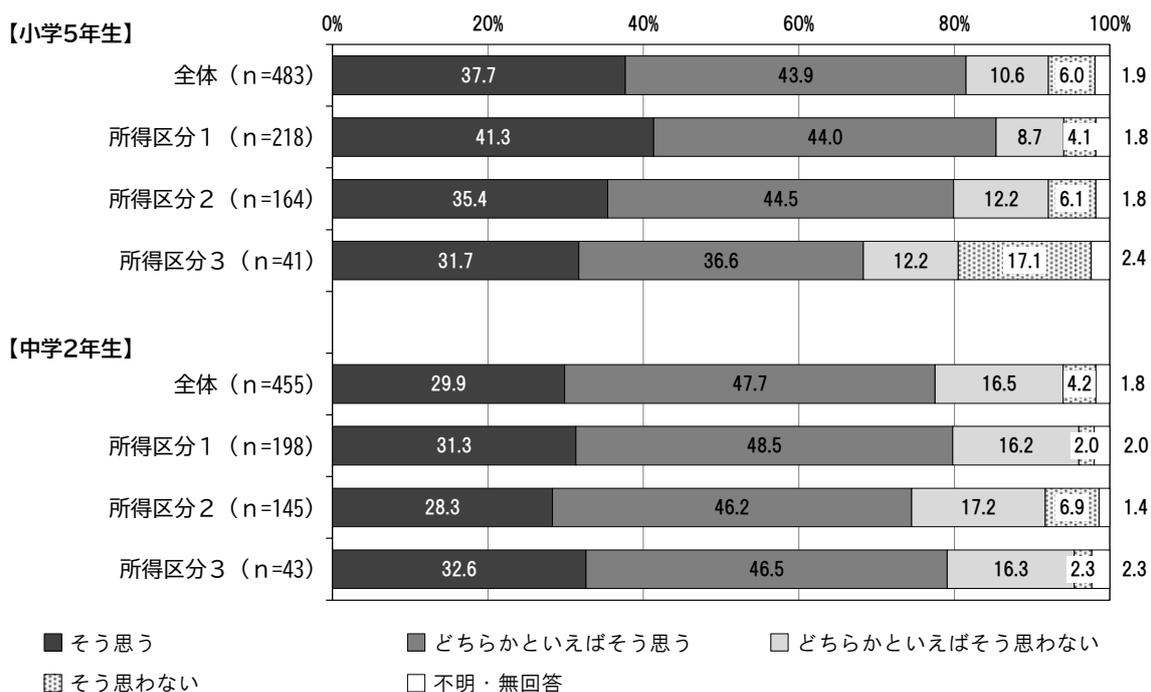
## I 自分は家族に大事にされている

中学2年生ではあまり差はみられませんが、小学5年生では、所得の低い区分ほど「そう思う」が少なくなっています。



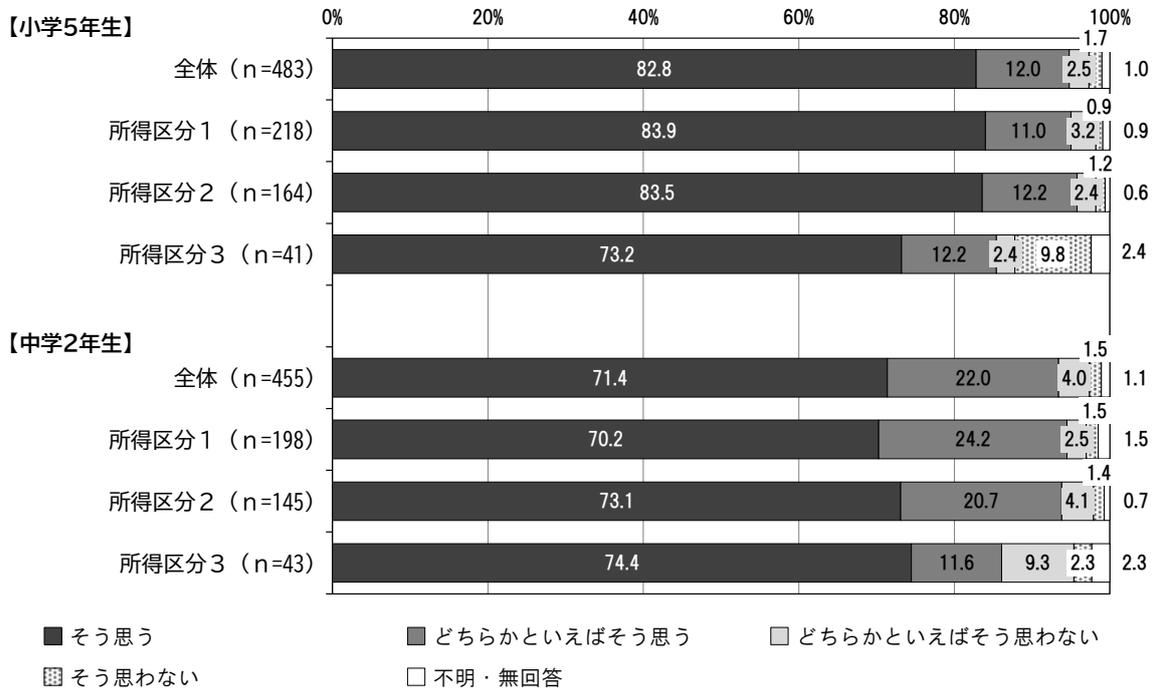
## J 自分ともだちから好かれている

中学2年生ではあまり差はみられませんが、小学5年生では、所得の低い区分ほど「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」が多くなっています。



## K ともだちと会うのは楽しい

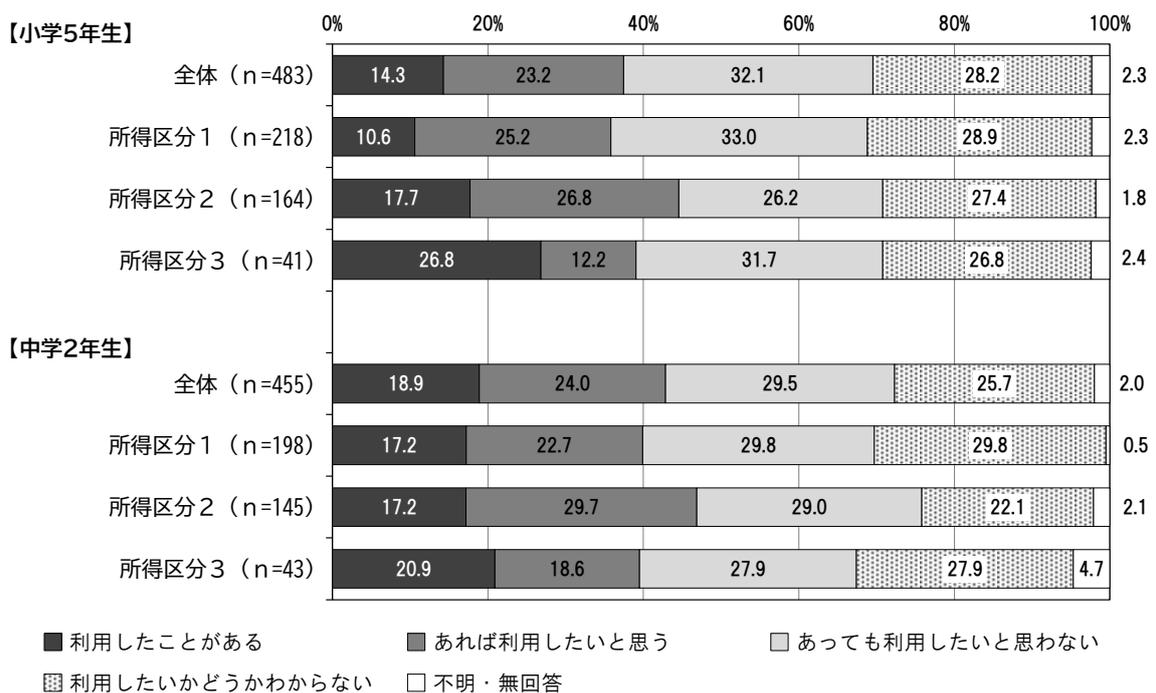
いずれの学年も、所得区分3で「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」がやや多くなっています。



問30 あなたは、次のA～Cのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

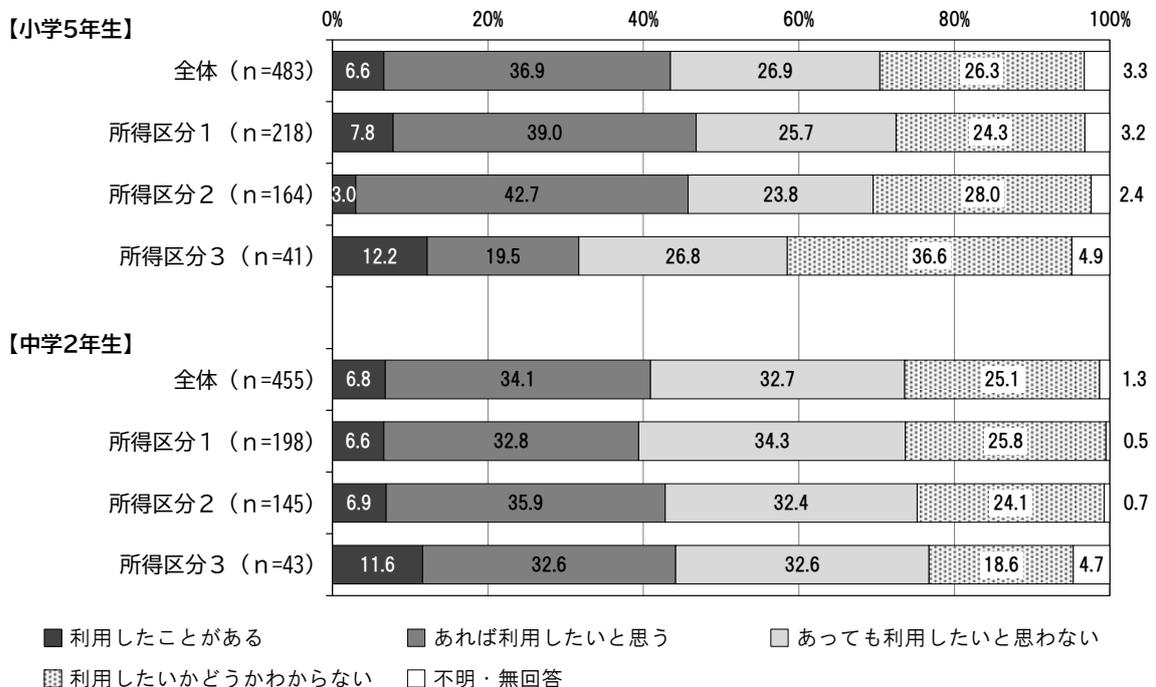
### A 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

小学5年生では、所得の低い区分ほど「利用したことがある」が多くなっています。一方で、「あれば利用したいと思う」はいずれの学年も所得区分3で最も少なくなっています。



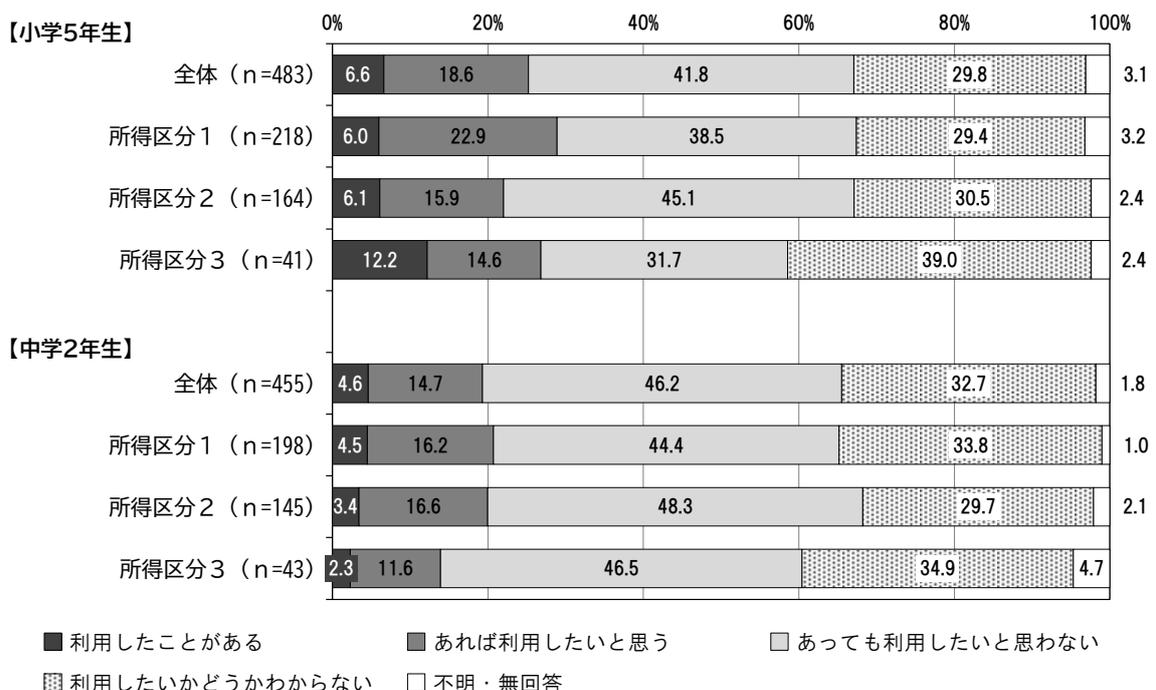
## B 夕食を無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)

いずれの学年も、所得区分3で「利用したことがある」が最も多くなっています。一方で、小学5年生の所得区分3では、「あれば利用したいと思う」が少なく、「利用したいかどうかわからない」が多くなっています。



## C (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やLINEの相談をふくむ)

小学5年生では、所得区分3で「利用したことがある」が他の所得区分より多くなっています。



問31 問30で1つでも「利用したことがある」を選んだ人のみ そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

問 30 の A～C を利用したことによる変化については、全体では、「特に変化はない」が最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が多くなっています。

中学2年生の所得区分3では、他の所得区分と比べて「ともだちが増えた」「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」という回答が多くなっています。

単位：%

		ともだちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	その他	特に変化はない	不明・無回答
小学5年生	全体 (n=103)	23.3	17.5	32.0	28.2	13.6	1.0	37.9	10.7
	所得区分1 (n=40)	30.0	25.0	42.5	35.0	17.5	2.5	30.0	12.5
	所得区分2 (n=37)	16.2	10.8	18.9	24.3	8.1	0.0	45.9	10.8
	所得区分3 (n=16)	37.5	25.0	43.8	31.3	18.8	0.0	25.0	6.3
中学2年生	全体 (n=108)	20.4	9.3	25.9	15.7	4.6	2.8	46.3	3.7
	所得区分1 (n=45)	11.1	13.3	15.6	11.1	4.4	4.4	53.3	2.2
	所得区分2 (n=29)	27.6	3.4	27.6	17.2	3.4	0.0	48.3	3.4
	所得区分3 (n=11)	45.5	27.3	45.5	45.5	9.1	0.0	27.3	9.1



## IV アンケート調査の追加的な分析

---

# 1. 全国調査との比較

## (1)比較する全国調査の概要

ここでは、全国的な状況と比較して本市の特徴を分析するため、国が令和3年12月に公表した「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」（以下「全国調査」という。）との比較を行います。

本調査における、全国調査と共通する質問について、回答状況の比較を行いますが、全国調査は下表のように実施方法が本調査とは異なっており、特に回収率が大きく異なるため、比較にあたってはその点に留意する必要があります。

### ■全国調査の実施方法の概要

調査地域	全国
調査対象者	中学2年生及びその保護者
標本数	5,000組
調査方法	郵送配布・郵送回収またはオンライン回答
調査期間	令和3年2月12日（金曜日）から3月8日（月曜日）まで
サンプリング方法	層化二段無作為抽出法 全国を地域と都市規模により40層（10地域×4人口区分）に層化。地区・都市規模別各層における推定母集団（平成27年10月1日現在の国勢調査の14歳人口に基づく）の大きさにより200地点を比例配分し、各調査地点の調査対象数を25と設定
有効回収数、回収率	2,715件（組）、54.3%

## (2)比較の方法

全国調査が中学2年生とその保護者のみを対象としているため、本調査の中学2年生とその保護者の回答を比較します。

比較に当たっては、全体的な状況の比較だけでなく、所得水準をそろえたうえで家庭の経済状況による違いを比較する必要があります。本調査においても全国調査と同様に、等価世帯所得に基づく回答者の所得区分を行っていますが、全国調査とは中央値が異なり、区分する所得水準が異なっているため、ここでは、全国調査が所得段階区分を行うにあたって適用した数値（中央値は317.54万円、中央値の2分の1は158.77万円）に基づいて本調査の所得段階を区分し、所得段階別の調査結果の比較を行います。

全国調査の所得段階区分を適用した場合の、本調査の中学2年生における各区分の割合は、下の表のようになります。全国調査の中央値は、本調査の中央値（290.7万円）より高いため、全国調査の区分を適用した場合、所得区分1がやや少なく、所得区分2・3がやや多くなっています。

### ■全国調査の基準を適用した場合の所得区分別の件数と割合

		所得区分1	所得区分2	所得区分3
全国調査	件数	1,318	967	338
	%	50.2	36.9	12.9
本調査 (藤井寺市)	件数	180	158	48
	%	46.6	40.9	12.4

※所得区分1は等価世帯所得が全国調査における中央値である317.54万円以上。所得区分2は全国調査における中央値の2分の1である158.77万円以上、317.54万円未満。所得区分3は158.77万円未満。

※所得区分の判定に必要な設問に回答があったものを集計しています。必要な設問に無回答があるなどで判定不能となっているのは、全国調査では2,715件中92件、本調査では455件中69件となっています。

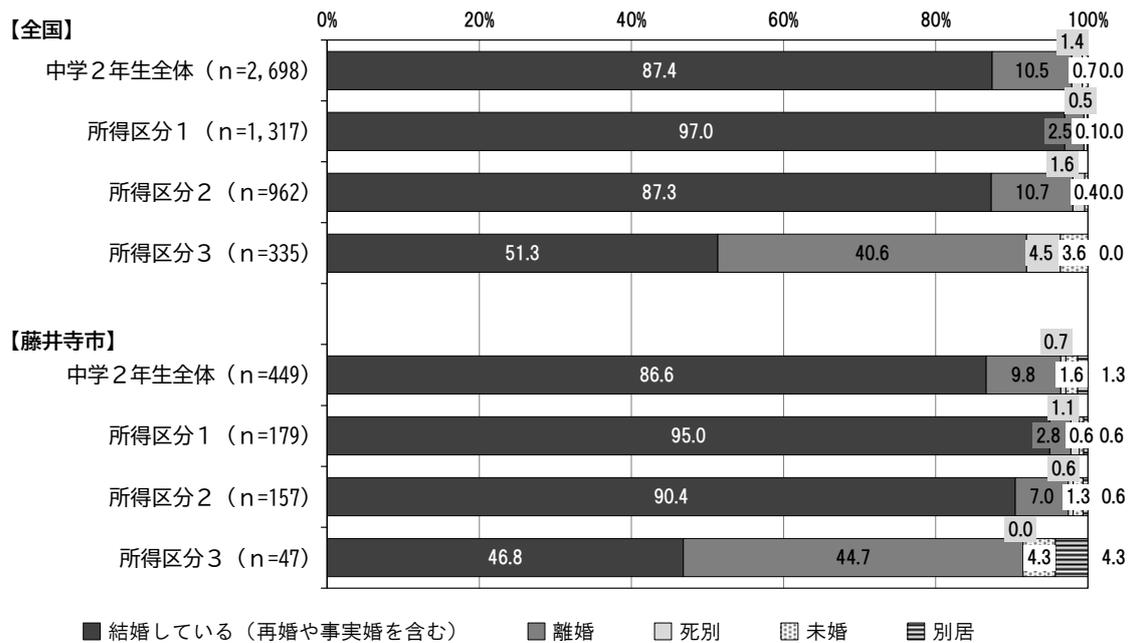
次頁以降では、特に本市と全国調査との間で回答に差が見られた項目を中心に、両者を比較した結果を示します。

### (3)主な比較結果

#### ①ひとり親世帯における養育費の受け取り【保護者】

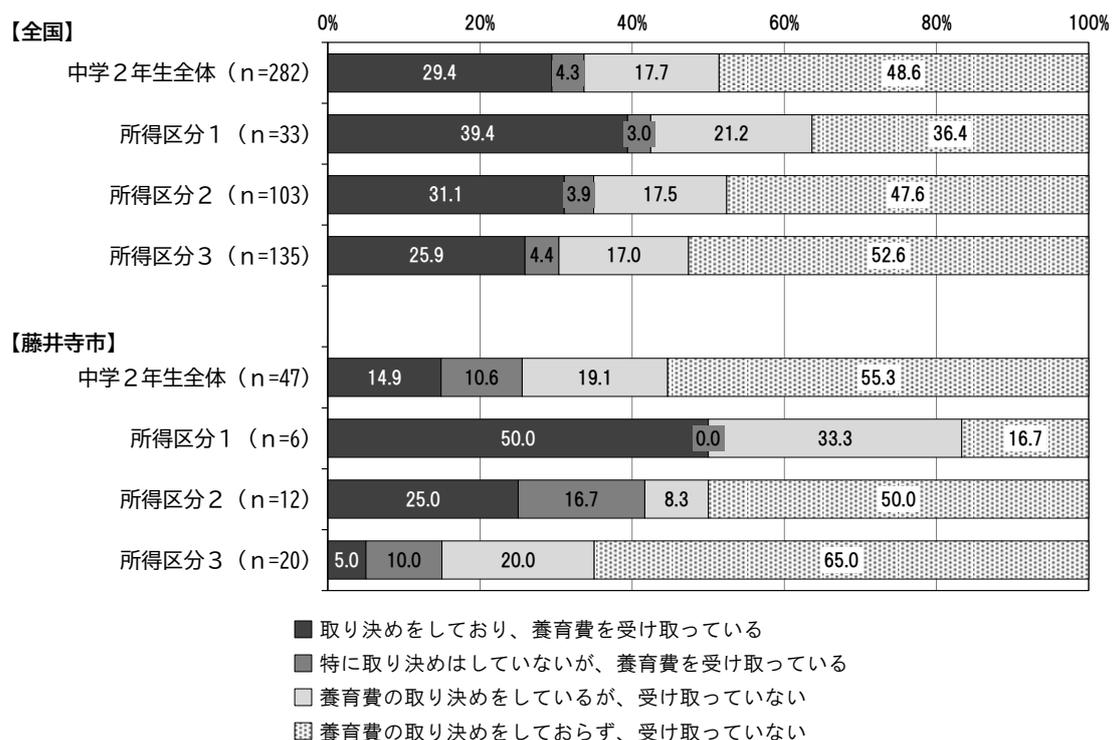
ひとり親世帯の割合は、全国調査の 12.6%に対し、本市は 13.4%と大きな差はありませんが、本市においては、所得区分3のひとり親世帯の割合がやや高くなっています。また、ひとり親世帯において養育費を受け取っている割合が、全体では低く、中でも所得区分3で低くなっています。

#### ■親の婚姻の状況



※全国調査ではひとり親世帯に該当するかどうかという質問となっており、選択肢に「別居」は含まれていない

#### ■養育費の受け取り状況

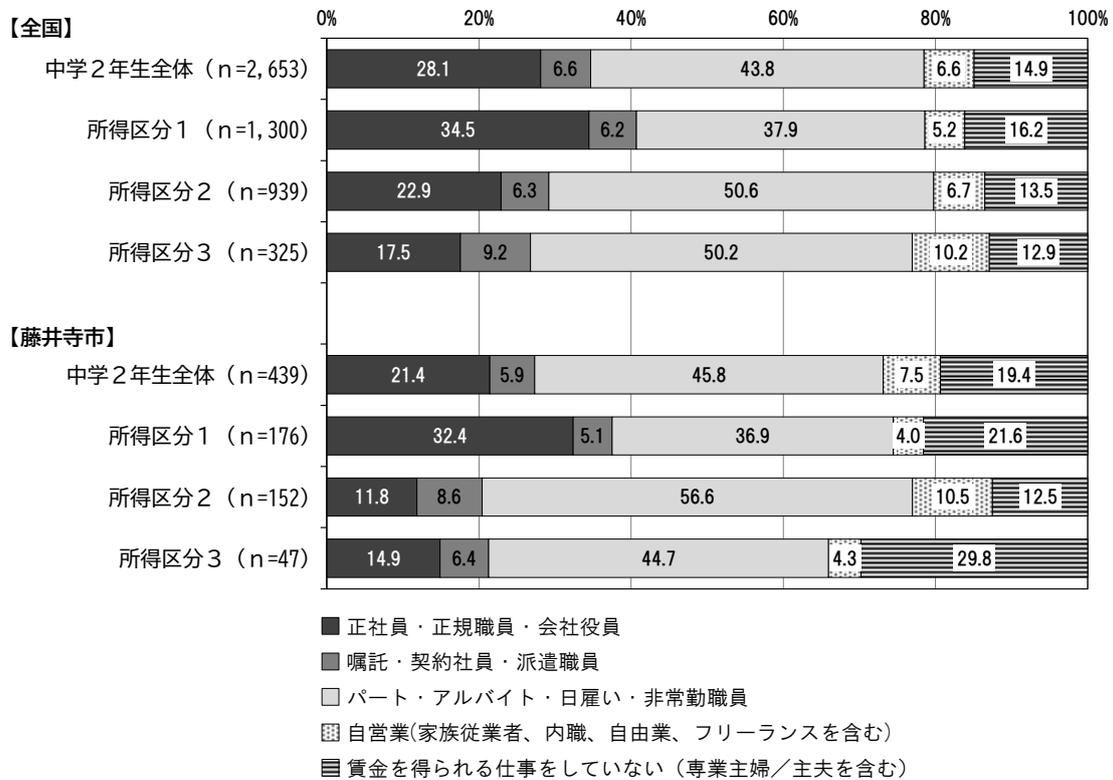


※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

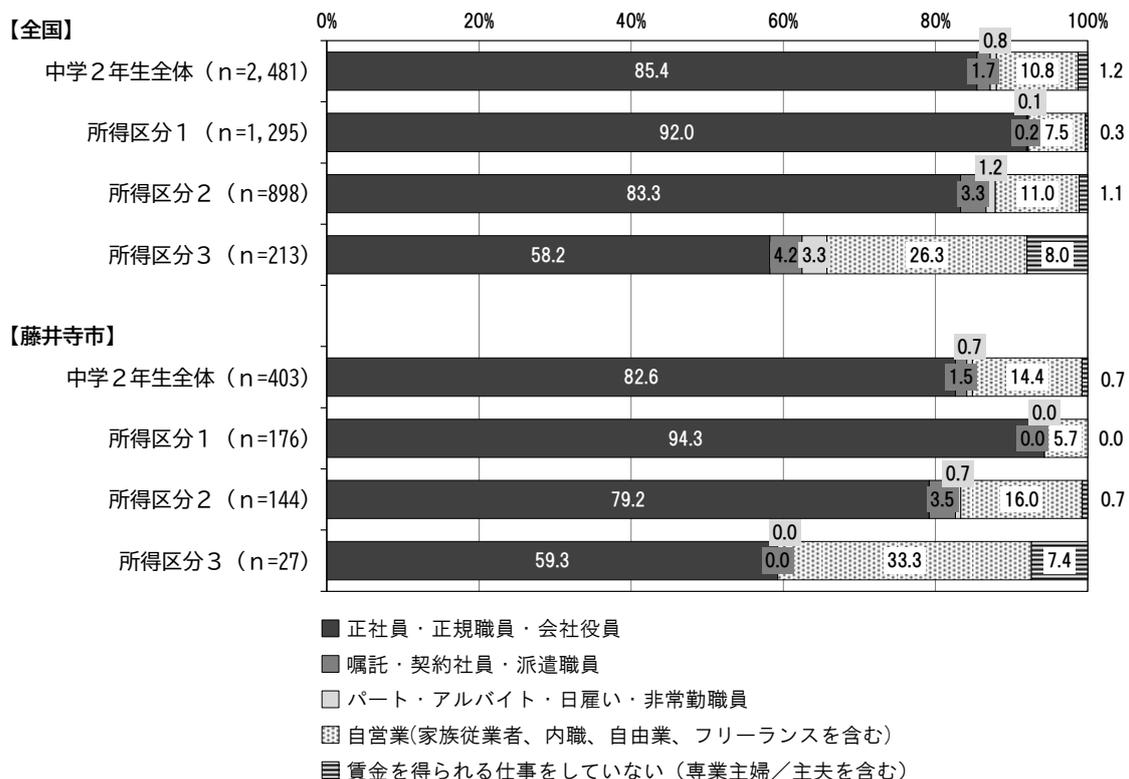
## ②両親の就労状況について【保護者】

両親の就労状況を見ると、本市は全体として母親の「正社員・正規職員・会社役員」の割合が低く、所得区分3では「賃金を得られる仕事をしていない」が多くなっています。父親については、全国調査と大きな差はみられません。

### ■母親の就労状況



### ■父親の就労状況

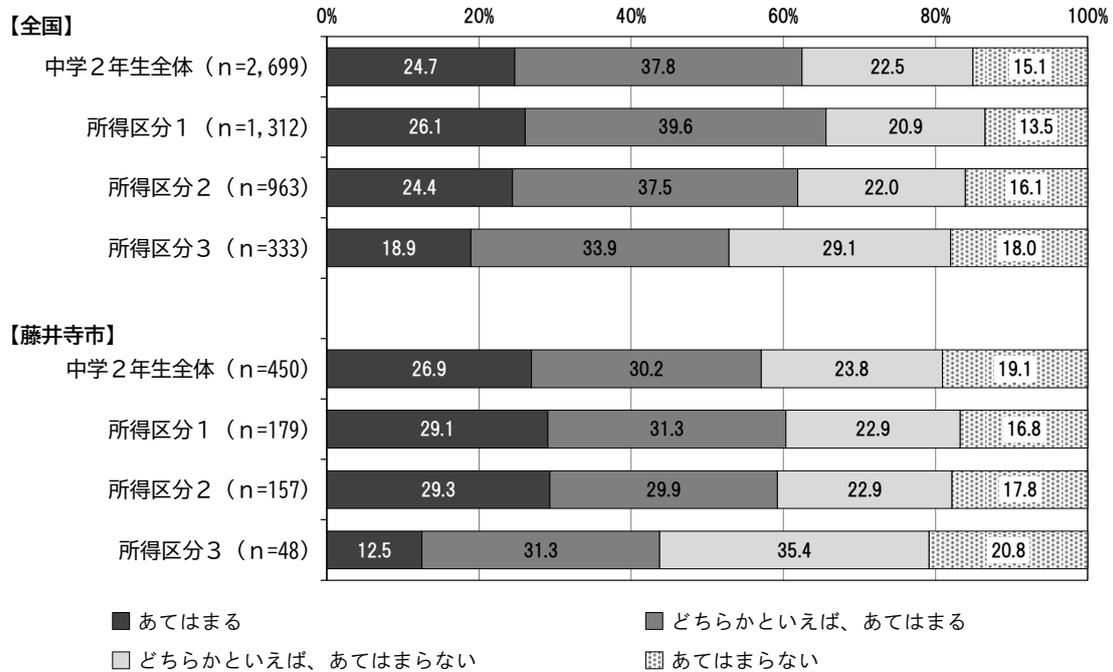


※いずれも「不明・無回答」及び「いない、わからない (全国調査のみ)」を除いた集計による比較

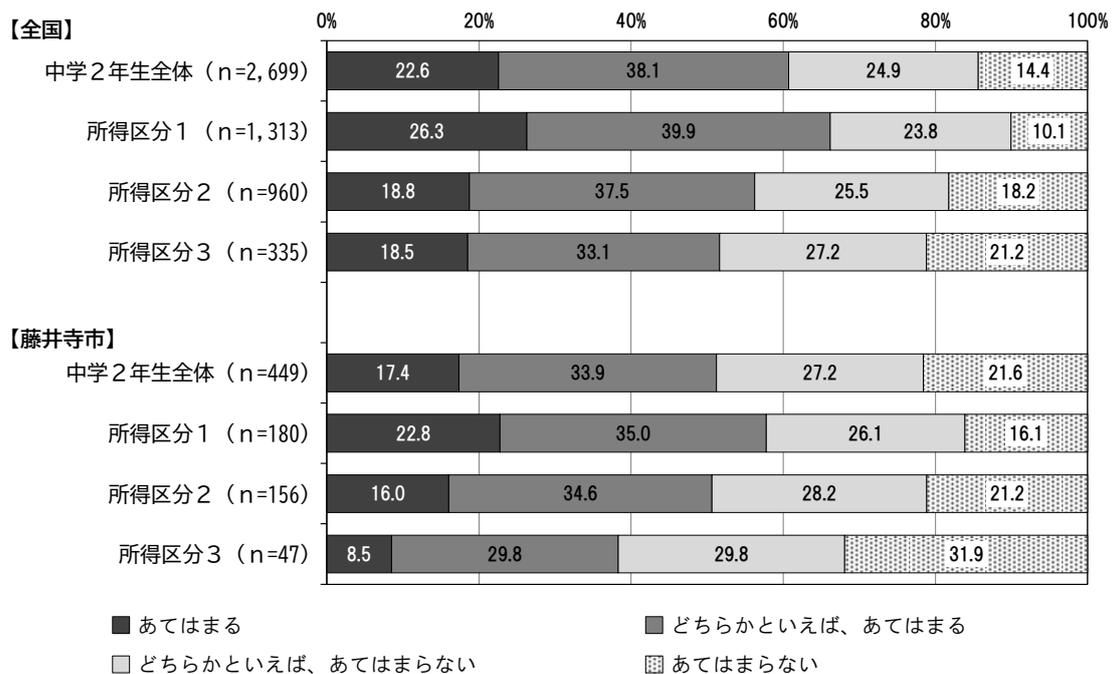
### ③保護者と子どもとの関わり方について【保護者】

保護者と子どもとの関わり方では、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」といった教育的働きかけについて、本市は「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」の割合が全国調査と比べるとやや低く、中でも所得区分3で低くなっています。

#### ■テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている



#### ■お子さんに本や新聞を読むように勧めている



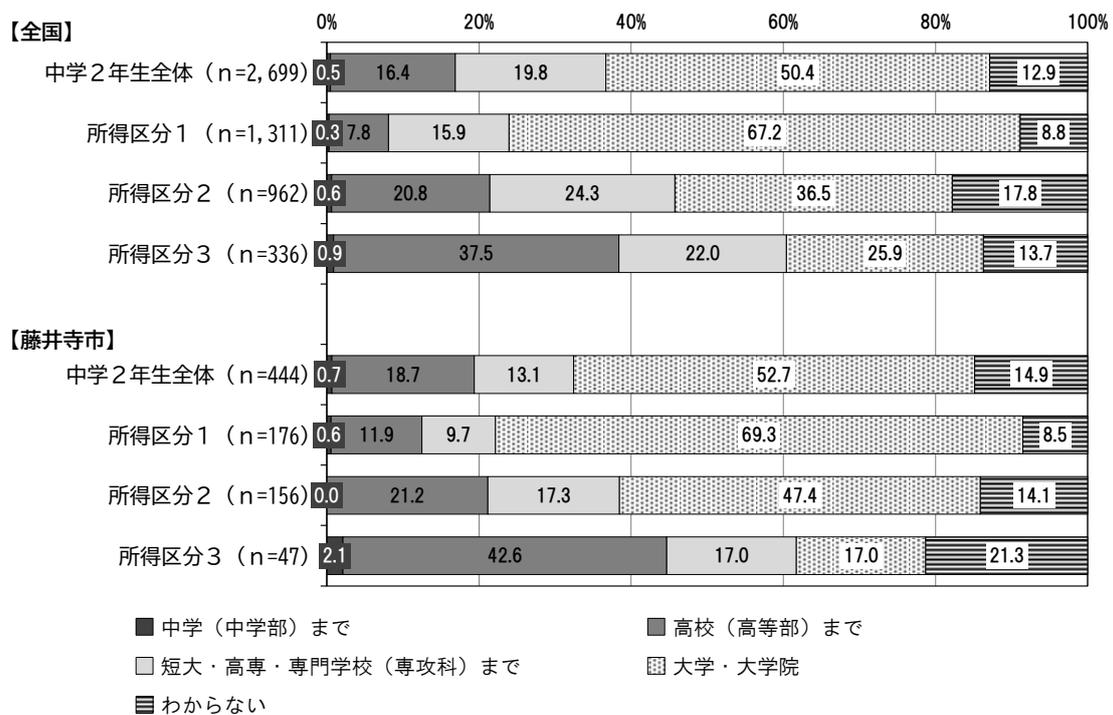
※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

#### ④子どもの進学について【保護者】

現実的に見た子どもの進学については、全国調査と大きな差はありませんが、本市は所得区分2で「大学・大学院」の割合がやや高く、所得区分3ではやや低くなっています。

現実的に見た進学先の理由については、本市では「本人が希望しているから」が少なく、「一般的な進路だと思うから」が多くなっています。所得区分3では「本人の学力から考えて」「家庭の経済的な状況から考えて」が少なく、「一般的な進路だと思うから」が多くなっています。

#### ■現実的に見て、子どもが将来どの段階まで進学すると思うか



※「不明・無回答」を除いた集計による比較

#### ■現実的に見た子どもの進学先の理由

単位：%

		本人が希望しているから	一般的な進路だと思うから	本人の学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない
全国	中学2年生全体 (n=2,344)	53.4	28.6	36.7	12.3	3.8	3.7
	所得区分1 (n=1,193)	57.3	33.5	37.6	8.0	3.8	3.7
	所得区分2 (n=789)	51.1	24.5	35.4	13.9	4.3	3.3
	所得区分3 (n=288)	42.0	21.9	37.8	27.1	3.1	4.5
藤井寺市	中学2年生全体 (n=370)	43.0	38.6	31.6	7.8	3.5	8.1
	所得区分1 (n=159)	50.3	42.1	32.1	6.9	1.9	4.4
	所得区分2 (n=131)	37.4	35.1	32.1	6.9	3.1	10.7
	所得区分3 (n=36)	30.6	38.9	22.2	13.9	5.6	11.1

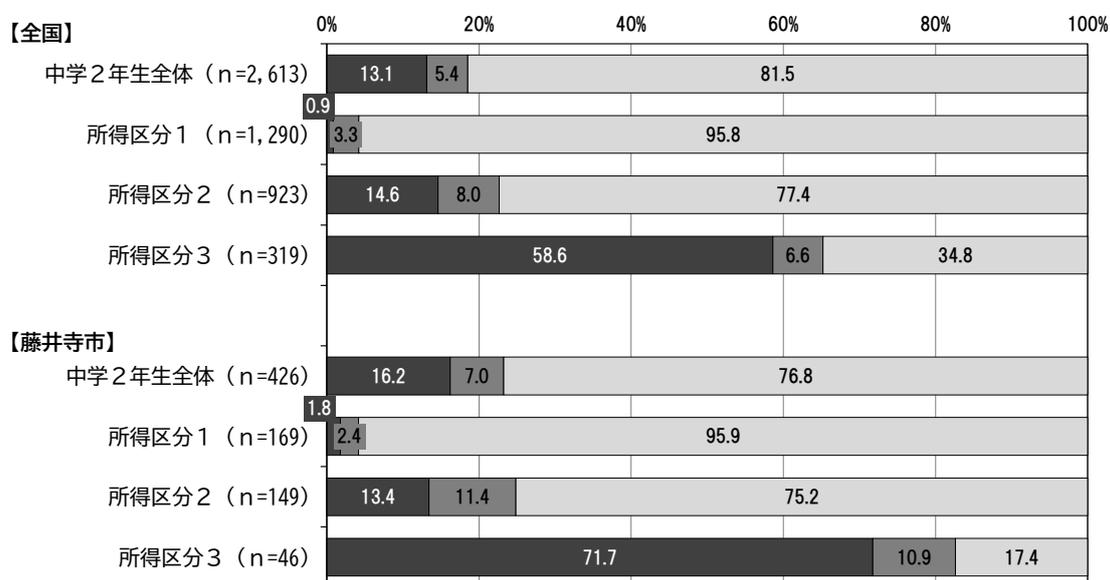
※「不明・無回答」を除いた集計による比較

### ⑤就学援助制度の利用について【保護者】

就学援助については、全体では、「現在利用している」が全国調査より多く、中でも所得区分3では、「現在利用している」が多く、「利用したことはない」が少なくなっています。

就学援助を「利用したことはない」の理由については、全国調査と大きな差はみられません。

#### ■就学援助の利用



■ 現在利用している ■ 現在は利用していないが、以前利用したことがある □ 利用したことはない

#### ■就学援助を「利用したことはない」理由

単位：％

		利用条件を満たさないと 思うから	利用した と思わ なかつた から	手続きが 分からな かつた り、利用 しにくい から	今までこの 支援制度 を知らな かつた から	その他
全国	中学2年生全体 (n=1,950)	93.5	2.2	0.6	1.3	2.4
	所得区分1 (n=1,150)	96.4	1.2	0.3	0.3	1.7
	所得区分2 (n=649)	91.5	2.9	0.9	2.2	2.5
	所得区分3 (n=97)	77.3	5.2	3.1	7.2	7.2
藤井寺市	中学2年生全体 (n=287)	86.8	8.0	2.1	2.4	0.7
	所得区分1 (n=142)	89.4	7.7	0.0	2.1	0.7
	所得区分2 (n=99)	87.9	9.1	1.0	2.0	0.0
	所得区分3 (n=7)	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0

※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

## ⑥学習方法【子ども】

全国調査と比べると、「自分で勉強する」がやや少なく、「塾で勉強する」がやや多くなっています。また、所得区分3では、「学校の補習を受ける」「学校の授業以外で勉強はしない」がやや多くなっています。所得の高い区分ほど「塾で勉強する」の割合が高くなるのは、全国調査と同様です。

### ■学校の授業以外にどのように勉強しているか

単位：%

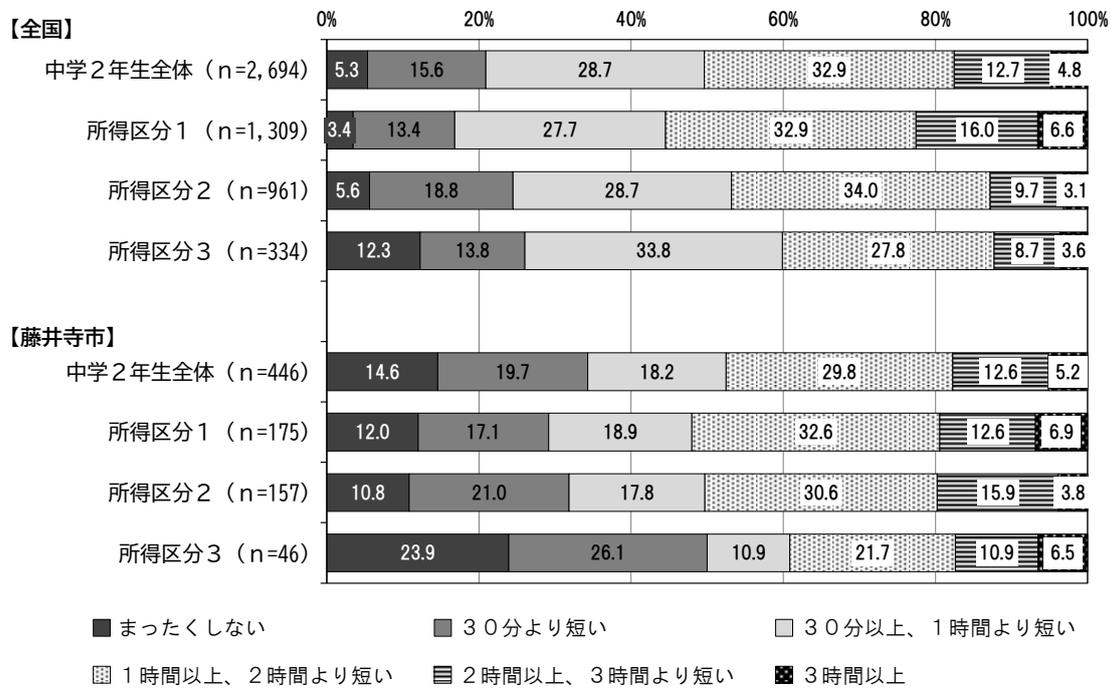
		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	おうちの人に教えてもらう	ともだちと勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない
全国	中学2年生全体 (n=2,696)	77.2	47.5	5.0	2.7	0.9	24.6	26.7	4.9	4.9
	所得区分1 (n=1,310)	77.7	56.4	4.8	3.1	0.3	28.2	27.3	5.0	2.6
	所得区分2 (n=962)	77.7	42.8	4.6	2.5	1.1	21.2	26.5	4.8	5.8
	所得区分3 (n=334)	72.8	28.7	6.0	1.5	2.7	20.1	24.3	4.8	12.3
藤井寺市	中学2年生全体 (n=446)	68.4	52.9	7.4	1.8	0.0	21.5	27.1	3.1	7.4
	所得区分1 (n=176)	69.3	62.5	5.7	1.1	0.0	23.9	27.8	3.4	5.1
	所得区分2 (n=155)	68.4	51.0	3.2	1.9	0.0	18.7	24.5	3.2	4.5
	所得区分3 (n=46)	63.0	39.1	19.6	4.3	0.0	19.6	34.8	0.0	21.7

※「不明・無回答」を除いた集計による比較。

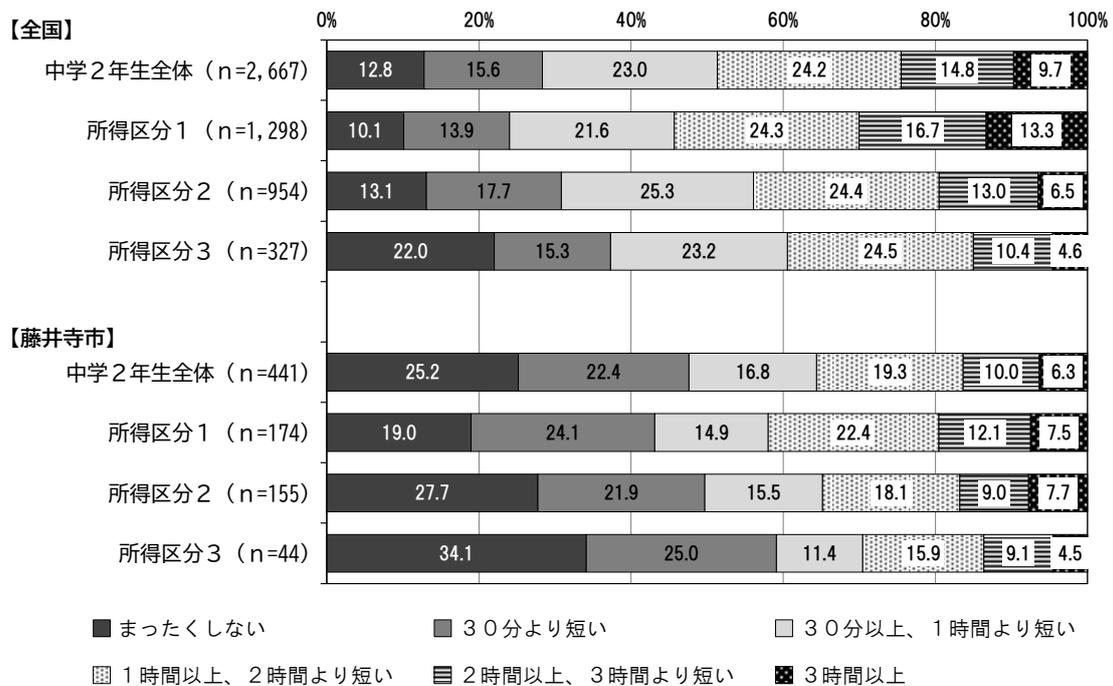
## ⑦勉強時間【子ども】

学習時間については、学校がある日、学校がない日のいずれについても、全国調査と比べて「まったくしない」「30分より短い」が多くなっています。一方で、学校がある日の所得区分2・3については、2時間以上の回答が全国調査より多くなっており、二極化の傾向がみられます。

### ■学校の授業以外の学習時間【学校がある日（月～金曜日）】



### ■学校の授業以外の学習時間【学校がない日（土・日曜日・祝日）】

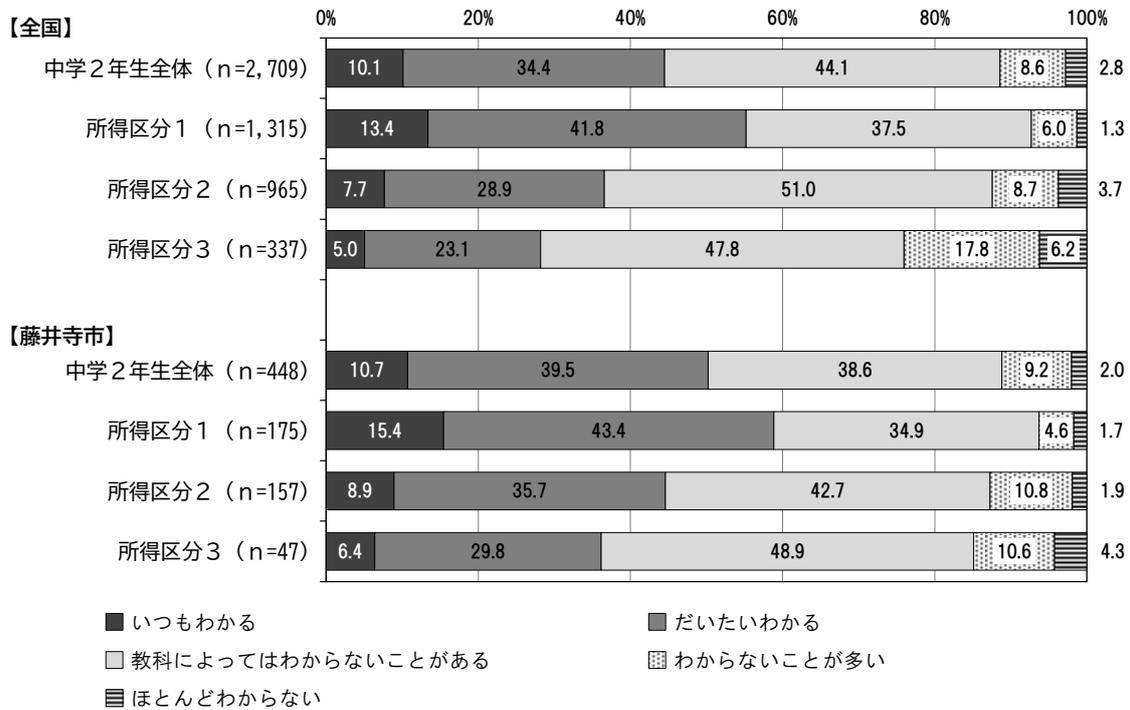


※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

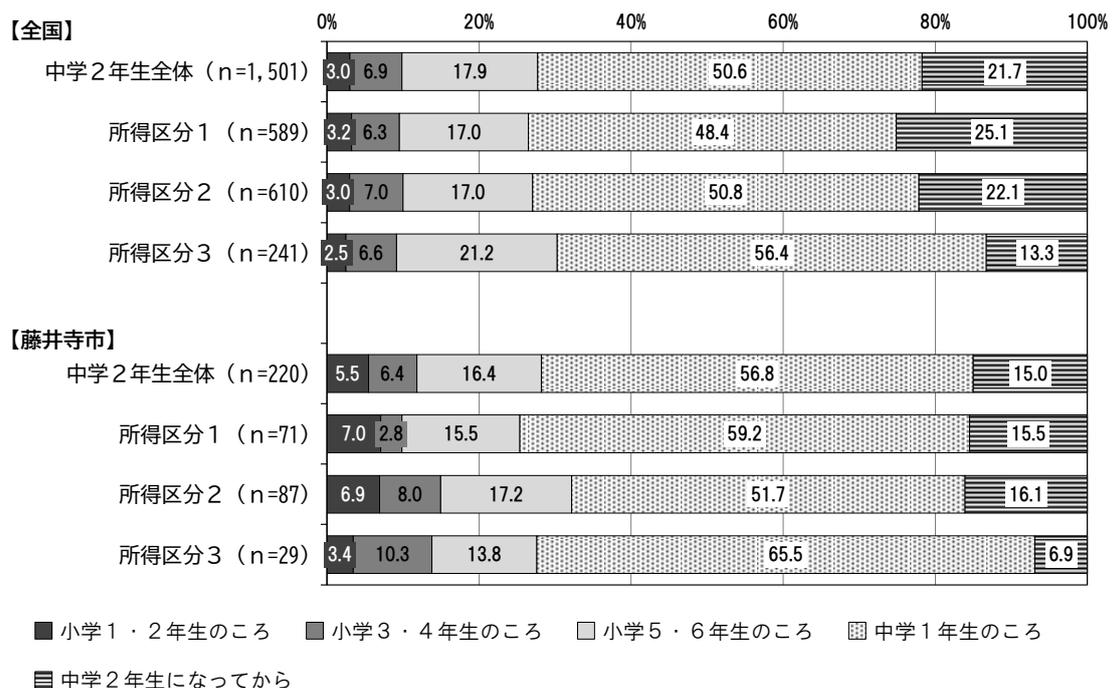
## ⑧成績と授業の理解度【子ども】

学校の授業がわからないことの有無については、所得の高い区分ほど理解度が高い傾向があるのは同様ですが、全体では、全国調査より「いつもわかる」または「だいたいわかる」が多くなっており、所得区分3では、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」がやや少なくなっています。授業がわからなくなった時期については、「中学2年生になってから」がやや少なくなっています。

### ■学校の授業がわからないことがあるか



### ■いつごろから授業がわからなくなったか



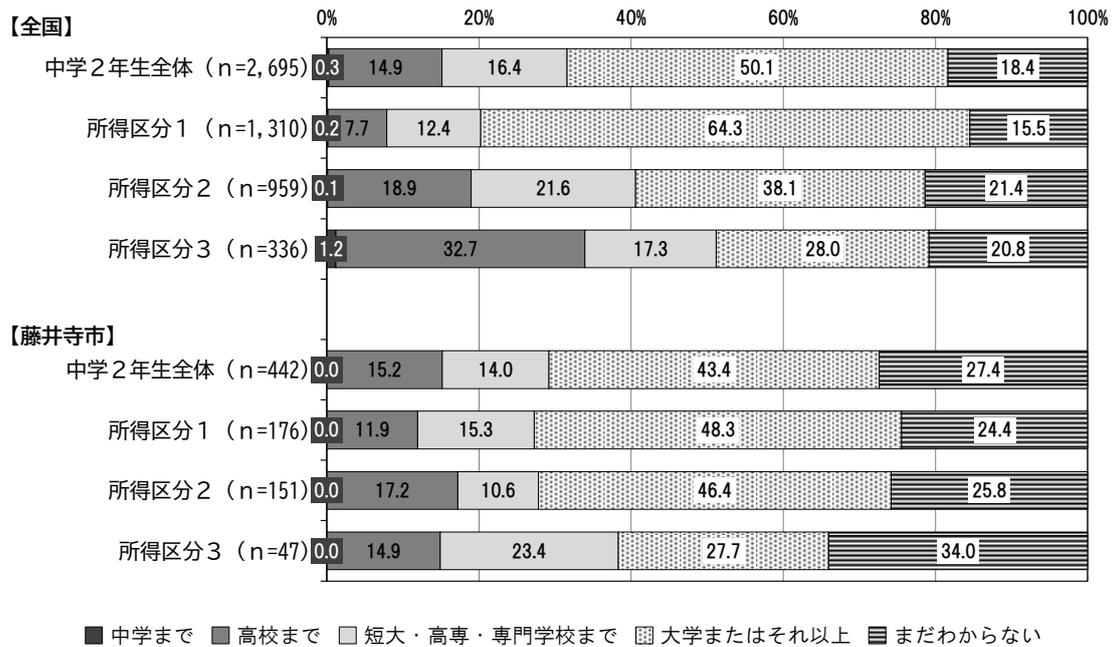
※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

## ⑨進学希望【子ども】

進学希望については、全体では、本市は「大学またはそれ以上」がやや少なく、「まだわからない」がやや多くなっています。所得区分3では、「高校まで」が少なく、「短大・高専・専門学校まで」と「まだわからない」が多くなっています。

進学希望の理由については、所得区分3では、「自分の成績から考えて」がやや少なく、「おうちの大人の人がそう言っているから」「まわりの先輩やともだちがそうしているから」が多くなっています。

### ■将来、どの段階まで進学したいか



### ■進学希望の理由

単位：％

調査対象	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	おうちの大人の人がそう言っているから	おにいちゃん・おねえちゃんがそうしているから	まわりの先輩やともだちがそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない	
									その他	特に理由はない
全国	中学2年生全体 (n=2,172)	54.6	19.1	18.7	6.0	5.8	3.3	4.2	9.0	17.3
	所得区分1 (n=1,305)	47.0	16.7	17.3	5.4	5.9	1.2	2.5	7.7	13.8
	所得区分2 (n=958)	42.3	14.9	13.7	3.8	3.7	2.8	3.0	6.4	13.3
	所得区分3 (n=333)	36.0	13.8	9.9	5.1	2.4	8.1	7.8	7.8	17.1
藤井寺市	中学2年生全体 (n=317)	48.6	19.9	24.9	6.0	6.9	1.6	4.1	6.0	22.7
	所得区分1 (n=130)	54.6	25.4	24.6	6.2	8.5	0.0	3.1	3.8	16.9
	所得区分2 (n=111)	43.2	18.0	24.3	5.4	5.4	2.7	3.6	9.0	25.2
	所得区分3 (n=31)	38.7	9.7	35.5	9.7	12.9	6.5	6.5	6.5	22.6

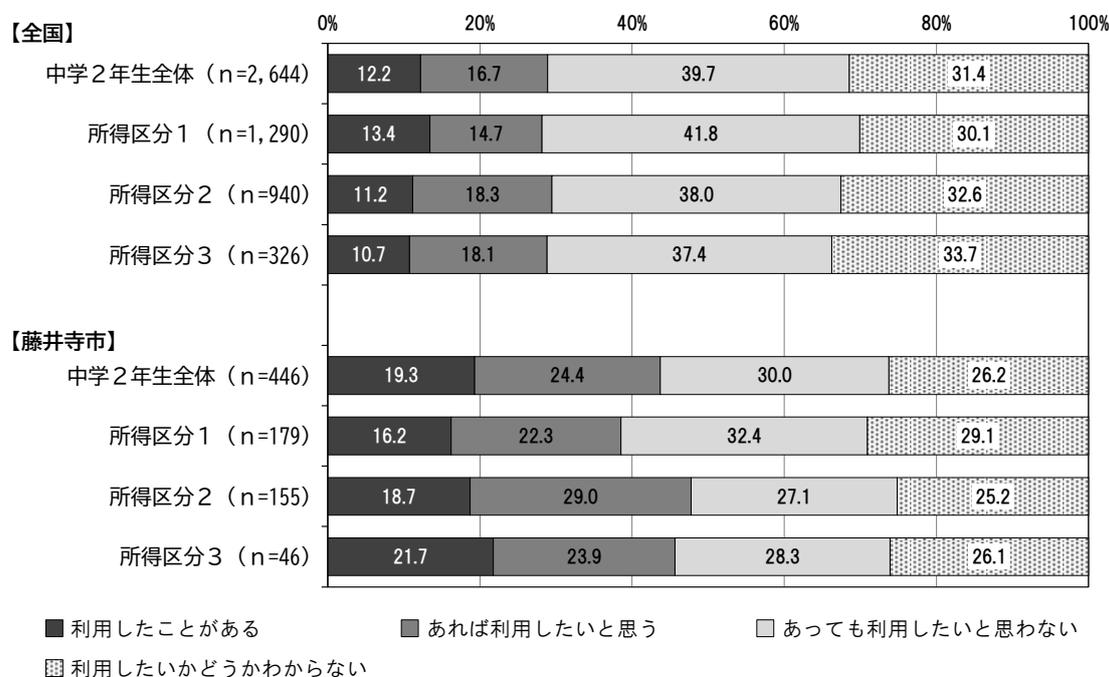
※「おうちの大人の人がそう言っているから」「おにいちゃん・おねえちゃんがそうしているから」は全国調査ではそれぞれ「親がそう言っているから」「兄・姉がそうしているから」

※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

## ⑩支援を受けられる場所の利用について【子ども】

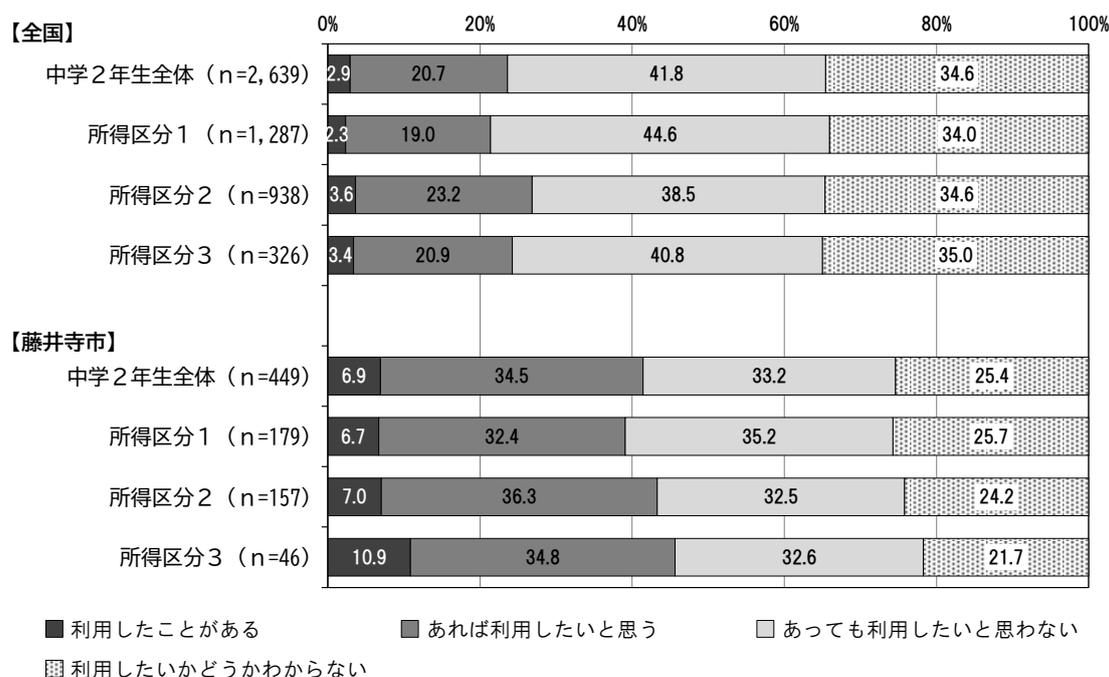
支援を受けられる場所の利用について、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」については、全国調査と比べて「利用したことがある」「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。

### ■平日の夜や休日を過ごすことができる場所



※全国調査では「（自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所」

### ■夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）



※全国調査では「（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」  
 ※いずれも「不明・無回答」を除いた集計による比較

## 2. 経済状況以外の要因についての分析

### ①子どもの文化的な活動経験と自己肯定感

子どもの文化的な活動経験について、子ども調査の問16で「あてはまるものはない」以外の10項目のうち、いくつ回答したかによって、文化経験の高低を区分しました（8項目以上で「文化経験高」）。

その結果、家庭の経済状況にかかわらず、文化経験が高い回答者は、「自分には良いところがある」「自分に自信がある」といった自己肯定感に関する設問に、肯定的に回答する割合が高くなっています。

単位：％

	n	自分には良いところがある				自分に自信がある					
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
小学5年生	所得区分1／文化経験高	106	65.1	28.3	3.8	2.8	106	49.1	38.7	6.6	5.7
	所得区分1／文化経験低	106	45.3	39.6	7.5	7.5	106	22.6	40.6	23.6	13.2
	所得区分2／文化経験高	65	67.7	24.6	6.2	1.5	65	44.6	35.4	12.3	7.7
	所得区分2／文化経験低	97	43.3	35.1	10.3	11.3	97	22.7	33.0	25.8	18.6
	所得区分3／文化経験高	9	22.2	77.8	0.0	0.0	9	22.2	44.4	22.2	11.1
	所得区分3／文化経験低	30	36.7	23.3	16.7	23.3	31	25.8	25.8	12.9	35.5
中学2年生	所得区分1／文化経験高	86	34.9	46.5	12.8	5.8	86	23.3	30.2	34.9	11.6
	所得区分1／文化経験低	109	30.3	44.0	18.3	7.3	109	17.4	37.6	29.4	15.6
	所得区分2／文化経験高	56	35.7	46.4	12.5	5.4	56	19.6	46.4	23.2	10.7
	所得区分2／文化経験低	87	26.4	39.1	18.4	16.1	87	9.2	32.2	39.1	19.5
	所得区分3／文化経験高	7	28.6	57.1	0.0	14.3	7	28.6	42.9	0.0	28.6
	所得区分3／文化経験低	34	26.5	35.3	26.5	11.8	34	20.6	23.5	38.2	17.6

## ②通塾と学習時間・授業の理解度

保護者調査で、子どもの塾・習い事について「学習塾・進学塾」「家庭教師」「通信教育」のいずれかを回答したものを「通塾あり」として、通塾の有無で勉強時間や授業の理解度を比較しました。

その結果、学年・家庭の経済状況にかかわらず、特に勉強時間については、通塾の有無による差が大きくなっています。授業の理解度については、勉強時間ほどの明確な差はありませんが、いずれの学年も特に所得区分3で、通塾の有無による授業の理解度の差が大きくなっています。

単位：％

	n	学校の授業以外の1日あたり勉強時間（平日）							学校の授業がわからないことがあるか					
		まったく少ない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	n	いつもわかる	だいたいわかる	教科によつてはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	
小学5年生	所得区分1／通塾あり	125	0.8	11.2	27.2	34.4	16.0	10.4	125	31.2	44.8	19.2	1.6	0.8
	所得区分1／通塾なし	87	14.9	31.0	37.9	13.8	2.3	0.0	92	18.5	50.0	22.8	3.3	2.2
	所得区分2／通塾あり	56	1.8	19.6	26.8	26.8	16.1	8.9	56	26.8	37.5	23.2	10.7	0.0
	所得区分2／通塾なし	106	10.4	18.9	43.4	21.7	2.8	2.8	107	15.0	42.1	32.7	6.5	1.9
	所得区分3／通塾あり	6	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	7	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	所得区分3／通塾なし	33	18.2	36.4	33.3	6.1	3.0	3.0	33	3.0	33.3	33.3	18.2	9.1
中学2年生	所得区分1／通塾あり	136	2.2	14.0	21.3	40.4	14.0	8.1	140	15.7	42.9	35.0	3.6	0.7
	所得区分1／通塾なし	52	28.8	28.8	11.5	21.2	7.7	1.9	53	9.4	35.8	37.7	9.4	3.8
	所得区分2／通塾あり	81	6.2	11.1	21.0	34.6	24.7	2.5	81	12.3	40.7	35.8	9.9	1.2
	所得区分2／通塾なし	60	18.3	35.0	13.3	20.0	6.7	6.7	61	6.6	31.1	45.9	11.5	3.3
	所得区分3／通塾あり	15	0.0	6.7	13.3	33.3	26.7	20.0	15	13.3	46.7	26.7	6.7	6.7
	所得区分3／通塾なし	24	37.5	33.3	8.3	16.7	4.2	0.0	25	4.0	20.0	56.0	12.0	4.0

### ③保護者の精神的健康状態と子どもとの関わり

保護者の精神的な健康状態の指標となるK6得点の段階別に、「不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと」の状況を見ると、K6得点が高く保護者の精神的な健康状態が良くない状況にあるほど、「よくある」または「ときどきある」が多くなる傾向となっています。

また、過去1年間に、病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのにしなかったことについても、保護者の精神的な健康状態が悪いほど、「あった」という回答が多くなっており、所得の低い区分ほど顕著な傾向となっています。家庭の経済状況だけではなく、保護者の精神的な健康状態も、子どものケアが行き届いているかどうかと関連していることが示されています。

単位：%

		不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと						受診したほうがよいと思ったのにしなかったこと		
		n	よくある	ときどきある	ほとんどない	ない	わからない	n	あった	なかった
所得区分1	K6得点4点以下	272	1.8	16.9	80.1	0.7	0.4	270	5.9	94.1
	K6得点5～9点	83	9.6	45.8	41.0	2.4	1.2	81	11.1	88.9
	K6得点10～12点	32	28.1	43.8	28.1	0.0	0.0	32	15.6	84.4
	K6得点13点以上	22	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	22	18.2	81.8
所得区分2	K6得点4点以下	178	0.6	22.5	72.5	1.7	2.8	177	5.1	94.9
	K6得点5～9点	63	15.9	52.4	30.2	1.6	0.0	63	12.7	87.3
	K6得点10～12点	33	30.3	51.5	18.2	0.0	0.0	33	24.2	75.8
	K6得点13点以上	29	62.1	27.6	10.3	0.0	0.0	29	24.1	75.9
所得区分3	K6得点4点以下	31	9.7	25.8	64.5	0.0	0.0	29	6.9	93.1
	K6得点5～9点	16	6.3	43.8	43.8	6.3	0.0	16	18.8	81.3
	K6得点10～12点	11	18.2	36.4	45.5	0.0	0.0	11	36.4	63.6
	K6得点13点以上	22	40.9	45.5	13.6	0.0	0.0	21	42.9	57.1

※小学5年生と中学2年生の合計での集計

#### ④保護者の就労状況と感染症拡大の影響

保護者の就労状況と新型コロナウイルス感染症拡大の影響との関連を見ると、収入の減少等の影響が最も大きいのは、「自営業」となっており、母親では 45.7%、父親では 62.6%が、「上記のようなことは経験していない」以外の、何らかの就労への影響を回答しています。

母親の就労状況と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を、ひとり親世帯とそれ以外で比較すると、ひとり親世帯においては、いずれの就労形態においても、非ひとり親世帯と比べて「収入の減少」を経験している割合が高くなっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、ひとり親世帯には特に大きな影響を与えていることがうかがえます。

#### ■就労状況別に見た感染症拡大の影響

単位：%

		感染症拡大の就労への影響				
		n	収入の減少	失業	希望しない働き方の変更	上記のようなことは経験していない
母親	正社員・正規職員・会社役員	216	12.0	0.5	5.6	83.8
	嘱託・契約社員・派遣職員	43	25.6	0.0	7.0	72.1
	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	384	27.9	1.0	9.1	65.6
	自営業	70	42.9	0.0	7.1	54.3
	賃金を得られる仕事をしていない	144	9.7	4.2	2.8	87.5
父親	正社員・正規職員・会社役員	663	20.5	1.4	3.6	77.1
	嘱託・契約社員・派遣職員	7	28.6	14.3	14.3	42.9
	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	10	40.0	0.0	0.0	60.0
	自営業	123	61.0	2.4	1.6	37.4
	賃金を得られる仕事をしていない	6	16.7	0.0	0.0	83.3

#### ■世帯類型別に見た母親の就労状況と感染症拡大の影響

単位：%

		感染症拡大の就労への影響【母親】				
		n	収入の減少	失業	希望しない働き方の変更	上記のようなことは経験していない
非ひとり親世帯	正社員・正規職員・会社役員	178	10.7	0.6	5.6	85.4
	嘱託・契約社員・派遣職員	35	22.9	0.0	8.6	74.3
	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	341	26.4	1.2	8.5	67.4
	自営業	67	41.8	0.0	6.0	55.2
	賃金を得られる仕事をしていない	127	4.7	1.6	1.6	93.7
ひとり親世帯	正社員・正規職員・会社役員	34	20.6	0.0	5.9	73.5
	嘱託・契約社員・派遣職員	7	28.6	0.0	0.0	71.4
	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	42	40.5	0.0	14.3	50.0
	自営業	3	66.7	0.0	33.3	33.3
	賃金を得られる仕事をしていない	17	47.1	23.5	11.8	41.2

※小学5年生と中学2年生の合計での集計

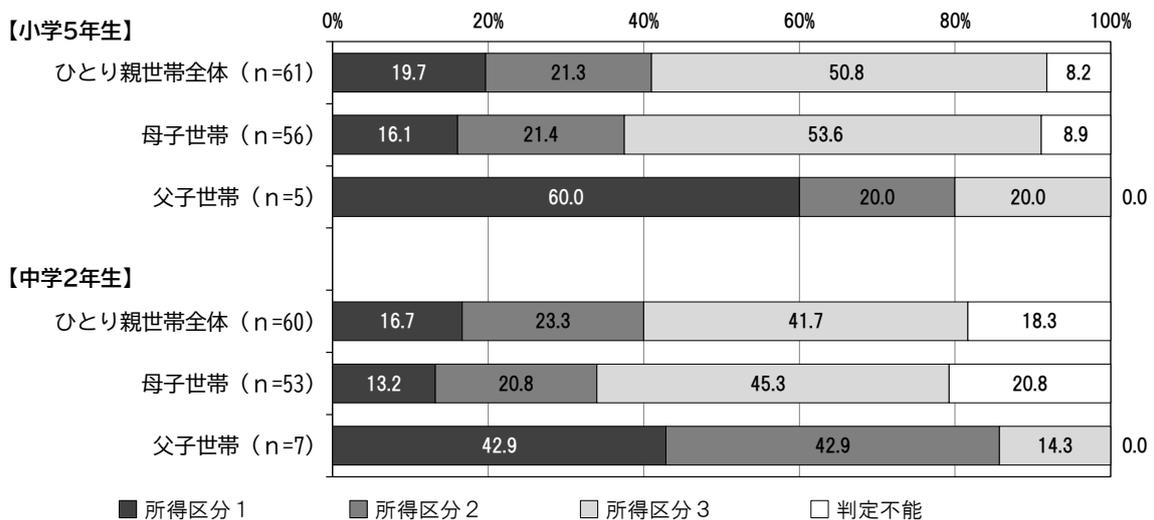
### 3. ひとり親世帯※の状況

※本報告書においては、保護者対象調査の親の婚姻の状況（問4）において、「離婚」「死別」「未婚」「別居」のいずれかを選択したものを「ひとり親」としています。ただし、養育費の受け取り状況の設問（保護者対象調査問5）については、「離婚」「未婚」を選んだもののみを対象としています。

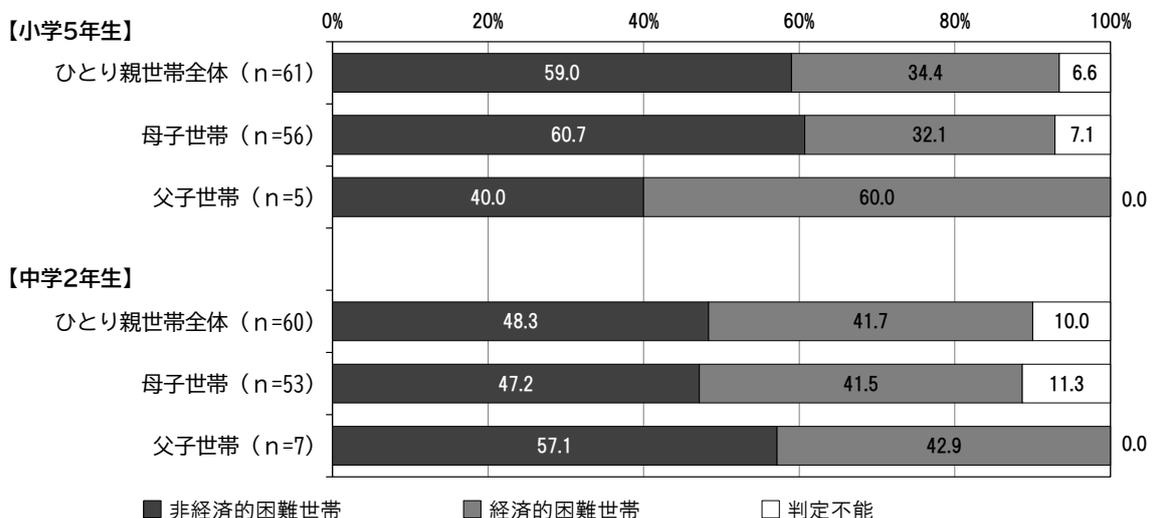
#### ①母子世帯・父子世帯の経済状況

母子世帯では、判定不能を除くといずれの学年も半数以上が所得区分3となっており、経済的に厳しい状況にある世帯が多くなっています。父子世帯については、小学5年生5件と中学2年生7件の合計12件のうち6件が所得区分1となっており、経済的には非ひとり親世帯を含めた全体の状況と大きな違いはありません。一方、経済的困難の状況を見ると、父子世帯の半数が経済的困難世帯に区分されています。

#### ■母子世帯・父子世帯の所得区分の状況



#### ■母子世帯・父子世帯の経済的困難の状況

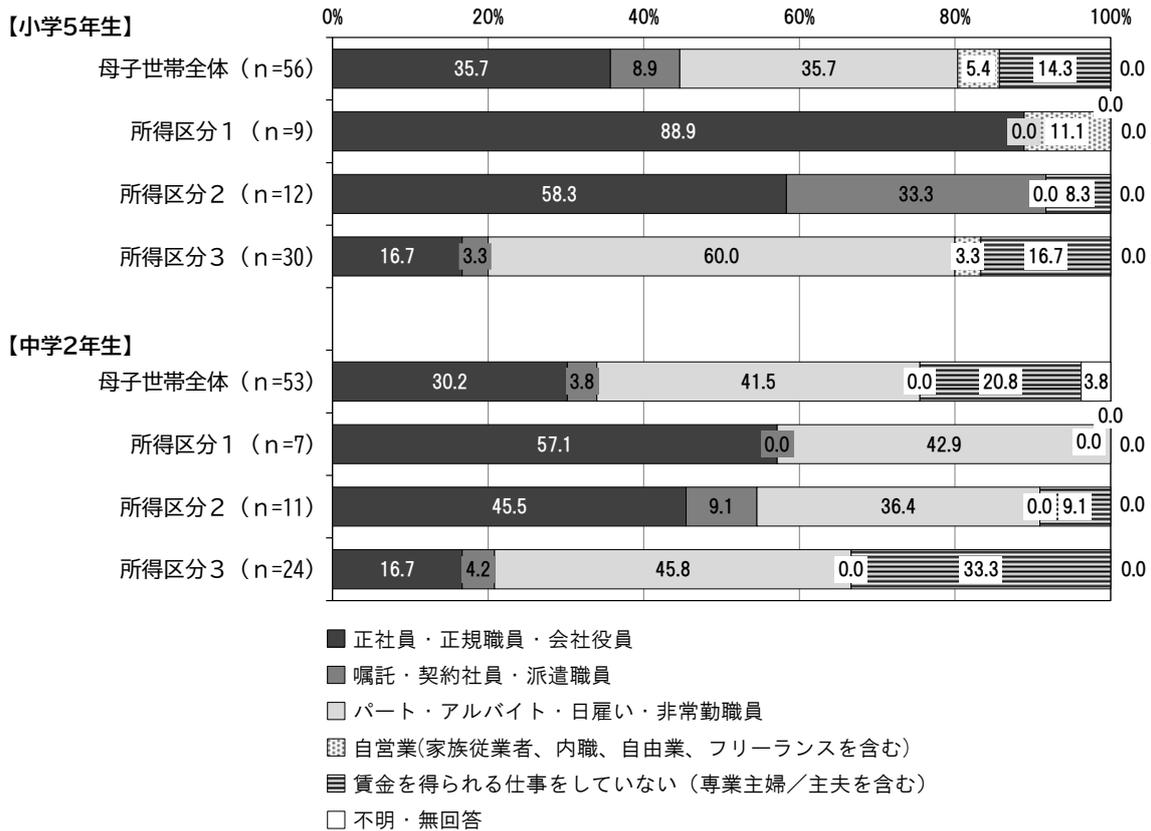


## ②母子世帯・父子世帯の就労状況

母子世帯の母親については、全体のデータ（保護者調査問8）と比べて、所得区分1・2で「正社員・正規職員・会社役員」が多く、「賃金を得られる仕事をしていない」が少なくなっており、家庭の経済状況が母親の就労状況と強く関連していることが示されています。

父子世帯の父親については、数は少ないですが「自営業」1名を除けば、全員が「正社員・正規職員・会社役員」となっています。

### ■母子世帯の母親の就労状況



### ■父子世帯の父親の就労状況

単位：％

		正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)	賃金を得られる仕事をしていない(専業主婦/主夫を含む)	不明・無回答
小学5年生	父子世帯全体 (n=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分1 (n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分3 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	父子世帯全体 (n=7)	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	所得区分1 (n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分2 (n=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	所得区分3 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### ③母子世帯・父子世帯の平日日中以外の勤務の状況

母子世帯の母親の平日日中以外の勤務の状況を見ると、全体のデータ（保護者調査問 10）と比べて、「平日日中以外の勤務はない」が少なく、休日や夜間に勤務している母親の割合が高くなっています。

#### ■母子世帯の母親の平日日中以外の勤務の状況

単位：％

		早朝（5～8時）	18～20時の勤務	20～22時の勤務	深夜勤務（22時～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない	不明・無回答
小学5年生	母子世帯全体（n=48）	4.2	25.0	12.5	10.4	54.2	27.1	22.9	6.3
	所得区分1（n=9）	0.0	33.3	22.2	11.1	44.4	44.4	22.2	0.0
	所得区分2（n=11）	9.1	27.3	9.1	0.0	63.6	9.1	27.3	0.0
	所得区分3（n=25）	4.0	24.0	12.0	16.0	52.0	32.0	20.0	12.0
中学2年生	母子世帯全体（n=40）	15.0	27.5	17.5	20.0	52.5	45.0	27.5	10.0
	所得区分1（n=7）	14.3	28.6	28.6	14.3	57.1	42.9	0.0	14.3
	所得区分2（n=10）	20.0	40.0	20.0	10.0	50.0	50.0	40.0	0.0
	所得区分3（n=16）	12.5	18.8	12.5	25.0	50.0	37.5	31.3	12.5

#### ■父子世帯の父親の平日日中以外の勤務の状況

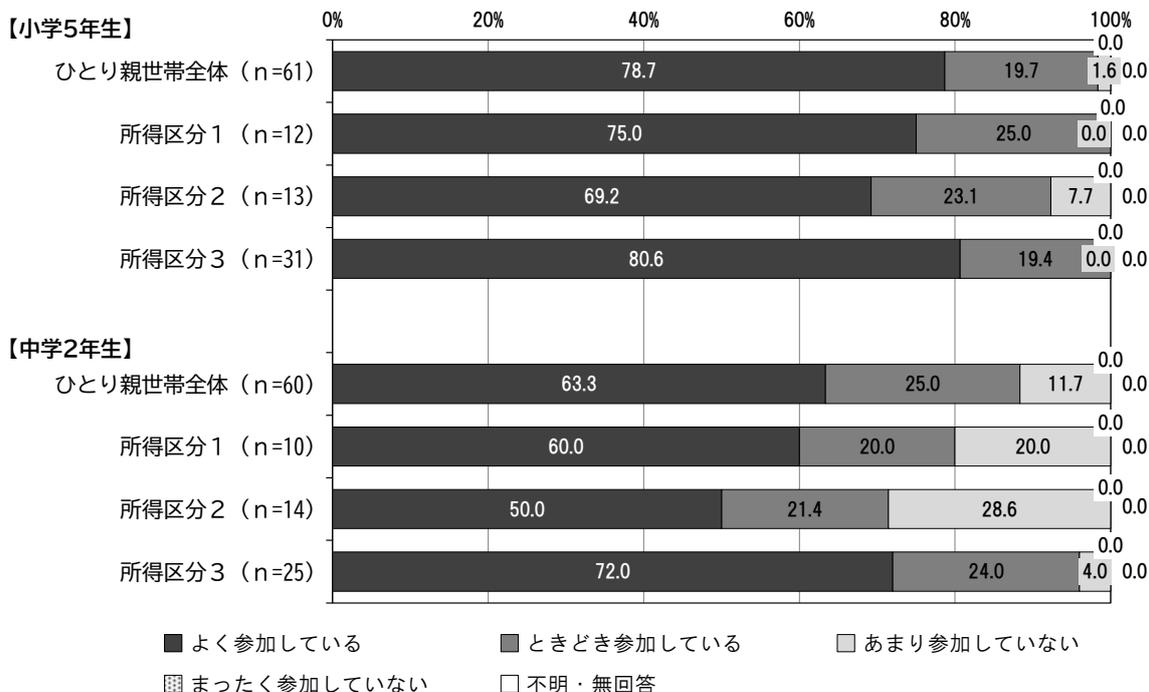
単位：％

		早朝（5～8時）	18～20時の勤務	20～22時の勤務	深夜勤務（22時～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない	不明・無回答
小学5年生	父子世帯全体（n=5）	0.0	40.0	20.0	20.0	80.0	40.0	20.0	0.0
	所得区分1（n=3）	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0
	所得区分2（n=1）	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	所得区分3（n=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	父子世帯全体（n=7）	0.0	42.9	57.1	14.3	71.4	42.9	14.3	14.3
	所得区分1（n=3）	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0
	所得区分2（n=3）	0.0	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3
	所得区分3（n=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

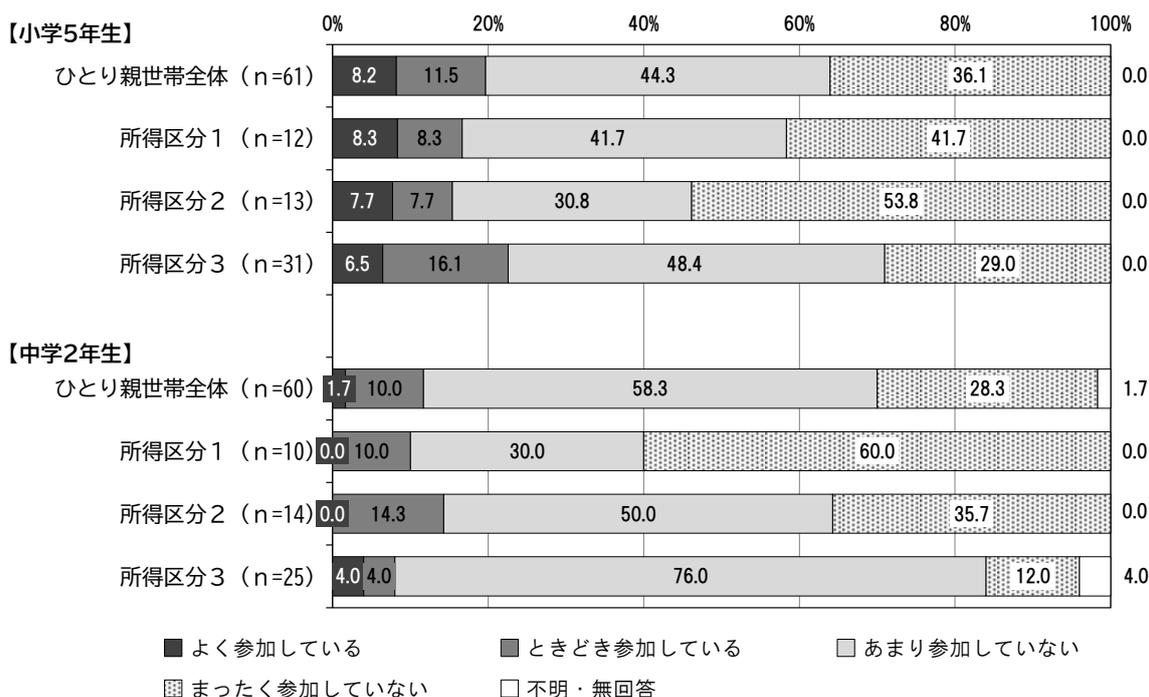
#### ④ひとり親世帯の保護者の学校参加の状況

子どもと保護者の関わりについて、食事を一緒にとることや保護者による教育的な働きかけ、子どもの勉強を見ること、医療機関の受診等の回答状況を見ると、ひとり親世帯と非ひとり親世帯の差は、同じ所得区分で比較するとあまりありませんでした。しかし、学校行事やPTA活動等への参加状況については、全体のデータ（保護者調査問14）と比べて、ひとり親世帯において参加が少ない傾向となっています。

#### ■ひとり親世帯の授業参観や運動会などの学校行事への参加の状況



#### ■ひとり親世帯のPTA活動や保護者会などへの参加の状況



### ⑤ひとり親世帯の子どもの負担の大きい手伝い等の状況

ひとり親世帯の件数が少ないため、明確な傾向とまでは言えませんが、負担の大きい家の手伝いなどの状況（子ども調査問 14）について、ひとり親世帯では、全体のデータと比べて「それほど大変な手伝いや仕事はしていない」がやや少なくなっており、小学5年生では「小さいきょうだいの身の回りのお世話」がやや多く、中学2年生では「買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事」が多くなっています。

単位：%

		お年寄りや障害のある家族・親せきの介護や介助（着替え・食事・お風呂・外出の手助けなど）	小さいきょうだいの身の回りのお世話（着替え・おむつ交換）・食事・お風呂のお世話、一緒に留守番など）	買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事	日本語が十分に話せない家族の通訳	家族の仕事の手伝い（家で仕事をする家族の手伝いや、家でしているお店の手伝いなど）	その他のお世話や仕事	それほど大変な手伝いや仕事はしていない	不明・無回答
小学5年生	ひとり親世帯全体（n=61）	0.0	6.6	6.6	0.0	4.9	1.6	72.1	13.1
	所得区分1（n=12）	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	83.3	8.3
	所得区分2（n=13）	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0
	所得区分3（n=31）	0.0	3.2	6.5	0.0	6.5	3.2	58.1	22.6
中学2年生	ひとり親世帯全体（n=60）	0.0	1.7	15.0	0.0	5.0	0.0	73.3	6.7
	所得区分1（n=10）	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0
	所得区分2（n=14）	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	78.6	0.0
	所得区分3（n=25）	0.0	4.0	16.0	0.0	4.0	0.0	72.0	8.0

## ⑥ひとり親世帯の保護者の人間関係

ひとり親世帯では、保護者が頼りにできる人間関係が全体的に少ない傾向があり、これは配偶者やその親族を頼りにできないといったことが影響していると考えられます。そこで、保護者調査で尋ねた、保護者を支えてくれて、手伝ってくれる人（問 23、7 項目）や、保護者が頼れる人（問 24、3 項目）について、「いる」という回答を 1 点、「いない」「わからない」「そのことで人に頼らない」を 0 点として 10 点満点で点数化し、保護者の人間関係の指標としました。

ひとり親世帯と非ひとり親世帯の状況を比較すると、いずれの学年もひとり親世帯の方が 10 点が少なく、平均点が低くなっており、支援を受けられる人間関係がやや乏しい傾向にあることがうかがえます。特に中学 2 年生では差が大きくなっています。また、5 点以下の割合を見ても、非ひとり親世帯では小学 5 年生 12.7%、中学 2 年生 9.8%（小数点第 2 位以下四捨五入の影響で下表の合計とは合いません）に対し、ひとり親世帯では小学 5 年生 19.7%、中学 2 年生 25.0%となっています。

単位：％

非ひとり親世帯		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	判定不能	平均点
小学5年生	非ひとり親世帯全体 (n=418)	1.2	0.7	3.6	1.2	3.8	2.2	5.5	6.9	15.6	19.6	38.0	1.7	8.1点
	所得区分1 (n=205)	1.0	0.5	2.4	0.5	2.4	1.5	3.9	6.3	16.1	22.0	42.9	0.5	8.5点
	所得区分2 (n=150)	0.7	0.7	3.3	1.3	4.7	2.0	7.3	8.7	15.3	15.3	38.0	2.7	8.1点
	所得区分3 (n=10)	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	30.0	20.0	10.0	7.2点
中学2年生	非ひとり親世帯全体 (n=389)	0.5	0.8	1.5	1.5	2.8	2.6	8.2	9.5	12.9	19.3	38.3	2.1	8.2点
	所得区分1 (n=187)	0.5	0.5	0.5	1.1	1.6	1.6	5.9	9.6	15.5	20.3	41.7	1.1	8.6点
	所得区分2 (n=130)	0.8	0.8	2.3	1.5	3.1	5.4	11.5	9.2	11.5	17.7	34.6	1.5	7.9点
	所得区分3 (n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	23.5	23.5	29.4	5.9	8.4点
ひとり親世帯		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	判定不能	平均点
小学5年生	ひとり親世帯全体 (n=61)	3.3	1.6	3.3	1.6	3.3	6.6	11.5	11.5	13.1	21.3	19.7	3.3	7.3点
	所得区分1 (n=12)	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3	8.3	7.4点
	所得区分2 (n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	30.8	7.7	15.4	23.1	15.4	0.0	7.6点
	所得区分3 (n=31)	6.5	3.2	3.2	0.0	0.0	3.2	6.5	16.1	12.9	25.8	19.4	3.2	7.3点
中学2年生	ひとり親世帯全体 (n=60)	5.0	5.0	3.3	1.7	1.7	8.3	15.0	6.7	8.3	21.7	15.0	8.3	6.7点
	所得区分1 (n=10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	30.0	10.0	0.0	6.7点
	所得区分2 (n=14)	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	14.3	14.3	14.3	14.3	7.1	6.7点
	所得区分3 (n=25)	4.0	0.0	8.0	4.0	4.0	4.0	12.0	8.0	8.0	20.0	16.0	12.0	6.8点



## V 子どもの貧困対策に係る団体・支援者調査の結果

---

※問1・問2は回答者の所属・団体等を尋ねる質問。

問3 貴団体の活動で関わる(活動に参加・来場してくれる)対象者(ターゲット)の中で、経済的に厳しいと思われる子ども・保護者等がいる(または過去にいた)と感じることはありますか。あれば、その時の状況、そう感じた理由など詳しくお教えてください。また、関わり方、サポート方法などで工夫した点等があれば、具体的にご記入ください。

経済的に困難な状況にある家庭や子どもの状況について、具体的な事例がいくつか報告されています。経済的に困難な状況で子育てをしている家庭があること、保護者自身にも課題があること等が指摘されています。

#### 主な意見

◇食材支援や貸付があるため、来所された方は困り事があって来所される。本人からの訴えにより、家賃や光熱水費の支払いが難しいことを把握している。最近は持ち物や服装などで困窮レベルを測ることは難しいため、話をきちんと聞かなければ実情がわからないと考えている。

【CSW】

◇子どもや保護者が、悩み、子育て・教育などをお話しくださる中で、「お金がないから早く進学せねばならない」「子どもと関わりたいが仕事に行かねばならない」という話を聞く。【SC】

◇保護者からの直接の訴えからの把握が一番多い。また学校活動の中で教職員からの相談を経て感じることもある。【SSW】

◇コロナ禍で失業された方が何名かいらっしゃいます。【支援団体】

◇経済的には安定していても、汚れた衣服、季節に合っていない衣服、サイズのあっていない衣服または靴をはいていることがある。また、食事が簡潔なものや賞味期限の切れた食べもの(パン、惣ざい等)になっている状況。一方、おもちゃや保護者の好きなアイドル等には高額を使ったり、高額でペットを買っている状況がみられる。声かけをしても改善はされない。保護者がお金の使い方を知らないため経済的には裕福でも子どもが貧困な家庭は多い。【支援団体】

◇過去に来館していた親子は経済的に厳しいのではないかと感じられました。子どもが着用している洋服の種類数が少なく、数日間同じ服を着ていることもありました。また、子どもの体臭がきつく感じることも多かったです。お母様との話では父親が単身赴任中で母親の実家で暮らしているとのことでした。【支援拠点】

◇コロナで仕事がなくなり、妊娠がわかった。パートナーもコロナで仕事が減り赤字の中、どうやって生活していけばいいのか、と涙流して話される。【助産師】

◇学校やご近所でもない、たった月に1回しか会わない子ども食堂のスタッフに、保護者が「ちょっと厳しくて、車売ったんです」「介護が大変で・・・」「私のおじいさんは外国人で・・・」「子どもが最近荒れていて・・・」「学校に行きにくくて・・・」など、話してくれることがある。また、「家に帰りたくないねん」という子どもがいた。その子には、時間を決めて一緒に遊んだり、話を聞いたり、絵を描いたりして関わった。【子ども食堂】

◇保育徴収金の引き落とし不能となった場合や、離婚された時の養育費等の問題を聞いた時に経済的に厳しい生活ではないかと感じることもある。【保育施設】

◇福祉や医療サービスに繋げる時に、費用がかかるために利用が難しいと言われることがあり、金

銭的な問題があると感じる事があった。また、保護者からの具体的な訴えまでは至っていないが、障害児を育てるため就労がままならない（夜勤が出来ない、短い時間しか仕事が出来ない、不登校で仕事を休まないといけないなど）家庭があり、収入が少ない状態になっている。【相談支援員（障害）】

◇経済的に厳しい状態での転入で、諸費の滞納等がある。就学援助や生活保護の申請を保護者へ促したり、市役所の部署に相談したりした。【学校】

◇月々の教材費等の引き落としができない（1回以上）家庭が常時60件、多い時には70件（550件中）となることもある。経済的な問題とイコールではないが、懸念される。児童・保護者の言動などから、「親が仕事に追われていて子どもの面倒を十分に見ることができていない」「金銭のかかる習い事（学習塾など）に行けない」という家庭の割合が高いと感じる。【学校】

◇未婚や支援してくれる家族がいないため、出産後すぐから経済面の困難がある。保護者の能力不足により、お金の管理ができないため、教育や育児にお金を使えない。DV等も含めてパートナーにお金を管理されているために、十分なお金を使えない。【保健師】

◇昼食時、菓子パン1個のみ等が続いている児童が以前も現在もいる。【放課後児童会】

◇衣服が清潔でない状態や入浴ができていないと思われる状態。母子家庭で母親が夜間の仕事に出て、児童だけで留守番をしていると思われる事等。【放課後児童会】

#### 問4 活動(子ども・保護者等をサポート)していくうえでの課題があればご記入ください。

支援を必要とする家庭や保護者にアプローチすることの難しさや、関係機関の連携の必要性について、多くの指摘があります。

#### 主な意見

◇長く困窮状態である世帯は保護者や子どもの病気や怪我ですぐに状況が悪化することが考えられるが、困窮状態であることが常態化していることで SOS を出すタイミングがわからなくなっている場合がある。支援機関は相談者の SOS や支援の受け入れがなければ、動きにくい。SOS を発信するべき時に SOS をキャッチしてくれる存在がいなければ相談に繋がらない。【CSW】

◇予算が多くないですので、スタッフさんの人数がギリギリで、近頃スタッフさんもコロナでお休みされる事もあり、そのようなときに困っています。もう少し運営費に余裕をもって、人員を増やしたいです。【支援団体】

◇アウトリーチ型の支援を心がけても、対象の全児童を把握することはできないため、当事者や関係者（関係機関）からの、相談・情報提供・通告を端緒とせざるを得ない。【家庭児童相談室】

◇こちらが聞き取りをしている状況では、かなり困窮しているように見受けられるケースでも、本人自身はあまり危機感を持っていないケースが多い。【相談支援員（生活困窮）】

◇学校との連携は必要だと思う。たぶんしんどい家庭だろうなあ。たぶん学校ではしんどいだろうなあと想像はできるが、「たぶん」だけでは、食堂に来ている1時間半の間だけを楽しい時間にはできるが、サポートまではできない。【子ども食堂】

◇保護者が関係機関に入られることを嫌がる。早急に動いて欲しいが、関係機関の動きがあまり早くしてもらえない。関係機関へ情報提供しても、学校から聞かないと関係機関からの情報提供が

ないことがある。関係機関の担当者が忙しく、直接連絡がとれないことがある。【学校】

◇学校単独では、家庭の課題（金銭的なものを含めて）に対して、一定程度は関わったとしても、本質的な部分にまで踏み込むことはできない。関係諸機関との連携の中で、予防という観点から協働体制作りが必須である。【学校】

◇こちらがサポート必要と思っても、相手が必要を感じていない場合、電話が繋がらない。訪問しても不在という状態が続き、支援につなげることが難しい。【保健師】

◇貧困に関する子どもへの関わりが必要になった時、いろいろな方面からのアドバイスが欲しいと考えています。【放課後児童会】

◇障害児者の支援をしていますが、お金に関して介入はできない。第三者の介入が必要と感じる場面が多い。【相談支援員（障害）】

問5 どのような支援があれば、様々な課題を抱える子どもを支える上で有効な対策になるとお考えですか。また、藤井寺市としてどのようなことに取り組むべきだとお考えですか。

#### ①実際に効果があった具体的な取組について

適切な支援につながった例や、関係機関の連携による効果について報告されています。

#### 主な意見

◇わかりやすい効果を感じられる支援はない。効果が得られなくても継続して見守り、情報を提供するようにしている。【CSW】

◇保護者との継続した援助関係を結ぶこと。複数回の面接を通して、保護者に制度やサービスに関する情報提供をしながら、信頼関係が築けたうえで、役所等への同行支援を行ったこと。【SSW】

◇気になるときは連絡して状況確認。そういう活動が救済支援へつながる。保護者や子から連絡するのはハードルが高いのではないかと思われる。【助産師】

◇園を訪問してもらい、保護者と面談してもらったことにより、先の支援機関につながる事ができた。【保育施設】

◇児童・保護者の悩み・相談に対してのハードルを下げ、どんな相談に対しても何かしらの動きを見せる（関係諸機関との連携含む）ことが大切と考える。子育て支援課や子ども家庭センターなどと学校とが連動したケースでは、致命的な家庭の崩壊を回避できている。【学校】

◇生活支援課との連携。生活保護受給家庭に生じた個別のケースに対し、家庭や子の立場に立ち、非常な丁寧な連携を取ることができた。【学校】

## ②このような事業・施策があれば有効な支援になると考えられる取組について

利用しやすい支援のあり方や、支援体制の構築について様々な意見があります。

### 主な意見

- ◇貧困家庭へのサポートに焦点を当てたスクールカウンセラー・教員・市教委職員・他の専門家のグループを構築する。【SC】
- ◇他市が取り組んでいる塾代助成事業が本市にもあれば、経済的にしんどい家庭の子どもたちの学習の機会や経験の幅が広がり、より前向きな進路・職業選択へと繋がるのではないかと考えられます。【SC】
- ◇成年後見ほどの強い権力はなくても家族から子どもや障害児者の生活を守る最低限の金銭管理をしてもらえるようなシステムが必要だと思う。手当、年金等も保護者や家族に自由に使われてしまっても本人、子どもは其中で生活しているため。【相談支援員（障害）】
- ◇市の窓口をつくるもの良いが、どの窓口でも対応できるようにしておく。無料配布物、広報にわかりやすいところに掲載しておく。24時間体制で相談・支援できる様にしておく。【助産師】
- ◇誰もが集える施設で夜間（20時頃まで）使える所があり、そこでは無料で飲食でき、勉強したい子は勉強を、遊びたい子は遊び、読書をしたい子は読書し、自分のしたいことができる場所があれば有効だと考えます。【主任児童委員（民生委員児童委員）】
- ◇園において、貧困家庭支援のポスターの掲示や入園に際し貧困に対するアンケート調査の実施、面接や個人懇談時にそのような家庭があれば行政に繋いでいくといった取組が可能。【保育施設】
- ◇無料でお金の事を相談できる場所があると良い。食べるのに困るまでではないが、保護者が病で収入が減ったため、生活が苦しくなったなど。【相談支援員（障害）】
- ◇経済的に厳しい状況にある家庭に安定した経済的支援が必要であり、その事務手続きの簡略化および様々な方法を用いての周知が必要である。【学校】
- ◇一時保育がスムーズに利用できる（リフレッシュ目的で利用できる）。現状、一時保育はありますが、十分な頻度で利用できていない声が多いです。【保健師】
- ◇今日、今、利用できる何かがあればいいなと思います（事前申し込み不要で）。食事の提供など。【保健師】

③現在他機関や他団体と連携している取組、今後連携したいと考える取組などがあればご記入ください。

関係機関との連携や情報共有の事例について報告されています。

主な意見

- ◇子ども食堂、生活支援課、子育て支援課へのつなぎを行っている。【CSW】
- ◇近隣大学等にご協力いただき、実習として大学生が来られたり、ボランティアスタッフさんも現在5名来てくださり、子どもたちにとっても、大学生や社会人にとっても交流と体験の場に立っています。【支援団体】
- ◇子育て支援施設同士の連携として、「つどいの広場ふじいでら」さんのスタッフとの情報交換、情報共有を行っています。他の子育て支援施設とも交流し合える機会があれば利用者の方が必要としていることを共に考え、実行していくことが可能になると思います。【支援拠点】
- ◇保健師さんの赤ちゃん訪問時に主任児童委員のチラシ等を持参いただき、気になるご家庭があれば情報を共有させていただければと思います。【主任児童委員（民生委員児童委員）】
- ◇ふじいでら子ども子育て連絡会と連携し、食材をいただいたり、情報を共有している。【子ども食堂】
- ◇経済的な問題へのアドバイスをしてもらえると、ケース会議などに招いて相談しやすい。経済的な問題に注目する視点を持って、学校やデイと話をするとサポートできることが出てくるかもしれないので、今後はケース会議などで取り上げる事も行っていきたい。【相談支援員（障害）】
- ◇児童・保護者の悩み・課題に対して、子育て支援課と学校が協働して、長期的なスパンで家庭を支えていく体制作り（関係諸機関同士の仕事内容を知る機会の提供・合同ケース会議の開催・課題の早期発見及び即応体制作りなど）。【学校】
- ◇産婦人科、小児科オンラインの活用を積極的にすすめていきたい。【保健師】
- ◇課題・問題を藤井寺市福祉総務課と相談・連携している。場合によっては、医療機関や学校などとの連携。【相談支援員（障害）】

#### ④今後藤井寺市が特に取り組むべきだと考えることについて

施策の周知や必要な人に支援を届けるための取組について、複数の指摘があります。また、子育て支援の充実や支援体制の構築、具体的な支援方策等について意見があります。

##### 主な意見

- ◇施策をわかりやすく、市民に周知する工夫。受け身になってしまう役所の体制は致し方ないと思いつつも、子どもの権利を守るためには、アウトリーチ型の施策の検討があってもいいように思う。【SSW】
- ◇子どもや障害児者の生活を守る最低限の金銭管理をしてもらえるような公的なシステムの構築。【相談支援員（障害）】
- ◇各校区に誰もが集える場所を設置し、世代間交流が行えるようにする。そこで相互共助出来るような環境を作って頂ければいいと思います。また、塾に行きたくても行けない子ども達の学習支援にも力を入れる等して、子育てのしやすい町づくりを目指してほしいです。【主任児童委員（民生委員児童委員）】
- ◇子どもや地域をサポートしている方々（民生委員さん・児童主任さん・登校サポートさん・子ども食堂・学校・学童などなど）の意見交流会・研修会の開催。藤井寺市が子ども食堂起ち上げのサポート・運営費のサポートを積極的にしてほしいです。【子ども食堂】
- ◇民間事業者等を巻き込んで、子ども食堂の設置（支援）、食料品等の支援、遊びの場の提供、小・中学生であれば勉強支援など同じ環境の人を繋げていく場所を設置（確保）する。【保育施設】
- ◇現在、取組を行っていることに対して、市民の方へのアピール度に欠けるのでは？【保育施設】
- ◇貧困家庭へのケースワーク。困っていることは金銭問題だけではないことが多いので、多面的な視点で市に関わってもらいたい。【相談支援員（障害）】
- ◇貧困家庭への支援について、学校と市役所の部署を結ぶ役割の方がいるとありがたい。【学校】
- ◇部活動を含むスポーツや学習塾にかかる費用について、経済面での課題の有無に関わらず、どの子ども機会が得られるような助成制度を設立していくこと。【学校】
- ◇保護者が息抜きできる場をつくる、交流できる場を作る、そこに支援者がいつでも常駐できているとよい。【保健師】
- ◇わかりやすい情報をわかりやすく発信、周知することかと思います。【保健師】
- ◇年々支援を必要とする児童が増えているが、支援員・指導員の人数配置は昔と変化がなく、机上の設定より児童数と支援の必要と思われる児童数を踏まえ、支援員・指導員の人数を見直してほしい。【放課後児童会】
- ◇孤立している状態で自ら支援を求めるのは難しい。「困ったら相談に来て」ではなく、行政から積極的に「関わりに行く」取り組み方が必要と感じる。【放課後児童会】

問6 新型コロナウイルス感染症の拡大による貴団体の活動への影響、対象者と関わる中で感じた子どもへの影響などがあればご記入ください。

感染症拡大の影響が、家庭の経済状況や子どもの内面、支援の難しさなど、幅広い分野に及んでいることが示されています。

主な意見

- ◇居住空間への訪問は必要最低限にして、感染症対策を行っている。困窮者支援が増えたことで他機関と連携して対応するケースの実績が増えた。新型コロナウイルスに感染した場合や発熱によって感染が疑われる場合において、困窮するスピードが上がるがあった。【CSW】
- ◇感染症拡大によって、ご相談件数が増えたように思います。その内容は感染症に係る不安に関する内容だけではありません。対象者に関して、外出自粛が求められる中で学習や対人関係における不安や息苦しさが増えているように感じられます。【SC】
- ◇コロナ感染症に隠れた不登校がふえている。【SC】
- ◇家族、子どもの引きこもり、ゲームへのさらなる依存、学校へ行くことに意味を見出せない子ども、保護者の増加、自死事案の増加。【SSW】
- ◇感染者が増えると対面での交流が減ってしまい、特に子育て中のお母さん方が外に出づらい状況になります。コロナ禍が長引くことによりお母さんの疲弊が増しているようです。お母さんの疲弊が増すと子育てにも余裕がなくなり「ついイライラして子どもを叱ってしまう」「その後、自己嫌悪に陥る」といった悪循環が繰り返してしまうというお声を以前より、多く聞くようになりました【支援団体】
- ◇困窮に関する相談内容については、新型コロナウイルス感染症の拡大による収入減が影響しているケースがあった。【家庭児童相談室】
- ◇コロナウイルス感染症対策でおもちゃの消毒を徹底するため、アルコールによる手拭き消毒作業、もしくは72時間のおもちゃの封じ込めによる消毒を実践しています。その他、館内消毒、清掃作業にかなりの時間を要するなど影響は大きいです。【支援拠点】
- ◇3年度、活動がほとんど行えていない【青少年指導員会】
- ◇保育中の子どものマスク着用は、保育士や子ども同士の表情等がわかりにくく、子どもたちが表情から感情を読み取る力の発達に影響を生じるのではないかと心配である。【保育施設】
- ◇保護者の方の仕事への負担が増えている。中には、職を失い転職されている方もいる。【保育施設】
- ◇自宅で過ごすことが長くなってしまうケースの場合、学習空白にならないよう気をつけている。しかしながら、補充としては十分な時間を確保することが難しい。特に、体験的な学習（校外学習、ゲストティーチャー授業、交流学习、縦割り活動など）については、なかなか補いきれない。【学校】
- ◇経済的に厳しい家庭では、保護者が新型コロナウイルスに感染した場合、子どもの世話をしてくれる人がいない状況に陥る。また、子どもが感染した場合でも、なかなか適切に受診できない場合が多い。【学校】
- ◇学力不振、生活経験・体験不足、体力の低下、マスクを外すことができない児童の増加など。

【学校】

- ◇検診の簡略化、時間短縮のため集団指導がなくなり、ゆっくりと話ができない。母の悩み等に寄りそえているのか不安がある。子どもの発達や問題点の把握、母の不安を把握しきれていないのではないかという不安がある。【保健師】
- ◇医療ケアが必要な身体障害児童で、施設内コロナ蔓延により短期入所施設閉鎖。受け入れてもらえず、保護者の通院等に支障が出た。【相談支援員（障害）】
- ◇体調不良でも保護者の仕事の都合で出席して発熱し、早退する児童もいるので、コロナにかかり、治っては出席、また、別の児童が発症といたちごっこ状態。その児童と接している私達も常に不安でコロナ以外に体調をくずす者もあり、非常にストレスを感じている。【放課後児童会】

問7 子どもの貧困に対するご意見があればご記入ください。

情報の集約や他機関の連携、誰もが利用できる支援や保護者への支援等、今後検討すべき支援の在り方について、多くの意見があります。

主な意見

- ◇子どもの貧困は目に見えにくく、発見する難しさがある。ひとり親家庭については、保護者が上手く仕事を見つけ、上手くお金のやりくりをしなければいけない場面も多く、病気や怪我によって急激に生活の維持が難しくなることもある。子どもの保護だけが対処方法にならないように、早期発見をした上で備えを考えた支援策が必要と思う。【CSW】
- ◇小中学校の場合は子どもの貧困は保護者の問題でもあります。保護者が行政を信頼してくれるようにならないと、支援は届けられない。小中学生に対する反貧困教育も必要になってくると思う。【SC】
- ◇藤井寺市には“困っている子どもの役に立ちたい”と思って下さっている方が沢山おられますので、今回の実態調査活かして、より当事者ニーズに沿った私たちのまち独自の施策や市民活動ができればいいなと思います。【支援団体】
- ◇子どもに対するお金の支援はもちろんですが食べ物・衣類・文房具など現物でもらえた方が良い子もいるかと思います。【支援団体】
- ◇子どもの生活に関する困窮情報（育児物品・学用品の不足や不備など）でも、保護者の就労や生活保護などで最低限の収入は確保できそうな状況であっても、金銭の使途に問題がある場合もある。その場合は、所得制限等で各種支援が該当しないこともあり、解決に至らないことがある。【家庭児童相談室】
- ◇表情が乏しく、子どもと関わることもせずといった利用者の方は、もしかしたら経済的、精神的な貧困ではないかと考え、さりげなく話を交わし、安心できる場所であると思ってもらえる対応を心掛けています。そのような関わりの中で、表面に現れていなかった貧困に対する悩みを一緒に共有して、社会的手立てによって救済できることはないか考えていける、そのような施設でありたいと思い活動しています。【支援拠点】
- ◇貧困家庭だけをターゲットにサポートしようと考えると活動の範囲がとても狭くなってしまいうように感じる。どの子育て家庭も本当にぎりぎりの所で踏ん張りながら、日々奮闘していると思

う。それが、金銭的な面以外にも、精神的な面での課題であってもサポートは必要だと感じる。

【子ども食堂】

- ◇貧困は残念ながら連鎖することが多いので、連鎖を断ち切るために学力向上の支援や、貧困であるがゆえにケア役割を担わされている子どもの早期発見と支援、大学の授業料無償化などが進めばと思う。そのためにも子どもの貧困状況を把握する必要があると思う。【主任児童委員（民生委員児童委員）】
- ◇コロナ禍でリストラにあった家族など社会情勢と共に家庭状況も厳しい家庭が多くなってきていると感じる。【保育施設】
- ◇子どもの貧困対策として、保育所・幼稚園・学校等から情報を集約し、動くことのできる機関を作ってほしいです。【学校】
- ◇経済的な支援があればいいのではなく、問題は複雑。家族関係の問題も含めて解決が困難な場合も多い。多機関での協力、情報共有、見守りが必要。【保健師】
- ◇親世代の貧困を引きついでいる事がほとんどだと思います。恥ずかしくなく受けられる学習支援、食事提供、子どもからのSOSをすぐに受け止められる居場所、機関があればと思います。【放課後児童会】

## VI 調査結果に基づく支援の課題

---

# 1. 主な調査結果

## (1)子育て世帯の経済状況について

---

- ◇食料・衣服の購入困難、ライフライン関連費用や学校で必要なお金の未払い経験がある世帯が、経済状況に関わらず一部に存在。【保護者問 25～問 28】
- ◇経済的に厳しい世帯においては、日本語以外の言語を使用している割合もやや高く、外国にルーツを持つ家庭が経済的に厳しい状況に陥りやすい。【保護者問 6】
- ◇子どもの将来のための貯蓄については、「するつもりはない」という回答は家庭の経済状況に関わらずほぼなかったのに対し、経済的に厳しい世帯ほど「貯蓄をしたいが、できていない」が多く、家庭の経済状況による格差が大きい。【保護者問 32】
- ◇新型コロナウイルス感染症の影響は、経済的に厳しい世帯ほど大きい。団体・支援者調査においても、感染症拡大の影響での失業の事例が複数報告されている。【保護者問 11、団体調査 124 頁】
- ◇団体・支援者調査において、経済的に厳しい状況で生活している子どもの事例が報告されている。【団体調査 124～125 頁、130 頁、132 頁】

## (2)ひとり親世帯の状況について

---

- ◇所得区分 3 におけるひとり親世帯の割合が高い（全国調査よりやや高い）。【保護者問 4、追加的な分析 102 頁】
- ◇全国調査と比較して養育費の受け取り率が低い。【追加的な分析 102 頁】
- ◇母親の就労における新型コロナウイルス感染症の影響は、ひとり親世帯ほど大きい。【追加的な分析 115 頁】

## (3)子どもの生活習慣について

---

- ◇経済的に厳しい世帯では朝食や長期休業中の昼食の頻度がやや低く、起床時刻が決まっていない、就寝時刻が遅い等の傾向。【子ども問 6～問 8】
- ◇所得が低い区分ほど、「テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている」割合が低く、子どもがテレビ、ゲーム、インターネット等をする時間が長い傾向。【保護者問 13、子ども問 20】
- ◇特に小学 5 年生で、経済的に厳しい世帯の子どもの方が遅刻の頻度が高く、欠席の頻度も、経済的に厳しい世帯で高い傾向。【子ども問 12、保護者問 15】

#### (4)子どもの体験・経験について

---

- ◇家庭における文化的な体験・経験の格差。図書館利用、地域行事への参加など、必ずしも経済的負担を伴うものではないと考えられる項目にも格差が存在。【子ども問 16】
- ◇経済状況にかかわらず文化的な体験が多いほど自己肯定感が高い傾向。【追加的な分析 112 頁】
- ◇塾や習い事については経済状況による差が大きい。【保護者問 21】

#### (5)学習・教育について

---

- ◇経済的に厳しい世帯の子どもほど、授業の理解度が低く学習時間が短い。【子ども問 22、問 24】
- ◇学校以外の学習の場について、経済的に厳しい世帯の子どもほど「塾で勉強する」が少なく、「学校の授業以外で勉強はしない」が多い。関連して、通塾での学習についても家庭の経済状況による格差がある。【子ども問 21】
- ◇中学 2 年生は全国調査と比べて「まったくしない」「30 分より短い」が多い一方、所得区分 2・3 については、2 時間以上の回答が全国調査より多く二極化の傾向。【追加的な分析 108 頁】
- ◇経済状況と授業の理解度が関連する傾向。中学 2 年生では、全国調査と比べて「わからないことが多い」「ほとんどわからない」がやや少ない。【追加的な分析 109 頁】
- ◇小学 5 年生の経済的に厳しい世帯では勉強を家の人に見てもらうことが少なく、子どもの年齢に合った本や宿題をできる環境が家がないことがやや多い。【子ども問 21、保護者問 28】

#### (6)進学について

---

- ◇子どもの進学希望も、保護者の進学予想も、所得が低い区分ほど「高校まで」または「専門学校まで」が多く、「大学またはそれ以上」が少ない傾向。【保護者問 19、子ども問 26】
- ◇子どもの進学希望について、経済的に厳しい世帯の子どもほど、自分の希望する学校や職業または成績から考えてというより、保護者や周囲の人がそう言っている、そうしているから、という回答が多い。【子ども問 27】
- ◇全国調査との比較では、中学 2 年生の進学希望の理由について、所得区分 3 で「おうちの大人の人がそう言っているから」「まわりの先輩やともだちがそうしているから」が多い。【追加的な分析 120 頁】

#### (7)子どもの内面について

---

- ◇特に小学 5 年生では「自分に自信がある」「自分には良いところがある」「自分のことが好きだ」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」といった自尊感情に関わる項目で、所得が低い区分ほど否定的な回答が多い。【子ども問 29A～D】

◇中学2年生では、「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」といった将来展望に関わる項目で、所得が低い区分ほど「そう思う」がやや少ない傾向がある。【子ども問 29E～G】

◇いやなことや悩んでいることの相談相手について、経済的に厳しい世帯の子どもは「学校のともだち」という回答がやや少なく、「自分は友だちから好かれている」「友だちと会うのは楽しい」についても否定的な回答がやや多くなっており、友人関係においても孤立しやすい状況に置かれている可能性がある。【子ども問 18、問 29J～K】

## (8)ヤングケアラーについて

---

◇いずれの学年も1割前後が、家の手伝いなどのために、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならないと感じる内容を回答している。【子ども問 14】

◇手伝いや仕事の頻度については、「ほとんど毎日」が最も多く、家庭の経済状況による差はあまり見られない。【子ども問 15】

## (9)保護者の就労について

---

◇母親の就労状況では、「正社員・正規職員・会社役員」は所得区分1で多く、中学2年生の所得区分3では「賃金を得られる仕事をしていない」がやや多い。【保護者問 8】

◇母親の賃金を得られる仕事をしていない主な理由については、所得が低い区分ほど「子育てを優先したいため」が少なく、中学2年生の所得区分3では「自分の病気や障害のため」が最も多い。【保護者問 9】

◇経済的に厳しい世帯では、平日日中以外の勤務を行っていることが多く、子どものケアの不足につながっていることがうかがえる。【保護者問 10】

## (10)保護者の孤立について

---

◇経済的に厳しい世帯では、保護者を支えたり手伝ってくれる人や、相談ごとで頼れる人が「いる」と回答する割合がやや低く、保護者が孤立しがちな傾向があることがうかがえる。【保護者問 23、問 24】

◇頼りにできる相手については、家族・親族や友人・知人が多く、公的な機関等の回答は少ない。【保護者問 24】

◇団体・支援者調査では、様々な場面で保護者の悩みを聞く中で、問題の把握や支援につながる事例が複数報告されており、信頼関係の構築の重要性の一方で、保護者自身が支援を必要としなかったり拒んだりするといった支援につなぐことの難しさが指摘された。【団体調査 125～126 頁、131 頁】

## (11)子どもの医療について

---

- ◇経済的に厳しい世帯では、子どもを医療機関に受診させた方がよいと思ったのに受診しなかった経験を有する保護者が多い。【保護者問 34】
- ◇受診させなかった理由については、「感染症の影響」「時間がなかった」という回答が多く、「医療費の支払いが不安であった」は少ない。【保護者問 35】
- ◇経済的に厳しい世帯では、子どもに治療していないむし歯があると回答する保護者の割合が高い。【保護者問 36】
- ◇保護者については、精神的に厳しい状況にあるほど、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことや、医療機関で子どもを受診させなかったことの割合が高くなっている。【追加的な分析 114 頁】

## (12)支援制度の利用と認知について

---

- ◇就学援助については、所得区分3の7割以上が現在利用していると回答しており、全国調査との比較においても利用率は高くなっている。本来対象となっている世帯の多くに支援が届いている状況だと考えられる。【保護者問 42、追加的な分析 106 頁】
- ◇就学援助を利用していない理由として、小学5年生の経済的に厳しい世帯においては「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」という回答がやや多くなっている。【保護者問 42】
- ◇ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援拠点事業、子ども食堂・地域食堂などについては、経済的に厳しい世帯ほど「知らない」という回答が多くなっており、様々な子育て支援についての情報が、それを必要としている世帯ほど伝わっていない状況にある。【保護者問 43】
- ◇団体・支援者調査において、支援のための手続きの問題や、確実に支援につなげる上では、関係機関の連携体制が必要であると指摘されている。【団体調査 126～129 頁、132 頁】

## (13)支援のニーズについて

---

- ◇「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」や「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」について、全国調査との比較で「利用したことがある」「あれば利用したいと思う」が多い。【追加的な分析 111 頁】
- ◇経済的に厳しい世帯ほど「安い家賃で住める住居」「生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）」「読み書き計算などの基本的な学習への支援」といったより基礎的なニーズが高く、所得の高い世帯ほど「自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供」「会社などでの職場体験などの機会の提供」といった家庭だけでは提供できない体験等のニーズが高い。【保護者問 44】

## 2. 実態調査から見えた本市の課題

### (1)子育て世帯の経済状況について

---

経済的に厳しい世帯においてはひとり親の割合が非常に高く、既存のひとり親世帯への支援では、ひとり親世帯の経済的困難を支援するには十分ではない可能性があります。また、一部には生活必需品等が購入困難であったり、ライフライン関連費用の未払い経験があるなどといった経済的に厳しい状況で子育てをしている家庭が存在していることにも留意が必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響についても、より厳しい状況にある世帯で深刻な影響が出ている可能性があり、適切な支援につなげるための取組が必要となります。

### (2)子どもの教育・進学について

---

学習・進学の格差は、将来的な職業や収入にも影響し、貧困の連鎖を招くものであることから、家庭の状況による学習・経験の格差を補う取組が求められます。

教育や進学に関する費用だけでなく、習い事や旅行などの多様な体験のための費用等、家庭の経済状況が子どもの学習環境や経験、将来展望を左右する要因となっている現状を踏まえ、学習環境の充実や多様な体験の機会の提供が求められます。

また、経済的な格差だけではなく、身近な人間関係も子どもの将来展望に影響を与えていることから、子どもの経験や視野を広げるためのアプローチを検討する必要があります。

### (3)子どもの日常生活について

---

家庭の経済状況の格差が、生活習慣や友人関係、内面等、子どもの生活の幅広い領域に影響を与えていることが示されており、養育環境の確保だけでなく、経済的に厳しい状況にあっても、子どもが自尊感情を保ち、将来に展望が持てるような働きかけが課題となります。

また、保護者自身が複合的な課題を抱えている場合や、家庭の課題を十分認識できていない場合もあり、子どもへの支援だけでなく、家庭・保護者への支援も必要となります。

### (4)保護者の就労・生活の状況について

---

男女の賃金格差や子育てによるキャリアの途切れ等が、特に母子世帯において不利になりやすい社会状況にあることを踏まえ、生活の安定のための就労の支援や、子育てしやすい就労環境を確保するための取組が求められます。

経済的に厳しい世帯の保護者が孤立しがちな状況にあることを踏まえ、学校・就学前施設等の多くの子どもと関わる機関が問題に気づき、適切に対応できるための体制づくりや、公的な支援や相談窓口について一層の周知をしていくことなど、孤立を防ぎ支援につなげるための取組が必要です。

## (5) 支援制度・支援のニーズについて

---

経済的に厳しい世帯ほど、支援制度や事業などの情報を得られていない状況であるため、支援が必要な家庭が適切な情報を入手できるよう、引き続き広報周知の方法を検討するとともに、手続き面で改善の余地があるかについても検討する必要があります。

より多くの子どものに接する学校や就学前施設と、福祉分野等の行政部局や民間を含めた様々な福祉・子育て支援に関わる団体・機関との連携・情報共有が可能な体制を確保し、適切な支援につなげるための取組が課題となります。

経済的困難な状況においては、保護者自身が課題を十分認識できていなかったり、支援を積極的に受けようとしなないことが少なくないことも指摘されており、適切な信頼関係の構築や、アプローチしやすい人・機関から支援につなげるための取組の工夫が求められます。



## VII 資料編

---

# 1. 保護者アンケート

## ふじいでらしこ 藤井寺市子どもの生活に関する実態調査 保護者用

～アンケートへのご協力のお願い～

白頭より、市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
このアンケートは、小学5年生または中学2年生のお子さんがいる保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについてお聞きがし、子どもたちや子育て世帯への支援に役立てることを目的として行うものです。  
お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年7月

藤井寺市

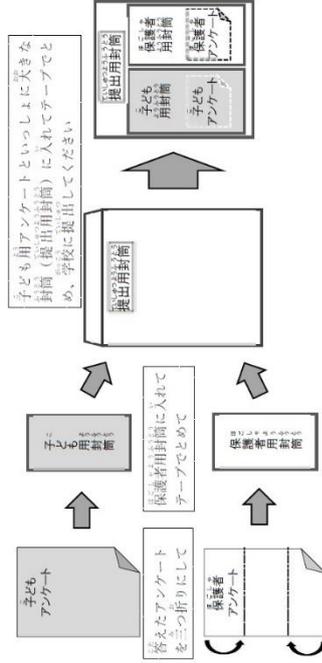
●●●お願い●●●

### 1 アンケートへのご回答について

- このアンケートを持ち帰られたお子さんの保護者の方が、質問にお答えください。
- 質問では、このアンケートを持ち帰られたお子さんのことを「お子さん」、アンケートに回答していただいた保護者の方を「あなた」と呼びます。ただし、「保護者」と書いている場合は「あなた」以外の保護者、「子ども」と書いている場合は「お子さん」以外の子どもを含むものとして。
- 無記名のアンケートです。お名前をお書きいただく必要はありません。
- ご回答は、ボールペンまたは、鉛筆・シャープペンシルでお願いします。
- お答えは、ボールペンまたは、鉛筆・シャープペンシルでお願いします。
- 「あてはまるものに○」をつけていただく質問では、「あてはまるもの1つに○」をつけていただく場合と、「あてはまるものすべてに○」をつけていただく場合があります。それぞれの指定にしたがってご回答ください。  
なお、「その他」に○をつけられた場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。「ことわりがき」や「印刷」にしたがってご回答ください。
- ご回答いただいたアンケートの内容は、統計的に集計・分析されます。ご回答いただいた個人が特定されることはありません。

### 2 アンケートのご提出について

- ご回答いただいたアンケートは、保護者用封筒（縦3サイズ）に三つ折りにして入れて、テープで封をしてください。
- お子さんの回答済みアンケートが入った子ども用封筒（縦3サイズ）とともに、提出用封筒（アンケートが入っていた封筒、角2サイズ）に入れて、テープで封をしてください。
- 回答済み保護者用・子ども用アンケートが入った提出用封筒（角2）は、**7月15日（金曜日）まで**に、お子さんを通じて、各学校の担任の先生にご提出をお願いいたします。



### 3 アンケート調査に関するお問い合わせについて

このアンケート調査は、藤井寺市が行っています。学校は、アンケートなどの配付と回収のご協力をいただいています。  
アンケート調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、下記までお願いいたします。

藤井寺市 子育て支援課 子育て支援担当

電話番号：072-939-1162（直通）

（月曜日～金曜日（祝日を除く） 9時00分～17時30分）

## お子さん※や調査に回答いただく方(あなた)のことについて

※この調査で「お子さん」という場合は、学校からアンケートを持ち帰ったお子さんのことについて、お答えください。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。  
(あてはまるもの1つに○)

- |       |               |         |
|-------|---------------|---------|
| 1 母親  | 4 おじ、おばなどの親族  | 6 施設職員※ |
| 2 父親  | 5 兄、姉などのきょうだい | 7 その他   |
| 3 祖父母 | ( )           | ( )     |

※施設職員の方は以下の質問に回答いただける範囲でご回答ください。

問2 お子さんと普段一緒に住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたやお子さんを答えて何人ですか。人数をご記入ください。

※旅行や出張などで一時的(3か月以内)に自宅を離れている人、船員など就業場所を移動する人も含みます。  
※単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などに入所している人は除きます。  
※病院に入院している人も含みます。ただし、住民登録を病院に移している人は除きます。

ご家族の人数  人

問3 お子さんと同居しているご家族はどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

- |      |              |           |
|------|--------------|-----------|
| 1 母親 | 3 祖父母        | 5 きょうだい   |
| 2 父親 | 4 おじ、おばなどの親族 | 6 その他 ( ) |

問4 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1 結婚している(再婚や事実婚を含む) | →問6へ |
| 2 離婚                | →問5へ |
| 3 死別                | →問6へ |

問5 問4で「離婚」または「未婚」を選んだ方におうかがいします。

相手方とお子さんの養育費の取決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。  
(あてはまるもの1つに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 取の決めをしており、養育費を受け取っている     |
| 2 特に取の決めはしていないが、養育費を受け取っている |
| 3 養育費の取の決めをしているが、受け取っていない   |
| 4 養育費の取の決めをしておらず、受け取っていない   |

問6 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 日本語(手話を含む)のみを使用している       |
| 2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い |
| 3 日本語以外の言語を使うことが多い(具体的に: 語) |

問7 あなたが、初めて親となった年齢はいつですか。(実子以外も含みます)(あてはまるもの1つに○)

- |          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| 1 10歳代   | 3 25～29歳 | 5 35～39歳 | 7 わからない |
| 2 20～24歳 | 4 30～34歳 | 6 40歳以上  |         |

※あなたがお子さんの親でない場合は、お子さんの母親が初めて親となった年齢を回答してください。

## お子さんの母親と父親について

※お子さんに母親がいらない場合は、父親についてのみお答えください。  
※お子さんに父親がいらない場合は、母親についてのみお答えください。  
※お子さんに母親も父親もいらない場合は、問13以降にお答えください。

問8 お子さんの母親と父親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。  
(a, b それぞれあてはまるもの1つに○)

- |                             | a) 母親 | b) 父親 |
|-----------------------------|-------|-------|
| 正社員・正規職員・会社役員               | 1     | 1     |
| 嘱託・契約社員・派遣職員                | 2     | 2     |
| パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員         | 3     | 3     |
| 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む) | 4     | 4     |
| 賃金を得られる仕事をしていない(専業主婦/主夫を含む) | 5     | 5     |

問9 問8で「5 賃金を得られる仕事をしていない」を選んだ方におうかがいします。  
賃金を得られる仕事をしていない、主な理由を教えてください。  
(a, b それぞれあてはまるもの1つに○)

- |                     | a) 母親 | b) 父親 |
|---------------------|-------|-------|
| 現在求職中または希望する仕事がないため | 1     | 1     |
| 子育てを優先したため          | 2     | 2     |
| 家族の介護・介助のため         | 3     | 3     |
| 自分の病気や障害のため         | 4     | 4     |
| 通学しているため            | 5     | 5     |
| その他の理由              | 6     | 6     |

問10 問8で1～4を選んだ方（賃金を得られる仕事をしている方）におうかがいします。

残業も含めて、平日の日中以外の勤務が週に1回以上ありますか。また、土日・祝日の勤務が月に1回以上ありますか。（a、bそれぞれあてはまるものすべてに○）

	週に1回以上				月に1回以上の		平日の日中以外の勤務はない
	早朝（5～8時）	18～20時の勤務	20～22時の深夜勤務（22時～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務	
a) 母親	1	2	3	4	5	6	7
b) 父親	1	2	3	4	5	6	7

問11 新型コロナウイルス感染症の拡大により、お子さんの母親と父親は以下のようなおこなったことを経験しましたか。（a、bそれぞれあてはまるものすべてに○）

	a) 母親	b) 父親
収入の減少	1	1
失業	2	2
希望しない働き方への変更	3	3
上記のようなことは経験していない	4	4

※正社員から契約社員やパートへの変更、出勤日・時間の変更や短縮、転職やダブルワークなど。

問12 お子さんの母親と父親の最後に通った学校をお答えください。

（a、bそれぞれあてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
中学校卒業	1	1
高等学校中途退学	2	2
高等学校卒業	3	3
専門学校（高卒後に通うもの）など卒業	4	4
短大・高専卒業	5	5
大学卒業	6	6
大学院修了	7	7
その他の教育機関卒業	8	8
答えたくない	9	9

※高専とは、中学校卒業後に入学できる5年制の教育機関で、短期大学と同様に高等教育機関として位置づけられています。

## お子さんに関することについて

問13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことどれくらいあてはまりますか。（A～Dそれぞれあてはまるもの1つに○）

	あてはまる	あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	どちらかといえば、あてはまらない
A テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている	1	2	3	4
B お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
C お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
D お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○）

	いる	よく参加している	ときどき参加している	ていねい	あまり参加しない	まったく参加しない
A 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6
B PTA活動や保護者会などの参加	1	2	3	4	5	6

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いものはどれですか。（あてはまるもの1つに○）

1	ほぼ毎日通っている
2	欠席は年間30日未満である
3	欠席が年間30日以上、60日未満である
4	欠席が年間60日以上、1年未満である
5	欠席が1年以上続いている
6	わからない

問16 あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくする
- 2 する
- 3 あまりしない
- 4 しない

問17 あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 とても期待している
- 2 期待している
- 3 あまり期待していない
- 4 期待していない

問18 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学校 (中学部)
- 2 高等学校 (高等部)
- 3 専門学校 (高卒後に進学するもの)
- 4 短大 (短期大学)・高专 (高等専門学校) ※
- 5 大学・大学院
- 6 わからない

※高専とは、中学校卒業後に入学できる5年制の教育機関で、短期大学と同様に高等教育機関として位置付けられています。

問19 お子さんは、現実的に見て、将来どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学校 (中学部)
- 2 高等学校 (高等部)
- 3 専門学校 (高卒後に進学するもの)
- 4 短大 (短期大学)・高专 (高等専門学校)
- 5 大学・大学院
- 6 わからない →問21へ

問20 問19で1～5を選んだ方におうかがいします。

その理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人が希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 本人の学力から考えて
- 4 家庭の経済的な状況から考えて
- 5 その他 ( )
- 6 特に理由は無い

問21 お子さんは現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動などは含めずにお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 学習塾・進学塾
- 2 家庭教師
- 3 通信教育
- 4 英会話・そろばんなどの勉強の習い事
- 5 絵画・音楽・ダンス・茶道などの芸術の習い事
- 6 水泳・野球・体操、剣道などのスポーツ
- 7 塾や習い事はしていない
- 8 その他 ( )

問22 最近1年くらいの間にあなたのご家庭では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもの進路を変更した
- 2 子どものための本や絵本が買えなかった
- 3 子どもにおこづかいを渡すことができなかった
- 4 子どもが学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった
- 5 子どもを学習塾に通わせることができなかった
- 6 子どもを塾以外の習い事に通わせることができなかった
- 7 子どもが学校のクラブ活動に参加させられなかった
- 8 子どもの誕生日を祝えなかった
- 9 子どもにお年玉をあげることができなかった
- 10 子どもが学校の行事などに参加することができなかった
- 11 子どもが、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった
- 12 家族旅行(テーマパークなど日帰りのお出かけを含む)ができなかった
- 13 どれもあてはまらない

あなたのご家庭での生活について

問23 次のA～Gについて、おうちの方を含め(子どもは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(A～Gそれぞれあてはまるもの1つに○)

	いる	いない	わからない
A 心配ことや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
B あなたのお気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
C 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
D 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
E 子どものお字(びや)遊びをゆめにかにする情報を教えてくれる人(運動や文化活動)	1	2	3
F 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
G 留守を頼める人	1	2	3

問24 あなたの次に挙げることから頼れる人はいいますか。(a～cそれぞれあてはまるもの1つに○)  
また、「1」いる場合、それはどれですか。(1～8のあてはまるものすべてに○)

a) 子育てに関する相談

1	いる	2	いない	3	そのことで人に頼らない
1	家族・親族	4	職場の人	7	民生委員・児童委員・主任
2	友人・知人	5	学校・保育施設などの先生	8	児童委員
3	近所の人	6	相談・支援機関や福祉の人	8	※ その他 ( )

※市(市役所)、社会福祉協議会、福祉事業所などの人や相談窓口を含みます。

b) 重要なことからの相談

1	いる	2	いない	3	そのことで人に頼らない
1	家族・親族	4	職場の人	7	民生委員・児童委員・主任
2	友人・知人	5	学校・保育施設などの先生	8	児童委員
3	近所の人	6	相談・支援機関や福祉の人	8	※ その他 ( )

c) いざという時のお金の援助

1	いる	2	いない	3	そのことで人に頼らない
1	家族・親族	4	職場の人	7	民生委員・児童委員・主任
2	友人・知人	5	学校・保育施設などの先生	8	児童委員
3	近所の人	6	相談・支援機関や福祉の人	8	※ その他 ( )

問25 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(酒・たばこなど)は含みません。(あてはまるもの1つに○)

1	よくあった	2	ときどきあった	3	まれにあった	4	全くなかった
---	-------	---	---------	---	--------	---	--------

問26 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・玉飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

1	よくあった	2	ときどきあった	3	まれにあった	4	全くなかった
---	-------	---	---------	---	--------	---	--------

問27 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で払えなかったことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1	電気料金	5	家賃
2	ガス料金	6	公的年金・健康保険などの保険料
3	水道料金	7	所得税や住民税などの税金
4	電話料金(携帯電話・スマートフォン)	8	子どもの学校で必要なお金
	の料金を含む)	9	あてはまるものはない

問28 次のうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1	子どもの年齢に合った本	9	電子レンジ
2	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	10	電話(固定電話・携帯電話を含む)
3	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	11	世帯専用のお風呂
4	洗濯機	12	世帯人数分のベッドまたは布団
5	炊飯器	13	急な出費のための貯金または現金(5万円以上)
6	掃除機	14	パソコン(タブレット含む)
7	暖房機器(エアコンを含む)	15	あてはまるものはない
8	冷房機器(エアコンを含む)		

問29 あなたの世帯の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(A～Fそれぞれあてはまるもの1つに○)

	かなり増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	かなり減った
A 世帯全体の収入	1	2	3	4	5
B 生活に必要な支出	1	2	3	4	5
C お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3	4	5
D お子さんへ話をすること	1	2	3	4	5
E 家庭内で言い争ったり、めめごとが起こること	1	2	3	4	5
F あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3	4	5

問30 昨年1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日の期間）の世帯全体のおおよその年間収入（税込み）はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）

※一歳に生活する世帯全員の合計を答えてください。1年間の収入がわからないときは、1か月分の収入を12倍するなどして、1年分のとおおよその金額を計算して回答してください。

※収入には、働いて得た給料や賞与（ボーナス）、商売や農林漁業などの事業で得た所得（売り上げから原材料費や経費を差し引いた利益）、預貯金の利子や家賃収入、年金、生活保護・児童手当・児童扶養手当などの社会保険給付金、養育費や離れて暮らす家族からの仕送り、各種祝い金などが含まれます。ただし、各種の借入金（収入には含めません）。

- |   |             |    |              |
|---|-------------|----|--------------|
| 1 | 50万円未満      | 10 | 450～500万円未満  |
| 2 | 50～100万円未満  | 11 | 500～600万円未満  |
| 3 | 100～150万円未満 | 12 | 600～700万円未満  |
| 4 | 150～200万円未満 | 13 | 700～800万円未満  |
| 5 | 200～250万円未満 | 14 | 800～900万円未満  |
| 6 | 250～300万円未満 | 15 | 900～1000万円未満 |
| 7 | 300～350万円未満 | 16 | 1000万円以上     |
| 8 | 350～400万円未満 | 17 | わからない        |
| 9 | 400～450万円未満 |    |              |

問31 昨年1年間（令和3年1月1日～令和3年12月31日の期間）のあなたの世帯の世帯の状況はどれですか。（あてはまるもの1つに○）

- |   |                  |   |                  |
|---|------------------|---|------------------|
| 1 | 貯蓄ができていない（赤字である） | 3 | 赤字（収入より支出が多い）である |
| 2 | 赤字でもなく（黒字でもない）   | 4 | わからない            |

問32 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

- |   |                |   |             |
|---|----------------|---|-------------|
| 1 | 貯蓄をしている        | 3 | 貯蓄をするつもりはない |
| 2 | 貯蓄をしたいが、できていない |   |             |

問33 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

- |   |                    |   |         |
|---|--------------------|---|---------|
| 1 | 持ち家（親・さょうだいの名義を含む） | 4 | 民間の賃貸住宅 |
| 2 | 府営の住宅              | 5 | 官舎・社宅   |
| 3 | UR賃貸住宅・公社賃貸住宅      | 6 | その他（ ）  |

### あなたやお子さんの健康状態について

問34 あなたのご家庭では、過去1年の間に、子どもの病気やけがの治療のために病院や診療所などの医療機関を受診したほうがよいと思っただけに、実際には受診しなかったことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

- |   |     |   |             |
|---|-----|---|-------------|
| 1 | あった | 2 | なかった → 問36へ |
|---|-----|---|-------------|

問35 問34で「1. あった」を選んだ方におうかがします。病院や診療所などの医療機関を受診しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 医療機関に連れて行く時間がなかったから                |
| 2 | 医療機関までの距離が遠く、連れて行けなかったから           |
| 3 | 子ども本人が受診したがらなかったから                 |
| 4 | 医療費の支払いが不安であったから                   |
| 5 | 自分の健康状態が悪かったから                     |
| 6 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や医療機関への受診を控えたから |
| 7 | その他（ ）                             |

問36 お子さんには、むし歯がありますか。（あてはまるもの1つに○）

- |   |             |   |       |
|---|-------------|---|-------|
| 1 | ある（治療していない） | 4 | ない    |
| 2 | ある（治療中）     | 5 | わからない |
| 3 | あった（治療済み）   |   |       |

問37 あなたはこの1か月の間、A～Fのようなことがどれくらいありましたか。  
(A～Fそれぞれあてはまるもの1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
E 何をしても面倒だと感じた	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問38 将来に対して希望を持っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 希望が持てる
- 2 希望が持てるときもあれば、持てないときもある
- 3 希望が持てない
- 4 わからない

問39 ストレスを発散できるものがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 ある
- 2 あるときもあれば、ないときもない
- 3 ない
- 4 わからない

問40 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくある
- 2 ときどきある
- 3 ほとんどない
- 4 ない
- 5 わからない

問41 あなたは、定期的(ていじてき)に健康診断(けんこうしん断)を受けていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

公的支援の利用状況や必要な支援について

問42 あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
(A～Eそれぞれあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことはない」を選んだ場合、理由を教えてください。(①～⑤1つに○)

A 就学援助 ※学校給食費や学用品費などの支払いが困難な場合、費用の一部を援助する制度。

1 現在利用している	① 利用条件を満たさないと思うから
2 現在は利用していないが、以前利用したことがある	② 利用したいと思わなかったから
3 利用したことはない	③ 手続きが分からなかったり、利用しにくいから
	④ 今までの支援制度を知らなかったから
	⑤ その他 ( )

B 児童扶養手当 ※ひとり親家庭などに支給される手当 (児童手当とは異なります)。

1 現在利用している	① 利用条件を満たさないと思うから
2 現在は利用していないが、以前利用したことがある	② 利用したいと思わなかったから
3 利用したことはない	③ 手続きが分からなかったり、利用しにくいから
	④ 今までの支援制度を知らなかったから
	⑤ その他 ( )

C 生活保護

1 現在利用している	① 利用条件を満たさないと思うから
2 現在は利用していないが、以前利用したことがある	② 利用したいと思わなかったから
3 利用したことはない	③ 手続きが分からなかったり、利用しにくいから
	④ 今までの支援制度を知らなかったから
	⑤ その他 ( )

D 生活困窮者の自立支援相談窓口

1 現在利用している	① 利用条件を満たさないと思うから
2 現在は利用していないが、以前利用したことがある	② 利用したいと思わなかったから
3 利用したことはない	③ 手続きが分からなかったり、利用しにくいから
	④ 今までの支援制度を知らなかったから
	⑤ その他 ( )

**E 地域就労支援センター**

<p>1 現在利用している</p> <p>2 現在は利用していないが、以前利用したことがある</p> <p>3 利用したことはない</p>	<p>① 利用条件を満たさないと思ってから</p> <p>② 利用したいと思わなかったから</p> <p>③ 手続きが分からなかったり、利用しにくいから</p> <p>④ 今までの支援制度を知らなかったから</p> <p>⑤ その他 ( )</p>
---	--

**問43** 次のA～Eの取り組みについて、あなたは知っていましたか。また、利用したことがありますか。  
(A～Eそれぞれあてはまるもの1つに○)

	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
A ファミリー・サポート・センター事業 (児童のお手伝いをしてほしい方(依頼会員)と育児のお手伝いをしてほしい方(援助会員)の両方を登録して、援助活動により仕事と育児の両立や、子育て家庭にゆとりを持っていただけたらという支援する事業)	1	2	3
B 子育て短期支援事業 (ショートステイ・トワイライト)	1	2	3
C 地域子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター、つどいの広場「ふいでら」、つどいの広場「コタリコック」、つどいの広場「バンブーハウスおちや箱」、「ほけとひろば」) (未就園のお子さんと保護者の方が気軽に集まって交流や相談などができる場所)	1	2	3
D 子ども食堂・地域食堂など (地域で無料もしくは安い値段で食事が食べられたり、他の人と交流したりできること)	1	2	3
E フードバンクによる食糧支援 (まだ食べられるのに様々な理由で廃棄されてしまう食品を福祉施設や支援を必要としている人に無料で提供する活動)	1	2	3

**問44** 現在、または将来的に、どのような子育て支援があるかと思いませんか。  
(あてはまるものすべてに○)

<p>1 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供</p> <p>2 安い家賃で住める住居</p> <p>3 生活や就学のための経済的援助(給付金や貸付金など)</p> <p>4 進路や生活などについてなんでも相談できること</p> <p>5 自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供</p> <p>6 地域における子どもの居場所の提供(子ども食堂、地域食堂なども含む)</p> <p>7 読み書き計算などの基本的な学習への支援</p> <p>8 進学や資格を取るための発展的な学習の支援</p> <p>9 会社などでの職場体験などの機会の提供</p> <p>10 仕事に就けるようにするための就労に関する支援</p> <p>11 進学や就職についての情報の提供</p> <p>12 特になし</p> <p>13 その他 ( )</p>
---

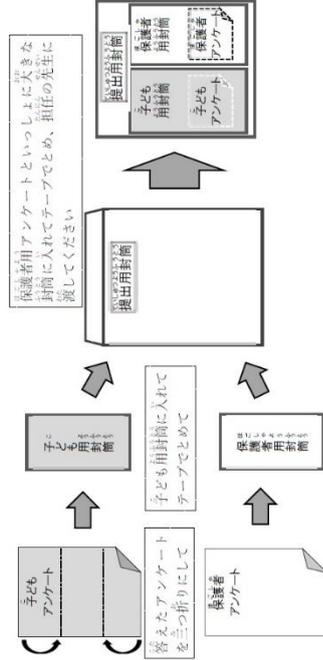
**問45** その他、毎日の生活で感じていることや困っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。  
このアンケートは三つ折りにして保護者用封筒に入れ、お子さんのアンケートが入った子ども用封筒と一緒に提出用封筒に入れて、**7月15日(金曜日)**までに学校にご提出をお願いします。

## 2. 子どもアンケート

### 2 アンケートの学校への提出方法について

1. 全部答え終わったら、自分でこのアンケートを折りましたみ、お渡ししている「子ども用封筒」に入れて、テープでとめてください。
2. おうちの方が書いたアンケートが入った「保護者用封筒」と一緒に、最初にアンケートが入っていた大きい封筒（提出用封筒）に入れて、テープでとめてください。
3. 回答が終わったアンケートが入った大きな封筒は、**7月15日（金曜日）**までに、学校の担任の先生に渡してください。



### 3 アンケート調査に関するお問い合わせについて

このアンケート調査は、藤井寺市が行っています。学校は、アンケートなどの配付と回収のみご協力方をいただいています。  
アンケート調査に際してお問い合わせ、ご意見などは、下記までお願いいたします。

藤井寺市 こと未来部 子育て支援課 ことも総務担当  
電話番号：072-939-1162（直通）  
（月曜日～金曜日（祝日を除く） 9時00分～17時30分）

## ふじいでらしこ 藤井寺市子どもの生活に関する実態調査 子ども用

～アンケートへのご協力をお願いします～

### ● ● ● お願い ● ● ●

- ◆ これは、藤井寺市の子どもの考えや悩み、生活状況などを調べ、市の取り組みに活かすためのアンケートです。どうかご協力をお願いします。
- ◆ このアンケートは、あなたが自分で書いてください。回答の内容を、おうちの人や他の人に見せる必要はありません。先生に見られることもありません。
- ◆ 自分の思うように答えてください。まちがった答えや、正しい答え、悪い答えはありません。答えたくない質問は、とばして次に進んでください。

### 1 アンケートの答え方について

1. このアンケートや封筒にあなたの名前を書く必要はありません。
2. 回答は、鉛筆・シャープペンシルまたはボールペンで書いてください。
3. 質問は、次の例のように答えてください。

問1 あなたが体を動かして遊ぶのが好きですか。（あてはまるもの1つに○）

① はい 2 いいえ

問2 あなたが飼っている生物を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1 イヌ 4 ハムスター  
2 ネコ 5 その他（                      ）  
3 魚 6 生物は飼っていない

4. 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。「その他」に○をつけた場合は、具体的に書いてください。

5. ○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」と書いてあります。それにしてください。

あなた自身のことやあなたの生活について

問1 あなたは小学生ですか、中学生ですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 小学生
- 2 中学生

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男子
- 2 女子
- 3 答えたくない・その他

問3 あなたは毎日の生活でどのようなときに楽しおと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 おうちの人と一緒に過ごしているとき
- 2 ともだちと一緒に過ごしているとき
- 3 学校生活やクラブ活動に参加しているとき
- 4 ひりで過ごしているとき
- 5 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
- 6 塾や習いごとで過ごしているとき
- 7 特に楽しいと思うときははない
- 8 その他 ( )

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 おうちの大人の人(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・おじいちゃん・親せきなど)
- 2 おにいちゃん・おねえちゃん(※もう大人になっているきょうだいは1に○をしてください)
- 3 妹・弟
- 4 おうちの人以上の大人(放課後児童会などの学童保育の指導員、クラブ活動の先生、近所の大人、塾や習いごとの先生など)
- 5 学校・放課後児童会などの学童保育・クラブ活動のともだち
- 6 学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)
- 7 ひりでいる
- 8 その他 ( )

問5 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分の家
- 2 おばあちゃん・おじいちゃんの家
- 3 親せきの家
- 4 ともだちの家
- 5 塾・習いごと
- 6 学校(クラブ活動など)
- 7 公園・広場
- 8 スーパーやショッピングモール
- 9 コンビニエンスストア
- 10 ゲームセンター
- 11 図書館など公共の施設
- 12 子ども食堂など(同じ年頃の子どもが集まる地域の居場所)
- 13 放課後児童会などの学童保育
- 14 その他 ( )

問6 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問7 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)何時に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 午後9時より前
- 2 午後9時台
- 3 午後10時台
- 4 午後11時台
- 5 午前0時台
- 6 午前1時より後
- 7 きまっていない

問8 あなたは次の食事をどのくらいしていますか。(A～Cそれぞれあてはまるもの1つに○)

	ほとんど毎日	週に4回	週に3回	週に2回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
A 朝食	1	2	3	4	5	6	7	
B 夕食	1	2	3	4	5	6	7	
C 夏休みや冬休みなどの学校が休みの日の昼食	1	2	3	4	5	6	7	

問9 あなたが食事を食べないとき、その理由は何か。(A～Cそれぞれあてはまるもの1つに○)

	時間が ない	おなかが すいて いない	用意が されていない	いつも 食べない (食べる 習慣が ない)	その他
A 朝食	1	2	3	4	5
B 夕食	1	2	3	4	5
C 夏休みや冬休みなどの学校が 休みの日の昼食	1	2	3	4	5

問10 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワー)のみの場合も含む)に入りますか。  
(あてはまるもの1つに○)

1 毎日またはほとんど毎日	4 週に1回程度
2 週に4～5回	5 入らない
3 週に2～3回	

問11 あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。(あてはまるもの1つに○)

1 1日2回以上歯みがきをする	3 とどき歯みがきをする
2 1日1回歯みがきをする	4 ほとんど歯みがきをしない

問12 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 毎日またはほとんど毎日(週に4～5回)	4 月に1～2回
2 週に2～3回	5 ほとんどない
3 週に1回程度	6 まったくはない

問13 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(A～Gそれぞれあてはまるもの1つに○)

	ほとんど 毎日	週に 4～5回	週に 2～3回	週に 1回程度	月に 1～2回	ほとんど ない	まったく ない
A おうちの大人の人と一緒に朝食を食べる	1	2	3	4	5	6	7
B おうちの大人の人と一緒に夕食を食べる	1	2	3	4	5	6	7
C おうちの大人の人に朝、おこしてもらう	1	2	3	4	5	6	7
D おうちの大人の人に宿題(勉強)を みてもらう	1	2	3	4	5	6	7
E おうちの大人の人と学校でのできごと について話す	1	2	3	4	5	6	7
F おうちの大人の人と遊んだり、体を動か したりする	1	2	3	4	5	6	7
G おうちの大人の人と一緒に外出する (散歩する・買い物に行く・外食するなど)	1	2	3	4	5	6	7

問14 あなたが、家の手伝いなどのために、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子  
り遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならぬと感じることがあれば、その内容を告げて  
ください。それほど大変だと感じることがなければ、「7」に○をつけてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 年寄りや障害のある家族・親せみの介護や介助(着替え・食事・お風呂・外出の手助けなど)
2 小さいきょうだいの身の回りのお世話(着替え(おむつ交換)・食事・お風呂のお世話、一緒に留守番など)
3 買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事
4 日本語が十分に話せない家族の通訳
5 家族の仕事の手伝い(家で仕事をする家族の手伝いや、家でしているお店の手伝いなど)
6 その他のお世話や仕事( )
7 それほど大変な手伝いや仕事はしていません

問15 問14で1～6を選んだ方に質問します。

問14で選んだ手伝いや仕事を合計でどのくらいやっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 ほとんど毎日	3 週に2～3回	5 月に1～2回
2 週に4～5回	4 週に1回程度	6 月に1回より少ない

問16 あなたのうちでは、家族と次のようなことをすること（したこと）がありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

- |   |                    |    |                         |
|---|--------------------|----|-------------------------|
| 1 | 小さいころに本や絵本を読んでもらった | 7  | ニュースについて話をする            |
| 2 | 手作りのおやつを作る         | 8  | 辞書やインターネットを活用してしらべものをする |
| 3 | 図書館に行く             | 9  | 地域の行事に参加する              |
| 4 | 動物園・水族館に行く         | 10 | 泊まりがけで家族旅行に行く           |
| 5 | 博物館・美術館に行く         | 11 | あてはまるものはない              |
| 6 | コンサートや音楽会に行く       |    |                         |

問17 今、あなたには、いやなことや悩んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |          |    |                  |
|---|----------|----|------------------|
| 1 | おうちのこと   | 6  | 好きな人のこと          |
| 2 | 学校や勉強のこと | 7  | 進学・進路のこと         |
| 3 | クラブ活動のこと | 8  | SNSでのトラブル        |
| 4 | 自分のこと    | 9  | その他のこと           |
| 5 | とまごのこと   | 10 | いやなことや悩んでいることはない |

問18 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、誰かに相談しますか（だれに話しますか）。  
（あてはまるものすべてに○）

- |    |                |    |  |
|----|----------------|----|--|
| 1  | お母さん・お父さん      | 14 | 放課後児童会など学童保育の先生（指導員）                         |
| 2  | きょうだい          | 15 | 子ども専用の電話相談                                   |
| 3  | おじいちゃん・おばあちゃん  | 16 | インターネットやサイトなどを通じて知りあいた直接会ったことのない人            |
| 4  | おじさん・おばさん      | 17 | 近所の人   |
| 5  | いとこ            | 18 | 地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どものが集まる場所の人） |
| 6  | 学校のともだち        | 19 | その他の人（ ）                                     |
| 7  | 塾や習いことのともだち    | 20 | だれにも相談できない                                   |
| 8  | その他のともだち       | 21 | だれにも相談したくない                                  |
| 9  | 担任の先生や他のクラスの先生 | 22 | わからない  |
| 10 | 保健室の先生         |    |  |
| 11 | クラブ活動の先生       |    |  |
| 12 | スクールカウンセラー     |    |  |
| 13 | 塾や習いことの先生      |    |  |

問19 あなたが持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。  
（あてはまるものすべてに○）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 本（学校の教科書やマンガはのぞく）                               |
| 2  | マンガ・雑誌  |
| 3  | 子ども部屋（ひとりの部屋やまよふだいといっしょに使っている部屋など）              |
| 4  | パソコン  |
| 5  | スポーツ用品（ボール・ラケットなど）                              |
| 6  | ゲーム機  |
| 7  | 自転車   |
| 8  | テレビ   |
| 9  | けいたい電話・スマートフォン・タブレット機器（通話等アプリ（LINE）やSNSなどできるもの） |
| 10 | 化粧品・アクセサリ                                       |
| 11 | 習いことなどの道具（楽器・ユニフォーム・そろばんなど習いことで必要なもの）           |
| 12 | 自分で選んだ服   |
| 13 | キャラクターグッズ                                       |
| 14 | あてはまるものはない                                      |

問20 あなたは、ふだん（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間テレビを見たりゲームをしたりインターネット等を利用したりしますか。（A～Cそれぞれあてはまるもの1つに○）

	1時間より短い	2時間より短い	3時間より短い	4時間より短い	4時間以上
A テレビ・DVDを見る	1	2	3	4	6
B ゲームをして遊ぶ	1	2	3	4	6
C インターネット・電話・メール・LINE等をする（動画サイトをみることも含む）	1	2	3	4	6

学習について

問21 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

※勉強には学校の宿題もふくみます。

1 自分で勉強する	6 おうちの人に教えてもらう
2 塾で勉強する	7 ともだちと勉強する
3 学校の補習※を受ける	8 その他( )
4 家庭教師に教えてもらう	9 学校の授業以外で勉強はしない
5 地域の人が行う無料の勉強会に参加する	

※「補習」とは、自主的に学校で勉強するのではなく、ふだんの授業以外で参加しなければならない勉強です。

問22 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などの勉強時間もふくみます。(A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○)

	ま	3	1	3	2	1	3	2	3
	たく	0	1	0	1	1	1	1	1
	くない	分	時	分	時	時	時	時	時
A 学校がある日(月～金曜日)	1	より	間	間	間	間	間	間	間
B 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	短	より	より	より	より	より	より	以上
	2	い	短	短	短	短	短	短	上
	2	い	い	い	い	い	い	い	上
	3	い	い	い	い	い	い	い	上
	4	い	い	い	い	い	い	い	上
	5	い	い	い	い	い	い	い	上
	6	い	い	い	い	い	い	い	上

問23 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます)(あてはまるもの1つに○)

1 まったくしない	5 2時間以上、3時間より短い
2 30分より短い	6 3時間以上
3 30分以上、1時間より短い	7 わからない
4 1時間以上、2時間より短い	

問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 いつもわかる	→ 問26 にすすむ。
2 だいたいわかる	→ 問26 にすすむ。
3 教科によってはわからないことがある	→ 問25 にすすむ。
4 わからないことが多い	→ 問25 にすすむ。
5 ほとんどわからない	→ 問25 にすすむ。

問25 問24で3～5を選んだ方に質問します。いつごろから、授業がわからないようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

a) 小学生の方

1 小学1・2年生のころ	3 小学5年生になってから
2 小学3・4年生のころ	

b) 中学生の方

1 小学1・2年生のころ	3 小学5・6年生のころ	5 中学2年生になってから
2 小学3・4年生のころ	4 中学1年生のころ	

問26 あなたは、将来、どの学校まで行きたいですか。(あてはまるもの1つに○)

1 中学まで	
2 高校まで	
3 専門学校(高校卒業後に進学するもの)	
4 短大(短期大学)・高専(高等専門学校)※	
5 大学またはそれ以上	
6 まだわからない	→ 問28 にすすむ。

※高専(高等専門学校)とは、中学校卒業後に入学できる5年制の学校です。

問27 問26で1～5を選んだ方に質問します。その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 希望する学校や職業があるから	6 家にお金がないと思うから
2 自分の成績から考えて	7 早く働く必要があるから
3 おうちの大人の人がそう言っているから	8 その他( )
4 おにいちゃん・おねえちゃんかそうしているから	9 特に理由はな
5 まわりの先輩やともだちがそうしているから	

**ふだん考えていることなどについて**

問28 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。（あてはまるもの1つに○）

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問29 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。（A～Kそれぞれあてはまるもの1つに○）

	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思う
A 自分には良いところがある	1	2	3	4
B 自分のことが好きだ	1	2	3	4
C 自分に自信がある	1	2	3	4
D 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
E 自分の将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
F 将来のためにも、今、頑張りたいと思う	1	2	3	4
G 将来、働きたいと思う	1	2	3	4
H 大人は信用できる	1	2	3	4
I 自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
J 自分とはもたれから好かれている	1	2	3	4
K ともたれと会うのは楽しい	1	2	3	4

問30 あなたは、次のA～Cのような地域の場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（A～Cそれぞれ、あてはまるもの1つに○）

	利用したことがある	あつては利用したい	あつても利用しない	あつても利用したくない
A 平日の夜や休日を過ごすことができる場所	1	2	3	4
B 夕食を無料で安く食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	4
C（家や学校以外で）向でも相談できる場所（電話やLINEの相談をふくむ）	1	2	3	4

問31 問30で1つでも「1 利用したことがある」と答えた方に質問します。

それを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

1 ともだちが増えた	5 栄養のある食事をとれることが増えた
2 気軽に話せる大人が増えた	6 その他
3 生活の中で楽しみが増えた	( )
4 ほっとできる時間が増えた	7 特に変化はない

問32 その他、毎日の生活で感じていることやこのアンケートの感想など、自由に書いてください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました！ このアンケートの最初に書いてあるように、おうちの人のアンケートと一緒に、担任の先生に提出してください。

---

藤井寺市

子どもの生活に関する実態調査報告書

令和5年3月

藤井寺市

【問合せ先】 こども未来部 子育て支援課

TEL : 072-939-1162 FAX : 072-939-1128

---